

拓殖大学大学院 言語教育研究科

言語教育学専攻 博士論文

「動詞＋ツツアル」の用法に関する通時的研究

2020 年 3 月

指導教授： 阿久津 智教授

徐 恵君

目次

凡例	vii
第一章 序論	1
1.1 研究の背景と目的	1
1.2 研究の方法	2
1.3 本論文の構成	2
第二章 先行研究とその問題点	5
2.1 古代から近世にかけての日本語の「V ツツアル」の先行研究	5
2.2 近代における日本語の「V ツツアル」の先行研究	6
2.2.1 森岡健二（1991、1999）	6
2.2.2 竹内史郎（2011）	9
2.2.3 八木下孝雄（2018）	11
2.3 現代における日本語の「V ツツアル」の先行研究	18
2.3.1 鈴木（1972）	18
2.3.2 高橋（1996）による「V ツツアル」の分析	19
2.3.3 森山（2005）による「V ツツアル」の分析	21
2.3.4 副島（2007）による「V ツツアル」の分析	21
2.3.5 庵他（2011）による「V ツツアル」の分析	22
第三章 国語辞典における「V ツツアル」の記述	24
3.1 2000 年～現在までの国語辞典	25
3.1.1 小型辞典	25
3.1.2 中型辞典	26
3.1.3 大型辞典	27
3.2 1999 年までの国語辞典	28
3.2.1 小型辞典	28
3.2.2 中型辞典	28

3.2.3 大型辞典.....	29
第四章 古代から近代にかけての日本語における「V ツツアル」の用法の分析・考察.....	31
4.1 古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法の分析・考察.....	31
4.1.1 調査の目的.....	31
4.1.2 調査の対象.....	31
4.1.3 調査と分析の方法.....	32
4.1.4 調査の結果.....	32
4.1.4.1 奈良時代における「V ツツアル」(V ツツアリ)の用法の分析・考察.....	34
4.1.4.2 平安時代における「V ツツアル」(V ツツアリ)の用法の分析・考察.....	41
4.1.5 調査のまとめ.....	45
4.2 近代における日本語の「V ツツアル」の用法の分析・考察.....	46
4.2.1 調査の目的.....	47
4.2.2 調査の対象と調査の方法.....	47
4.2.3 本稿における「V ツツアル」の用法の分類基準.....	47
4.2.4 調査の結果.....	47
4.2.5 調査の結果の分析と考察.....	50
4.2.5.1 『女学雑誌』における「V ツツアル」の用法.....	50
4.2.5.1.1 「継続」の「V ツツアル」についての分析.....	50
4.2.5.1.2 「接近」の「V ツツアル」についての分析.....	52
4.2.5.1.3 「くりかえしの継続」の「V ツツアル」についての分析.....	53
4.2.5.2 『太陽雑誌』における「V ツツアル」の用法.....	53
4.2.5.2.1 「継続」の「V ツツアル」についての分析.....	54
4.2.5.2.2 「接近」の「V ツツアル」についての分析.....	55
4.2.5.2.3 「結果状態」の「V ツツアル」についての分析.....	56
4.2.5.3 『国民之友』における「V ツツアル」の用法.....	56
4.2.5.3.1 「接近」の「V ツツアル」についての分析.....	57
4.2.5.3.2 「継続」の「V ツツアル」についての分析.....	57
4.2.5.3.3 「くりかえしの継続」の「V ツツアル」についての分析.....	58
4.2.6 調査のまとめ.....	59
4.3 まとめ.....	59
第五章 近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であることに関する考察.....	61

5.1	調査の目的	61
5.2	調査の対象	61
5.3	調査の方法	62
5.4	調査の結果	63
5.4.1	英学資料における調査結果	63
5.4.1.1	『英文鑑』	63
5.4.1.2	『英和対訳袖珍辞書』	66
5.4.1.3	『英吉利文典 字類』	66
5.4.1.4	『英吉利文典』	68
5.4.1.5	『ピネヲ氏原板英文典』	69
5.4.1.6	『格賢勃斯訳英文典』	70
5.4.1.7	『通俗英文典』	72
5.4.1.8	英学資料における調査のまとめ	74
5.4.2	『明治文学全集』における調査結果	75
5.4.2.1	明治 20 年代の各作品における「V ツツアル」の例文	75
5.4.2.2	明治 30 年代の各作品における「V ツツアル」の例文	77
5.4.3	明治の新聞における調査結果	79
5.5	まとめ	82
第六章	明治の英語読本における「V ツツアル」の用法の分析・考察	83
6.1	英語教科書について	83
6.2	明治期の英文典における進行形の分類	84
6.2.1	『ピネヲ氏原板英文典直訳』	84
6.2.2	『格賢勃斯英文典直訳』	86
6.2.3	『通俗英文典』	87
6.2.4	まとめ	88
6.3	明治期の英語読本における進行形「be+Ving」とその日本語訳に関する調査	90
6.3.1	調査目的	90
6.3.2	調査対象	90
6.3.2.1	調査対象の選び方	90
6.3.2.2	調査対象の詳細	91
6.3.3	調査方法	92

6.3.4	調査結果.....	93
6.3.4.1	『New National 2nd Reader』についての調査結果	93
6.3.4.1.1	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況	95
6.3.4.1.2	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察	95
6.3.4.2	『Longmans' The Second Reader for Standard II』についての調査結果....	98
6.3.4.2.1	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況	102
6.3.4.2.2	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察	103
6.3.4.3	『Swinton's Primer and Second Reader』についての調査結果	109
6.3.4.3.1	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況	112
6.3.4.3.2	進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察	113
6.3.5	調査結果のまとめ	118
6.4	明治の英語読本における進行形「be+Ving」の用法の考察.....	120
6.4.1	『実用英文典』における進行形「be+Ving」の説明	120
6.4.2	永尾（2011）における進行形「be+Ving」の説明	125
6.4.3	本稿における進行形「be+Ving」の用法の分類	125
6.4.4	明治期の英語読本における進行形「be+Ving」の用法についての考察	126
6.4.4.1	『New National 2nd Reader』における進行形の用法.....	126
6.4.4.1.1	「動作・行為の継続」についての分析	126
6.4.4.1.2	「近接未来」についての分析	128
6.4.4.2	『Longmans' The Second Reader for Standard II』における進行形の用法	130
6.4.4.2.1	「動作・行為の継続」についての分析	130
6.4.4.2.2	「近接未来」についての分析	134
6.4.4.3	『Swinton's Primer and Second Reader』における進行形の用法	136
6.4.4.3.1	「動作・行為の継続」についての分析	136
6.4.4.3.2	「近接未来」についての分析	139
6.4.4.4	考察のまとめ.....	140
6.5	翻訳語としての「V ツツアル」の用法の考察	142
6.6	英語の進行形「be+Ving」がなぜ「V+ツツアル」と訳されたかについての考察 ..	142
6.7	英語の進行形「be+Ving」がなぜ「Vテ+アル」と訳されたかについての考察	144
6.8	まとめ.....	146

第七章 現代語における「V ツツアル」の用法の分析・考察	146
7.1 調査1：現代語における「V ツツアル」の用法についての調査	147
7.1.1 調査1の目的	147
7.1.2 調査1の対象と方法.....	147
7.1.3 本稿における「V ツツアル」の用法の分類基準	147
7.1.4 調査1の結果	147
7.1.5 調査1の結果の分析と考察.....	148
7.1.5.1 「接近」の「V ツツアル」についての分析.....	149
7.1.5.2 「継続」の「V ツツアル」についての分析.....	150
7.1.5.3 「途中」の「V ツツアル」についての分析.....	151
7.1.6 調査1のまとめ.....	153
7.2 調査2：学習者は、「V ツツアル」について、どのような用法を使っているか	153
7.2.1 調査2の目的	153
7.2.2 調査2の対象	154
7.2.3 調査2の方法	154
7.2.4 調査2の結果	154
7.3 調査1と調査2の考察	156
7.4 調査3：日本の日本語教科書についての調査.....	157
7.4.1 調査3の目的	158
7.4.2 調査3の対象	158
7.4.3 調査3の方法	158
7.4.4 調査3の結果	159
7.4.4.1 各教科書における「V ツツアル」の初出の状況	159
7.4.4.2 各教科書における「V ツツアル」の扱い状況	161
7.4.4.3 各教科書における「V ツツアル」の例文の用法	163
7.5 学習者における「V ツツアル」の誤用に関する考察	164
7.6 まとめ.....	165
第八章 結論と今後の課題.....	166
8.1 調査結果・分析・考察のまとめ	166
8.2 「V ツツアル」に関する結論	166
8.3 今後の課題.....	167

参考引用文献	168
謝辞	173
参考資料	174
1. 近代における「V ツツアル」の例文	174
2. 明治の英語読本における「V ツツアル」の例文資料	183
3. 現代における「V ツツアル」の例文資料	198
4. アンケート調査における「V ツツアル」の例文資料	208

凡例

- (1) 用例は章ごとに番号を施す。

(例) 1-6

上の例では、第一章の 6 番目の例番号を表す。

左端が章、右端が例の番号となる。

- (2) 表は章ごとに番号を施す。

(例) 表 1-1

上の例では、第一章の 1 番目の表番号を表す。

左端が章、右端が表番号となる。

- (3) 注はすべて脚注の形式をとっている。また、注番号は論文全体に数字の順に番号を施す。

第一章 序論

1.1 研究の背景と目的

「行きつつある」や「増えつつある」のような、「V ツツアル」という形は、金田一（1955）、鈴木（1972）、森田・松木（1989）らによって、アスペクトの体系に属する一つの形式として扱われている。アスペクトに関する研究は盛んで、特に「V テイル」に関する研究は数多くあるが、筆者の調べた限りでは、「V ツツアル」に関する研究は極めて少ない。

現代語における「V ツツアル」に関する先行研究としては、鈴木（1972）、高橋（1996）、森山（2005）、副島（2007）、庵他（2011）が挙げられる。一方、古代から近代にかけての「V ツツアル」に関する先行研究としては、森岡（1991、1999）、竹内（2011）、八木下（2018）が挙げられる。しかしながら、これらの先行研究においては、近代から現代にかけての「V ツツアル」の用法は考察された（特に竹内（2011）、高橋（1996）、副島（2007）など）が、古代から近世にかけての「V ツツアル」の用法はあまり考察されずにその例文を列記することにとどまるものがほとんどである。また、異言語（オランダ語や英語など）との接触を契機として形成された近代語の「V ツツアル」は、欧文の直訳表現としてまた使われるようになったといわれてきたが、これまで詳しい調査はなかったようである。八木下（2018）では、近代語の「V ツツアル」が英語の進行形である「be+Ving」の訳語として使われていたことについての考察が行われたが、近代語の「V ツツアル」は日本語表現であるか、また翻訳表現であるかについての考察は行われていない。しかし、近代語の「V ツツアル」の用法を明らかにするため、元々の日本語表現であるかないかは翻訳語表現であるかについて解明が求められている。これによって、「V ツツアル」の用法の分析方法が異なることが挙げられる。つまり、もし「V ツツアル」が元々の日本語表現であれば、その用法を分析する際に、日本語の用例だけを使えばよい。一方で、もし「V ツツアル」が翻訳語表現であれば、その用法を分析する際に、原語の例文を分析することも行う必要があると考えられる。そのほか、例えば、近代語における「V ツツアル」が、欧文の直訳表現だとしたら、いつ頃から使われ始めてきたか、また近代語における「V ツツアル」が、欧文の直訳表現となった理由が何であろうかなどについて、まだ明確にされていないようである。

上述のように、古代から現代にかけての「V ツツアル」に関しては、まだ多くの点で未解明の問題が残されている。殊に、近代語における「V ツツアル」に関する未解明の問題が多ようである。したがって、本論文は、古代から現代にかけての「V ツツアル」の先行研究を整理し、先行研究の不十分なところを示し、近代語における「V ツツアル」に関する不分明の問題に焦点をあてて、『日本語歴史コーパス』、『国立国会図書館デジタルコレクション』、『明治文学全

集』、『聞蔵Ⅱ ビジュアル』、『ヨミダス歴史観』、『日本語書き言葉均衡コーパス』を利用し、「V ツツアル」の例文を採集し、分析・考察を行うことを通し、「V ツツアル」の用法を通時的に明らかにすることを目的とする。また、言語教育の一助とすることを目指している。

1.2 研究の方法

研究方法の詳細は各章にて述べるが、ここでは大まかに本論文全体の研究方法について示しておく。

古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法を考察する場合には、関連する先行研究を整理し、『日本語歴史コーパス』を利用し、「V ツツアル」の例文を採集して分析・考察を行う。

近代における日本語の「V ツツアル」の用法を考察する場合には、関連する先行研究を整理し、『太陽』及び『日本語歴史コーパス』の『国民之友』、『女学雑誌』などを利用し、「V ツツアル」の例文を採集し、分析・考察を行う。さらに自分なりの分類を立てる。また、幕末から明治初期までに作られた英学資料を調べることを通じ、近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であることについて考察し、それから、『国立国会図書館デジタルコレクション』を利用し、明治期の英語読本（三つ）の PDF ファイルをダウンロードして一つ一つに当たり調査することによって、翻訳表現としての「V ツツアル」は英語の「be+Ving」とどのような関連を持っているかを明らかにする。そして、明治期の読本における「be+Ving」の翻訳状況と用法を明らかにすることを通し、当時の「V ツツアル」の用法をさらに明らかにする。現代における日本語の「V ツツアル」の用法を考察する場合には、先行研究を整理し、『現代書き言葉均衡コーパス』を利用し、「V ツツアル」の例文を採集し、分析・考察を行う。さらに、独自の分類を立てる。

最後に、得られた調査結果を総合し、「V ツツアル」の用法を通時的に明らかにする。

1.3 本論文の構成

第一章 序論

第一章では、本論文の研究背景・目的・方法について述べる。

第二章 先行研究

第二章では、本論文の対象である「V ツツアル」に関する主な先行研究を取り上げる。

第三章 国語辞典における「V ツツアル」の記述

第三章では、国語辞典における「V ツツアル」について、どのように記されているかを調査する。

第四章 古代から近代にかけての日本語における「V ツツアル」の用法の分析・考察

第四章では、古代から近代にかけて歴史の流れ順に、「V ツツアル」の用法を調べる。ここでは、『日本語歴史コーパス』や雑誌コーパスで利用できるものから「V ツツアル」の例文を取り出し、具体的な用法を検討する。

第五章 近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であることに関する考察

第五章では、近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であることを考察するため、日本最初の英文法書である『英文鑑』、日本最初の英和辞典である『諳厄利亜語林大成』、『英和对訳袖珍辞書』、『英吉利文典』、『英吉利文典 字類』、『ピネフ氏原板英文典』、『格賢勃斯訳英文典』、『通俗英文典』、『英文典直訳』などの英学資料と、明治文学全集（『明治開化期文学集（一）』、『明治開化期文学集（二）』、『硯友社文学集』、『明治政治小説集（二）』、『明治家庭小説集』）と、新聞（『聞蔵Ⅱビジュアル』、『ヨミダス歴史観』）において、「V ツツアル」の例文があるかどうかについて調査する。その結果によって、近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であるかどうかについて明らかにする。

第六章 明治の英語読本における「V ツツアル」の用法の分析・考察

第五章の結果に基づいて、第六章では、まず、明治期の英語読本（『ニューナショナル』、『ロングマンズ』、『スウキントン』）を調査対象とし、英語の進行形の例文とその相当する日本語訳を抽出し、考察する。調査結果に従い、英語の「be+Ving」と日本語の「V ツツアル」とはどのような関連を持っているかを考察する。次に、明治における英語の「be+Ving」の用法を分析することを通し、当時の「V ツツアル」の用法を明示する。さらに、英語の進行形「be+Ving」の日本語訳はなぜ「V ツツアル」あるいは「V テアル」と訳されたかについて簡単に考察する。

第七章 現代語における「V ツツアル」の用法の分析・考察

第七章では、まず、『日本語書き言葉均衡コーパス（少納言）』の「雑誌（2001～2005）」を利用し、「V ツツアル」の例文を取り出し、分析する。分析した結果を通し、現代語における「V ツツアル」の用法が先行研究と一致しているかどうかを検証する。次に、独自の「V ツツ

アル」の用法の分類基準を利用し、日本語教科書における「V ツツアル」の用法について考察する。続いて、中国人日本語学習者の「V ツツアル」の用法に対する把握状況の調査を行い、その調査結果に基づいて、学習者に見られる「V ツツアル」の用法が教科書のものと一致しているかどうかを明らかにする。

第八章 結論

第八章では、全体の総括を行う。ここでは、古代から現代まで、「V ツツアル」の用法がどのように変化してきたのかを、また、現代語における「V ツツアル」の用法がどの時代から受け継がれてきたかをまとめる。

第二章 先行研究とその問題点

これまでの「V ツツアル」に関する先行研究を簡単に見てみる。なお、研究者によって、「V ツツアル」の表記は「シツツアル」、「～つつある」、「ツツアル」、「つつある」などまちまちである。原則として引用部分では著者の記述に従うようにするが、本稿では基本的には「V ツツアル」を用いる。また、本稿では、便宜上、「古代から近世にかけての日本語の『V ツツアル』の先行研究」、「近代における日本語の『V ツツアル』の先行研究」、「現代における日本語の『V ツツアル』の先行研究」の三つの部分に分けて、各部分の先行研究について発表された順に見ていく。

2.1 古代から近世にかけての「V ツツアル」に関する先行研究

古代から近世にかけての日本語の「V ツツアル」の先行研究は、筆者の調べた範囲では極めて少ないのだが、ここでは、竹内（2011）を取り上げたい。

竹内（2011:5）は、「V ツツアリ」は上代文献においてすでに使用されていることを指摘している。また、平安時代にも「V ツツアル」の例文を取り出すことができ、江戸時代では話し言葉、書き言葉ともに「V ツツアル」の例文を見いだせなかったと述べている。以下、竹内（2011）で取り上げられた例文を挙げる。（例文の番号は、原文のままであるが、下線は筆者による。例文の下線は、研究対象である「V ツツアル」の部分のみ引いている。）

- (5) a かくのみや息づき居らむかくのみや恋ひつつあらむ（恋都追安良牟）（万葉集・卷八・一五二〇）
b 家にして恋ひつつあらずは（古非都々安良受波）汝が佩ける大刀になりても斎 ひてしかも（万葉集・卷二〇・四三四七）
c 衆人^{波不成}^{登疑}朕^{波金少}^{牟止}念憂ツツ在^爾（続日本紀宣命・第十三詔）
- (6) a はつかあまりへぬる。いたづらにひをふれば、人々うみをながめつゝぞある。（土左日記・三九頁）
b このいま一方のいでいりするをみつゝあるに、いまは心やすかるべきところへとてゐてわたす（蜻蛉日記・一一九頁）
c かやうに待ちきこえつつあらむも心のみ尽きぬべきこと、なかなかもの思ひのおどろかさる心地したまふに、御文ばかりぞ暮つ方ある。（源氏物語・二・二八頁）
d 御方の人々は、ほのぼの知れるもありけれど、何かは、かくこそと誰にも聞こ

えん、見隠しつつあるなるべし。(源氏物語・三・二七頁)

- (8) a 後少隠ル、程ニ、貞道、郎等共ニ其ノ心ヲ知セテ、馬腹帶結、胡録ナド搔疏 テ、
取テ返シテ追ヒ行ケルニ、浦原ノ隔ツ、有ル程ヲ行ケルニ、追ヒ懸リニケル。(今昔物語集・四・三八九頁)
- b 共ノ後ハク會事モ無カリケレバ、少將此レヲ歎ツ、有ケル程ニ、此ノ女ハ口(諸本欠字)ノ口(諸本欠字)ト云ケル人ノ娘也ケリ。(今昔物語集・五・一三一頁)

筆者の調べた限りでは、古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の先行研究はわずか一つであった。以上は、竹内(2011)で取り上げられたすべての例文である。竹内(2011)では、古典文学における「V ツツアル」の例文が取り上げられるのみで、当時の「V ツツアル」の用法の分析はなされていない。

2.2 近代における「V ツツアル」に関する先行研究

近代における日本語の「V ツツアル」の先行研究は、筆者の調べた範囲では極めて少ないのだが、ここでは、森岡(1991、1999)、竹内(2011)、八木下(2018)を取り上げたい。

2.2.1 森岡健二(1991、1999)

森岡(1991:430)では、近代日本語の「V ツツアル」について、第四章の「欧文脈の形成」で、以下のようなことが述べられている。(もともとは縦書きであるが、読みやすさのために、筆者が横書きにする。また、例文の番号、記号、下線は、原文のままで表記する)

13 進行形

We are telling our names. (我等ハ我等ノ名ヲ語リツツアルナリ。)

○君在京の頃より萌芽しつつありし養蚕事業の漸く永久の基礎を固め…

(帰省、明治 23)

○或は数尺の牢室に禁籠しつつあるなり。(我牢獄、明治 25)

また、森岡(1999:217)では、近代日本語の「V ツツアル」について、第五章の「欧文脈—動詞 附・助動詞」で、以下のようなことが述べられている。

「3」 進行形

接辞-ing は、動詞に添えて現在分詞を造り、be 動詞とともに用いて進行形を構成する。また、目的語や副詞などをとって付帯状態を表す動詞句を造ることもある。直訳では、この語形は必ず「ツゝアル」と訳され、動詞句も「ツゝ」「ナガラ」と訳され、動作・状態が継続中であることを表した。

1 直訳

○ What are you making such a noise about?

- 1 何ニ就テ汝ハ箇様ナル喧鬧ヲ為シツゝアルカ
- 2 汝等ハ何ニ就テ斯様ノ音ヲナシツゝアルカ (意識) 何ノ為ニ此ノ如キ喧囂ヲナスヤ
- 3 汝は何ニ就いて斯の如き噪ぎををなしつゝあるか (意識) ナゼかくは噪くぞ

○ and looked him all over, turning him from side to side, and from head to feet.

- 1 而シテ脇カラ脇ニマデ頭カラ頭ニマデ彼レヲ廻ハス処デ総身彼レヲ見シ
- 2 而シテ側カラ側ニ迄而シテ頭カラ足ニ迄回シツゝ残リナク彼ヲ見タリ (意識) 彼方此方へ振り向ケテ頭ヨリ足ニ至ル迄尽ク検シタリ
- 3 脇より脇に頭より足に彼を廻らしつゝ凡て彼を眺めし (意識) 頭より足に脇より脇にと廻しつゝ…詳しく検めたり

2 日本人の文章における用例

- 君在京の頃より萌芽しつつありし養蚕事業の漸く永久の基礎を固めるより… (明 23 宮崎湖処子「帰省」)
- 兎に角に我は数尺の牢室に禁籠せられつゝあるなり。(明 25 北村透谷「我牢獄」)
- クロムウェルの事業は今日の英吉利を作りつゝあるのです。(明 30 内村鑑三「後世への最大遺物」)
- 信子は満腹の愛と信とをわれにささげつゝあり。／信子はわれをして生活の煩累よ

り自由ならしめんことを期しつゝあり。(明 29 国木田独歩「欺かざるの記」)

- 赤き五月鯉白き矢幡は遠近にそよぎつゝあり。(明 33 徳富蘆花「自然と人生」)
- 彼は彼の友に擲揄せられたる結果として先づ手始めに吾輩を写生しつゝあるのである。(明 38 夏目漱石「吾輩は猫である」)
- 今吾輩の主人に描き出されつゝある様な妙な姿とは、どうしても思はれない。(同上)
- 此景色が景色としてのみ、余が心を楽ませつゝあるから苦労も心配も伴はぬのだらう。(明 39 夏目漱石「草枕」)
- 霜柱が庭から先の桑畑にぐらりぐらりと倒れつつある。(明 43 長塚節「土」)
- 嘴でそこを啄いてまたがりがり爪で土を搔っ掃いては余念もなく夕方の餌料を求めつつ田圃から林へ還りつつある。(同上)
- 活気のずんずん恢復しつつあるあつた彼女には何かパセティックな夢でも見てゐるやうな思ひをさせた。(明 44 有島武郎「或る女」)
- 深さの分からないやうな暗い闇が葉子を唯一人真中に据ゑておいて、果てしなくそのまほりを包もうと静かに静かに近づきつつある。(同上)

3 翻訳における用例

- 余は通身慄然として顫ひおのゝきつゝ匍匐して復た壁のきはに還り来りぬ。(明 30 森田思軒「間一髪」)

Shaking in every limb, I groped my way back to the wall.

- 而して之が為めに個人の幸福も社会の快樂も日々増殖しつゝあり。(明 39 畔上造訳「自助論」)

and are everyday reaping the benefit of them in an increase of individual well being as well as of public enjoyment.

- 其聊隊の傍にありて泥土の中をもがき苦しみて進みつゝあり。(同上)
~, observed trudging alone through mud and mire by the side of the regiment,

- 為されたるもの、為されつゝあるもの、(大 12 柳田泉訳「英雄及び英雄崇拜」)
What was done, what are doing,

- * 二人の紳士が一間で煙草を吹かして居た。(大 7 矢口達訳「デギッドの生立」)
two gentlemen were smoking in a room by themselves.

- * ハムは実際宿屋で待つて居た。(同上)
He was waiting us, in fact, at the public-house.

【注】口語文が普及するにつれて、直訳体の「～ツツアル」の用法が衰えて、「～テイル」の用法が一般に使われるようになる。

2.2.2 竹内史郎 (2011)

竹内 (2011:151) では、近代語の「V ツツアル」の用法について、以下のようなことが述べられている。(以下の例は、竹内 (2011) からとった。例文の番号は原文のままである。)

- ① ツツアル形は主体動作動詞と共起して「動作進行」、「直前」あるいは「非実現」を示す。

(13b) 群衆に向ひ演説しつつあるレニン〈写〉(動作進行)

(31-a) (日課である散歩の準備として、靴のひもを結んでいるのを見て) 妻が庭園を散歩しつつある。(直前)

(33-a) 妻が散歩しつつあったが、結局家の中でゴロゴロしたままだった。(非実現)

- ② ツツアル形は主体動作・客体変化動詞と共起して「動作進行＝変化進行」、「直前」「非実現」を示す。

(28-b) 月給の補いにもならぬこの景色が景色としてのみ、余が心を楽しませつつあるから苦労も心配も伴わぬのだろう。(動作進行＝変化進行)

(32-a) (メリメリメリ…という音を聞き) これは、大樹が倒れつつある。
(直前)

(34-a) 昨日はあやうく大樹が倒れつつあったが、どうやら何事もなかったようだ。
(非実現)

- ③ ツツアル形は主体変化動詞と共起して「変化進行」、「直前」あるいは「非実現」をす。

(29-a) 大井川堤防の決壊 刻一刻に消滅しつつある光景。「変化進行」

(32-b) (20本の牛乳ビンが用意された舞台に着席したのを見て) 太郎が、20本の牛乳を飲みつつある。(直前)

(34-b) 太郎が、20本の牛乳を飲みつつあった。それが、やる気を失い、結局1本も飲まなかった。(非実現)

また、竹内(2011)では、翻訳語としての「V ツツアル」について、以下のようなことが述べられている。

- a. 近代語のツツアルは、‘be+V-ing’の訳語としての使用を契機として書き言葉の世界で発達していき、一般的な書記文体の中で地位を獲得した。
- b. ツツアルと同様の歴史的な事情をもつものに、ニョッテ受身文、所有対象が抽象的性質となる所有表現、原因主語他動文などがある。これらの表現の使用の際に「硬さ」

が認められるのは、欧文翻訳を契機として書き言葉の世界で発達したという経緯があるからである。

- c. ツツアルの再生は、平安時代和文に存在したツツアリとは別個に、欧文翻訳の際の要請から、一般的なアスペクト形式の生成のし方に則って、書き言葉で用いられていた助詞ツツに存在動詞アルを組み合わせでつくり出されたものである。

2.2.3 八木下孝雄 (2018)

八木下 (2018) では、『New National 1st Reader』、『New National 2nd Reader』、『New National 3rd Reader』の三つの英語読本における訳出法について詳しく調査した。これらの英語読本における進行形訳については、以下のようなことが述べられている。(例文の番号と下線は、原文のままである)

八木下 (2018) には、『New National 1st Reader』における進行形の訳について、第一章の「3 調査結果」の「3.2.4 進行形の訳」(p.21) で、以下のようなことが述べられている。

3.2.4 進行形の訳

進行形の訳では、現在進行形、過去進行形の用例が得られた。それぞれについて、以下で見ていく。

3.2.4.1 現在進行形の訳

現在進行形の訳出パターンは、次のようになると考えられる。

...be verbing... → …動詞 ツツアル

verbing が「動詞 ツツ」と訳され、進行形の訳となる。動詞は「ツツ」に上接するように活用する。助動詞としての be は必ず「アル」と訳される。

(9) 2-8

But John and Ann are coming over to see us.

然しながらジョン而してアンが我などを見るべく超えつつある。

(10) 1-47

We are going faster now, Frank, and will pass you in the race.

吾等が今より速に行きつつあるフランクよしかして駈に於いて汝を過ぎるであろう。

(9) では、come over の訳「超エル」に「ツツアル」が下接し、「超えつつある」となっている。(10) では、go 「行ク」に「ツツアル」が下接し、「行きつつある」となっている。

3.2.4.2 過去進行形の訳

過去進行形の場合は、現在進行形の訳「ツツアル」に過去形のパターンの「シ」が付加し、次のようになる。

...be verbing... → …動詞 ツツアリシ

(11) 1-51

I was hunting with my dog, and saw a little bear up in tree.

私が私の犬と共に猟りつつありし而して樹に於て上に小さき熊を見し

(12) 2-10

One day, when Frank and John were going to school, they saw an old man with a flute.

一日フランク而してジョンが學校に迄行きつつありしときに彼等が笛を以たる老人を見し

(11) を見ると、hunt 「猟ル」に「ツツアリシ」が下接した「猟りつつありし」となっている。(12) では、go 「行ク」に「ツツアリシ」が下接した「行きつつありし」となっている。

八木下 (2018) では、『New National 2nd Reader』における進行形の訳について、第二章の「3 調査結果」の「3.2.4 進行形の訳」(p.54) で、以下のようなことが述べられている。

3.2.4 進行形の訳

進行形においては、現在進行形、過去進行形の用例が見られた。それぞれ時制ごとに用例を見て、パターンを提示する。

3.2.4.1 現在進行形のパターン

現在進行形は、次のようなパターンになると考えられる。

...be verbing... → …動詞 ツツアル

動詞に ing が付いた形式が「動詞 ツツ」と訳される。動詞は「ツツ」に上接するように活用する。助動詞としての be は必ず「アル」と訳される。現在進行形は「ツツアル」がパターンとなる。

(11) 3-1

I'm always making honey.

私が常に蜜をなしつゝある

(12) 43-4

The hens are picking off the grass, /And singing very loudly;...

牝鶏が草を啄きつゝ而して甚だ声高く歌ひつゝある

(11) では、「なしつつある」と現在進行形が「ツツアル」で訳されている。(12) では、動詞が 2 つの文であるが、それぞれ、「啄きつゝ…ある」「歌ひつゝある」と「ツツアル」で訳されている。

3.2.4.2 過去進行形のパターン

過去進行形の場合は、過去形のパターン「シ」が付加し、次のようになる。

...was/were verbing... → …動詞 ツツアリシ

動詞に ing が付いた形式が「動詞 ツツ」と訳される。動詞は「ツツ」に上接するように

活用する。助動詞としての be は必ず「アリシ」と訳される。過去進行形は「ツツアリシ」がパターンとなる。

(13) 14-9

They were still looking for pigs.

彼等が尚ほ豚に向て眺めつゝありし

(14) 4-1

One time when Frank was going to school, he found a poor little bird in the grass.

フランクが学校に迄行きつゝありしときの一の時に彼が草の中に怜なる小さき鳥を見出せシ

(13) では look の訳「眺メル」に「ツツアリシ」が下接した「眺めつゝありし」となっている。(14) では go の訳「行く」に「ツツアリシ」が下接した「行きつゝありし」となっている。

八木下 (2018) では、『New National 3rd Reader』における進行形の訳について、第三章の「3 調査結果」の「3.2.4 進行形の訳」(p.91)と「3.2.5 完了進行形の訳」(p.92)で、以下のようなことが述べられている。

3.2.4 進行形の訳

進行形においては、現在進行形、過去進行形の用例が見られた。それぞれ時制ごとに用例を見て、パターンを提示する。

3.2.4.1 現在進行形のパターン

現在進行形は、次のようなパターンになると考えられる。

...be verbing... → ...動詞 ツツアル...

動詞に ing が付いた形式が「動詞 ツツ」と訳される。動詞は「ツツ」に上接するように

活用する。助動詞としての be は必ず「アル」と訳される。現在進行形は「ツツアル」がパターンとなる。

(12) 41-1

“George, I am going to eat my supper by myself, after this,” said little Harry.
ジオルジ私が此後自身に由て私の晩飯を食ふべく行きつつあると小さきハーレーが言ひし

(13) 36-8

The boys are laughing at me, but am I not right.
童子等が私に於て笑ひつつある併し私が正しくあらぬか

(12) では、「行きつつある」と現在進行形が「ツツアル」で訳されている。(13) では、laugh の訳「笑フ」に「ツツアル」が下接し、「笑ひつつある」となっている。

3.2.4.2 過去進行形のパターン

過去進行形は、現在形のパターン「シ」が付加し、次のようになる。

...was/were verbing... → …動詞 ツツアリシ

動詞に ing が付いた形式が「動詞 ツツ」と訳される。動詞は「ツツ」に上接するように活用する。助動詞としての be は必ず「アリシ」と訳される。過去進行形は「ツツアリシ」がパターンとなる。

(14) 4-21

He was going to sweep the floor.
彼が床を掃ふべく行きつつありし

(15) 37-4

John was thinking of a baboon.
ジョンは「バムブー」に就て考へつつありし

(14) では look の訳「眺メル」に「ツツアリシ」が下接した「眺めつゝありし」となっている。(15) では go の訳「行ク」に「ツツアリシ」が下接した「行きつゝありし」となっている。

3.2.5 完了進行形の訳

現在完了進行形と過去完了進行形に用例が見られた、用例数は多いとは言えないが、用例とパターンを提示する。

3.2.5.1 現在完了進行形の訳

現在完了進行形は、以下の用例が見られた。

(16) 43-32

“She has been trying to warm herself,” people said; ...

彼女が彼女自身を暖むるべく試みつつありたりきと人民が云ひし…

見られた用例が (16) の 1 例のみであるため、パターンについて断言することはできないが、下記のように予測できると考えられる。

...have/has been verbing... → …動詞 ツツアリタリキ

現在完了形と進行形のパターンを合わせたものは「ツツアリタリ」になると考えられるが、ここでは「ツツアリタリキ」となっている。1 例のみの用例であるので、パターンとして確定することはできない。

3.2.5.2 過去完了進行形の訳

過去完了進行形は、以下の用例が見られた。

(17) 47-25

As he passed by the tree under which he had been sitting in the morning, he saw the old crow perched on one of the branches, looking very grave.

彼れが樹其れ下に彼れが朝に於て坐はりつつあつたりき處の樹の側を過ぎしと
き彼れが甚だ真面目に眺する處で枝の一の上に棲みたる老ひたる鳥を見し

(18) 54-12

He had been peeping about and listening, and hearing of some wonderful
machine that his father had just received.

彼が或る驚くべき機械其れを彼の父が丁度受取りたりき處の或る驚くべき機械
の周りに窺ひつつ而して機械に就て耳を敬てつつ而して聴きつつありたりき

(17) は「坐はりつつあつたりき」となっている。(18) では、3つの動詞があるが、それぞれ、「窺ひつつ…ありたりき」「敬てつつ…ありたりき」「聴きつつありたりき」となっている。

パターンは以下のようになると考えられる。

...had been verbing... → …動詞 ツツアリタリキ／ツツアツタリキ

動詞の訳に、進行形のパターン「ツツアリ」と過去完了形のパターン「タリキ」を合わせた、「ツツアリタリキ／ツツアツタリキ」を下接して訳文を作っていると考えられる。

八木下 (2018) により、明治における進行形の訳については、現在進行形、過去進行形、現在完了進行形、過去完了進行形の用例があり、現在進行形の訳出パターンは「『…be verbing …』→『…動詞 ツツアル』」であり、過去進行形の訳出パターンは「『…was/were verbing …』→『…動詞 ツツアリシ』」であり、現在完了進行形の訳出パターンは「『…have/has been verbing…』→『…動詞 ツツアリタリキ』」であり、過去完了進行形の訳出パターンは「『…had been verbing…』→『…動詞 ツツアリタリキ／ツツアツタリキ』」であることが明らかになった。

また、八木下 (2018) では、『シャーロック・ホームズの冒険』から「ボスコム谷の謎」の原文と翻訳2種を資料とし、翻訳文における訳出法について調査した。その結果、動詞の表現の中では、時制の表現で、進行形を「ツツ」と訳すパターンや、完了形について、過去を表わす助動詞を重ねる「タリキ」といったパターンが予想されたが、用例としてパターンを用いたものは見られなかったことという。つまり、進行形の用例となるが、「ツツ」などのパターン

は用いられていなかった。

さらに、八木下（2018）では、翻訳文学作品を資料として、訳文の中での欧文直訳表現が非常に少ないということも述べている。

以上は、近代語における「V ツツアル」についての先行研究である。森岡（1991、1999）では、「be+Ving」の直訳は必ず「V ツツアル」と訳されると述べている。竹内（2011）では、「V ツツアル」の出発点が「be+Ving」の訳語であり、「動作進行」、「直前」、「非実現」という三つの用法があると述べている。しかしながら、森岡（1991、1999）と竹内（2011）ではともに詳しい調査は行われていないようである。つまり、「V ツツアル」は「be+Ving」の翻訳語であると述べているが、証明していない。また、八木下（2018）では、明治期における英語読本を利用し、それら読本における進行形訳を詳しく調査を行ったが、「V ツツアル」の用法の考察はしていない。また、読本については一種類だけではなく、多種類の読本を利用し、さらに調査を行う必要があるのではないかと考える。

2.3 現代における「V ツツアル」に関する先行研究

現代における日本語の「V ツツアル」の先行研究として、鈴木（1972）、高橋（1996）、森山（2005）、副島（2007）、庵他（2011）が挙げられる。それぞれにおける「V ツツアル」の説を簡単に見ていく。（用法および例の通し番号は原文のままである。以下同様）

2.3.1 鈴木（1972）による「V ツツアル」の分析

鈴木（1972:390）は、「V ツツアル」について、以下のように述べている。（下線は原文のままである）

- (i) ……しつつ ある これは文語的な副動詞「……しつつ」とたすける動詞とのくみあわせで、動きの進行中の状態をあらわす。（翻訳調の文体にもちいられる。）

台風は ゆっくり 北上しつつ ある。

これは、結果動詞にももちいられる。このばあい、その動詞のしめす結果にむかって事態がすこしずつ進行している過程にあることをあらわす。

鉄道は 急速に 復旧しつつ ある。

〇〇内閣は すでに 崩壊しつつ あった。

2.3.2 高橋（1996）による「V ツツアル」の分析

高橋（1996:101）は、「V ツツアル」の用法について、以下のように述べている。

I ツツアル形は瞬間動詞など広い範囲の動詞と共起して「進行」を表せる。

(2) ノルウェー北部の捕鯨基地オフォーテンが、観光地に変わりつつある。

II ツツアル形は、継続動詞と共起すると、テイル形の示す事態そのものの進行とは異なり、動詞の表すコンスタントな事態に向かって進んでいく進行を表す。（「だんだんそのような状態になっていく」漸時進行）。

(3b) その時、列車は、ゆっくりと走りつつあった。

III テイル形には、「～ないでいる」や「～していない」のような否定形があるが、ツツアル形には否定形がない。

(5b) *事件の波紋は次第に広がらなくつつある。

(5c) *事件の波紋は次第に広がりつつない。

IV 文体的にツツアル形は文章語として位置づけられる。

また、高橋（1996:103）は、条件により、「継続動詞＋ツツアル形」で「進行」の事態を指示することができる述べている。つまり、「テイル形」と同様に「進行」を表すことが可能である。「継続動詞＋ツツアル形」で「進行」の事態を指示する条件は以下の三つに分類されている。

i) 目的が明確にされている場合

目的の副詞句や移動動詞に目的地が明示されている場合。

(10b) 列車は、故郷へと走りつつある。(=走っている)

(11b) 鴨が向こう岸に向かって泳ぎつつあった。(=泳いでいた)

(12b) バスが、ホコリを立てて目的地の村へと走りつつある。(=走っている)

(13b) 砂に埋もれた木片の上を一匹の虫がこちらに向かって這いつつあった。(=這っていた)

ii) 限定詞を伴った目的語がある場合

目的語に数詞やコソアなどの指示詞、またその目的語の指示物を同定し得るような修飾句が伴う。

(14b) 父は一通の手紙を書きつつあった。(=書いていた)

(15b) 母はそれらの食器を洗いつつある。(=洗っている)

(16b) 彼は先生から紹介していただいた本を読みつつあった。(=読んでいた)

iii) 「結果の目的語」を伴っている場合

(17) 家を建てつつある。(=建てている)

(18) 橋を架けつつある。(=架けている)

さらに、高橋(1996:105)は、ツツアル形は「状態動詞・第四種の動詞」と「否定形」との共起制限があるが、「終点」を設定できるものであれば、状態動詞にせよ、第四種の動詞にせよ、ツツアル形が共起可能であると述べている。取り上げられている例は、「異なる」と「ない」である。

(25) 太郎の考えは、昔の考えとは異なりつつあるようだ。

(27) ??最近、A社の製品はB社の製品よりも優れつつある。

(28) (?) 生まれたばかりの彼の子どもは、日々彼に似つつある。

(29) (?) 息子の最近の活躍で、彼は鼻を高くしつつある。

(32) 車のガソリンがなくなりつつある。

2.3.3 森山（2005）による「V ツツアル」の分析

森山（2005:125）は、「V ツツアル」について、以下のように述べている。

ツツアルは、「被害がしだいに拡大しつつある」「供給量を減らしつつある」のように主体または対象がゆるやかに連続して変化していく過程（進展過程）にあることを状態として表す。そのほか、「新校舎が完成しつつある」のように、動きが限界点へ到達する直前の状態であることや「われわれは未曾有の状況を体験しつつある」のように進行過程を状態として表す用法もある。いずれも何らかの動きが進行している状態にあるということを、刻々の推移に着目して表現することになっている。そのため、通常、刻々の推移に重大な意味があるような内容について使うのが普通で、「彼がカラオケで『春』を歌いつつある」などと言うことは一般的ではない（仮にそう言う、刻々の推移を取り上げるだけの特別な意味があるような意味になる）

2.3.4 副島（2007）による「V ツツアル」の分析

副島（2007:70）は、「V ツツアル」について、以下のように述べている。（例文の番号は原文のまま）

I. 基本的意味

① 変化の不完結

限界動詞（外的限界をもつ非限界動詞も含む）であれば、その動詞の表す変化の不完結な進行過程を表す。

(2.7) 青書も指摘する通り、国際的な相互依存関係が深まる中で、日本外交の重要度もますます高まりつつある。

② 動きの開始局面の不完結

非限界動詞であれば、外的限界が与えられない限り、動きの始まりの瞬間の不完結な進行を表す。

(2.6) b. 汽車はゆっくりと走りつつある。

II. 派生的意味

③ くりかえし

限界動詞、非限界動詞にかぎらず、変化するものが複数であれば、動詞の表す動作のくりかえしの不完結な進行を表す。

(2.8) 北極海に浮かぶ島々では、浸食で島が消失しつつある。

2.3.5 庵他（2011）による「V ツツアル」の分析

庵他（2011:93）は、「V ツツアル」について、以下の記述を行っている。

「V ツツアル」は変化の過程を表す表現で、変化動詞に後接します。例えば、「春になって池の氷が溶けつつある」は池の水分が氷（個体）から水（液体）に変化する途中の段階であることを表します。

以上は、現代語における「V ツツアル」の先行研究である。鈴木（1972）、森山（2005）、庵他（2011）のように、簡単に述べたものがある一方、高橋（1996）、副島（2007）のように、たくさんの例文を利用し、詳しく分析したものもある。

古代から現代にわたる日本語の「V ツツアル」の先行研究から見ると、次のような課題がまだ残されている。

- ① 古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法がまだ究明されていない。
- ② 明治に入り、「V ツツアル」の使用がまた見られ、翻訳語として使われてきたという説がほとんどであるが、それについての詳しい調査はまだ行われていないようである。

- ③ 近代語における「V ツツアル」はどのような言語の直訳かについて明らかにされていない。

第三章 国語辞典における「V ツツアル」の記述

第二章では、先行研究における「V ツツアル」について見た。本章では、国語辞典¹における「V ツツアル」についてどのように記されているかを明らかにするため、筆者はいくつかの国語辞典を取り上げ、それぞれにおいて、「V ツツアル」について、どのように述べられているかを見ていくことにする。ここで、沖森他（1996）の国語辞典の分類基準を参考にし、一部分変更し、各国語辞典における「V ツツアル」についての記述をまとめておく。まず、沖森他（1996）では、国語辞典の分類について、どのように述べているかを見ておく。

沖森他（1996）では、国語辞典について、小型辞典、中型辞典、大型辞典の三つに分けられている。それぞれについての説明は、以下のように述べられている。

まず、小型辞典について、以下のように述べている。（p.93）

辞典類をその規模で3段階に区分したときの、最も小さい部類。規模の大小は項目・判型・ページ数などを目安にするが、必ずしも明確な境界があるわけではない。一般に、国語辞典ならば、項目数7、8万語以下、1200～300ページ以下のものをいう。携帯することが出来るサイズなので、「携帯判」と呼ばれる大きさのものと重なることが多い。『新明解国語辞典』『三省堂国語辞典』（三省堂）、『岩波国語辞典』（岩波書店）、『新選国語辞典』（小学館）、『旺文社国語辞典』（旺文社）などは代表的なもので、小学生向けのものは含まない。なお、この語が書名に用いられることはない。

次に、中型辞典について、以下のように述べている。（p.189）

辞典類をその規模で3段階に区分したときの、中くらいの部類。規模の大小は項目・判型・ページ数などを目安にするが、必ずしも明確な境界があるわけではない。多巻ものを指すことはない。一般に国語辞典ならば、項目数10万から15、6万語、2000ページ前後のものを指す。『広辞林』（三省堂）、『学研国語大辞典』（学習研究社）、『言泉』（小学館）、『新潮国語辞典』（新潮社）、『辞海』（三省堂）など。なお、この語が書名に用いられることはない。

また、大型辞典について、以下のように述べている。（p.43）

¹ 『日本語大辞典 上』では、「国語辞書とは、国語（日本のことば）について、日本語で解説・説明を加えた辞書、つまり日本の自国語の言語辞書のことをいう。」と述べている。

辞典類をその規模で3段階に区分したときの、最も大きい部類。規模の大小は項目・判型・ページ数などを目安にするが、必ずしも明確な境界があるわけではない。『日本国語大辞典』（全20巻）のような多巻ものを指す場合もあるが、1冊もので規模の大きい辞典をいうことが多い。一般に国語辞典ならば、収録項目数20万語以上2500ページ以上くらいの総合的なものを指している。『大辞林』（三省堂）、『広辞苑』（岩波書店）、『国語大辞典』（小学館）などがこれに属する。また、内容の量とは関係なく、単に外形の大きさだけで言う場合もある。なお、この語が書名に用いられることはない。

沖森（1996）の大型辞典のうち、『大辞林』と『広辞苑』を中型辞典として扱う。本章で取り上げる国語辞典には古い物も新しい物もあるが、ここでは、2000年～現在までに出版されたものと、1999年までに出版されたものとに分けて整理する。

3.1 2000年～現在までの国語辞典

3.1.1 小型辞典

ここでは、2000年～現在までに出版された小型辞典である『学研現代新国語辞典 改訂第六版』、『旺文社国語辞典 第十一版』、『新明解国語辞典 第七版』、『学研現代標準国語辞典 改訂第3版』、『現代国語例解辞典 第五版』、『三省堂国語辞典 第七版』、『新選国語辞典 第九版』、『岩波国語辞典 第7版 新版』、『明鏡国語辞典 第二版』、『集英社国語辞典 第3版』、計10冊を取り上げ、それぞれにおいて、「V ツツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

結果としては、以下の表3-1の通りである。表の全体の見た目と空間分配の関係で、辞典名は辞典までを記入することにする。（辞典の掲載順は出版された発行時間順に従う。また、「×」は、その見出し語に「V ツツアル」が現れないことを意味する）。

表 3-1 2000年～現在までに出版された小型辞典における「V ツツアル」についての記述

辞典名	著者	発行所	発行時間	見出し語	ページ	記述	例文
明鏡国語辞典	北原保雄	大修館書店	2010	ある	63	⑩「～つつある」の形で→つつ接助	復興の道を歩みつつある
				つつ	1146	③「…つつある」の形であることが実現しようとしている、あるいはある動作・作用が継続している意を表す。	①問題は解明されつつある。②過疎化が進行しつつある。
岩波国語辞典	西尾実ほか	岩波	2011	ある	44	㊦ー①ー④そういう状態であることを言うのに使う。	春が深まりつつある。

		書店		つつ	979	㊦「つつある」の形で、動作・作用が進行中であることを表す。	目下検討しつつある
新選国語辞典	金田一京助ほか	小学館	2011	ある	44	×	×
				つつ	857	㊦「つつある」の形で動作が進行中であることをあらわす。進行をあらわす「つつある」は、「ている」と同じ意味だが、やや文章語的。	いま、調べつつある
新明解国語辞典	山田忠雄ほか	三省堂	2012	ある	47	×	×
				つつ	1002	㊦「つつある」の形で現在、その動作・作用が始動の局面にあること、あるいは、変化が完遂に向けて進行中であることを表す。	①編集部では既に第八版の刊行準備を始めつつある。②国民生活は向上しつつあるというが、それは単なる消費面でしかない。
旺文社国語辞典	山口明穂ほか	旺文社	2013	ある	62	×	×
				つつ	988	㊦「つつある」の形で動作・作用の継続を表す。…し続ける。	生活は年々向上しつつある。
集英社国語辞典	森岡健二ほか	集英社	2013	ある	59	㊦動詞連用形＋「つつ」に付いて、動作の進行するさまを表す。	①客が増えつつある。②資料が集めつつある。
				つつ	1190	㊦一つの動作・状態が進行・継続のうちにあることを表す。「…つつある」の形をとることが多い。「…つつある」も、「…ている」とほぼ同じだが、文章語性が濃い	仕事ははかどりつつある。
三省堂国語辞典	見坊豪紀ほか	三省堂	2014	ある	47	×	×
				つつ	980	㊦動作が進行していることをあらわす。	せまりつつある
現代国語例解辞典	小学館辞典編集部	小学館	2016	ある	45	㊦他動詞の連用形に助詞「て」「つつ」を添えた形に付いて動作、作用、状態の進行、継続や、完了した作用の結果が残っていることを表す。	大作を書きつつある。
				つつ	1537	㊦「つつある」の形で動作が現在進行している状態を表す。	生活水準が向上しつつある。
学研現代標準国語辞典	林史典ほか	学研プラス	2016	ある	45	×	×
				つつ	949	㊦その動作が続いていることを表す。	行きつつある。
学研現代新国語辞典改	金田一春彦ほか	学研プラス	2017	ある	53	×	×
				つつ	968	㊦「つつある」の形である動作が反復・継続する状態にある意。…しているところだ。	復興の道を歩みつつある。

3.1.2 中型辞典

ここでは、松村明によって編著され、2006年に出版された『大辞林 第三版』、新村出によって編著され、2018年に出版された『広辞苑 第七版』計2冊を取り上げ、それぞれ「V ツ ツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

『大辞林 第三版』は、「V ツ ツアル」に関し、二か所で述べている。一つは、「ある」の項

の㊦-④で「V ツツアル」について、「動詞の連用形に助詞「つつ」を添えた形に付いて、動作・作用の進行を表す。続する動作についても用いることがある」としている。例として、「①太陽が山の端に沈みつつある。②病状はだんだんとよくなりつつある。」が挙げられている。また、「つつ」の項の①では「V ツツアル」について、「動作・作用が継続して行われることを表す。現代語では「つつある」の形をとることが多い。」としている。例として、「目下調査しつつあるいくつかの事件。」が挙げられている。

『広辞苑 第七版』は、「V ツツアル」に関し、二か所で述べている。一つは、「ある」の項の⑭で「V ツツアル」について、「(動詞の連用形に助詞「つつ」の付いた形に続いて) 動作・作用の進行継続の意を表す」としている。例として、「①万八「かくのみや恋ひつつあらむ」。②成功を収めつつある。③昭和の町並が失われつつある。」が挙げられている。また、「つつ」の項の②では「V ツツアル」について、「動作が継続または進行中である意を表す。現代語では「…つつある」の形となることが多い。ずっと・・・する。・・・し続ける。」としている。例として、「事態は改善されつつある。」が挙げられている。

3.1.3 大型辞典

ここでは、日本国語大辞典第二版編集委員会によって編著され、2000年に出版された『日本国語大辞典 第二版 第一巻』、『日本国語大辞典 第二版 第九巻』、計2冊を取り上げ、「V ツツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

『日本国語大辞典 第二版 第一巻』は、「ある」の項の㊦③㊦で「V ツツアル」に関し、「(動詞の連用形、あるいはそれに助詞「て」「つつ」を添えた形に付いて) 動作、作用、状態の進行、継続や、完了した作用の結果が残っていることを表す。」と述べている。例として、「①万葉(8c 後) 八・一五二〇「かくのみや息づきをらむ かくのみや恋ひつつあら(安良) む〈山上憶良〉②後選(951-953 頃) 恋三・七二二「こひしきも思こめつつある物を人にしらるる涙なになり」〈平中興〉③愛弟通信(1894-95)〈国木田独歩〉大連湾占領後の海事通信「兵舎の真中にて、南瓜を煮つつあり〈略〉何か快活に談じつつありし」」が挙げられている。

『日本国語大辞典 第二版 第九巻』は、「つつある」の項で「V ツツアル」に関し、「古くは、「…ている」「…である」の意で、動作の継続を表すが、近代の例には、動作の進行性を一層強く表しているものが多い。」と述べている。例として、「①万葉(8c 後) 二〇・四三四七「家にして恋ひ都都安良ずは汝ははける大刀になりてもいはひてしかも〈日下部三中の父〉」。②土佐(935 頃) 承平五年一月一五日「いたづらに日をふれば、人々海を眺めつつぞある」。③蜻蛉(974 頃) 中・安和二年「とのみ思ひつつありつるを、心地弱くもやなりぬらん、あやしく心

細き心地のすればなん」。④源氏（1001-14 頃）若菜上「椿もちひ・梨・柑子やうの物ども、さまさまに箱の蓋どもに取りまぜつつあるを、若き人々そぼれ取り喰ふ。⑤吾輩は猫である（1905-06）〈夏目漱石〉「然しいくら不器量の吾輩でも、今吾輩の主人に描き出されつつある様な妙な姿とは、どうしても思はれない」。⑥野菊の墓（1906）〈伊藤左千夫〉「人目を恐れる様になっては、最早罪惡を犯しつつあるかの如く、心もおどおどするのであった。」が挙げられている。

3.2 1999 年までの国語辞典

3.2.1 小型辞典

ここでは、金田一春彦によって編著され、2002 年に出版された『学研現代新国語辞典 改訂第三版（デスク版）』、山口明穂・和田利政ほかによって編著され、2013 年に出版された『旺文社標準国語辞典』計 2 冊を取り上げ、「V ツツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

『学研現代新国語辞典 改訂第三版（デスク版）』は、「つつ」の項の④で「V ツツアル」に関し、「つつある」の形である動作が反復・継続する状態にある意。…ているところだ」と述べている。例として、「復興の道を歩みつつある。」が挙げられている。

『旺文社標準国語辞典』は、「つつ」の項で「V ツツアル」に関し、「③「つつある」の形で動作が続いている意を表す。…ている。」と述べている。例として、「来つつある。」が挙げられている。

3.2.2 中型辞典

ここでは、山下杉郎・村上公雄ほかによって編著され、1994 年に出版された『明治精選国語辞典』、山田俊雄・築島裕ほかによって編著され、1995 年に出版された『新潮国語辞典 一現代語・古語一 第二版』、三省堂編修所によって編著され、1970 年に出版された『新国語中辞典』、金田一春彦・池田弥三郎によって編著され、1988 年に出版された『学研国語大辞典 第二版（机上版）』、小学館『大辞泉』編集部によって編著され、1998 年に出版された『大辞泉増補・新装版』計 5 冊を取り上げ、それぞれにおいて、「V ツツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

結果としては、以下の表 3-2 の通りである。表の全体見たと空間分配の関係で、辞典名は辞典までを記入することにする。（辞典の掲載順は出版された時間順に従う。また、「×」は、その見出し語に「V ツツアル」が現れないことを意味する）。

表 3-2 1999 年までに出版された中型辞典における「V ツツアル」の記述

辞典名	著者	発行所	発行時間	見出し語	ページ	記述	例文
明治精選国語辞典	山下杉郎・村上公雄ほか	明治書院	1994	ある	34	×	×
				つつ	903	③「つつある」の形で動作・状態が進行中であることを表す。…ている。し続ける。ずっと続いている。	工事はどんどん進行しつつある。
新潮国語辞典—現代語・古語—	山田俊雄・築島裕ほか	新潮社	1995	ある	75	㊦—①助詞「て」「つつ」を介して動詞の連用形に付き結果の存続、状態の継続を表す。	かくのみや恋ひつつあら（安良）む（万八・一五二〇）
				つつ	1389	㊦「つつある」の形で現在、動作の進行中であることを示す。外国語直訳の言い方。	工事は進捗しつつある。
新国語中辞典	三省堂編修所	三省堂	1970	ある	65	㊦助詞「て」「つつ」について完了した動作・作用の結果が存続していることを表す。	×
				つつ	1329	㊦—㊦「つつある」の形で動作が進行中であることを示す。「土左」「つつある」外国語直訳の言い方。動作・作用が継続中であることを表す。	非常に安定し向上しつつある。
学研国語大辞典	金田一春彦・池田弥三郎	学習研究社	1988	ある	58	×	×
				つつ	1290	④「つつある」の形である動作が反復・継続するという状態が存在している意を表す。	①夕波の音にまぎれざる沖つ風聞きつつあればとよもし来る〈島木赤彦・歌〉②この気違い車も、…坂道を上げるために、エネルギーを消耗しつつあるのである〈獅子・てんや…〉
大辞泉	小学館『大辞泉』編集部	小学館	1998	ある	90	㊦② 動詞の連用形に接続助詞「つつ」を添えた形に付いて、動作・作用が継続して現在も行われていることを表す。補助動詞として「つつある」は英語などの進行形の直訳的表現	①梅のつばみがほころびつつある。②月がのぼりつつある。
				つつ	1780	㊦③ 動作・作用が今も進行・継続していることを表す。…し続けている	①成績が向上しつつある。②病状が快方に向かいつつある

3.2.3 大型辞典

ここでは、梅棹忠雄・金田一春彦ほかによって編著され、1995 年に出版された『日本語大辞典 第二版』、下中邦彦によって編著され、1974 年に出版された『大辞典（復刻版）上巻（アーシュワ）』と『大辞典（復刻版）下巻（シュンーン）』計 3 冊を取り上げ、「V ツツアル」についてどのように述べているかを確かめた。

『日本語大辞典 第二版』は、「つつ」の項の①で「V ツツアル」に関し、「「つつある」の形で動作・作用の継続を示す。」と述べている。例として、「①計画は進行しつつある。②今まさ

にしつつあるところだ。」が挙げられている。

『大辞典（復刻版）上巻（アーシュワ）』の第一巻の「ある」の項で「V ツツアル」についての記述がなかったが、『大辞典（復刻版）下巻（シュンーン）』の第十八巻の「つつ」の項の㊦で、「動作の現在進行形を表す。」と述べている。例として、「山を見つつある。」が挙げられている。

以上、国語辞典において、「V ツツアル」について、どのように述べているかを見てきたが、筆者は国語辞典以外の辞典についてもいくつかを確認した。ここでは、森田良行によって編著され、1989年に出版された『基礎日本語辞典』、宇野哲人によって編著され、1996年に出版された『新修広辞典和英併用 第5版』、講談社辞典局によって編著され、1992年に出版された『現代実用辞典 第二版』、の三つを取り上げる。

『基礎日本語辞典』は、「つつ」の項で「V ツツアル」に関し、「「つつ」には「つつある」の形で現在進行を表す用法がある。これはかなり翻訳調の表現で、こなれた口語ではあまり使われない。」と述べている。例として、「①不要の条件を検討しつつある。②劣勢を挽回しつつある。③失業者は最近増加しつつあるようだ。」を挙げられている。

『現代実用辞典 第二版』、『新修広辞典和英併用 第5版』において、「V ツツアル」についての記述が見られなかった。

以上見てきたように、国語辞典では、「V ツツアル」について、ほぼ「動作、作用の進行継続を表す」という記述で一致している。学習者にとって、辞書は欠かせない学びの手段の一つである。しかし、辞書における「V ツツアル」についての説明は、「V テイル」の「進行」と変わらない。これでは学習者にとって、誤用を起こしやすいのではないかと考えられる。したがって、「V ツツアル」の意味・用法などの説明について、改めて検討する必要があると考えられる。また、国語辞典には「V ツツアル」は外国語直訳の言い方であり、文章語性が濃いことも述べられている。この点については、先行研究でも言及されているが、筆者の調べたかぎりでは、詳しく調査されていないようである。つまり、「V ツツアル」は外国語直訳であること及び文章語性が濃いことについての詳しい調査はまだ行われていないようである。

第四章 古代から近代にかけての日本語における「V ツツアル」の用法の分析・考察

第二章の先行研究で述べたように、古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法はまだ研究されていないようである。竹内（2011）では、近代の文学作品や新聞などから「V ツツアル」の例文を取り上げ、その用法について考察したが、詳しい調査はなされていないようである。近代における日本語の「V ツツアル」の用法をより一層明らかにするため、近代における日本語の「V ツツアル」に関する詳しい調査が必要だと考えられる。

したがって、本章では、『日本語歴史コーパス』を利用し、古典や雑誌における「V ツツアル」の例文を検出し、分析・考察を行うことを通し、古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法を明示し、近代における日本語の「V ツツアル」の用法を検証しながら、さらに明らかにしたい。以下、便宜上、古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」と、明治・大正における日本語の「V ツツアル」の二つに分けて調査を行うことにする。

4.1 古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」の用法の分析・考察

4.1.1 調査の目的

本調査は、古代から近世にかけての日本語における「V ツツアル」について、どのような用法があるかを明らかにすることを目的とする。

4.1.2 調査の対象

本調査では、『日本語歴史コーパス』で利用できる作品を資料に、その中に現れる「V ツツアル」の例文をデータとする。『日本語歴史コーパス』には、奈良時代編、平安時代編、鎌倉時代編、室町時代編、江戸時代編、明治・大正時代編、和歌集編の7つがある。今回の調査は、明治・大正時代編と和歌集を除いて、各時代編のすべての作品を対象とする（表 4-1 を参照）。また、本稿で基準とする時代区分は、沖森（2013:5）を参照しながら、下記のようにする。

古代：主に奈良・平安時代

中世：主に鎌倉・南北朝・室町時代

近世：主に安土桃山・江戸時代

近代：主に明治・大正時代

表 4-1 各時代編における調査の対象

区分	時代	作品
古代	奈良時代	『万葉集』(巻第一～巻第二十)
	平安時代	『竹取物語』、『古今和歌集』、『伊勢物語』、『土佐日記』、『大和物語』、『平中物語』、『蜻蛉日記』、『落窪物語』、『枕草子』、『源氏物語』、『和泉式部日記』、『紫式部日記』、『堤中納言物語』、『更級日記』、『大鏡』、『讃岐典侍日記』
中世	鎌倉時代	『今昔物語集』(巻第十一～巻第三十一)、『方丈記』、『宇治拾遺物語』、『十訓抄』、『徒然草』、『海道記』、『建礼門院右京大夫集』、『東関紀行』、『十六夜日記』、『とはずがたり』
	室町時代	『虎明本狂言集』、『天草版伊曾保物語』、『天草版平家物語』
近世	江戸時代	洒落本－『江戸』、『京都』、『大阪』；人情本－『明鳥後の正夢』、『仮名文章娘節用』、『恋の花染』、『春色梅児与美』、『春色辰巳園』、『花廻志満台』、『春色連理の梅』、『春色江戸紫』

4.1.3 調査と分析の方法

本調査では、『日本語歴史コーパス』を利用し、「つつあ」、「ツツアル」、「ツツアリ」、「つつある」、「つつあり」で文字列検索し、それぞれの調査対象における「V ツツアル」の例文を取り出し、それらの用法を検討する。コーパスのデータバージョンは2017年9月までのものである。

また、「V ツツアル」の用法を分類するのに、奈良時代から江戸時代までの場合は、現代語訳²と対照させながら行う。

4.1.4 調査の結果

奈良時代の『万葉集』における検索結果は、総計42例であった。しかし、今回の研究対象である「V ツツアル」の例文は、16例のみであった。残り26例の中で、「…恋ひつつあらずは…」の例文が18例あり、「V ツツアル」の例であるが、上代語法「ずは」とも関係しているので、これらの例文の分析は別の機会に移したい。残り8例の例文は、「…見つつ ありかねて…」、「…見つつ あしひきの…」、「…見つつ あさもよし…」、「…かくしつつ あらくを…」、「…泣きつつ あぢさはふ…」、「…思ひつつ ありし間に…」、「…恋ひつつ ありかつましじ…」、「…かくしつつ あり慰めて…」であり、「V ツツアル」の例文ではなく、「V ツツ」の例文ではないかと考えられる。以下に「V ツツアル」の例を挙げる。(下線は、筆者がつけたものである。以下同様)

(4-1) 山科乃 鏡山尔 夜者毛 夜之尽 昼者母 日之尽 哭耳呼 泣乍在而哉 百磯 城乃 大宮人者 去別南 (万葉集・巻第二・一五五)

² 現代語訳は、新編日本古典文学全集による。

山科の 鏡の山に 夜はも 夜のことごと 昼はも 日のことごと 音のみを
泣きつつありてや ももしきの 大宮人は 行き別れなむ

- (4-2) 後毛将相等 大船之 思憑而 玉蜻 磐垣淵之 隠耳 恋管在尔 (万葉集・卷第二・二〇七)

後も逢はむと 大船の 思ひ頼みて 玉かざる 磐垣淵の 隠りのみ 恋ひ
つつあるに

- (4-3) 鴨山之 磐根之巻有 吾乎鴨 不知等妹之 待乍将有 (万葉集・卷第二・二二三)

鴨山の 岩根しまける 我をかも 知らにと妹が 待ちつつあるらむ

- (4-4) 天離 夷之荒野尔 君乎置而 念乍有者 生刀毛無 (万葉集・卷第二・二二七)

天離る 鄙の荒野に 君を置きて 思ひつつあれば 生けるともなし

- (4-5) 天雲之 外耳見管 言将問 縁乃無者 情耳 咽乍有尔 (万葉集・卷第四・五四六)

天雲の 外のみ見つつ 言問はむ よしのなければ 心のみ むせつつあるに

- (4-6) 五月蠅奈周 佐和久児等遠 宇都弓と波 死波不知 見乍阿礼婆 心波母延農
可尔可久尔 思和豆良比 祢能尾志奈可由 (万葉集・卷第五・八九七)

五月蠅なす 騒く子どもを 打棄てては 死には知らず 見つつあれば 心は
燃えぬ かにかくに 思ひ煩ひ 音のみし泣かゆ

平安時代の古典文学における検索結果は、総計 29 例であった。しかし、今回の研究対象とされる「V ツツアル」の例文は、11 例のみであった。残り 17 例の例文は、「…うつつ あるものと…」、「…むすびつつ あくや…」、「…しのびつつ あひたまひける…」、「…養ひつつ あひ添ひ…」、「…しつつ あめる…」、「…まどひつつ あくるぞ…」などであり、いずれも「V ツツアル」の例文ではなく、「V ツツ」の例文ではないかと考えられる。以下に「V ツツアル」の例を挙げる。

- (4-7) 女も、あはむといふ心はありけれど、さるべくもあらでありわたるほどに、人な

ま疑ひつつありければ、返りことさへいとかたうなりにけり。(平中物語・三)

(4-8) このいまひとかたの出で入りするを見つつあるに、いまは心やすかるべきところへとて、ゐて渡す。(蜻蛉日記上・七)

(4-9) 「命長かるべしとのみのたまへど、見はてたてまつりてむとのみ思ひつつありつるを、かぎりにもやなりぬらむ…(蜻蛉日記上・四)

(4-10) 来しかたを見やれば、湖づらに並びて集まりたる屋どもの前に、舟どもを岸に並べ寄せつつあるぞ、いとをかしき。(蜻蛉日記中・九)

(4-11) よろづにおぼゆることいと多かれど、いどもの騒がしくにぎははしきに紛れつつあり。(蜻蛉日記中・二五)

(4-12) 「さても誰か、かくにくきわざはしつらむ。おほかた心づきなしとおぼゆれば、さるをりも押しひしぎつつあるものを、まいていみじ、にくし」と思へど、…(枕草子・一七七)

鎌倉・室町・江戸時代の作品における検索結果は、総計 10 例であった。しかしながら、今回の研究対象とされる「V ツツアル」の例ではなかった。「…いひつつあける障子さへ…」(2 例)、「…いひつつあと はむ…」(2 例)、「いひつつ あがれ…」(2 例)、「いひつつあがり…」(2 例)、「いひつつ あとじさり…」(2 例)であり、いずれも「V ツツアル」の例文ではなく、「V ツツ」の例文ではないかと考えられる。

4.1.4.1 奈良時代における「V ツツアル」(V ツツアリ)の用法の分析・考察

以下、コーパスから取り出した「V ツツアル」の例文とそれぞれの現代語訳を挙げ、現代語訳に従って、「V ツツアル」の用法を考察する(下線は、筆者による。訳文は、新編日本古典文学全集による)。

(4-13) (= (4-1) 山科乃 鏡山尔 夜者毛 夜之尽 昼者母 日之尽 哭耳呼 泣
乍在而哉 百磯城乃 大宮人者 去別南 (万葉集・巻第二・一五

五)

山科の 鏡の山に 夜はも 夜のことごと 昼はも 日のことごと
音のみを 泣きつつありてや ももしきの 大宮人は 行き別れ
なむ

訳文： 山科の 鏡の山に 夜は 夜通し 昼は 一日じゅう 声をあげて 泣き続けて
いて (ももしきの) 大宮人たちは 別れて行くのか

訳文によると、原文の「泣きつつあり」は、「泣き続けていて」である。「泣き続けていて」というのは、「泣くという動作が、一日中止まることなく続いている」ということを表している。つまり、この「泣きつつあり」は、泣くという動作が継続していることを表す。

(4・14) (= (4・2)) 後毛将相等 大船之 思憑而 玉蜻 磐垣淵之 隠耳 恋管在
尔 (万葉集・巻第二・二〇七)

後も逢はむと 大船の 思ひ頼みて 玉かざる 磐垣淵の 隠り
のみ 恋ひつつあるに

訳文： 後にでも逢おうと (大船の) 将来を期して (玉かざる) 岩垣淵のように 人
知れず 恋い慕っていたところ

訳文によると、原文の「恋ひつつある」は、「恋い慕っていた」である。「恋い慕っていた」というのは、「なくなった妻のことを恋い慕い続ける」ことを表している。つまり、「恋ひつつある」は、恋い慕うという状態が継続していることを表す。

(4・15) (= (4・3)) 鴨山之 磐根之卷有 吾乎鴨 不知等妹之 待乍将有 (万葉集・巻
第二・二二三)

鴨山の 岩根しまける 我をかも 知らにと妹が 待ちつつある
らむ

訳文： 鴨山の 岩を枕に伏している わたしなのに 知らずに妻は 待っていること
であろうか

訳文によると、原文の「待ちつつある」は、「待っている」である。「待っている」というのは、「妻は、鴨山で私が臨終の時を迎えようとしていることも知らずに、私の帰りを待ち続けている」ことを表している。つまり、この「待ちつつある」は、待つという動作が継続していることを表す。

(4-16) (= (4-4)) 天離 夷之荒野尔 君乎置而 念乍有者 生刀毛無 (万葉集・卷第二・二二七)

天離る 鄙の荒野に 君を置きて 思ひつつあれば 生けるともなし

訳文： (天離る) 遠国の荒れ野に あなたを置いて思い続けていると 正気とてない。

訳文によると、原文の「思ひつつあれ」は、「思い続けている」である。「思い続けている」というのは、「離れ住んでいるために、喪事に携わることができないという思いがずっと続く」ことを表している。つまり、「思ひつつある」は、思うという状態が継続していることを表す。

(4-17) (= (4-5)) 天雲之 外耳見管 言将問 縁乃無者 情耳 咽乍有尔 (万葉集・卷第四・五四六)

天雲の 外のみ見つつ 言問はむ よしのなければ 心のみ むせつつあるに

訳文： ... (天雲の) 遠くに見るだけで 言葉をかける 機会がないので 心の中で 咽び泣くばかりだったのに、

訳文によると、原文の「むせつつある」は、「咽び泣くばかり」である。「咽び泣くばかり」というのは、「巡り巡って出逢った人に言葉をかける機会がないので、心の中で、思い悩んでいた」ことを表している。つまり、「むせつつある」は、咽び泣くという動作が継続していることを表す。

(4-18) (= (4-6)) 五月蠅奈周 佐和久児等遠 宇都弓と波 死波不知 見乍阿礼婆 心

波母延農 可尔可久尔 思和豆良比 祢能尾志奈可由（万葉集・巻第五・八九七）

五月蠅なす 騒ぐ子どもを 打棄てては 死には知らず 見つつあれば 心は燃えぬ かにかくに 思ひ煩ひ 音のみし泣かゆ

訳文： 五月の蠅のように うるさくまつわりついて騒ぐ子供らを 打ち捨てて 死ぬこともできず 見ていると 心はいらだち燃え立ってくる

訳文によると、原文の「見つつあれ」は、「見ている」である。「見ている」というのは、「年老いた身に病を抱え、長い間苦しんでいるが、死ぬこともできない自分は、うるさくまつわりついて騒ぐ子供たちを見続けている」ことを表している。つまり、「見つつある」は、見るという動作が継続していることを表す。

（4-19） 此月之 此間来者 且今跡香毛 妹之出立 待乍将有（万葉集・巻第七・一〇七八）

この月の ここに来れば 今とかも 妹が出で立ち 待ちつつあるらむ

訳文： この月が ここに来たから もう来てくれようと 妻は外に出て 待っていることだろうか

訳文によると、原文の「待ちつつある」は、「待っている」である。「待っている」というのは、「妻は、私がいつ来るとも知らずに、私が来るのを待ち続けている」ことを表している。つまり、「待ちつつある」は、待つという動作が継続していることを表す。

（4-20） 如是耳也 伊伎都枳乎良牟 如是耳也 恋都追安良牟（万葉集・巻第八・一五二〇）

かくのみや 息づき居らむ かくのみや 恋ひつつあらむ

訳文： こんなにも ため息ばかりついていようことか こんなにも 恋しく思っ
てばかりいようことか

訳文によると、原文の「恋ひつつあら」は、「恋しく思っただけ」である。「恋しく思っただけ」というのは、「(七夕の歌を聞いて、) 涙が止まらないほど妻のことを恋しく思い続ける」ことを表している。つまり、「恋ひつつある」は、恋うという状態が継続していることを表す。

(4-21) 人左倍也 見不継将有 牽牛之 婦喚舟之 近附往乎 一云、見乍有良武
(万葉集・卷第十・二〇七五)

人さへや 見継がずあるらむ 彦星の 妻呼ぶ舟の 近付き行くを 〈一に
云ふ、「見つつ ある らむ」〉

訳文： 人々も 見守っていないであろうか 彦星の 妻問いの舟が 近づき行くのを
〈また「見守っている ことだろうか」〉

訳文によると、原文の「見つつある」は、「見守っている」である。「見守っている」というのは、「彦星の乗った船が妻を求めて近づいて来るのを見守り続ける」ことを表している。つまり、「見つつある」は、見守るという状態が継続していることを表す。

(4-22) 鴈鳴之 来喧牟日及 見乍将有 此芽子原尔 雨勿零根 (万葉集・卷第十・二〇九七)

雁がねの 来鳴かむ日まで 見つつあらむ この萩原に 雨な降りそね

訳文： 雁がねが 来て鳴く日まで 見続けよう と思う この萩原に 雨よ降らないでくれ

訳文によると、原文の「見つつあら」は、「見続けよう」である。「見続けよう」というのは、「雁が来て鳴く日まで見続けよう」ということを表している。つまり、「見つつある」は、見るという動作が継続していることを表す。

(4-23) 不往吾 来跡可夜 門不開 怜吾妹子 待箇在 (万葉集・卷第十一・二五九四)

行かぬ我を 来むとか夜も 門ささず あはれ我妹子 待ちつつある らむ

訳文： 行けない私を 来るだろうと思って夜も 門を閉めずに かわいやあの娘が
待っていることだろう

訳文によると、原文の「待ちつつある」は、「待っている」である。「待っている」というのは、「妻は、行くことができない私を来るかもしれないと思って、ずっと待ち続けている」ということを表している。つまり、「待ちつつある」は、待つという動作が継続していることを表す。

(4・24) 凡尔 吾之念者 人妻尔 有云妹尔 恋管有米也(万葉集・卷十二・二九〇九)
凡ろかに 我し思はば 人妻に ありといふ妹に 恋ひつつあらめや

訳文： いいかげんに わたしが思うのでしたら 人妻で あるというあなたに 恋し続け
けましょうか

訳文によると、原文の「恋ひつつあら」は、「恋し続けましょう」である。「恋し続けましょう」というのは、「人妻であるあなたを恋い慕い続けるでしょうか」ということを表している。つまり、「恋ひつつある」は、恋うという状態が継続していることを表す。

(4・25) 妹目乎 見卷欲江之 小浪 敷而恋乍有 跡告乞(万葉集・卷第十二・三〇二四)
妹が目を 見まくほり江の さざれ波 しきて恋ひつつありと告げこそ

訳文： あの娘に 逢いたいと欲する堀江の さざなみのように 絶えず恋い慕っている
と告げておくれ

訳文によると、原文の「恋ひつつあり」は、「恋い慕っている」である。「恋い慕っている」というのは、「妻のことを恋い慕い続ける」ことを表している。つまり、「恋ひつつあり」は、恋い慕うという状態が継続していることを表す。

(4・26) 多妣尔安礼杼 欲流波火等毛之 乎流和礼乎 也未尔也伊毛我 古非都追安流

良牟（万葉集・卷第十五・三六六九）

旅にあれど 夜は火灯し 居る我を 闇にや妹が 恋ひつつあるらむ

訳文： 旅先でも 夜は火をとぼして わたしはいるが 暗闇の中で妻は 恋い慕っていることだろう

訳文によると、原文の「恋ひつつある」は、「恋い慕っている」である。「恋い慕っている」というのは、「旅にあっても、夜は火を灯しているが、家に残した妻は、闇の中で私のことを恋い慕い続けている」ことを表している。つまり、「恋ひつつある」は、恋い慕うという状態が継続していることを表す。

（4・27） 天地等 登毛尔母我毛等 於毛比都と 安里 家牟毛能乎 波之家也思 伊敏乎
波奈礼豆（万葉集・卷第十五・三六九一）

天地と 共にもがもと 思ひつつ ありけむものを はしけやし 家を離れて

訳文： 天地と 共に長く 思い続けていたであろうに 懐かしい 家を離れて

訳文によると、原文の「思ひつつあり」は、「思い続けていた」である。「私は、天地と共に長く思い続ける」ことを表している。つまり、「思ひつつある」は、思うという状態が継続していることを表す。

（4・28） 朝霞 香火屋之下乃 鳴川津 之努比管有常将告児毛欲得（万葉集・卷第十六・三八一八）

朝霞 鹿火屋が下の 鳴くかはづ 偲ひつつありと 告げむ児もがも

訳文： （朝霞）鹿火屋の陰の 蛙の声のように 慕わしく思っていますと 言ってくれる娘はいないかなあ

訳文によると、原文の「偲ひつつあり」は、「慕わしく思っています」である。「慕わしく思っています」というのは、「だれかが私のことを恋い慕い続ける」ことを表している。つまり、「偲ひつつあり」は、恋い慕うという状態が継続していることを表す。

4.1.4.2 平安時代における「V ツツアル」(V ツツアリ)の用法の分析・考察

ここでは、コーパスから取り出した「V ツツアル」の例文とそれぞれの現代訳文を挙げ、現代語訳に従って、「V ツツアル」の用法を考察する(下線は、筆者による。訳文は、新編日本古典文学全集による)。

(4-29) (= (4-7)) 女も、あはむといふ心はありけれど、さるべくもあらでありわたる
ほどに、人なま疑ひつつありければ、返りことさへいとかたうなり
にけり。(平中物語・三)

訳文： 女も契りを結びたいという気持ちはあったのだが、そうもゆかないで、月日を
過ごすうちに、女のまわりの女房たちが、なんとなく疑いだしたようなので、
逢うはおろか、女から返事を出すのもむずかしくなってしまった。

訳文によると、原文の「疑ひつつあり」は、「女の周りの女房たちの疑うという心の状態が
すでに始まった」ということを表している。つまり、「疑ひつつあり」は、疑うという動作が
始まる示唆があることを表す。

(4-30) (= (4-8)) このいまひとかたの出で入りするを見つつあるに、いまは心
やすかるべきところへとて、ゐて渡す。(蜻蛉日記上・七)

訳文： あのもう一人の方が姉のもとに通うのをずっとかたわらから見つつ暮らしている
うちに、とうとう気がねのない所へと姉を連れて行くことになった。

訳文によると、原文の「見つつある」は、「もう一人の方が姉のもとに通うのをずっと傍ら
から見続けている」ことを表している。つまり、「見つつある」は、見るという動作が継続し
ていることを表す。

(4-31) (= (4-9)) 「命長かるべしとのみのたまへど、見はてたてまつりてむと
のみ思ひつつありつるを、かぎりにもやなりぬらむ... (蜻蛉日
記上・四)

訳文： 「まだまだ長生きできるよと、いつもお励ましくくださいますけれども、それに、私も命のあるかぎりお見届け申し上げようと思い続けておりましたのに、いよいよ寿命の果てになったのでございましょうか

訳文によると、原文の「思ひつつあり」は、「私も命のあるかぎりお見届け申し上げようと思い続ける」ことを表している。つまり、「思ひつつあり」は、思うという状態が継続していることを表す。

(4-32) (= (4-10)) 来しかたを見やれば、湖づらに並びて集まりたる屋どもの前に、舟どもを岸に並べ寄せつつあるぞ、いとをかしき。(蜻蛉日記中・九)

訳文： 過ぎて来た方を見やると、湖畔にひとかたまり並び立っている家々の前に、舟を何艘も岸に並べ寄せてあるのが、とてもおもしろい。

訳文によると、原文の「並べ寄せつつある」は、「(湖畔にひとかたまり並び立っている家々の前に、舟を何艘も) 並べ寄せた状態になっている」ことを表している。つまり、「並べ寄せつつある」は、並べ寄せた後の状態が存続していることを表す。

(4-33) (= (4-11)) よろづにおぼゆることいと多かれど、いどもの騒がしくにぎははしきに紛れつつあり。(蜻蛉日記中・二五)

訳文： あれこれと物思うことがまことに多いけれども、とても騒がしくにぎやかな周囲に取り紛れながら過ごす。

訳文によると、原文の「紛れつつあり」は、「(とても騒がしくにぎやか周囲に) 取り紛れている」ことを表す。つまり、「紛れつつあり」は、取り紛れるという状態が継続していることを表す。

(4-34) (= (4-12)) 「さても誰か、かくにくきわぎはしつらむ。おほかた心づきな

とおぼゆれば、さるをりも押しひしぎつつあるものを、まいいて
みじ、にくし」と思へど、(枕草子・一七七)

訳文： 「それにしても、いったいだれがこんなにくらしいことをしたのか。だいたい気
に入らぬものと思われるので、くしゃみの出そうな時も、我慢して押しつぶす
のがいつものことなのに、こんな大事な折に、ましてくやしいし、にくらしい」
と思うけれど

訳文によると、原文の「押しひしぎつつある」は、「押しつぶすのがいつものこと」である。
言い換えれば、くしゃみの出そうなときはいつも、我慢して押しつぶす動作を繰り返している。
つまり、「押しひしぎつつある」は、押しつぶすという動作が繰り返し継続されることを表す。

(4・35) 女房十五六人ばかり、みな濃き衣を上に着て、引きかへしつつありしに、中納
言の君の、(枕草子・二五五)

訳文： 女房が十五、六人ぐらい、みな紫の濃い着物を上に着て、それぞれ裾を折り返し
ていたうちに、中納言の君が...

訳文によると、原文の「引きかへしつつあり」は、「女房たちの着物の裾が折り返されたま
ま」ことを表している。つまり、「引きかへしつつあり」は、折り返すという動作後の状態が
存続していることを表す。

(4・36) 御方の人々は、ほのぼの知れるもありけれど、何かは、かくこそと誰にも聞こ
えん、見隠しつつあるなるべし。(源氏物語・一〇)

訳文： 姫君の女房のなかにはそれとなく感づいている者もあったけれど、どうして、こ
れこれのことがなどとどなたに申し上げられようか、誰も見て見ぬふりをしてい
るにちがいない。

訳文によると、原文の「見隠しつつある」は、「見て見ぬふりをしている」である。「見て見
ぬふりをしている」というのは、「(姫君の女房たちは、これこれのことを) 見て見ぬふりをし

続けている」ことを表している。つまり、「見隠しつつある」は、見隠すという状態が継続していることを表す。

(4-37) 「咲ける岡辺に家しあれば」など、ひき返し慰めたる筋など書きまぜつつあるを、取りて見たまひつつほほ笑みたまへる、恥づかしげなり。(源氏物語・三)

訳文： また「咲ける岡辺に家しあれば」などと、気をとりなおして自ら慰めている意味の歌などもまじっているのを、手に取ってごらんになっては笑みをうかべていらっしやる君のお姿は、こちらが気恥ずかしくなるほど立派に見える。

訳文によると、原文の「書きまぜつつある」は、「まじっている」である。「まじっている」というのは、「咲ける岡辺に家しあれば」などと「気をとりなおして自ら慰めている意味の歌」などがかき混ぜてあることを表している。つまり、「書きまぜつつある」は、書きまぜた後の状態が存続していることを表す。

(4-38) 次々の殿上人は、簀子に円座召して、わざとなく、椿餅、梨、柑子やうの物ども、さまざまに、箱の蓋どもにとりまぜつつあるを、若き人々そぼれとり食ふ。
(源氏物語・三八)

訳文： それ以下の殿上人は、簀子に円座を敷かせておすわりになり、無造作に椿餅、梨、柑子といった数々の食物がいろいろ箱の蓋に盛り合わせてあるのを、若い人々のはしゃぎながら取って食べている。

訳文によると、原文の「とりまぜつつある」は、「盛り合わせてある」である。「盛り合わせてある」というのは、椿餅、梨などの食物が箱の蓋に盛り合わせて置かれていることを表している。つまり、「とりまぜつつある」は、盛り合わせた後の状態が存続していることを表す。

(4-39) かやうに待ちきこえつつあらむも心のみ尽きぬべきこと (源氏物語・一二)

訳文： 自分がこうしてずっと君のお越しをお待ち申しているというのも、ただ心の尽きる苦しみを味わわされることになるのだろう

訳文によると、原文の「待ちきこえつつあら」は、「お待ち申している」である。「お待ち申している」というのは、正妻のところに落ち着いているだろう人を待ち続けることを表している。つまり、「待ちきこえつつある」は、待つという動作が継続していることを表す。

4.1.5 調査のまとめ

調査結果を以下にまとめる。

奈良時代の古典文学における「V ツツアル」の例文（全 16 例）は、すべて動作・状態の継続の意味をもつ。つまり、例文の総数 16 例を 100% とすると、奈良時代の古典文学における「V ツツアル」は、「動作・状態の継続」という用法が 100% を占めていることになる。また、訳文から見ると、当時の「V ツツアル」は、現在の「V テイル」と同じ用法で使用されているとも言える。奈良時代の古典文学（万葉集）に現れた、「V ツツアル」の用法は、以下表 4-2 のようになっている。

表 4-2 奈良時代の古典文学における「V ツツアル」の用法

番号	原文	訳文	用法
1	泣きつつあり	泣き続けていて	動作・状態の継続
2	恋ひつつある	恋い慕っていた	動作・状態の継続
3	待ちつつある	待っている	動作・状態の継続
4	思ひつつあれば	思い続けていると	動作・状態の継続
5	むせつつある	咽び泣くばかり	動作・状態の継続
6	見つつあれば	見ていると	動作・状態の継続
7	待ちつつある	待っている	動作・状態の継続
8	恋ひつつあらむ	恋しく思っただけいいよとか	動作・状態の継続
9	見つつある	見守っている	動作・状態の継続
10	見つつあらむ	見続けよう	動作・状態の継続
11	待ちつつある	待っている	動作・状態の継続
12	恋ひつつあらめや	恋し続けましょうか	動作・状態の継続
13	恋ひつつあり	恋い慕っている	動作・状態の継続
14	恋ひつつある	恋い慕っている	動作・状態の継続
15	思ひつつあり	思い続けていた	動作・状態の継続
16	偲ひつつあり	慕わしく思っています	動作・状態の継続

また、平安時代の古典文学における「V ツツアル」の例文をみると、動作・状態の継続が 5 例、結果の存続が 4 例、動作の開始示唆と動作の繰り返しが 1 例ずつであった。「動作・状態の継続」というのは、ある動作・状態が以前から始まっており、その時も継続中であり、「結果の存続」というのは、以前起こった動作の結果がまだ残され、存続していることである。平安時代の古典文学に現われた、「V ツツアル」の意味用法は、以下表 4-3 のようになっている。

表 4-3 平安時代の古典文学における「V ツツアル」の用法

番号	原文	訳文	用法
1	疑ひつつあり	疑いだした	動作・状態の開始示唆
2	見つつある	見つつ暮らしている	動作・状態の継続
3	思ひつつあり	思い続けておりました	動作・状態の継続
4	並べ寄せつつある	並べ寄せてある	結果の存続
5	紛れつつあり	取り紛れながら	動作・状態の継続
6	押しひしぎつつある	我慢して押しつぶすのがいつものこと	くりかえしの継続
7	引きかへしつつあり	折り返していた	結果の存続
8	見隠しつつある	見て見ぬふりをしている	動作・状態の継続
9	書きまぜつつある	まじっている	結果の存続
10	とりまぜつつある	盛り合わせてある	結果の存続
11	待ち聞こえつつあらむ	お待ち申している	動作・状態の継続

また、平安時代の古典文学における「V ツツアル」の例文の総数 11 例を 100%とすると、各用法の割合は次の表 4-4 の通りである。

表 4-4 平安時代の古典文学における「V ツツアル」の各用法と割合

用法	動作・状態の継続	結果の存続	動作の繰り返し	動作・状態の開始示唆
例数	5 (45%)	4 (36%)	1 (9%)	1 (9%)

表 4-3 と表 4-4 を一緒に見ると、平安時代の古典文学における「V ツツアル」の用法は主に「動作・状態の継続」と「結果の存続」であることがわかる。また、奈良時代の古典文学における「V ツツアル」の用法を比べると、平安時代の古典文学における「V ツツアル」は、奈良時代にはない用法（結果の存続、動作の繰り返しと動作・状態の開始示唆）が現れていることが伺える。

また、鎌倉・室町・江戸時代の作品における「V ツツアル」の例文は検出されなかったことから、「V ツツアル」は鎌倉・室町・江戸時代において、使われていなかったことが推測できる

4.2 近代における日本語の「V ツツアル」の用法の分析・考察

4.1 では、古代の日本語における「V ツツアル」の用法は、主に「動作・状態の継続」であることが明らかになった。また、鎌倉時代、室町時代、江戸時代における古典文学において、「V ツツアル」の例文が見つかなかったことから、中世から近世にわたる時期では、日本語の「V ツツアル」が使用されていなかったことが推測される。また、第二章の先行研究により、近代における日本語の「V ツツアル」の用法については、大きく分けると、「動作進行」と「直前」

との二つがあるようである。ここでは、近代語における「V ツツアル」の用法が、先行研究と一致しているかどうかを確認しながら、さらに考察する。

4.2.1 調査の目的

近代語における「V ツツアル」の用法について、先行研究と一致しているかどうかを確かめて、さらに考察する。

4.2.2 調査の対象と調査の方法

本調査では、調査対象資料を『太陽雑誌コーパス』と『日本語歴史コーパス』で利用できるものに限定する。研究対象である「V ツツアル」は、「ツツアル」、「ツツアリ」、「つつある」、「つつあり」などの形が現れるが、筆者は、「つつあ」を検索文字列とし、それぞれの文献資料における「V ツツアル」の例文を検索した。今回の調査に当たって、『日本語歴史コーパス』のデータバージョンは2017年2月までのものであり、『太陽雑誌コーパス』³のデータバージョンは2017年5月までのものである。

『日本語歴史コーパス』で利用できる作品は『明六雑誌』、『国民之友』、『女学雑誌』、『女学世界』、『婦人倶楽部』である。それらと『太陽雑誌』とを資料とし、明治・大正期における「V ツツアル」の例文を取り出し、それらの用法を検討した。

4.2.3 本稿における「V ツツアル」の用法の分類基準

本調査は、「V ツツアル」の用法を分類するのに、アスペクト的意味による動詞の種類⁴（瞬間動詞、到達点をもつ継続動詞、到達点をもたない継続動詞）と、動作の局面⁵（開始、継続、終了、終了後）とを組み合わせた基準を設けた。これに従い、「V ツツアル」の用法を、「接近」（瞬間動詞ほか・開始前）、「継続」（到達点をもたない継続動詞・継続）に分けた。今回の分類には当てはまらない例文も検出されたが、例数が少なかったので、個別に分析した。

4.2.4 調査の結果

『女学雑誌』から、「V ツツアル」の用例は、111例が検出された。例を挙げる。下線と括弧内の用法は、筆者がつけたものである。

³ 調査に当たって、利用したのは『太陽雑誌コーパス』のCD-ROM版である

⁴ 動詞の分類は、主に金田一（1955）「日本語動詞のテンスとアスペクト」による。

⁵ 動作の局面は、主に井島（2005）「中古語存続助動詞の機能」による。

(4-40) …余が信ずる所によれば、印度は日に益々基督を受容しつつある也。…（継続）

(4-41) …其真相は發揮の時を待ちつつあるなり。…（継続）

(4-42) …コノ教育法にかえしめんとするに當り、古風の教育を為しつつある父兄をして發明せしむるは、現在かかる教育法をうけたる諸君が…（継続）

(4-43) …彼等は愈よ基督の精神を呼吸しつつあるを見る也。…（接近）

(4-44) …其結果を示し、其標本を示さんとして、今ま歸りつつある也。…（接近）

(4-45) …彼と均しき優柔の軟策を執りつつあることなき…（接近）

(4-46) …其婦人中にて、かく毎日会議の傍聴をなしつつあるのみにては…（くりかえしの継続）

『太陽雑誌』から、「V ツツアル」の用例は、72 例が検出された。例を挙げる。下線と括弧内の用法は、筆者がつけたものである。

(4-47) …ひたすら荒唐なる妄想に耽りつつある間に、いつしか馬車は今川橋にて停まりぬ…（継続）

(4-48) …彼等の道德や信仰の生活は百花爛漫の盛観を呈しつつある。…（継続）

(4-49) …科学はこの様にして少しも止む事なしに、無限の自然界に向かつて探求のほこを進めつつある。…（継続）

(4-50) …それを天文に応用して航海を助ける仕事にも現れ、物理の応用にも大切な事になりつつある。…（接近）

- (4-51) …大学に於いても大規模に於いて化学教室新設の計画あり、此く漸次改良増設を計りつつあるを以て、追て大学の工業化学科にも改善の影響を及すことと信ず…（接近）
- (4-52) …日本人の心に何がしかの反省と何がしかの改革的志向とが萌しつつあることを私は想像します。…（接近）
- (4-53) …その外天耳通の空想は電話になり、ラセラスの空想は空中船になりつつある。此から以後如何なる空想が如何なる実利を生み出すか…（結果状態）
- (4-54) …又現在に交戦国の間に立つて常に得つつある重要な地位をも失ふ事になる。…（結果状態）

『国民之友』から、「V ツツアル」の用例は、11 例が検出された。例を挙げる。下線と括弧内の用法は、筆者がつけたものである。

- (4-55) …彼等が他人に向ひて随分ムツカシ注文を申掛けつつある間に自己の持場に向かひては遂に新奇なる且つ込み入りたる役目は遠慮もなく…（継続）
- (4-56) …時代の教育を受けたる余が、同志社開化時代の教育を受けつつある諸君に對して、演説するの困難亦た少しく察す可きのみ…（継続）
- (4-57) …明治政府は二十年来恒に変化し来りつつあるを知るべし…（継続）
- (4-58) …而して之を生ずるに至るは決して遠きに非ず、看よ今既に生じつつあることを、鉄道は無言なる一の革命家なり…（接近）
- (4-59) …懸命とあれば妻は寒に叫び児は飢に泣きつつある中よりも寄附金を出さざるを得ず…（接近）
- (4-60) …實際の問題に近くに従ひ、政界の水流は愈々其流勢を加へつつあるに相違

なきを見るなり…（接近）

(4-61) …今日の変態と雖も亦斯の三時期の中に往来しつつあるものならん…（くりかえしの継続）

(4-62) …家の前に出でて朋友相對するが如く好笑しき事を饒舌り焉饒舌られつつある形様に想起し…（くりかえしの継続）

『明六雑誌』、『女学世界』、『婦人倶楽部』では、「V ツツアル」の例文はみつかなかった。

4.2.5 調査の結果の分析と考察

以下、「明治・大正期の文献資料における『V ツツアル』の用法」はどのぐらい存在しているのかを明らかにするために、調査結果の分析と考察を行う。

4.2.5.1 『女学雑誌』における「V ツツアル」の用法

『日本語歴史コーパス』の『女学雑誌』に現われた「V ツツアル」の用法は、以下の表 4-5 のようになっている。

表 4-5 『女学雑誌』における「V ツツアル」の分析結果

用法	継続 (%)	接近 (%)	くりかえしの継続 (%)	総数 (%)
例数	87 (78%)	23 (21%)	1 (1%)	111 (100%)

表 4-5 から、『女学雑誌』の「V ツツアル」については、一番多いのは「継続」であり、78% を占めている一方、二番目は「接近」であり、21%を占めている。また、『女学雑誌』における「V ツツアル」の「くりかえし」という用法はわずか1例に過ぎないことがわかる。

4.2.5.1.1 「継続」の「V ツツアル」についての分析

まず、調査結果最も多かった「継続」の用法の用例から、分析することにする。

(4-63) (= (4-40)) …余が信ずる所によれば、印度は日に益々基督を受容しつつある也。…

(4-64) (= (4-41)) …其真相は發揮の時を待ちつつあるなり。…

(4-65) …其子女は家を離れ、人に棄てられ、現に社会に害毒を流しつつある者の如きに至ては、…

(4-63) の「受容しつつある」は、印度は基督を受け入れるという事象もう始まっているが、まだ終わっていないで、「印度は基督を受け入れる」という事象が益々広がっていることを表す。局面からいうと「継続」である。金田一(1955)の「継続動詞」とは、「動作・作用を表わす動詞」で、「ある時間内に続いて行われるような種類のものであるような動詞」である。(4-63) の「受容する」という動作は、瞬間に終わる動作であるが、(4-64) の場合には、ある時間内に続いて行われるものであり、つまり、「継続動詞」とも言える。また、Vendler (1967) は、“time schemata” (時間スキーマ) という観点から “activities” (活動)、“accomplishments” (達成)、“achievements” (到達) と “states” (状態) の 4 つに分類しており、それぞれについて、Vendler (1967) は、以下のように述べている。(例文は、Vendler (1967) による)

For activities: A was running at time t means that time instant t is on a time stretch throughout which A was running.

eg. He was pushing it for half an hour.

For accomplishments: A was drawing a circle at t means that t is on the time stretch in which A drew that circle.

eg. He found it in five minutes.

For achievements: A won a race between t_1 and t_2 means that the time instant at which A won that race is between t_1 and t_2

eg. It took him three hours to reach the summit.

For states: A loved somebody from t_1 and t_2 means that at any instant between t_1 and t_2 A loved that person

eg. I am knowing.

This shows that the concept of activities calls for periods of times that are not unique or definite. Accomplishments, on the other hand, imply the notion of unique and definite time periods. In an analogous way, while achievements involve unique and definite time instants, states involve time instants in an indefinite and nonunique sense.

本調査に関係する「achievements」（到達）は一つの明確な瞬間が必要となる。しかし、(4-63) の「受容しつつある」には、そういう明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続動詞と判断することができる。

同じように、(4-64) の「待ちつつある」は、真相は発揮の時を待つという事象がもう始まっているが、これから、真相を発揮するまで待ち続けていることを表す。局面から言うと、「継続」である。また、金田一（1955）の定義により、この「待つ」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler（1967）によれば、「待ちつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

そして、(4-65) の「流しつつある」は、「社会に害毒を流す」という事象が既に始まっているが、まだ終わっておらず、「社会に害毒を流す」という事象がまだ継続していることを表す。局面から言うと、「継続」である。金田一（1955）の定義によれば、この「流す」も「継続動詞」と判断できる。また、Vendler（1967）により、「流しつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続動詞と判断することができる。

4.2.5.1.2 「接近」の「V ツツアル」についての分析

次に「接近」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-66) …諸君、請ふ此の不足を充たせ。此の不足は諸君を需要しつつある也。…

(4-67) (= (4-43)) …彼等は愈よ基督の精神を呼吸しつつあるを見る也。…

(4-68) (= (4-45)) …彼と均しき優柔の軟策を執りつつあることなき…

(4-66) の「需要しつつある」は、此の不足は諸君を需要する方向へ移っていることを表す。つまり、「需要」という事象はまだ発生していない。「局面」から言うと、「開始前」である。金田一 (1955) によると、「瞬間動詞」は、「その動作・作用は瞬間に終わってしまう動作・作用」である。(4-66) の「需要する」は瞬間に終る動作であり、つまり、「瞬間動詞」である。上述により、(4-66) の「需要しつつある」は「接近」と判断できる。

同じように、(4-67) の「呼吸しつつある」は、彼等は愈よ基督の精神を呼吸する方向へ移っていることを表す。つまり、「呼吸」という事象はまだ発生していない。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一 (1955) によると、この「呼吸する」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-67) の「呼吸しつつある」は「接近」と判断できる。

そして、(4-68) の「執りつつある」は「彼と均しき優柔の軟策を執る」方向へ移っていることを表す。つまり、「執る」という事象はまだ発生していない。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一 (1955) によると、この「執る」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-68) の「執りつつある」は「接近」と判断できる。

4.2.5.1.3 「くりかえしの継続」の「V ツツアル」についての分析

最後に「くりかえしの継続」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-69) (= (4-46)) …其婦人中にて、かく毎日会議の傍聴をなしつつあるのみにては…

(4-69) の「なしつつある」は、「会議の傍聴をなす」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「会議の傍聴をなす」という事象が毎日に行っていることを表す。局面から言うと「継続」である。また、高橋 (1969) は、「おなじ主体や複数の主体がつぎつぎにおなじうごきをくりかえすとき、その全体を一つの進行過程とみて、この過程がつづいていることをあらわす」ものを「くりかえしの進行」と名付けている。したがって、(4-69) の「なしつつある」は、「くりかえしの継続」と判断できる。

4.2.5.2 『太陽雑誌』における「V ツツアル」の用法

『太陽雑誌』に現われた「V ツツアル」の用法は、以下の表 4-2 のようになっている。

表 4-6 『太陽雑誌』における「V ツツアル」の分析結果

用法	継続 (%)	接近 (%)	結果状態 (%)	総数 (%)
例数	58 (81%)	12 (17%)	2 (3%)	72 (100%)

表 4-6 から、『太陽雑誌』の「V ツツアル」については、一番多いのは「継続」であり、81%を占めている一方、二番目は「接近」であり、17%を占めている。また、『太陽雑誌』における「V ツツアル」の「結果状態」という用法はわずか2例に過ぎないことがわかる。

4.2.5.2.1 「継続」の「V ツツアル」についての分析

まず、調査結果最も多かった「継続」の用法の用例から、分析することにする。

(4-70) (= (4-47) …ひたすら荒唐なる妄想に耽りつつある間に、いつしか馬車は今川橋にて停まりぬ…

(4-71) (= (4-48)) …彼等の道徳や信仰の生活は百花爛漫の盛観を呈しつつある。
…

(4-72) (= (4-49)) …科学はこの様にして少しも止む事なしに、無限の自然界に向かって探求のほこを進めつつある。…

(4-70) の「耽りつつある」は、「ひたすら荒唐なる妄想に耽る」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「ひたすら荒唐なる妄想に耽り続ける」ことを表している。局面から言うと、「継続」である。また、金田一(1955)の定義により、この「耽る」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler(1967)によれば、「耽りつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

同じように、(4-71) の「呈しつつある」は、「彼等の道徳や信仰の生活は百花爛漫の盛観を呈する」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、これから、「彼等の道徳や信仰の生活は百花爛漫の盛観を呈し続ける」ことを表している。局面から言うと、「継続」である。また、金田一(1955)の定義により、この「呈する」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler(1967)によれば、「呈しつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない

継続と判断することができる。

そして、(4-72)の「進めつつある」は、「無限の自然界に向かって探求のほこを進む」という事象もう始まっているが、まだ終わっていないで、「無限の自然界に向かって探求のほこを進め続ける」ことを表している。局面から言うと、「継続」である。また、金田一(1955)の定義により、この「進める」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler(1967)によれば、「進めつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

4.2.5.2.2 「接近」の「V ツツアル」についての分析

次に「接近」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-73) (= (4-50)) …それを天文に応用して航海を助ける仕事にも現れ、物理の
応用にも大切な事になりつつある。…

(4-74) (= (4-51)) …日本人の心に何がしかの反省と何がしかの改革的志向とが萌
しつつあることを私は想像します。…

(4-75) …科学者たちは一步一步と、一米突以下の短波長電波の征服を完成しつた
る。

(4-73)の「なりつつある」は、「物理の応用にも大切な事になる」方向へ移っていることを表す。つまり、「なる」という事象はまだ発生していない。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一(1955)によると、この「なる」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-73)の「なりつつある」は「接近」と判断できる。

同じように、(4-74)の「萌しつつある」は、「日本人の心に何がしかの反省と何がしかの改革的志向とが萌す」ことはまだ発生していないことを表す。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一(1955)によると、この「萌す」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-74)の「萌しつつある」は「接近」と判断できる。

そして、(4-75)の「完成しつつある」は、「科学者たちは一步一步と、一米突以下の短波長電波の征服を完成する」ことはまだ発生していないことを表す。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一(1955)によると、この「完成する」は「瞬間動詞」である。上述によ

り、(4-75) の「完成しつつある」は「接近」と判断できる。

4.2.5.2.3 「結果状態」の「V ツツアル」についての分析

最後に「結果状態」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-76) (= (4-53)) …その外天耳通の空想は電話になり、ラセラスの空想は空中船に
なりつつある。此から以後如何なる空想が如何なる実利を生み出す
か…

(4-77) (= (4-54)) …又現在に交戦国の間に立つて常に得つつある重要な地位をも失ふ
事になる。…

(4-76) の「なりつつある」は、空想船ができていることを表す。また、高橋 (1969) は、
「うごきがおわったあとにうごきの結果としてうごきの主体の変化した状態がつづいている
ことをあらわす」ものを「結果の状態」と名付けている。したがって、(4-76) の「なりつつ
ある」は「結果状態」と判断できる。

同じように、(4-77) の「得つつある」は、重要な地位を得ていることを表す。高橋 (1969)
によると、(4-77) の「得つつある」は「結果状態」と判断できる。

4.2.5.3 『国民之友』における「V ツツアル」の用法

『日本語歴史コーパス』の『国民之友』に現われた「V ツツアル」の用法は、以下の表 4-7
のようになっている。

表 4-7 『国民之友』における「V ツツアル」の分析結果

用法	接近 (%)	継続 (%)	くりかえしの継続 (%)	総数 (%)
例数	5 (45%)	4 (36%)	2 (18%)	11 (100%)

表 4-7 から、『国民之友』の「V ツツアル」については、一番多いのは「接近」であり、二番
目は「継続」であり、また、『国民之友』における「V ツツアル」の「くりかえしの継続」とい
う用法はわずか 2 例ずつに過ぎないことがわかる。

4.2.5.3.1 「接近」の「V ツツアル」についての分析

まず、調査結果最も多かった「接近」の用法の用例から、分析することにする。

(4-78) 而して斯の一億三千餘萬圓の流通貨幣に対し、今ま既に拂込みつつあり、
又た将来拂込まざるを得ざるもの併せて一億二千萬圓、

(4-79) (= (4-59)) 懸命とあれば妻は寒に叫び児は飢に泣きつつある中よりも
寄附金を出さざるを得ず

(4-80) (= (4-60)) 實際の問題に近くに従ひ、政界の水流は愈々其流勢を加へ
つつあるに相違なきを見るなり

(4-78) の「拂込みつつある」は、「流通貨幣を拂込む」という事象はまだ発生していないことを表す。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一 (1955) によると、この「拂込む」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-78) の「拂込みつつある」は「接近」と判断できる。

同じように、(4-79) の「泣きつつある」は、「児は飢に泣く」という事象はまだ発生していないことを表す。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一 (1955) によると、この「泣く」は「継続動詞」である。上述により、(4-79) の「泣きつつある」は「接近」と判断できる。

そして (4-80) の「加へつつある」は、「政界の水流は愈々其流勢を加える」という事象はまだ発生していないことを表す。「局面」から言うと、「開始前」である。また、金田一 (1955) によると、この「加える」は「瞬間動詞」である。上述により、(4-80) の「加へつつある」は「接近」と判断できる。

4.2.5.3.2 「継続」の「V ツツアル」についての分析

次に「継続」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-81) (= (4-55)) 彼等が他人に向ひて随分ムツカシ注文を申掛けつつある間に
自己の持場に向かひては遂に新奇なる且つ込み入りたる役目は
遠慮もなく

(4-82) (= (4-56)) 時代の教育を受けたる余が、同志社開化時代の教育を受けつつある諸君に対して、演説するの困難亦た少しく察す可きのみ

(4-83) (= (4-57)) 明治政府は二十年来恒に変化し来りつつあるを知るべし

(4-81) の「申掛けつつある」は、「彼等が他人に向ひて随分ムツカシ注文を申し掛ける」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「彼等が他人に向ひて随分ムツカシ注文を申し掛け続ける」ことを表している。局面から言うと、「継続」である。(4-81) の「申し掛ける」という動作は、瞬間に終わる動作であるが、(4-81) の場合には、ある時間内に「申し掛ける」という動作が継続的に行われるものであり、つまり、「継続動詞」とも言える。また、Vendler (1967) によれば、「申し掛けるつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

同じように、(4-82) の「受けつつある」は、「同志社開化時代の教育を受け入れる」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「同志社開化時代の教育を受け入れ続ける」ことを表している。局面から言うと、「継続」である。また、金田一 (1955) によれば、この「受ける」は「継続動詞」である。また、Vendler (1967) によれば、「受けつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

そして (4-83) の「変化し来りつつある」は、「明治政府は二十年来恒に変化する」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「明治政府は二十年来恒に変化し続けている」ことを表す。また、Vendler (1967) によれば、「変化し来りつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

4.2.5.3.3 「くりかえしの継続」の「V ツツアル」についての分析

その次に「くりかえしの継続」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(4-84) (= (4-61)) 今日の変態と雖も亦斯の三時期の中に往来しつつあるものならん

(4-85) (= (4-62)) 家の前に出でて朋友相對するが如く好笑しき事を饒舌り焉饒舌られつつある形様に想起し

(4-84) の「往来しつ々ある」は、「変態が行ったり来たりする」という事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「変態が行ったり来たりする」という事象が三時期の中に繰り返していることを表す。局面からいうと「継続」である。高橋（1969）は、「おなじ主体や複数の主体がつぎつぎにおなじうごきをくりかえすとき、その全体を一つの進行過程とみて、この過程がつづいていることをあらわす」ものを「くりかえしの進行」と名付けている。したがって、(4-84) の「往来しつ々ある」は、「くりかえしの継続」と判断できる。

同じように、(4-85) の「饒舌り焉饒舌られつ々ある」は、「好笑しき事を喋ったり喋られたりする」という事象が繰り返して行われている事を表す。局面からいうと「継続」である。また、高橋（1969）によれば、「くりかえしの継続」と判断できる。

4.2.6 調査のまとめ

調査結果を以下にまとめる。

表 4-8 各資料における「V ツツアル」の用法の割合

	継続	接近	くりかえしの継続	結果状態
女学雑誌 (111 (100%))	87 (78%)	23 (21%)	1 (1%)	0 (0%)
太陽雑誌 (72 (100%))	58 (81%)	12 (17%)	0 (0%)	2 (3%)
国民之友 (11 (100%))	4 (36%)	5 (45%)	2 (18%)	0 (0%)
総数 (194 (100%))	149 (77%)	40 (21%)	3 (2%)	2 (1%)

表 4-8 により、近代語の「V ツツアル」の用法については、一番多いのは、「継続」であり、二番目は「接近」であることが伺える。また、「継続」と「接近」の二つの用法以外に、「くりかえしの継続」と「結果状態」との用法もあったこともわかる。

4.3 まとめ

以上のように、4.1 の調査により、古代の日本語における「V ツツアル」の用法が、主に「動作・状態の継続」であること、また、そのほかに「結果の存続」、「くりかえしの継続」、「動作開始の示唆」の用法もあることが明らかになった。4.2 の調査により、近代語における「V ツツアル」の用法は、主に「継続」と「接近」の二つであることがわかる。今回の調査の結果から見ると、近代語における「V ツツアル」の用法は、先行研究とほぼ一致していることが確認できた。そのほか、4.1 と 4.2 の調査結果から見ると、中世から近世にわたる時期では、日本

語の「V ツツアル」が使用されていなかったのに、明治に入り、再び用いられるようになったことがわかる。そして、明治の「V ツツアル」には、古代に使われていない「接近」の用法が見られる。この背景や理由などに関する考察は次の第五章と第六章で行う。

第五章 近代語における「V ツツアル」は翻訳表現であることに関する考察

第四章では、古代の日本語の「V ツツアル」の用法を調査し、主に「動作・状態の継続」という用法があることがわかった。また、中世から近世にわたっては、「V ツツアル」が使用されていなかったことが明らかになった。また、近代における日本語表現としての「V ツツアル」の用法を考察し、主に「継続」と「接近」という二つの用法があることが明らかになった。第四章の調査結果により、明治に入り、再び「V ツツアル」が使用されるようになったことがうかがえる。これについては、森岡（1991、1999）と竹内（2011）に、異言語との接触により、欧文の翻訳表現や「be+Ving」の直訳としてまた用いられるようになったと述べられているが、詳しい調査は行われていないようである。八木下（2018）では、明治期の英語読本を調査することを通じて、「V ツツアル」が英語の「be+Ving」の翻訳語表現として使われていたことが明らかになった。しかしながら、「V ツツアル」が、近代において、翻訳表現であることについては考察されていない。また、第三章で述べたように、『新潮国語辞典 一現代語・古語― 第二版』、『新国語中辞典』、『大辞泉 増補・新装版』の三つの国語辞典における「V ツツアル」についての説明にも、「外国語直訳の言い方」とか書かれている。したがって、近代における日本語の「V ツツアル」が翻訳表現であることについて考察する必要があると考えられる。

また、明治の資料における「V ツツアル」には、奈良時代、平安時代にはない「接近」という用法が見られた。したがって、明治に入り、「接近」という新しい用法が見られる理由について探る必要もあると考えられる。そこで、まず、近代における「V ツツアル」が翻訳表現であるかどうかについて考察してみたい。

5.1 調査の目的

本調査は、近代語における「V ツツアル」が翻訳表現であるかどうかについて調査することを目的とする。

5.2 調査の対象

近代語における「V ツツアル」が翻訳表現であるかどうかについて調査するため、筆者は次の三種類の資料を使い、調査を行う。

- ① 幕末から明治初期までに作られた『英文鑑』、『諳厄利亜語林大成』、『英和对訳袖珍辞書』、『英吉利文典 字類』、『ピネヲ氏原板英文典』、『格賢勃斯訳英文典』、『通俗英文典』の英学資料（紙版や電子版）を対象とする。（それぞれの資料についての詳細は調査の結果で紹介する。）

- ② 筑摩書房により、1965年から1989年にかけて刊行された『明治文学全集』を利用し、その中から、明治初期（1867年～1876年）のものである『明治開化期文学集（一）』、明治10年代（1877年～1886年）のものである『明治開化期文学集（二）』、明治20年代（1887年～1896年）のものである『硯友社文学集』と『明治政治小説集（二）』、明治30年代（1897年～1906年）のものである『明治家庭小説集』を対象とする。各文学集と小説集における作品は次のようになっている。（表5-1参照）

表5-1 明治文学全集における調査した作品

時代	書名	発行者	発行年	出版社	作品	ページの総数
明治初期 (明治1年～明治9年)	明治開化期文学集（一）	古田晁	1966	筑摩書房	「萬國航海 西洋道中膝栗毛」、「牛店雑談 安愚樂鍋」、「河童相傳 胡瓜遣」、「大洋新話 入道魚説教」、「當世利口女」、「分限正札 智恵秤」、「青樓半化通」、「近世惘蝦蟇」、「寄笑新聞」、「近世紀聞」、「開明小説 春雨文庫」、「鳥追阿松海上新話」	328
明治10年代 (明治10年～明治19年)	明治開化期文学集（二）	竹之内静雄	1967	筑摩書房	「高橋阿傳夜刃譚」、「嶋田一郎梅雨日記」、「澤村田之助曙草紙」、「金之助の話說」、「巷説兒手柏」、「蝶島紫山裙模様」、「冠松眞土夜暴動」、「勤王佐幕 巷説二葉松」、「淺尾よし江の履歴」、「慘風悲雨 世路日記」	396
明治20年代 (明治20年～明治29年)	硯友社文学集	竹之内静雄	1966	筑摩書房	「乙女心」、「わが戀」、「夏の館」、「女房殺し」、「泥水清水」、「旅役者」、「露小袖」、「霜夜の虫」、「神の裁判」、「錦木」、「秋袷」、「菅笠日記」、「腰かけられぬ人」、「團扇太鼓」、「和蘭皿」、「紺暖簾」、「蝗うり」	395
	明治政治小説集（二）	竹之内静雄	1967	筑摩書房	「政治小説 雪中梅」、「政事小説 花間鶯」、「政治小説 南洋の大波瀾」、「冒険企業 聯島大王」	
明治30年代 (明治30年～明治39年)	明治家庭小説集	竹之内静雄	1969	筑摩書房	「濱子」、「家庭小説 乳姉妹」、「家庭小説 女夫波」、「琵琶歌」	417

- ③ 『聞蔵Ⅱビジュアル』を利用し、『朝日新聞』の明治12年～明治39年の新聞資料を、また、『ヨミダス歴史館』を利用し、『読売新聞』の明治7年～明治39年の新聞資料を対象とする。

5.3 調査の方法

まず、『英文鑑』と『諳厄利亜語林大成』については、拓殖大学図書館の蔵書を利用し、英語の「be+Ving」及び現在分詞にあたる部分について、どのように述べているかについて一頁一頁調べた。

次に、『英和対訳袖珍辞書』、『英吉利文典 字類』、『ピネヲ氏原板英文典』、『格賢勃斯訳英文典』、『通俗英文典』については、『古典籍総合データベース』（早稲田大学）を利用し、オンラインでそれぞれの PDF ファイルを閲覧し、英語の進行形である「be+Ving」及び現在分詞にあたる部分をダウンロードして再閱讀した。

以上の英学資料を調べるときに、英語の「be+Ving」及び現在分詞にあたる部分に注目したが、進行形や現在分詞以外のものに、「V ツツアル」と訳された場合があるかどうかについても確認した。

続いて、『明治文学全集』については、各文学集の各作品の年代（同じ作品でも、違う年代に書かれた場合もあるので、その点についても確認する）を確認し、それぞれの作品には、「V ツツアル」の例文があるかどうかについて一頁一頁に当たり調べた。今回の調査結果では、各年代の作品の総ページ数をできる限り差がないように努めたが、『明治文学全集』における明治初期の作品が極めて少なかった。

また、『聞蔵Ⅱビジュアル』については、朝日新聞縮刷版（1879～1999）を利用し、発行日を10年ごとに設定し（例えば、1887（明20）から1896（明29）までを設定し、検索する）、「つつあ」をキーワードに検索し、用例を収集した。『ヨミダス歴史館』については、『読売新聞』の明治・大正・昭和（1874～1989）の記事を利用し、検索期間を10年ごとに設定し（例えば、1877（明10）から1886（明19）まで設定し、検索する）、「つつあ」を検索語に検索し、用例を収集した。さらに、二種類の新聞の紙面イメージにより、検出された例文が記事にあるかどうかについても確認した。記事には載っていないければ、例文として扱わないことにした。この理由については、当時の新聞には、見出しがなく、『聞蔵Ⅱビジュアル』と『ヨミダス歴史館』の見出しは、検索のため、編集者らによって加えられたものだからである。

5.4 調査の結果

5.4.1 英学資料における調査結果

今回の英学資料における英語の進行形である「be+Ving」及び現在分詞にあたる日本語訳の調査結果に関しては、次のように、英学資料ごとに示す。なお、今回の調査にて、『諸厄利亜語林大成』においては、英語の現在分詞及び進行形の用例が見られなかった。

5.4.1.1 『英文鑑』

『英文鑑』は、渋川六蔵・藤井三郎によって、底本として一八二二年刊の L・ミュルレー（マレーとも）Murray "Engelsche Spraakkunst" を翻訳したもので、天保十一年（一八四〇）に

成稿している。本格的英文典として日本で最初のものである。本調査で利用した『英文鑑』は、拓殖大学図書館の蔵書であり、杉本（1993）により編著された『英文鑑—資料と研究』からの資料である。この資料は、縦書きで、例文以外の内容はすべて日本語で書かれている。例文の記入の仕方は以下の通りである。（全体の文字列の方向を合わせるため、横書きに直し、示す）

我レハ 書テ居ル 如ク汝カ 見ル

I am writing , as you see ik schrijf, zoals je ziet

汝カ見ル如クニ我レハ書テ居ル

例文の記入の仕方は、上述のように、右側には、オランダ語の例文が記入されている。左側には、英語の例文が書かれて、その上に英語に相当する日本語訳が付いている。一番下に正しい読み順に直し、改めて日本語訳が書いてある。しかし、日本語訳の順を直す必要があっても、直して改めて書いていない場合もある。

また、日本語訳の順を直す必要がない場合であれば、例文の記入の仕方は次の通りである。

我レ 書ス	}	ik schrijf
I write		
我レ 書ス		
I am writing		
我レ 書ス		
I do write		

『英文鑑』では、英語の進行形である「be+Ving」の例文について、以下のようなものが見られる。（ここでは、オランダ語を省略）

(5-1) 我レ 書ス (p.509)

I am writing

(5-2) 我レ 書キシ (p.509)

I was writing

(5-3) 我レハ 書テ居ル 如ク汝カ 見ル (p.509)

I am writing, as you see

汝カ見ル如クニ我レハ書テ居ル

(5-4) 我レ 行ク ヘ 天主堂 (p.509)

I am going to the church

我レ 天主堂ヘ 行ク

(5-5) 我レ 今適ニ思ツテ居ル汝ノ事ヲ (p.509)

I am thinking of you

(5-6) 我レ 嫌フ 其男ヲ (p.510)

I am hating that man

(5-7) 我レ 愛ス 其貴婦ヲ (p.510)

I am loving that lady

(5-8) 我レ 賤ム 彼レヲ (p.510)

I am despising him

(5-9) 居リシヤ 彼レハ 賭博シテ (p.511)

was he playing ?

以上のように、『英文鑑』においては、現在進行形の用例が 7 例あり、過去進行形の用例が 2 例あり、合わせて 9 つある。そのうち、「V テイル」と訳されたのは 3 例あり、「V 辞書形」と訳されたのは 6 例ある。つまり、『英文鑑』における英語の進行形にあたる日本語訳は主に「V 辞書形」であることがうかがえる。

そのほか、『英文鑑』は、オランダ語訳本より作られた日本英語学史上の初の英文法書である。日本語訳から見ると、オランダ語には、現在進行は単純な現在形で、過去進行は単純な過去形で表現することが多かったようであることが考えられる。また、今回の調査範囲では、オ

ランダ語における進行形にあたる日本語訳は、「V ツツアル」は使用されていなかったことがわかる。

5.4.1.2 『英和对訳袖珍辞書』

『英和对訳袖珍辞書』は、1862年に、堀達之助と、協力者である西周助・千村五郎ほかによって、幕府洋書調所から刊行された近代日本初の本格的な英和辞書である。本調査で利用したのは、1866年に、堀越亀之助が再版改訂の主編に任命され、開成所で発行された『改正増補英和对訳袖珍辞書』である。この資料は、英単語は横書きで、1ページに2列ある。また、英単語の右側に各単語を表す品詞の略字が付いている。そして、各英単語にあたる日本語訳は、縦書きで、各列の右側に書かれている。例を挙げる。

Abominable, adj	嫌ハシキ	Above, prep el adv	上ニ・高ク・天ニ・ヨリモ多ク
Abominably, adv	嫌ハシク	above all.	殊ニ・第一ニ・就中

内容の記入の仕方は、以上の通りである。

『英和对訳袖珍辞書』では、英語の現在分詞の例に次のようなものが見られる。

- (5-10) Being, s. 顕ハレテ居ルモノ形体 (p.68)
Being, part of Be. 有リツゝ、有ルベク

- (5-11) Lying, part of lie. 置テアル。横タハツテ居ル。備ル (p.473)

『英和对訳袖珍辞書』では、英語の現在分詞の例文は、上のように、2例しか現れていない。現在分詞に対する日本語訳は、「V ツツアル」、「V テアル」、「V テイル」の三つの形が見られる。肖(2019)によると、1866年の『改正増補英和对訳袖珍辞書』は、1862年の『英和对訳袖珍辞書』の見出し語の総数の四分の一の訳語に対して訂正を加えたものであるが、上の「Being」と「Lying」は増補された訳語ではない。つまり、この二つの単語に対する日本語訳は1862年に行われたと推測される。

5.4.1.3 『英吉利文典 字類』

本調査で利用した『英吉利文典 字類』は、慶応2年(1866)に、伊月邨舎の出版で、足立

梅景によって編述されたものである。この資料は、英語の単語は横書きで、語の性質を表す略字とその単語に相当する日本語訳は縦書きで書かれている。例を挙げる。ここで、縦書きを横書きに直して示す。

accent ^{普名単} 強音
 accented ^{処分} 音付ケラレタル

『英吉利文典 字類』においては、英語の現在分詞の現れ方について、次のようになっている。(表 5-2 参照)

表 5-2 『英吉利文典 字類』における現在分詞の現れ状況

番号	見出し語	品詞	日本語訳
5-12	adding	動名 ⁶ 単 ⁷	附ケ加ヘルヲ
		能分 ⁸	附ケ加ヘタル
5-13	advising	能分	知ラセタル
		動名単	知ラセルヲ
5-14	affirming	能分	極メタル
5-15	agreeing	能分	一致シタル
		動名単	一致スルヲ
5-16	applying	能分	適合シタル
		動名単	適合スルヲ
5-17	asking	能分	問フタル
		動名単	問フヲ
5-18	being	能分	有リタル、有リツヽ
		動名単	有ルヲ、
5-19	changing	能分	変化シツヽ
		動名単	変化スルヲ
5-20	coming	能分	来リツヽ
		動名単	来ルヲ
5-21	making	能分	為シタル
5-22	pronouncing	能分	言ヒ出シタル
		動名単	言ヒ出スヲ
5-23	printing	能分	板行シタル
5-24	relating	能分	関係シタル
5-25	referring	能分	拘リ合タル
5-26	running	能分	走リタル
5-27	saying	能分	言ヒタル
		動名単	言フヲ
5-28	showing	能分	指示シタル
5-29	sounding	普名 ⁹ 単	響クヲ
		能分	響キタル
5-30	suffering	能分	苦ミタル
		普名単	苦痛

6 動名：動詞状名詞を指す。

7 単：単数を指す。

8 能分：現在分詞を指す。

9 普名：普通名詞を指す。

5-31	taking	普名单	取ルヲ
		能分	取リツゝ
5-32	telling	能分	言ヒタル
		普名单	言フヲ
5-33	trying	能分	探索シツゝ
5-34	using	能分	用ヒタル
		普名单	用ヒルヲ
5-35	walking	能分	行キツゝ

以上は、『英吉利文典 字類』から見つけれられた英語の現在分詞の例である。表 5-2 から見ると、当時の英語の現在分詞は、日本語の「V タル」や「V ツツ」と訳されていることがわかる。日本語訳の「V タル」と「V ツツ」の割合状況は次のようになっている。(表 5-3 参照。ここで、『英吉利文典 字類』における現在分詞の総例数 24 を 100%とする)

表 5-3 英語の現在分詞にあたる日本語訳状況と割合

日本語訳	例数	割合
V タル	18	75%
V ツツ	6	25%

表 5-3 を見ると、『英吉利文典 字類』における現在分詞の例は、全部で 24 例あり、そのうち「V タル」と訳されたのは 18 (75%) であり、「V ツツ」と訳されたのは 6 (25%) である。つまり、まだ多くはないが、前述の『英和对訳袖珍辞書』における英語の現在分詞の訳に比べて、「V ツツ」が英語の現在分詞の日本語訳として、だんだん増えてきている様子が伺える。

5.4.1.4 『英吉利文典』

本調査で利用した『英吉利文典 1-2-3 集』は、播磨屋喜右衛門で出版され、阿部友之進(1867)によって著したものである。この資料は、横書きで、原文に一对一の対応で訳がつけられ、訳を読む順番が漢数字で表記されている。また、英語の上にルビで相当する英単語の読みが付けられている。見やすさのために、以下においては、ルビは省略し、訳文は読む順番に従い、直し示すことにする。

『英吉利文典』では、英語の進行形の例文について、次のようなものが見られる。(下線は筆者が付けたものである)

(5-36) because it tells that I am doing something.

イカントナレバ 夫レガ 我ガ 或ル事ヲ 為シテ 有ル 叟ヲ 話ス

- (5-37) George is going into the forest, among the bushes and up the hill, for his only pleasure.

(人名) ガ 森ニ 這テ 林ノ 中ニ 而シテ 山ノ 上ニ 彼ノ 固
有ノ 樂ミニ 付テ 往テ 有ル

『英吉利文典』では、英語の現在進行形の例文が2つしか見られない。かつ、2つの現在進行形に相当する日本語訳は、ともに「Vテアル」と訳されている。つまり、『英吉利文典』においては、「Vツツアル」という日本語訳が使われていなかったことがわかる。

5.4.1.5 『ピネヲ氏原板英文典』

『日本の英学一〇〇年 明治編』によると、『ピネヲ英文典』は、慶応義塾で用いられ、また慶応系の私塾などで盛んに用いられた。本調査で利用した慶応義塾読本である『ピネヲ氏原板英文典直訳 1・2』は、明治3年(1870)に、尚古堂の出版で、永島貞次郎によって訳されたものである。この資料は、横書きで、全部日本語で書かれている。また、日本語訳文の下に、読む順番の数字も書かれている。しかし、読みやすさのために、ここで取り上げた内容は原文の表記のままではなく、読む順番に従い、直して示した。

『ピネヲ氏原板英文典直訳』では、英語の進行形の例文に、次のようなものが見られる。(下線は筆者が付けたものである)

- (5-38) 余ハ 愛シテ アル

- (5-39) 余ハ 愛シテ アリシ

- (5-40) 余ハ 愛シテ アツ タ

- (5-41) 余ハ 愛シテ アツ タリシ

- (5-41) 余ハ 愛シテ アル デアロヲ

- (5-42) 余ハ 愛シテ アツ タ デアロヲ

(5-43) 余ハ 愛シテ アル 能フ

(5-44) 余ハ 愛シテ アリ 能ヒシ

(5-45) 余ハ 愛シテ アリ 能フ タ

(5-46) 余ハ 愛シテ アリ 能フ タリシ

(5-47) 若モ 余ガ 愛シテ アル ナラバ

以上は、『ピネヲ氏原板英文典直訳』に見られる英語の現在分詞や進行形についての日本語訳である。英語の現在分詞は「V ツツ」と訳されている。一方で、進行形の例文は全部で 11 例あり、すべて「V テアル」と訳されている。つまり、当時の英語の現在分詞にあたる訳は「V ツツ」であるが、進行形にあたる日本語訳は「V ツツアル」ではなく、「V テアル」であることがわかる。

5.4.1.6 『格賢勃斯訳英文典』

『日本の英学一〇〇年 明治編』によると、『格賢勃斯英文典直訳』は、明治三年（1870）に、大学南校助教によって訳されたものである。本調査で利用した『格賢勃斯英文典直訳巻之上』と『格賢勃斯英文典直訳巻之下』とともに大学南校の出版で、大学南校助教によって翻訳されたものである。この資料は、縦書きで、例文以外の内容はすべて日本語で書かれている。つまり、例文のみ英語で書かれている。

『格賢勃斯英文典直訳』では、英語の進行形の例文に、次のようなものが見られる。（下線は筆者が付けたものである）

(5-48) I am ruling, thou are ruling, he is ruling

(5-49) I was ruling, thou wast or wert ruling

(5-50) I have been ruling, thou hast been ruling

- (5-51) I had been ruling, thou hadst been ruling
- (5-52) I shall or will be ruling, thou shalt or wilt be ruling
- (5-53) I shall or will have been ruling
- (5-54) I may, can, must, or need be ruling
- (5-55) I might, could, would, or should be ruling
- (5-56) I may, can, must, or need have been ruling
- (5-57) I might, could, would, or should have been ruling
- (5-58) If I be ruling. If thou be ruling
- (5-59) If I was ruling. If thou were ruling
- (5-60) Be thou ruling or do thou be ruling
- (5-61) To have been ruling
- (5-62) having been ruling

以上は、『格賢勃斯英文典直訳』で見られた英語の進行形である「be+Ving」の例文である。すべての例文は英語のみで書かれている。

しかしながら、『格賢勃斯英文典直訳巻之上』の第四十三課に、「直説法ノ現在ハ働キガ現在ノ時に抜テ出来ツ、アリ或ハ有様ガ成立チツ、アルヲ極メル I depart, I am, 如シ」という「V ツツアル」の用例が見られた。つまり、「V ツツアル」は翻訳表現として、当時すでに用いられていたことがわかる。

5.4.1.7 『通俗英文典』

本論文で利用した『通俗英文典上』、『通俗英文典中』、『通俗英文典下』は、ピネオ氏によって編著され、明治5年(1872)に文泉堂によって出版されたものである。この資料は、横書きで、原文に一对一の対応で訳がつけられ、訳を読む順番が数字で表記されている。また、英語の上側にルビで相当する英単語の読みが付けられている。見やすさのために、以下においては、ルビは省略し、訳文は読む順番に従い、直した。

『通俗英文典』では、英語の進行形の例文に、次のようなものが見られる。(下線は筆者が付けたものである)

(5-63) I am loving

余ハ 愛シツヽ アル

(5-64) I was loving

余ハ 愛シツヽ アリシ

(5-65) I have been loving

余ハ 愛シツヽ アツ タ

(5-66) I had been loving

余ハ 愛シツヽ アツ タリキ

(5-67) I shall be loving

余ハ 愛シツヽ デアロヲ

(5-68) I shall have been loving

余ハ 愛シツヽ アツ タ デアロヲ

(5-69) I can be loving.

余ハ 愛シツヽ アリ 能フ

(5-70) I could be loving.

余ハ 愛シツヽ アリ 能ヒシ

(5-71) I can have been loving.

余ハ 愛シツヽ アリ タ 能フ

(5-72) I could have been loving.

余ハ 愛シツヽ アリ タリシ 能フ

(5-73) Pres, If I am loving:

現在 若ナラバ 余ハ 愛シツヽ アル

また、『通俗英文典 上』においては、次のような例文も見られた。

(5-74) William is playing.

— 遊デ アル。

(5-75) The boy is studying.

童男ハ 学ンデ アル。

(5-76) The girl is talking.

童女ハ 話シテ アル。

また、『通俗英文典 中』においては、次のような例文も見られた。

(5-77) He was studying when the bell rang.

彼ハ 鐘ガ 鳴リシ トキニ 勉強シツヽ アリシ。

(5-78) The boy is studying.

童男ハ 勉強シツヽ アナルママ。

以上は、『通俗英文典』に見られる英語の進行形「be+Ving」に当たる日本語訳である。進行形の例文は全部で 16 あり、そのうち「V ツツアル」と訳されたものが 13 例あり、「V テアル」と訳されたものが 3 例ある。(表 5-4 参照。ここで、『通俗英文典』における英語の進行形「be+Ving」の総例数 16 を 100%とする。)

表 5-4 英語の進行形にあたる日本語訳状況と割合

日本語訳	例数	割合
V ツツアル	13	81%
V テアル	3	19%

表 5-4 から見ると、『通俗英文典』における英語の進行形「be+Ving」に当たる日本語訳は主に「V ツツアル」であることがうかがえる。また、英語の進行形に対応できる日本語訳は「V +ツツアル」のみならず、「V テアル」も可能であることがわかる。

5.4.1.8 英学資料における調査のまとめ

以上の 5.4.1.1 から 5.4.1.7 まで各英学資料における英語の進行形及び現在分詞にあたる日本語訳について考察してきたが、ここで、英語の進行形である「be+Ving」の日本語訳を総合的に見ていく。

まず、1840 年の『英文鑑』における進行形「be+Ving」に対する日本語訳は、「V 辞書形」と「V テ居ル」の二つの形があるが、「V 辞書形」という訳が中心であった。また、1867 年の『英吉利文典』と 1870 年の『ピネヲ氏原板英文典』における進行形「be+Ving」に対する日本語訳はすべて「V テアル」であった。1870 年の『ピネヲ氏原板英文典』と同じ出版年の『格賢勃斯英文典直訳』において、「V ツツアル」の例文が見られたが、その原本を確認しないと、訳語の「V ツツアル」に相当する英語の表現を明確することができない。そして、1872 年の『通俗英文典』における英語「be+Ving」に対する日本語訳は「V ツツアル」と「V テアル」の二つの形があるが、「V ツツアル」という訳が主であった。つまり、「V ツツアル」は翻訳表現として使われていたことがわかる。さらに、1870 年の『格賢勃斯英文典直訳』において、「V ツツアル」の例文が見られたことで、「V ツツアル」は翻訳表現として、今回の調査に限っては、一番早く現れたのは 1870 年であることがわかる。

そのほか、今回の各英語資料の調査結果により、次のようなことも見られた。

- ① 『英文鑑』はオランダ語訳本により作られた英文法書である。『英文鑑』における進

行形「be+Ving」に対する日本語訳は、「V 辞書形」と「V テ居ル」の二つの形があるが、「V 辞書形」という訳が中心であった。オランダ語には、英語の進行形に相当する形式がないと見られ、現在進行は単純な現在形で、また過去進行は単純な過去形で表されることが多いようである。さらに、今回の調査に限っては、進行形にあたる日本語訳には、「V ツツアル」が用いられていないことがわかる。

- ② 英語の進行形にあたる日本語訳は、明治初期において、「V テアル」と「V ツツアル」の二つの形がある。第二章の先行研究に述べたが、森岡（1999）は、英語の進行形の直訳では、必ず「V ツツアル」と訳されると主張しているが、今回の英学資料の調査によって、英語の進行形の直訳は、「V ツツアル」のみならず、「V テアル」という日本語訳も存在していたことがわかる。つまり、英語の進行形の直訳は必ずしも「V ツツアル」と訳されたとは限らない。

また、調査結果から、英語の進行形「be+Ving」にあたる日本語訳は、以下のような経路に従って進んでいく変化の傾向が見られた。以下では、先に書いたのは中心的な日本語訳である。

〈1〉『V 辞書形』/『V テ居ル』⇒〈2〉『V テアル』/『V ツツアル』⇒〈3〉『V ツツアル』/『V テアル』

とすると、英語の進行形である「be+Ving」に相当する日本語訳の変化していく順は「『V 辞書形』/『V テ居ル』⇒『V テアル』/『V ツツアル』⇒『V ツツアル』/『V テアル』」ということになる。このような変化を起こす理由や背景などについての考察は別の機会に移りたい。

5.4.2 『明治文学全集』における調査結果

今回の調査により、『明治文学全集』から「V ツツアル」の例文は総計 20 例が見られた。そのうち、明治初期と明治 10 年代の作品においては、「V ツツアル」の例文が 1 例もなく、明治 20 年代と明治 30 年代ともに 10 例ずつであった。明治 20 年代と明治 30 年代の文学作品における「V ツツアル」の例文の詳細は次の通りである。

5.4.2.1 明治 20 年代の各作品における「V ツツアル」の例文

まず、明治 20 年代の各作品における「V ツツアル」の例文を見ていく。

明治 20 年代の作品は『硯友社文学集』と『明治政治小説集（二）』からのものである。各作

品は合計 395 ページであり、「V ツツアル」の例文は合わせて 10 例が見られた。そのうち、『硯友社文学集』からの例文は 3 例であり、『明治政治小説集 (二)』からの例文は 7 例である。まず、『硯友社文学集』からの例文の詳細を見ていく。

(5-79) 物事の進化ほど恐ろしくも亦速かな物がありますまい！昨日まで汗水流してシャツ一枚で漕いだ端艇の櫂。其手……同じ其手が今は團扇を持ツて舟子に二挺櫓を漕がせて隅田川を遡りつゝある屋根舟、内ぞ床しく思はわれます……
(『乙女心』明 22 p.10)

(5-80) 總て此美景も浪次の眼球に映じません。浪次の其身は甲板に在りながら心は思案の海底を旅行しつゝあります！(『乙女心』明 22 p.14)

(5-81) 差配は氣遣には思へども、長居せば反つて心の休まるまじと、隣の妻と諸共に歸り去りたる後に、お梅は泣きながら片隅に蹲踞みつゝ有れど、病婦？冷やかなる眼光を注がんともせず、暗き家の内を彼方此方と見廻し、齒を堅く食ひ緊る時に、再び戻り来りしは差配なりき。(『蝗うり』明治 28 p.354)

次に、『明治政治小説集 (二)』から見つけた例文の詳細を見ていく。

(5-82) 四の海我が兄弟とは言ひながら宿世怪しき縁にこそ、如何して斯くはと、我身から先づ怪まるゝ迄に相思はれつゝありしに、待ぬ日は早く来て生憎に我受取るべき軍艦も各部の検査全く終り、今日こそ愈々出帆といふ期に迫りければ……(『冒険企業 聯島大王』明 20 p.324)

(5-83) …且つ不平黨の首魁たる子黒も亦何時しかパツタリと不平の取沙汰を止め、船中自ら一致和合し来れる様に見えければ、大いに安堵して固く一郎を信じ、日に新七等と共に一郎の前に會して、觀傲嬉譔に長途の徒然を慰めつゝ在り。
(『冒険企業 聯島大王』明 20 p.347)

(5-84) 然らば此事我が敗れとなるべき見込みなりやと問ふに、亦爾思へる体にもあらざれば如何なる故にやあらんと人々只打訝りつゝあるに、彼の英領事廳内に

開かれたる最後の審問終りし日より第三日目の夜の事なりける、…（『冒険企業 聯島大王』明 20 p.381）

(5-85) …宛ながら昆崗の山を辿りて珠玉にても拾？んとする者の如く、甚だ得意の体に見えけれ？彼が奇異なる善行にも呆れ、又船長が物數奇にも呆れて一同窃かに目引袖引して打笑ひつゝありしが、各自格別仕出したる事もなくして他人の行為を尤めんも有繋なれば…（『冒険企業 聯島大王』明 20 p.390）

(5-86) 一同？入て臺に上り眺望好き所に榻を移して今かくと麥酒など打傾けつゝあるに、正午は過ぎて一時となり二時となれども入港の便船とは見えず。
（『冒険企業 聯島大王』明 20 p.394）

(5-87) …一同は却つて不安の心を生じ、アナ危し港内？既に碇泊船を以て充されたるに、斯く先走りて何れの方面にか入んとするぞ、暫しくと打危みつゝあるに、此くと知らざる強勇の健二は、何どか猶豫して本船に後れん、此ぞ我等大切の傷處、…（『冒険企業 聯島大王』明 20 p.401）

(5-88) ロッド「オヤオヤ……」と頻りに不審の加はるに付て？又随つて酔ひたる酒も醒めるに付ては又随つて不審の心の加？り来り、瞬きもせず陸地の形勢又？海上の模様なぞ打眺めつゝあるに、次第に船体の陸地へ向つて近づくに随ひ、高嶺に皚々たる残雪の光を視、…（『冒険企業 聯島大王』明 20 p.413）

5.4.2.2 明治 30 年代の各作品における「V ツツアル」の例文

続いて、明治 30 年代の例文の詳細を見ていく。

明治 30 年代の作品は『明治家庭小説集』からのものである。各作品は全 417 ページであり、「V ツツアル」の例文は合わせて 10 例が見られた。例文の詳細について次の通りである。

(5-89) 否大に各自其時代を追ふて進歩し改善しつゝあるやうに存じます。（『濱子』p.3）

(5-90) 固より父なる子爵が心附く限りではない。其は新医学博士として世に持囃さ

れ、別として小町田家に舊識の故を以て好遇せられつゝある、松波謙次郎に関してゝある。(『濱子』 p.14)

(5-91) 小菅が斯く思ひ、斯くしつゝ、自分一人が人間世界の大舞臺に踊る役者の如くに感じて、愈悪事の段取を進めつゝある間に、時として殆ど無意識ではあるが、闇にひらめく線香花火の如くに、其心中にちらりと輝くものを認めて、悸乎とする事もあつた。(『濱子』 p.37)

(5-92) 小町田家の掛人たる松波謙次郎が今纔かに自己の運命をトしつゝある間に、小町田濱子は、子爵の令嬢として、権勢ある自己の境遇の、頗る思ひに任せぬことを覚つた。(『濱子』 p.42)

(5-93) この夫人も妹の女教師も共に聖教會に籍を置く人で、クリスチアンとして云分のない淑女ですが、房江も今では此聖教會に籍を置き、眞實のクリスチアンとして、如何にすれば善良の婦人となるべきかを、日夜に神に祈つゝあるのです。(『乳姉妹』 p.96-97)

(5-94) さて昭信の負傷後十日ばかりを経、患者はますます佳良の経過を取りつゝある或日の事、君江は綻びかけた一輪の寒牡丹を、紫七宝の一輪挿しに活て、それを手に持つて、病室へ入つて来ましたが、寝たまゝに新聞に目を通して居た昭信は、…(『女夫波』 p.169)

(5-95) 二週間の終には昭信は床上するほどの輕快に向ひましたが、これと引かへに侯爵の容体はますます悪く、醫師の見込ではこの年の瀬を越すのが六ヶしからうといふので、今では侯爵家の人々も、侯爵の最後の次第に近よりつゝある事を告られたのでありました。(『女夫波』 p.171)

(5-96) かういふ有様の中に、先侯爵の百ケ日は次第に過ぎつゝあるのですが、一寸この間に書添て置たいのは、君江を戀慕ふ或一人の紳士の顯はれた事で、この紳士は陸軍出身で先頃まで倫敦の公使館附武官をして居たのですが、この程任務を終へて歸朝して居るのです。(『女夫波』 p.179)

(5-97) されど小生は飽くまでも御身が約束に忠實にして、小生の歸來を待ちつゝあるものなる事を信じ申候。(『女夫波』 p.196)

(5-98) この間何の記すべき事もありますが、たゞ東京の侯爵邸からは、時々婚禮の準備が着々整ひつゝある事を報じて来るのと、昭信からは二度ほど手紙があつて、最後の分には、豫定よりも二三日後れなければ、平磯へ出て来られぬといふ事のあつたゞけ位が、僅かに記すべき事柄たるに過ぎません。(『女夫波』 p.210)

上述の述べたように、(5-79) から (5-98) の例文は明治 20 年代と明治 30 年代の各文学作品から見つけた「V ツツアル」の用例である。明治 20 年代と明治 30 年代の文学作品において、「V ツツアル」の用例が見られたことで、当時、「V ツツアル」は日本語表現として使われていたことがうかがえる。また、作品の年代から見ると、日本語表現としての「V ツツアル」は一番早く現れたのが、明治 20 年の『冒険企業 聯島大王』であることがわかる。そのほか、明治初期と明治 10 年代の各作品において、「V ツツアル」の例文が見られなかったことで、「V ツツアル」は日本語表現として、当時、まだ使われていなかったことが推測される。また、「V ツツアル」の例文の数から見ると、明治二三十年代において、まだそんなに普及していないことが推察される。

5.4.3 明治の新聞における調査結果

今回のキーワード調査により、明治の新聞である『朝日新聞』と『読売新聞』から「V ツツアル」の例文は総計 24 例が見られた。そのうち、『朝日新聞』における「V ツツアル」の例文は総計 5 例あり、明治 10 年代の例文は 1 例であり、明治 30 年代の例文は 4 例である。一方、『読売新聞』における「V ツツアル」の例文は総計 19 例あり、明治 20 年代の例文は 4 例であり、明治 30 年代の例文は 15 例である。

しかしながら、明治期の『朝日新聞』と『読売新聞』ともに「見出し」というものがなかった。つまり、「見出し」というのは、検索のため、編集者らにより加えられたものである。したがって、キーワードによる検出された「V ツツアル」の例文が記事にはあるかどうかについて確認すべきである。確認した結果は、次の通りである。

明治の新聞である『朝日新聞』と『読売新聞』において、記事には、見出しと同じような「V

ツツアル」の例文は総計 20 例がある。つまり、見出しの例文には「V ツツアル」は使われていたが、記事には「V ツツアル」は用いられていなかった用例が 4 例ある。

とすると、新聞記事における例文の結果は、『朝日新聞』の記事における「V ツツアル」の例文は総計 4 例あり、すべて明治 30 年代の例文であった。その一方、『読売新聞』の記事における「V ツツアル」の例文は総計 16 例あり、明治 20 年代の例文は 1 例であり、明治 30 年代の例文は 15 例であった。(表 5-5 参照。「なし」はその年代にあたる例文がないことを意味する。また、「×」は見出しには「V ツツアル」が使われていたが、新聞の記事には用いられていなかったことを表す。そして、「○」は新聞の記事において、見出しと同じような「V ツツアル」の例文があることを表す。)

表 5-5 明治新聞におけるキーワード調査と本文内容調査の結果

年代	新聞	発行日	見出し例文	記事
明治 10 年代	朝日新聞	1879/2/15	同業中申し合わせを作りつつある	×
	読売新聞	なし	なし	なし
明治 20 年代	朝日新聞	なし	なし	なし
	読売新聞	1890/4/9	重傷のラーズ夫人の容体 少しずつ回復し傷口もふさがりつつある模様	×
		1891/9/26	地方病になりつつある九州の赤痢 中央衛生会・緒方正規が現地検察へ	×
		1891/10/28	〔社説〕両政党の合同について 接近しつつある自由党と改進黨	×
		1894/11/3	清国東方鉄道 満州吉林までの測量を終え工事進行しつつあり	○
明治 30 年代	朝日新聞	1903/1/25	…全市海中に陥りつつあり…	○
		1903/8/29	…是は本年の夏米国紐育市マヂソン、スクエア、ガーデンの芝居小屋にて同場女優が日本の服装にて楽劇「おとよ」を演じ市人の好評を受けつつありしものなり…	○
		1904/10/19	…六月以来旅順背面陸戦重砲隊に指揮として特別任務に従事しつつある 海軍中佐 黒井悌次郎氏	○
		1905/8/28	…樺太北部軍将にアルコフに上陸せんとし先づ軍艦より陸上を砲撃し其端艇を下ろして上陸に着手しつつある光景…	○
	読売新聞	1897/5/26	〔社説〕進歩党は何をなしつつあるのか 弱体内閣の監視役こそ責務	○
		1898/4/1	〔社説〕外務当局者は何を為しつつあるや	○
		1899/1/11	〔葉がき集〕江原素六翁が寒中に白の洋傘を指して坂を降りつつあった、ほか	○
		1900/7/12	〔社説〕日本赤十字社は何をなしつつあるか 病院船不足／芝罘途上基隆丸で 5 日	○
		1900/8/2	〔投書〕葉がき集＝列国連合軍は何をしつつあるのか(斎翁)ほか	○
		1901/4/14	〔公德の養成〕＝ 9 9 豪傑肌の今なお流行しつつあること(連載)	○
		1901/8/11	〔広告〕本社は停止処分なく益々業務拡張をしつつあり／内国生命保険株式会社	○
		1903/2/10	京釜京仁両鉄道の合併成る 社債は日本財界が順	○

			調に向かいつつあり内地募集が主…	
	1904/10/30	ああロシア	ロシアの専制政体はすでに慢性的死期に近付きつつある	○
	1905/3/13	追撃続報・敵軍殲滅	奉天付近は清掃に努めつつあり／3月11日大本営着電	○
	1905/3/13	家主の義心	出征軍人の家族家賃を無代価にして家計を扶助しつつある	○
	1905/4/3	〔はがき集〕	新橋停車場に憐れなる傷病者は続々と環送されつつあり	○
	1906/6/15	評論の評論	蚕が馬を蚕食しつつある事実▽一言・日本式ローマ字／田丸卓郎	○
	1906/6/17	英国海軍演習が、	今や最も活発に進行しつつあり	○
	1906/12/18	〔社説〕	変化しつつある清国 生氣を得て活動する兆し	○

表 5-5 から見ると、二種の新聞記事を合わせて、明治 20 年代の「V ツツアル」の例文がわずか 1 例しかないであるが、このことによって、明治の新聞における日本語表現としての「V ツツアル」は一番早く現れたのが 1894 年（明治 27）の朝刊であることがわかる。また、明治初期と明治 10 年代の新聞記事において、「V ツツアル」の例文が見られなかったことで、当時、日本語表現としての「V ツツアル」が使われていなかったことが推測される。そして、明治 20 年代に入って、日本語表現としての「V ツツアル」の例文が見出されたが、例文の数がわずか 1 例しかないため、当時日本語表現としての「V ツツアル」がまだあまり普及していなかったことが推察される。

そのほか、筆者は、二種の明治新聞における明治 40 年代の「V ツツアル」の使用状況についても、キーワードによって調査した上で、それら例文は記事にはあるかどうかを調べた。調査した結果は、『朝日新聞』の記事における「V ツツアル」の例文が総計 18 例あり、『読売新聞』の記事における「V ツツアル」の例文が総計 31 例ある。（表 5-6 参照）

表 5-6 明治の新聞記事における「V ツツアル」の例文状況

年代	新聞	例文数	総数
明治 20 年代	朝日新聞	1	1
	読売新聞	0	
明治 30 年代	朝日新聞	4	19
	読売新聞	15	
明治 40 年代	朝日新聞	18	49
	読売新聞	31	

表 5-6 の総数から見ると、明治 40 年代の「V ツツアル」の例文は明治 20 年代や明治 30 年代より圧倒的に多かったことがわかる。また、明治 40 年代の年数は明治 20 年代や明治 30 年代より少ないのに、「V ツツアル」の例文がかえって多かったことで、「V ツツアル」は日本語表現としてだんだん普及しつつあることがうかがえる。

5.5 まとめ

以上の 5.4.1、5.4.2、5.4.3 の調査により、各資料における「V ツツアル」の出現状況を確認してきた。ここで、5.4.1、5.4.2、5.4.3 の資料における「V ツツアル」の初出ものをまとめて見ていく。(表 5-7 参照)

表 5-7 5.4.1、5.4.2、5.4.3 の各資料における「V ツツアル」の初出状況

調査資料	初出の資料	初出の年	内容
英学資料	『英和対訳袖珍辞書』	1870 年 (明治 3)	抜テ出来ツヽアリ或ハ有様ガ成立チツヽアル
明治文学全集	『冒険企業聯島大王』	1887 年 (明治 20)	四の海我が兄弟とは言ひながら宿世怪しき縁にこそ、如何して斯くはと、我身から先づ怪まるゝ迄に相思はれつゝありしに、待ぬ日は早く来て生憎に我受取るべき軍艦も各部の検査全く終り、今日こそ愈々出帆といふ期に迫りければ
新聞	『読売新聞』朝刊	1894 年 (明治 27)	清国東方鉄道 満州吉林までの測量を終え工事進行しつつあり

表 5-7 を見ると、「V ツツアル」は、翻訳表現として初めて使われたのは 1862 である一方、日本語表現として初めて使われたのは 1887 年である。つまり、「V ツツアル」は、まず、翻訳表現として使われ、その後日本語表現として使われるようになったことがうかがえる。また、三種類の資料における「V ツツアル」の初出の年を見ると、「V ツツアル」は、翻訳表現として使われ、かなり時間が経ってから、日本語表現として使われ始めてきたと考えられる。

そのほか、明治新聞における各年代の「V ツツアル」の例文数から見ると、明治 20 年代はまだあまり使われていないのに、明治 30 年代に入り、例数が 20 年代よりかなり増えてきて、明治 40 年代に入り、さらに増加していく傾向が見られる。

以上、「V ツツアル」は英語の進行形「be+Ving」にあたる翻訳表現であること及び「V ツツアル」は日本語表現としての使用傾向について考察した。

第六章 明治の英語読本における「V ツツアル」の用法の分析・考察

第五章では、英文典など資料を利用し、「V ツツアル」は英語の進行形にあたる翻訳表現であること及び「V ツツアル」の日本語表現としての使用傾向について考察した。近代語における「V ツツアル」は、まず、翻訳表現として使われ、その後日本語表現として使われるようになったことがわかる。また、英語の進行形「be+Ving」にあたる日本語訳は「V ツツアル」のみならず、「V テアル」という訳も存在していたことが明らかになった。この結果によって、近代語の「V ツツアル」の用法を明らかにするため、英語の進行形「be+Ving」の用法を分析する必要があることが推察される。言うまでもないが、英語の進行形には時制があり、英語の進行形「be+Ving」の用法を分析する際に、時制ごとの例文を集める必要があると考えられる。しかしながら、英文典から見つけた英語の進行形の例文だけによれば、不十分である。そこで、筆者は、明治期の英語読本を利用し、できる限り英語の進行形「be+Ving」の例文とそれぞれの日本語訳を見出して、分析・考察を行うことを通し、英語の進行形「be+Ving」と日本語の「V ツツアル」の関係をさらに明らかにし、翻訳表現としての「V ツツアル」の用法を究明する。

第二章の先行研究で述べたように、八木下（2018）では、英語読本である『New National 1st Reader』、『New National 2nd Reader』、『New National 3rd Reader』を利用し、英語の進行形の時制ごとの訳のパターンについて調査した。しかし、使用した英語読本の種類は1種類のみで、その訳本も1種類のみを用いている。この結果に説得力を増すように、複数の英語読本を利用するとともに、同じ読本の複数訳本を使用し、調査すべきではないかと考える。そこで、筆者は、代表的な五つの英語読本（6.1 参照）から三つを選んで、各読本の訳本が二つずつを利用して、英語の進行形時制表現の例文とそれぞれの日本語訳についての調査を行うことにする。英語読本とそれぞれの訳本の詳細について 6.3.2 の調査対象で紹介する。

6.1 英語教科書について

本調査に入る前に、日本における英語教科書史の時代区別について簡単に見ていきたい。

まず、英語教科書の意義と変遷については、『教材事典—教材研究の理論と実践』で、「教科書は学習者にとっては学習する内容であり、将来心の糧となるものである。一方教師にとっても指導すべき内容であり、指導すべき手段である。英語教育においても時代や社会、教育観、言語観によって大きく変わってきた」と述べている。

次に、日本における英語教科書史の時代区別を概観する。日本の英語教科書史は、英米からの舶来教科書から始まった。英語教科書史の時代区分は従来からさまざまに試みられてきたが、

本発表では『日本の英学一〇〇年 明治編』の英語教科書史の時代区分を引用しておく。『日本の英学一〇〇年 明治編』では、英語教科書の歴史の区分については、次のような三期に分けられている。第一期は、明治初年から 18 年頃までで、舶載本時代¹⁰と、第二期は、明治 18 年頃から 30 年までで、翻刻本時代¹¹と、第三期は、明治 30 年以後で、邦刊本時代¹²と呼ばれている。(日本における英語教科書史の時代区別に関しては、『日本の英学一〇〇年 明治編』と『教材事典—教材研究の理論と実践』ともに、舶載本時代、翻刻本時代、邦刊本時代の三つの時代に分けている。各時代についての説明は『教材辞典—教材研究の理論と実践』によるものである。)

続いて、今回の調査に関係するのはリーダーであるため、ここで英米からの代表的な舶来リーダーを紹介しておく。小篠他(2004)によれば、舶載本時代では、代表的な舶来リーダーは National と、Swinton、Union、Willson、Longman の五つである。また、小篠他(2004)は、代表的な五つの舶来リーダー用訳注書の年次ごとの刊行状況について調査した。結果は、344 点の訳注書のうち、National が 180 点(52.4%)で他を圧倒し、Swinton56 点(16.3%)、Union39 点(11.3%)、Willson38 点(11.0%)、Longman31 点(9.0%)と続いている。

6.2 明治期の英文典における進行形の分類

今回の調査では、英語の進行形の時制表現(現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形、過去完了進行形、未来完了進行形)の例文とそれぞれの日本語訳を見出すため、まず、明治期の英語の「be+Ving」の時制表現について明確する必要がある。そこで、筆者は、『古典籍総合データベース』(早稲田大学)を利用し、明治期における代表的な英文典の『ピネヲ氏原板英文典直訳』と、『格賢勃斯英文典直訳』と、『通俗英文典』の三つを取り上げ、明治期における英語の「be+Ving」の時制表現についてどのように述べているかを確認する。具体的には、『古典籍総合データベース』を利用し、オンラインでそれぞれ英文典の PDF ファイルを閲覧し、英語の「be+Ving」にあたる部分をダウンロードして再閱讀した。

6.2.1 『ピネヲ氏原板英文典直訳』

『ピネヲ氏原板英文典直訳』の詳細については、5.4.1.5 を参照していただきたい。

¹⁰ 舶載本時代：アメリカやイギリスの原書をそのまま取り寄せて使っていた時代である。内容は語学のみならず数学、地理、歴史などあらゆる分野にわたっている。官立学校では生徒の数だけ購入して貸与していた。(p.405)

¹¹ 翻刻本時代：外国の教科書が復刻版として日本で印刷され、それらを使った時代である。1902(明治 35)年の中学校教授要目では、『ナショナル読本』、『ロングマンズ読本』、『スウイントン読本』の「第 1 巻又は第 2 巻の初程度」と目標を定めている。内容は難しいので「独案内」や「独学び」のような虎の巻が巷に出回った。(p.405)

¹² 邦刊本時代：日本人による英語教科書が出版されるようになった時代。斎藤秀三郎(1866~1929)、神田乃武(1857~1923)、井上十吉(1862~1929)、津田梅子(1864~1924)などの教科書が出版された。(p.405)

『ピネヲ氏原板英文典直訳』では、英語の進行形の時制表現及び現在分詞について、「分詞法或ハ分詞」の項で、「現在 愛シツハ」と記されている。また、「分詞法或ハ分詞」の項の備考三で、次のような翻訳表現が見られた。

ツービーナル動詞ガ 時トシテハ 其レノ時ヲ 形作ル 為ニ 動詞 ノ 現在
分詞ト 与ニ 用ヒ ラルハ 次ノ物ノ 通り：

直説法¹³

現在	余ハ	愛シテ	アル
第一ノ過去	余ハ	愛シテ	アリシ
第二ノ過去	余ハ	愛シテ	アツ タ
第三ノ過去	余ハ	愛シテ	アツ タリシ
第一ノ未来	余ハ	愛シテ	アル デアロヲ
第二ノ未来	余ハ	愛シテ	アツ タ デアロヲ

成就法¹⁴

現在	余ハ	愛シテ	アル	能フ
第一ノ過去	余ハ	愛シテ	アリ	能ヒシ
第二ノ過去	余ハ	愛シテ	アリ	能フ タ
第三ノ過去	余ハ	愛シテ	アリ	能フ タリシ

疑問法¹⁵

現在	若モ	余ガ	愛シテ	アル	ナラバ
----	----	----	-----	----	-----

以上は、『ピネヲ氏原板英文典直訳』で見られた英語の進行形の時制表現及び現在分詞の説である。この内容によって、『ピネヲ氏原板英文典直訳』における英語の進行形の時制表現が「現在」、「第一ノ過去」、「第二ノ過去」、「第三ノ過去」、「第一ノ未来」、「第二ノ未来」の六つがあることがわかる。

¹³ 直説法ハ 著ハスヲ 乃至 指示スヲ ニ向テ 用ヒ ラルハ。

¹⁴ 成就法ハ 何カ 出来ベキヲ 自由 責メ 職掌 必要 傾キ 決定ヲ 表ス。

¹⁵ 疑問法ハ 疑或 或約束ヲ 表ス 而シテ 他ノ 動詞 ニ 附ケ添ヘ ラルハ。

6.2.2 『格賢勃斯英文典直訳』

『格賢勃斯英文典直訳』の詳細については、5.4.1.6 を参照していただきたい。

『格賢勃斯英文典直訳』では、英語の進行形の時制表現及び現在分詞に関しては、『格賢勃斯英文典直訳巻之下』の第五十五ノ課で、以下のように述べている。

如何ナル働詞ガ進ミ行キノ形チ造リヲ持タヌカ 働詞其レノ単ナル形チ造リガ續キヲ
顯ス所ノ『働詞』ガ love、remember ノ如シ 両数ニ於テ総テノ人称ヲ与ヘツハ
RULE、ナル働詞ノ進ミ行キノ形チ造リヲ述ベヨ。進ミ行キノ形チ造リハ、

直説法

現在	I am ruling, thou are ruling, he is ruling
半過去	I was ruling, thou wast or wert ruling
過去	I have been ruling, thou hast been ruling
大過去	I had been ruling, thou hadst been ruling
第一未来	I shall or will be ruling, thou shalt or wilt be ruling
第二未来	I shall or will have been ruling

許可法

現在	I may, can, must, or need be ruling
半過去	I might, could, would, or should be ruling
過去	I may, can, must, or need have been ruling
大過去	I might, could, would, or should have been ruling

附属法

現在	If I be ruling. If thou be ruling
半過去	If I was ruling. If thou were ruling

使令法

現在	Be thou ruling or do thou be ruling
----	-------------------------------------

不定法

現在 To be ruling 過去 To have been ruling

分詞

現在 Ruling 組立過去 having been ruling

以上は、『格賢勃斯英文典直訳』で見られた英語の進行形の時制表現及び現在分詞の説明である。この内容によって、『格賢勃斯英文典直訳』における英語の進行形の時制表現が、「現在」、「半過去」、「過去」、「大過去」、「第一未来」、「第二未来」の六つがあることがわかる。

6.2.3 『通俗英文典』

『通俗英文典』の詳細については、5.4.1.7 を参照していただきたい。

『通俗英文典』では、「be+Ving」の時制表現に関しては、『通俗英文典下』の「分詞法又分詞」の項で、「現在 愛シツゝ」と記されている。また、「分詞法又分詞」の項の備考第三では、次のように述べている。

The verb to be is sometimes used with the present participle of a verb to form its tenses, as follows: (to be ナル動詞 時トシテハ 夫ノ 時ヲ 形作ル ベク 動詞ノ 現在分詞ト トトモニ 用ヒ ラル、次ノ者ノ 通り：)

Indication

直説法

Pres,	I am loving
現在	余ハ 愛シツゝ アル
1st Past,	I was loving
第一過去	余ハ 愛シツゝ アリシ
2d Past,	I have been loving
第二過去	余ハ 愛シツゝ アツ タ
3d Past,	I had been loving
第三過去	余ハ 愛シツゝ アツ タリキ
1st Future,	I shall be loving
第一未来	余ハ 愛シツゝ デアロヲ
2d Future,	I shall have been loving

第二未来 余ハ 愛シツヽ アツ タ デアロヲ

Potential

成就法

Pres, I can be loving.

現在 余ハ 愛シツヽ アリ 能フ

1st Past, I could be loving.

第一過去 余ハ 愛シツヽ アリ 能ヒシ

2d Past, I can have been loving.

第二過去 余ハ 愛シツヽ アリ タ 能フ

3d Past, I could have been loving.

第三過去 余ハ 愛シツヽ アリ タリシ 能フ

Subjunctive

疑問法

Pres, If I am loving;

現在 若ナラバ 余ハ 愛シツヽ アル;

以上は、『通俗英文典』で見られた英語の進行形の時制表現及び現在分詞の説明である。この内容によって、『通俗英文典』における英語の進行形の時制表現が、「現在」、「第一過去」、「第二過去」、「第三過去」、「第一未来」、「第二未来」の六つがあることがわかる。

6.2.4 まとめ

ここまで、三つの英文典における進行形「be+Ving」の時制表現についての説明は、別々に述べてきた。ここで、三つの英文典における進行形「be+Ving」の時制表現についての説明をまとめてみる。まとめた結果は、以下の表 6-1 のようになった。（「×」はそれぞれの項目がないことを意味する）

表 6-1 明治期の英文典における進行形の時制表現

英文典	進行形時制表現	英語
『ピネヲ氏原板英文典直訳』	現在	×
	第一ノ過去	×
	第二ノ過去	×
	第三ノ過去	×
	第一ノ未来	×
	第二ノ未来	×
『格賢勃斯英文典直訳』	現在	am/are +Ving
	半過去	was/were +Ving
	過去	have/has been +Ving
	大過去	had been +Ving
	第一未来	shall/will be +Ving
	第二未来	shall/will have been +Ving
『通俗英文典』	現在	am +Ving
	第一過去	was+Ving
	第二過去	have been +Ving
	第三過去	had been +Ving
	第一未来	shall be +Ving
	第二未来	shall have been +Ving

表 6-1 を見ると、三つの明治期における英文典の進行形の時制表現についての呼び方が異なっているが、全部で六つあることがわかる。『ピネヲ氏原板英文典直訳』はすべて日本語で書かれているので、進行形の時制表現ごとの英語表現が確認できないが、『格賢勃斯英文典直訳』と『通俗英文典』における進行形の時制表現ごとの英語表現から見ると、呼び方が統一されていないが、表している英語表現が同じであることがわかる。また、明治期における英語の進行形の時制表現についての呼び方は、どちらも現代ではあまり使われていない。したがって、便宜上、英語の進行形の時制表現の呼び方を統一するために、現代英語における進行形「be+Ving」の時制表現の呼び方にすると必要があると考え。そこで、筆者は、以下の杉山（1998）『英文法詳解』と、中原（1999）『新訂増補 マスター英文法』と、中村訳（2015）『実用英文典』の三つの現代英文法書を利用し、それら英文法書における進行形「be+Ving」の時制表現について、どのように説明しているかを調査した。調査した結果は、以下の表 6-2 のようになった。

表 6-2 現代英文法書における「be+Ving」の時制表現

英文法詳解		マスター英文法		実用英文典	
現在進行形	be +・ing	現在進行形	is(am) +・ing	現在進行形	am(are) +・ing
過去進行形	was(were) +・ing	過去進行形	was(were) +・ing	過去進行形	was(were) +・ing
未来進行形	will(shall) be +・ing	未来進行形	will(shall) be +・ing	未来進行形	will(shall) +・ing
現在完了進行形	have(has)been +・ing	現在完了進行形	have(has)been +・ing	現在完了進行形	have(has)been +・ing
過去完了進行形	had been +・ing	過去完了進行形	had been +・ing	過去完了進行形	had been +・ing
未来完了進行形	will(shall)have been +・ing	未来完了進行形	will(shall)have been +・ing	未来完了進行形	will(shall)have been +・ing

表 6-2 を見ると、現代英文法書における進行形「be+Ving」の時制表現については、明治期と同じように六つあることと、現代英文典における「be+Ving」の時制表現の呼び方が統一されていることがわかる。表 6-1 と表 6-2 とを一緒に見ると、現代英語の「現在進行形」は明治期の「現在」にあたり、現代英語の「過去進行形」は明治期の「半過去（第一過去）」にあたり、現代英語の「未来進行形」は明治期の「第一未来」にあたり、現代英語の「現在完了進行形」は明治期の「過去（第二過去）」にあたり、現代英語の「過去完了進行形」は明治期の「大過去（第三過去）」にあたり、現代英語の「未来完了進行形」は明治期の「第二未来」にあたり、現代英語の「be+Ving」の時制表現の呼び方については、現代英語の呼び方を、つまり現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形、過去完了進行形、未来完了進行形を使用し、分析していく。

6.3 明治期の英語読本における進行形「be+Ving」とその日本語訳に関する調査

6.3.1 調査目的

この調査では、明治の英語読本において、英語の進行形時制表現（現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形、過去完了進行形、未来完了進行形）について、英語の「be+Ving」の部分が日本語にどのように翻訳されているかを明らかにする。また、調査の結果に基づいて、英語の「be+Ving」の翻訳パターンについて考察し、そして、英語の進行形「be+Ving」の用法を考察することを通し、翻訳表現としての「V+ツツアル」の用法を明らかにする。

6.3.2 調査対象

調査対象の選択は、小篠他（2004）に従った（6.1 英語教科書）。代表的な舶来リーダーは五つあるが、調査量と時間との関係から、小篠他（2004）の調査した結果に従い、一番目の National と五番目の Longman とを選択し、残り三つの中から二番目である Swinton を選んだ。

6.3.2.1 調査対象の選び方

『国立国会図書館デジタルコレクション』による。正則であるかどうかを問わず、三つの英語読本の直訳本の状況は次の通りである。

まず、National について、第一リード独案内の直訳は 21 点あり、第二リード独案内の直訳は 19 点あり、第三リード独案内の直訳は 20 点あり、第四リード独案内の直訳は 10 あり、第五リード独案内の直訳は 6 点ある。

次に、Longman について、第一リードル独案内の直訳は 8 点あり、第二リードル独案内の直訳は 5 点あり、第三リードル独案内の直訳は 12 点あり、第四リードル独案内の直訳は 9 点あり、第五リードル独案内の直訳は 2 点ある。

最後に、Swinton について、第二リードル独案内の直訳は 4 点あり、第三リードル独案内の直訳は 2 点あり、第四リードル独案内の直訳と第五リードル独案内の直訳は 1 点ずつある。

以上の直訳点数から、3 種の英語読本の訳文は数多くあることがわかる。ここでは、まず、毎読本に対する直訳が 2 点以上の必要があるので、三つの英語読本の直訳点数から見ると、各英語読本の第二リードル独案内及び第三リードル独案内が条件に合う。また、Swinton の第三リードル独案内の直訳は 2 点あるが、どちらも日本語訳のみであった。つまり、英語の原文がなかった。今回の調査の目的の一つとしては、英語読本から進行形「be+Ving」の例文を見出すことであるので、英語の原文がないものは適当ではない。以上の理由で、今回は三つの英語読本の第二リードル独案内を調査対象とした。三つの英語読本の第二リードル独案内についての直訳は数多くあるが、ここでは、できる限り古い訳を取り上げ、その上で、原文と訳文とを対比しやすいために、なるべくすべての原文に一对一の対応で訳がつけられ、訳を読む順番が数字で表記されているものを利用した。

6.3.2.2 調査対象の詳細

調査対象の詳細に関しては、次の通りである。

- ① 『New National 2nd Reader』（原文）と、その訳文である、小野田金弥訳『正則ニューナショナル独案内：第二リードル』（1886）、森修一訳『正則ニューナショナル 第二リードル独案内』（1886）を用いる。

『New National 2nd Reader』は 56 課で構成されている。長い文章が多い。小野田金弥訳（1886）『正則ニューナショナル独案内：第二リードル』は、横書きで、英語の原文に一对一で日本語訳と英語の上に英単語の読みがつけられ、訳を読む順番がローマ数字で表記されている。また、訳文は、漢字、カタカナ、合字で表記されている。練習なしで全 208 ページである。一方、森修一訳（1886）『正則ニューナショナル 第二リードル独案内』は、横書きで、英語の原文に一对一で日本語訳がつけられ、訳を読む順番が漢数字で表記されている。また、訳文は、漢字、カタカナ、合字で表記されている。練習ありで全 295 ページである。

- ② 『Longmans' The Second Reader for Standard II』（原文）と、その訳文である、伊

藤良蔵訳『正則ロングマンズニューリーダー 第二独案内』(1887)、若林謙吉訳『ロングマンズ氏 ニュー第二リードル独案内』(1887)を用いる。

『Longmans' The Second Reader for Standard II』は45章で構成されている。長い文章が多いである。伊藤良蔵訳(1887)『正則ロングマンズニューリーダー 第二独案内』と、若林謙吉訳(1887)『ロングマンズ氏 ニュー第二リードル独案内』は、ともに横書きで、英語の原文に一对一で日本語訳と英語の上に英単語の読みがつけられ、訳を読む順番が漢数字で表記されている。訳文は、漢字、カタカナ、合字で表記されている。また、伊藤良蔵訳は文法項目なしで全197ページであり、若林謙吉訳は文法項目ありで全255ページである。

- ③ 『Swinton's Primer and Second Reader』(原文)と、その訳文である、野口繁治訳『スウキンソン氏 第二リードル独案内』(1887)、植田栄挿訳『スウキンソン氏 第二リードル独案内』(1887)を用いる。

『Swinton's Primer and Second Reader』は65課で構成されている。長い文章が多い。野口繁治訳(1887)『スウキンソン氏 第二リードル独案内』は、横書きで、英語の原文に一对一で日本語訳と英語の上に英単語の読みがつけられ、訳を読む順番がローマ数字で表記されている。また、訳文は、漢字、カタカナ、合字で表記されている。練習ありで合計280ページである。一方で、植田栄挿訳(1887)『スウキンソン氏 第二リードル独案内』は、横書きで、英語の原文に一对一で日本語訳と英語の上に英単語の読みがつけられ、訳を読む順番が漢数字で表記されている。また、訳文は、漢字、カタカナ、合字で表記されている。練習なしで全181ページである。

調査結果に説得力を増すように、調査する際には、文法及び練習における進行形の例文は集計対象外にし、訳文のみを利用することに統一する。

6.3.3 調査方法

調査の方法については、『国立国会図書館デジタルコレクション』からそれぞれ調査対象のPDFファイルをダウンロードして閲覧した。具体的には、三つの調査対象から英語の「be+Ving」の部分抜き出し、それに相当する訳を収集し、英語の「be+Ving」に関する部分の訳文を分析した。そして、英語の進行形「be+Ving」の用法を考察することを通し、それに相当する日本語訳の用法を明らかにする。

用例の分析にあたり、英語の進行形時制表現で分類をする。英語の進行形時制表現については、6.2 で述べたように、現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形、過去完了進行形、未来完了進行形の六つの時制で分類した。この分類に基づき、それぞれの分類でどのぐらいの例文があるか、また、どのような訳がなされているかを分析する。

6.3.4 調査結果

今回の調査対象には、すべて横書きで、原文に一对一の対応で日本語訳と英語の上に英単語の読みがつけられ、訳を読む順番が漢数字あるいはローマ数字で表記されている。見やすさのために、用例においては、ルビは省略し、訳文は読む順番に従い、改めている。また、合字について、できる限り元のまを保留する。

6.3.4.1 『New National 2nd Reader』についての調査結果

まず、『New National 2nd Reader』についての調査結果を見ていく。

『New National 2nd Reader』における進行形「be+Ving」の例文は全部で 26 例あり、そのうち、現在進行形は 10 例、過去進行形は 14 例、現在完了進行形と過去完了進行形の例文は 1 例ずつである。以下に例を時制ごとに 3 例ずつ挙げる。現在完了進行形と過去完了進行形の例文は共に 1 例のみであるので、それを挙げる。(下線と括弧内の進行形時制表現は筆者がつけたものである)

(6-1) I'm always making honey. (現在進行形)

森修一訳：私ハ 蜂蜜ヲ 常ニ 作リツヽ アル。

小野田金弥訳：私ハ 常ニ 蜜ヲ 作リツヽ アル。

(6-2) See, John, how fast the moose is running! (現在進行形)

森修一訳：見ヨ ジョンヨ 如何ニ 速カニ 鹿ガ 走リツヽ アルヨ。

小野田金弥訳：見ヨ (男子ノ名) ヨ 如何ニ 速カニ 鹿ガ 走リツヽ アルヨ。

(6-3) See, Its head is coming out of the shell. (現在進行形)

森修一訳：見ヨ 其レノ 頭ガ 殻 カラ 出デツヽ アル。

小野田金弥訳：見ヨ 其レノ 頭ガ 貝 カラ 出デ来リツヽ アル。

- (6-4) One time when Frank was going to school, he found a poor little bird in the grass. (過去進行形)

森修一訳：或ル 時 フランクガ 學校ニ 迄 往キツ、アリシ 時ニ 彼レガ 可憫ナル 小サキ 鳥ヲ 草ノ 中ニ 見出セシ。

小野田金弥訳：或ル 時 (男兒ノ名)ガ 學校ニ マデ 行キツ、アリシ トキ 彼ガ 草ノ 内ニ 憫レナル 小サキ 鳥ヲ 見出セシ。

- (6-5) Yes, it saw that you were going to touch it. (過去進行形)

森修一訳：然リ 其レハ 汝ガ 其レニ 觸レル 可ク 往キツ、アリシ 事ヲ 見シ。

小野田金弥訳：然リ 然リ 其レハ 汝ガ 其レニ 觸ル 可ク 行キツ、アリシ コトヲ。

- (6-6) While Frank and Ned were looking on, one of the sheep got away, and ran out of the brook. (過去進行形)

森修一訳：フランクト ソウシテ ネットダガ 傍觀シツ、アリシ 間ニ 羊ノ 一ツガ 逃ガレシ ソウシテ 小川 ノ 外ニ 走リシ。

小野田金弥訳：(男子ノ名) 及ヒ (男子ノ名)ガ 視ツ、アリシ 間ニ 羊 ノ 一ガ 逃ゲシ 而シテ 小河 ノ 外ニ 走リシ。

- (6-7) Has she been eating too much? (現在完了進行形)

森修一訳：彼女ガ 餘リ ヨリ多ク 食ヒツ、有ツ タカ。

小野田金弥訳：彼女ハ 余リ 多ク 食ヒツ、アツ タカ。

- (6-8) The dogs knew very well what we were after, for they had been deer hunting before. (過去完了進行形)

森修一訳：犬ガ 物夫レハ 我々ハ 後ニ アリシ ㊦ヲ 甚ダ 能ク 知リシ 如何ナレバ 彼等ガ 以前 鹿 カリシツ、有リ タ故ニ。

小野田金弥訳：犬ガ 我等ガ 後ニ アリシ コトヲ 甚ダ 好クトコロノ

知リシ 彼等ガ 前ニ 鹿狩リニ アツ タリシ 故ニ。

6.3.4.1.1 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況

続いて、『New National 2nd Reader』における英語の進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況について見ていく。(表 6-3 参照。「×」は、それぞれにあたる項目がないことを意味する。)

表 6-3 National における英語の進行形「be+Ving」の日本語訳の状況

時制表現	訳者	訳	例数
現在進行形	森修一	V+ツゝアル	10
	小野田金弥	V+ツゝアル	10
過去進行形	森修一	V+ツゝアリシ	14
	小野田金弥	V+ツゝアリシ	14
未来進行形	森修一	×	×
	小野田金弥	×	×
現在完了進行形	森修一	V+ツゝアツタ	1
	小野田金弥	V+ツゝアツタ	1
過去完了進行形	森修一	V+ツゝ有リタ	1
	小野田金弥	Vニアツタリシ	1
未来完了進行形	森修一	×	×
	小野田金弥	×	×

表 6-3 を見ると、『New National 2nd Reader』における「be+Ving」の例文の時制表現にあたる日本語訳については、以下のようになっている。(以下、分析中では、森修一訳は森と、小野田金弥訳は小野田と略する)

- ① 現在進行形の例文(計 10)に関する日本語訳については、森と小野田ともに「V+ツゝアル」と訳している。つまり、『New National 2nd Reader』においては、日本語の「V+ツツアル」は、英語の現在進行形の訳としてパターン化されていたといえる。
- ② 過去進行形の例文(計 14)に関する日本語訳については、森と小野田ともに「V+ツゝアリシ」と訳している。つまり、『New National 2nd Reader』においては、日本語の「V+ツツアリシ」は、英語の過去進行形の訳としてパターン化されていたといえる。
- ③ 現在完了進行形と過去完了進行形はともに 1 例のみ現れているが、例文の数が少ないので、それぞれに相当する日本語の訳がパターン化されていたかどうかについてははっきりとはわからない。

6.3.4.1.2 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察

以上、『New National 2nd Reader』における英語の進行形「be+Ving」の日本語訳の状況について考察した。ここで、各時制表現の例文を 3 例ずつ挙げて、『New National 2nd Reader』

における英語の進行形「be+Ving」の翻訳パターンについて詳しく分析していく。

(6-9) (= (6-1))

I'm always making honey. (現在進行形)

森修一訳：私ハ 蜂蜜ヲ 常ニ 作リツゝ アル。

小野田金弥訳：私ハ 常ニ 蜜ヲ 作りツゝ アル。

(6-9) の森と (6-9) の小野田では、make の訳「作ル」に「ツゝアル」が下接した「作りツゝアル」となっている。

(6-10) (= (6-2))

See, John, how fast the moose is running! (現在進行形)

森修一訳：見ヨ ジョンヨ 如何ニ 速カニ 鹿ガ 走りツゝ アルヨ。

小野田金弥訳：見ヨ (男子ノ名) ヨ 如何ニ 速カニ 鹿ガ 走りツゝ アルヨ。

(6-10) の森と (6-10) の小野田では、run の訳「走ル」に「ツゝアル」が下接した「走りツゝアル」となっている。

(6-11) The boys are going to play ball, and I told them I would play with them.

(現在進行形)

森修一訳：小童ガ 玉ヲ 遊ブ ベク 行キツゝ アル 而シテ 私ガ
彼等ト 共ニ 遊ブデ アロウヲ 私ハ 彼等ニ 咄セシ。

小野田金弥訳：男兒ガ 球ヲ 遊ブ 可ク 行キツゝ アル 而シテ 私ハ
彼等ニ 話セシ 私ガ 彼等ト 共ニ 遊ブデ アロウト。

(6-11) の森と (6-11) の小野田では、go の訳「行ク」に「ツゝアル」が下接した「行キツゝアル」となっている。

(6-12) (= (6-4))

One time when Frank was going to school, he found a poor little bird in the

grass. (過去進行形)

森修一訳：或ル 時 フランクガ 學校ニ 迄 往キツ、 アリシ 時ニ 彼レ
ガ 可憫ナル 小サキ 鳥ヲ 草ノ 中ニ 見出セシ。

小野田金弥訳：或ル 時 (男兒ノ名)ガ 學校ニ マデ 行キツ、 アリシ ト
キ 彼ガ 草ノ 内ニ 憫レナル 小サキ 鳥ヲ 見出セシ。

(6-12) の森と (6-12) の小野田では、go の訳「往／行く」に「ツ、 アリシ」が下接した
「往／行キツ、アリシ」となっている。

(6-13) They were still looking for pigs. (過去進行形)

森修一訳：彼等ガ 尚ホ 豚等ノ 為スニ 眺メツ、 アリシ。

小野田金弥訳：彼等ガ 尚ホ 豕ニ 向ツテ 見ツ、 アリシ。

(6-13) の森では、look の訳「眺メル」に「ツ、アリシ」が下接した「眺メツ、アリシ」と
なっている。そして、(6-13) の小野田では、look の訳「見ル」に「ツ、アリシ」が下接した
「見ツ、アリシ」となっている。

(6-14) Our horses, too, seemed to know why the dogs were barking, and
started to run after them as fast as they could go. (過去進行形)

森修一訳：我々ノ 馬ガ 亦 何故ニ 犬ガ 吠ヘツ、 アリシ カラ
知ル ベク 見ヘシ 而シテ 彼等ガ 行キ 能フ 丈ケ 其レ
丈ケ 後ニ 走ル ベク 出立セシ。

小野田金弥訳：我等ノ 馬モ 亦 ナゼ 犬ガ 吠ヘツ、 アリシカラ
知ル 可ク 見ヘシ 而シテ 彼等ガ 行キ 能ヒシ ダケ
其レダケ 速カニ 彼等ノ 後 走ル 可ク 出發セシ。

(6-14) の森と (6-14) の小野田では、bark の訳「吠ヘル」に「ツ、アリシ」が下接した「吠
ヘツ、アリシ」となっている。

(6-15) (= (6-7))

Has she been eating too much? (現在完了進行形)

森修一訳：彼女ガ 餘リ ヨリ多ク 食ヒツゝ 有ツ タカ。

小野田金弥訳：彼女ハ 余リ 多ク 食ヒツゝ アツ タカ。

(6-15) の森と (6-15) の小野田では、eat の訳「食フ」に「ツゝアリシ」が下接した「食ヒツゝアリシ」となっている。

(6-16) (= (6-8))

The dogs knew very well what we were after, for they had been deer hunting before. (過去完了進行形)

森修一訳：犬ガ 物夫レハ 我々ハ 後ニ アリシ ㊦ヲ 甚ダ 能ク 知リシ 如何ナレバ 彼等ガ 以前 鹿 カリシツゝ 有リ タ 故ニ。

小野田金弥訳：犬ガ 我等ガ 後ニ アリシ コトヲ 甚ダ 好クトコロノ 知リシ 彼等ガ 前ニ 鹿狩リニ アツ タリシ 故ニ。

(6-16) の森では、hunt の訳「カリスル」に「ツゝ有リタ」が下接した「カリシツゝ有リタ」となっているが、(6-16) の小野田では、hunt の訳「狩リ」に「ニアツタリシ」が下接した「狩リニアツタリシ」となっている。

以上、『New National 2nd Reader』における進行形「be+Ving」の例文と、進行形「be+Ving」に相当する日本語訳を見た。現在進行形と過去進行形の日本語訳から見ると、英語の進行形「be+Ving」はすべて「V+ツゝ アル／アリシ」と訳されたことがわかる。

6.3.4.2 『Longmans' The Second Reader for Standard II』についての調査結果

次に、『Longmans' The Second Reader for Standard II』についての調査結果を見ていく。

『Longmans' The Second Reader for Standard II』における進行形「be+Ving」の例文は全部で 64 例あり、そのうち、現在進行形は 31 例、過去進行形は 25 例、現在完了進行形と過去完了進行形はともに 4 例である。以下に例を時制ごとに 3 例ずつ挙げる。(括弧内の進行形時制表現は筆者がつけたものである)

(6-17) They send dogs into the jungle, to find-out where the tiger is hiding.

(現在進行形)

伊藤良蔵訳：彼等ガ 虎ガ 隠れツゝ、アル 處ヲ 見出ス ベク 藪ニ
マデ 犬ヲ 送ル。

若林謙吉訳：彼等ハ 何處ニ 虎ガ 隠レテ アルヲ 見出ス ベク 藪
ニ マデ 犬ヲ 送ル。

- (6-18) At last the men find it, and just as it is getting ready to spring upon one of them, they fire at it and kill it. (現在進行形)

伊藤良蔵訳：遂ニ 人ガ 夫ヲ 見出ス 而シテ 丁度 夫ガ 彼等 ノ
一ニ 於テ 跳カヽル ベク 豫備ヲ 得ツゝ、アル 間ニ
彼等ガ 其ニ 於テ 放發ス 而シテ 夫ヲ 殺ス。

若林謙吉訳：終ニ 人ガ 其レヲ 見出ス 而シテ 丁度 其レガ 彼等
ノ 一ツヲ 飛ビ 超エル ベク 用意シテ アル 時ニ 彼
等ガ 其レニ 於テ 火ヲ付ケ 而シテ 其レヲ 殺ス。

- (6-19) Hark, how the wind is roaring! (現在進行形)

伊藤良蔵訳：聴ヨ 如何ニ 風ガ 叫ビツゝ、アル カヨ

若林謙吉訳：如何ニ 風ガ 轉ツテ アルヲ 聴ケ

- (6-20) A man was one day driving a cart along the street. The horse was drawing a heavy load, and did not turn as the man wanted. (過去進行形)

伊藤良蔵訳：男ハ 一 日 市街ヲ 沿テ 輪車ヲ 駆リツゝ、アリシ 馬
ハ 重キ 載荷ヲ 引キツゝ、アリシ 而シテ 人ガ 要セシ
トキ 轉リ ナサ ザリシ。

若林謙吉訳：人ガ 一 日 街ニ 沿フテ 荷車ヲ 追ヒヤリツゝ、アリシ
馬ガ 重キ 荷ヲ 曳キツゝ、アリシ 而シテ 人ガ 要スル
如ク 轉ジ ナサ ザリシ。

- (6-21) The wolf had killed nearly half the sheep, before the boy could make the men believe, that he was telling the truth this time. (過去進行形)

伊藤良蔵訳：狼ハ 男子ガ 人々ヲ シテ 彼ガ 此ノ 時 信實ヲ 告

ツヽ アリシ ㄱヲ 信用 セシメ 能ヒシ 前ニ 殆 殺
シ タリシ。

若林謙吉訳：狼ガ 殆ド 羊ノ 半分ヲ 殺シ タ 小供ガ 彼ハ 此 時
眞實ヲ 話シツヽ アリシ コトヲ 人ガ 信用シ ナシ 能
フ 前ニ。

- (6-22) When he had found out which one it was, he went to the other side of the cage, took-up a cane which was lying there, then held the naughty monkey by the tail, and gave him a good whipping! (過去進行形)

伊藤良蔵訳：彼レガ 何レノ 者ガ 夫レデ アリシカヲ 見出シ タ
時ニ 彼レハ 鳥籠 ノ 他ノ 傍ニ マデ 行シ 其所ニ
横リツヽ アリシ 所ノ 枝ヲ 取上シ 然ル時ニ 尾ニ 因
ッテ 悪キ 猴ヲ 保チシ 而シテ 大ナル 鞭打ヲ 彼レニ
與ヘシ。

若林謙吉訳：彼ハ 何レノ 一ツガ 其レガ アリシ 見出シ タ 時ニ 彼
ハ 籠 ノ 他ノ 邊ニ マデ 行ク 其處ニ 横リテ アリ
シ 所ノ 杖ヲ 取り上ゲ 然ル時ニ 尾ニ ヨリデ 悪キ
猿ヲ 保ツ 而シテ 善キ 鞭打ヲ 彼ニ 與フ。

- (6-23) If it had not been for the great noise you have been making, I should not have known you were there. (現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：若シモ 夫ハ 汝ガ ナシツヽ 有ツ タリシ 大ナル 聲音ニ
向ツテ アラ ナン タリシ ナラバ 私ハ 其處ニ 汝ガ
アリシヲ 知ラ ナン ダデ アロフ。

若林謙吉訳：若モ 其ガ 汝ガ ナシ タリシ 大ナル 音ニ 向ツテ 持サ
リシ ナラバ 私ハ 汝ガ 其處ニ アルヲ 知ラ ナンダデ
アロー。

- (6-24) They have been trying to steal the eggs or young from some birds' nests.
(現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：彼等ハ 或ル 鳥ノ 巢 カラ 卵 或ハ 若者ヲ 盗ム ベク

試シツゝ アツ タ。

若林謙吉訳：彼等ハ アル 鳥ノ 巢 カラ 玉子 或ハ 若キ者ヲ 盗ム
ベク 試ミ タリシ。

- (6-25) I am afraid you do not understand what I have been telling you , for you are a poor little blind boy. (現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：私ガ 汝ガ 私ガ 汝ニ ツゲツゝ アツタ 所ノ物ヲ 理解シ
ナサ ヌヲ 恐レテ アル 如何トナレバ 汝ハ 憫レナル
小サキ メクラノ 子供デ アル。

若林謙吉訳：私ハ 何ヲ 私ガ 汝ニ 語り タリシ カヲ 汝ガ 理解シ
ナサ ヌヲ 恐レテ アル 如何トナレバ 汝ハ 哀レナル
小サキ 盲ノ 小供デ アル。

- (6-26) One day a crow, who had been for some time looking-about for her breakfast, found a nice piece of cheese. (過去完了進行形)

伊藤良蔵訳：或 日 彼女ノ 朝食ニ 向テ 或ル 時ニ 向テ 見廻シ
ツゝ アツ タリシ 所ノ 鴉ハ 乾酪 ノ 良キ 片ヲ 見
出セシ。

若林謙吉訳：一 日 彼女ノ 朝飯ニ 向ツテ アル 時ノ 間 ナガメツゝ
アリシ 所ノ 鴉ガ 乾酪 ノ 善キ 片ヲ 見出セシ。

- (6-27) A gnat which had been buzzing about the head of a bull, at-last settled down on one of his horns, begging his pardon for thus troubling him. (過去完了進行形)

伊藤良蔵訳：牡牛 ノ 頭ヲ 周リデ ブツブツ云ヒツゝ 有 タリシ 所ノ
蚊ハ 終ニ 斯様ニ 彼ヲ 煩ヲハスヲニ 向ツテ 彼レノ
乞ヒツゝ 彼レノ 角 ノ 一ニ 於テ 下ニ 止リシ。

若林謙吉訳：牡牛 ノ 頭ニ 就テ 噪ギ タリシ 所ノ 蚊ガ 終ニ 彼ノ
角 ノ 一ツニ 於テ 坐リシ 彼様ニ 彼ヲ 苦シメルヲニ
向ツテ 彼ノ 許シヲ 乞ヒシ。

(6-28) A ladder stood against this wall. Her father had been using it to reach the branches of a fruit-tree. (過去完了進行形)

伊藤良蔵訳：梯子ガ 此ノ 壁ニ 対シテ 立チシ。彼女ノ 父ガ 菓ノ樹ノ 枝ニ 達スル 可ク 夫ヲ 用ヒツ、アツ タ。

若林謙吉訳：梯子ガ 此 壁ニ 反シテ 立チシ 彼女ノ 父ガ 菓木 ノ 枝ニ 達ス ベク 其レヲ 用ヒ タリシ。

6.3.4.2.1 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況

続いて、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における英語の進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況について見ていく。(表 6-4 参照。「×」は、それぞれにあたる項目がないことを意味する。)

表 6-4 Longmans における英語の「be+Ving」の日本語訳の状況

時制表現	訳者	訳	例数
現在進行形	伊藤良蔵	V+ツ、アル	31
	若林謙吉	V+ツ、アル	20
		Vテ+アル	9
		V+ラル、	1
		V	1
過去進行形	伊藤良蔵	V+ツ、アリシ	25
	若林謙吉	V+ツ、アリシ	23
		Vテ+アリシ	2
未来進行形	伊藤良蔵	×	×
	若林謙吉	×	×
現在完了進行形	伊藤良蔵	V+ツ、有ツタリシ	1
		V+ツ、アツタ	3
	若林謙吉	V+タリシ	3
		N+デアツタ	1
過去完了進行形	伊藤良蔵	V+ツ、有タリシ	2
		V+ツ、アツタ	1
		V+ツ、タリシ	1
	若林謙吉	V+タリシ	3
		V+ツ、アリシ	1
未来完了進行形	伊藤良蔵	×	×
	若林謙吉	×	×

表 6-4 を見ると、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における「be+Ving」の例文の各時制表現にあたる日本語訳については、以下のようになっている。(以下、分析中では、伊藤良蔵訳は伊藤と、若林謙吉訳は若林と略する)

- ① 伊藤では、現在進行形の例文 (計 31) に関する日本語訳はすべて「V+ツ、アル」と訳されている。その一方、若林では、現在進行形の例文 (計 31) では、「V+ツ、アル」と

訳されたのは 20 であり、「V テ+アル」と訳されたのは 9 であり、「V+ラルゝ」及び「V」と訳されたのは各 1 である。二種類の訳から、『Longmans' The Second Reader for Standard II』においては、日本語の「V+ツツアル」は、英語の現在進行形の訳としてパターン化されていたといえる。また、第五章の『ピネヲ氏原板英文典直訳』（5.4.1.5）と『通俗英文典』（5.4.1.7）の考察により、「be+Ving」に相当する日本語訳は、「V テ+アル」という形も存在していた。「V テ+アル」という形は、若林の現在進行形の日本語訳にも 9 例（全体の 3 分の 1 を占めている）ある。したがって、日本語の「V テアル」が英語の現在進行形の訳とされていたことも伺える。

- ② 過去進行形の例文（計 25）の日本語訳については、伊藤では、すべて「V+ツゝアリシ」と訳されていた。若林では、「V+ツゝアリシ」と訳されていたのは 23 であり、「V テ+アリシ」と訳されていたのは 2 である。両者の訳の結果により、『Longmans' The Second Reader for Standard II』においては、日本語の「V+ツツアリシ」は、英語の過去進行形の訳としてパターン化されていたといえる。また、日本語の「V テ+アリシ」が英語の過去進行形の訳とされていたことも伺える。
- ③ 現在完了進行形と過去完了進行形はともに 4 例現れているが、例文の数が少ないので、それぞれに相当する日本語の訳がパターン化されていたかどうかについてははっきりとはわからない。

6.3.4.2.2 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察

以上のように、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における英語の進行形「be+Ving」の日本語訳の状況について考察した。ここで、各時制表現の例文を 3 例ずつ挙げて、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における英語の進行形「be+Ving」の翻訳パターンについて詳しく分析していく。

(6-29) (= (6-17))

They send dogs into the jungle, to find-out where the tiger is hiding.

（現在進行形）

伊藤良蔵訳：彼等ガ 虎ガ 隠レツゝ アル 處ヲ 見出ス ベク 藪ニ
マデ 犬ヲ 送ル。

若林謙吉訳：彼等ハ 何處ニ 虎ガ 隠レテ アルヲ 見出ス ベク 藪ニ
マデ 犬ヲ 送ル。

(6-29) の伊藤では、hide の訳「隠ル」に「ツゝアル」が下接した「隠レツゝアル」となっているが、(6-29) の若林では、hide の訳「隠ル」に「テアル」が下接した「隠レテアル」となっている。

(6-30) At last the men find it, and just as it is getting ready to spring upon one of them, they fire at it and kill it. (現在進行形)

伊藤良蔵訳：遂ニ 人ガ 夫ヲ 見出ス 而シテ 丁度 夫ガ 彼等 ノ
一ニ 於テ 跳カヽル ベク 豫備ヲ 得ツゝ アル 間ニ
彼等ガ 其ニ 於テ 放發ス 而シテ 夫ヲ 殺ス。

若林謙吉訳：終ニ 人ガ 其レヲ 見出ス 而シテ 丁度 其レガ 彼等 ノ
一ツヲ 飛ビ 超エル ベク 用意シテ アル 時ニ 彼等ガ
其レニ 於テ 火ヲ付ケ 而シテ 其レヲ 殺ス。

(6-30) の伊藤では、get の訳「得」に「ツゝアル」が下接した「得ツゝアル」となっているが、(6-30) の若林では、get の訳「用意ス」に「テアル」が下接した「用意シテアル」となっている。

(6-31) It cannot see what it is doing, but it needs not to use its eye, for it can make a web as well in the dark as in, the light. (現在進行形)

伊藤良蔵訳：夫ガ 何ヲ 夫ガ ナシツゝ アル カヲ 見 能ハメ 然
レト 夫ガ 夫ノ 眼ヲ 用エル ベク 要セヌ 如何トナ
レバ 夫ガ 光ニ 於テノ 如ク 夫ダケ ヨク 暗黒ニ 於
テ 巣ヲ 為シ 能フ 故ニ。

若林謙吉訳：其レハ 何ヲ 其レガ ナシツゝ アル カヲ 見 能ハヌ 燃
ナガラ 其ハ其ノ 目ヲ 用ル ベク 要セヌ 如何トナレ
バ 其ハ 明リニ 於テノ 如ク 暗サニ 於テ 左様ニ ヨ
ク 網ヲ ナシ 能フ 故ニ。

(6-31) の伊藤と (6-31) の若林では、do の訳「ナス」に「ツゝアル」が下接した「ナシツゝアル」となっている。

(6-32) (= (6-21))

The wolf had killed nearly half the sheep, before the boy could make the men believe, that he was telling the truth this time. (過去進行形)

伊藤良蔵訳：狼ハ 男子ガ 人々ヲ シテ 彼ガ 此ノ 時 信實ヲ 告ツ、
アリシ ㊦ヲ 信用 セシメ 能ヒシ 前ニ 殆 殺シタリシ。

若林謙吉訳：狼ガ 殆ド 羊ノ 半分ヲ 殺シ タ 小供ガ 彼ハ 此 時
眞實ヲ 話シツ、 アリシ コトヲ 人ガ 信用シ ナシ 能
フ 前ニ。

(6-32) の伊藤では、tell の訳「告グ」に「ツ、アリシ」が下接した「告ツ、アリシ」となっているが、(6-32) の若林では、tell の訳「話ス」に「ツ、アリシ」が下接した「話シツ、アリシ」となっている

(6-33) (= (6-22))

When he had found out which one it was, he went to the other side of the cage, took-up a cane which was lying there, then held the naughty monkey by the tail, and gave him a good whipping! (過去進行形)

伊藤良蔵訳：彼レガ 何レノ 者ガ 夫レデ アリシカヲ 見出シ タ 時
ニ 彼レハ 鳥籠 ノ 他ノ 傍ニ マデ 行シ 其所ニ 横リ
ツ、 アリシ 所ノ 枝ヲ 取上シ 然ル時ニ 尾ニ 因ッテ
悪キ 猴ヲ 保チシ 而シテ 大ナル 鞭打ヲ 彼レニ 與ヘシ。

若林謙吉訳：彼ハ 何レノ 一ツガ 其レガ アリシ 見出シ タ 時ニ
彼ハ 籠 ノ 他ノ 邊ニ マデ 行ク 其處ニ 横リテ アリ
シ 所ノ 杖ヲ 取り上げ 然ル時ニ 尾ニ ヨリテ 悪キ 猿
ヲ 保ツ 而シテ 善キ 鞭打ヲ 彼ニ 與フ。

(6-33) の伊藤では、lie の訳「横ル」に「ツ、アリシ」が下接した「横リツ、アリシ」となっているが、(6-33) の若林では、lie の訳「横ル」に「テアリシ」が下接した「横リテアリシ」となっている。

- (6-34) An English settler, in the backwoods of America was one evening standing at his door, when an Indian, faint and tired, came and asked him for some food. (過去進行形)

伊藤良蔵訳：アメリカ ノ 後ノ森ニ 於テ 英國ノ 殖民ガ 一ツ 夜ニ
失神シ 而シテ 疲タル 印度人ガ アル 食物ニ 向ツテ 彼
ニ 来リ 而シテ 請シ 時ニ 彼ノ 戸ニ 於テ 立ちツゝ
アリシ。

若林謙吉訳：亜米利加 ノ 後林ニ 於テ 一ノ 英吉利ノ 殖民ガ アル タ
一ノ インデアン人ガ 疲レ 而シテ 疲レ 来リ 而シテ ア
ル 食物ニ 向ツテ 彼レニ 乞ヒシ 時ニ 彼ノ 戸ニ 於テ
立ツゝ アリシ。

(6-34) の伊藤と (6-34) の若林では、stand の訳「立ツ」に「ツゝアリシ」が下接した「立チ／立ツゝアリシ」となっている。

- (6-35) (= (6-23))

If it had not been for the great noise you have been making, I should not have known you were there. (現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：若シモ 夫ハ 汝ガ ナシツゝ 有ツ タリシ 大ナル 聲音ニ
向ツテ アラ ナン タリシ ナラバ 私ハ 其處ニ 汝ガ ア
リシヲ 知ラ ナン ダデ アロフ。

若林謙吉訳：若モ 其ガ 汝ガ ナシ タリシ 大ナル 音ニ 向ツテ 持サリ
シ ナラバ 私ハ 汝ガ 其處ニ アルヲ 知ラ ナン ダデ ア
ロー。

(6-35) の伊藤では、make の訳「ナス」に「ツゝ有ツタリシ」が下接した「ナシツゝ 有ツ タリシ」となっているが、(6-35) の若林では、make の訳「ナス」に「タリシ」と下接した「ナシタリシ」となっている。

- (6-36) (= (6-24))

They have been trying to steal the eggs or young from some birds' nests.

(現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：彼等ハ 或ル 鳥ノ 巢 カラ 卵 或ハ 若者ヲ 盗ム ベ
ク 試シツ、アツタ。

若林謙吉訳：彼等ハ アル 鳥ノ 巢 カラ 玉子 或ハ 若キ者ヲ 盗ム
ベク 試ミ タリシ。

(6-36) の伊藤では、try の訳「試ス」に「ツ、アツタ」が下接した「試シツ、アツタ」となっているが、(6-36) の若林では、try の訳「試シル」に「タリシ」が下接した「試ミタリシ」となっている。

(6-37) (= (6-25))

I am afraid you do not understand what I have been telling you , for you are a poor little blind boy. (現在完了進行形)

伊藤良蔵訳：私ガ 汝ガ 私ガ 汝ニ ツゲツ、アツタ 所ノ物ヲ 理解シ
ナサ ヌヲ 恐レデ アル 如何トナレバ 汝ハ 憫レナル 小
サキ メクラノ 子供デ アル。

若林謙吉訳：私ハ 何ヲ 私ガ 汝ニ 語リ タリシ カヲ 汝ガ 理解シ ナ
サ ヌヲ 恐レテ アル 如何トナレバ 汝ハ 哀レナル 小サ
キ 盲ノ 小供デ アル。

(6-37) の伊藤では、tell の訳「ツグ」に「ツ、アツタ」が下接した「ツゲツ、アツタ」となっているが、(6-37) の若林では、tell の訳「語ル」に「タリシ」が下接した「語リタリシ」となっている。

(6-38) (= (6-26))

One day a crow, who had been for some time looking-about for her breakfast, found a nice piece of cheese. (過去完了進行形)

伊藤良蔵訳：或 日 彼女ノ 朝食ニ 向テ 或ル 時ニ 向テ 見廻シ
ツ、アツタリシ 所ノ 鴉ハ 乾酪 ノ 良キ 片レヲ 見
出セシ。

若林謙吉訳：一 日 彼女ノ 朝飯ニ 向ツテ アル 時ノ 間 ナガメツ、

アリシ 所ノ 鴉ガ 乾酪 ノ 善キ 片ヲ 見出セシ。

(6-38) の伊藤では、look の訳「見廻ス」に「ツ、アツタリシ」が下接した「見廻シツ、アツタリシ」となっているが、(6-38) の若林では、look の訳「ナガム」に「ツ、アリシ」が下接した「ナガメツ、アリシ」となっている。

(6-39) (= (6-27))

A gnat which had been buzzing about the head of a bull, at-last settled down on one of his horns, begging his pardon for thus troubling him.

(過去完了進行形)

伊藤良蔵訳： 牡牛 ノ 頭ヲ 周リデ ブツブツ云ヒツ、有 タリシ 所ノ
蚊ハ 終ニ 斯様ニ 彼レヲ 煩ヲハスヲニ 向ツテ 彼レノ
乞ヒツ、 彼レノ 角 ノ 一ニ 於テ 下ニ 止リシ。

若林謙吉訳： 牡牛 ノ 頭ニ 就テ 噪ギ タリシ 所ノ 蚊ガ 終ニ 彼
ノ 角 ノ 一ツニ 於テ 坐リシ 彼様ニ 彼ヲ 苦シメルヲ
ニ 向ツテ 彼ノ 許シヲ 乞ヒシ。

(6-39) の伊藤では、buzz の訳「云フ」に「ツ、有タリシ」が下接した「云ヒツ、有タリシ」となっているが、(6-39) の若林では、buzz の訳「噪グ」に「タリシ」が下接した「噪ギタリシ」となっている。

(6-40) (= (6-28))

A ladder stood against this wall. Her father had been using it to reach the branches of a fruit-tree. (過去完了進行形)

伊藤良蔵訳： 梯子ガ 此ノ 壁ニ 対シテ 立チシ。彼女ノ 父ガ 菓ノ樹
ノ 枝ニ 達スル 可ク 夫ヲ 用ヒツ、アツ タ。

若林謙吉訳： 梯子ガ 此 壁ニ 反シテ 立チシ 彼女ノ 父ガ 菓木 ノ
枝ニ 達ス ベク 其レヲ 用ヒ タリシ。

(6-40) の伊藤では、use の訳「用フ」に「ツ、アツタ」が下接した「用ヒツ、アツタ」となっているが、(6-40) の若林では、use の訳「用フ」に「タリシ」が下接した「用ヒタリシ」

となっている。

以上、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における進行形「be+Ving」の例文と、進行形「be+Ving」に相当する日本語訳を見た。現在進行形と過去進行形の日本語訳から見ると、英語の進行形「be+Ving」は「V+ツヽ アル／アリシ」と訳されたのが主であるが、「Vテ アル／アリシ」と訳された場合もあることがわかる。

6.3.4.3 『Swinton's Primer and Second Reader』についての調査結果

最後に、『Swinton's Primer and Second Reader』の調査結果について見ていく。

『Swinton's Primer and Second Reader』における「be+Ving」の例文は全部で 49 例あり、そのうち、現在進行形は 21 例、過去進行形は 24 例、未来進行形は 1 例、現在完了進行形は 2 例、過去完了進行形は 1 例である。以下に例を時制ごとに 3 例ずつ挙げる。未来進行形、現在完了進行形と過去完了進行形の例文はすべて挙げる。（下線と括弧内の進行形時制表現は筆者がつけたものである）

- (6-41) There is a cord around its little body, and a man is hording the cord.

（現在進行形）

植田栄挿訳：其處ニ 其ノ 小サキ 子供ノ 廻リニ 一ツノ 紐ガ アル
而シテ 人ガ 紐ヲ 保チツヽ アル。

野口繁治訳：其所ニ 其ノ 小サキ 体ヲ 繞リテ 一ノ 綱ガ アル 而シ
テ 一ノ 人ハ 綱ヲ 保チツヽ アル。

- (6-42) Do you see the boy who is standing up with his back to the teacher?

（現在進行形）

植田栄挿訳：汝ハ 先生ニ 迄 彼ノ 脊ヲ 以テ 立ツテ アル 所ノ
兒童ヲ 見 為スカ。

野口繁治訳：汝ハ 教師ニ 迄 彼ノ 背ヲ 以テ 上ニ 立チツヽ ア
ル 所ノ 童子ヲ 見 為スカ。

- (6-43) He is learning to count, and to add and subtract. （現在進行形）

植田栄挿訳：彼ハ 算ヘル 可ク 及ビ 加ヘ 及ビ 減ズル 可ク

學ビツ、アル。

野口繁治訳：彼ハ 數フル 可ク 而シテ 加ヘ 而シテ 減ズル 可
ク 學ビツ、アル。

- (6-44) A real live horse! Yes, that was the best of all, better than father's foot; better than Ned, who was always going, but never going ahead.

(過去進行形)

植田栄挿訳：實ノ 生キタル 馬ヨ 然ル 其ハ 総テノ 中デ 最良デ
アリシ 父ノ 足 ヨリモ 善ク ネット ヨリモ 善ク 其
ハ イツデモ 行キツ、アリシ 然レドモ 決シテ 前ニ
行カ ス。

野口繁治訳：一ノ 眞ノ 生タル 馬ヨ 然リ ソレハ 凡テニ 付テ
最モ善キ者デ アリシ 父ノ 足 ヨリモ 尚ホ善ク 一 其
人ハ 常ニ 行キツ、アリシ 然シ 決シテ 前ニ 進ミ
ツ、 アラザリシ。

- (6-45) One day some boys were playing by the side of a pond and some of them threw stones into the water for fun. (過去進行形)

植田栄挿訳：或日 或ル 子供ガ 池 ノ 許ニ 依テ 遊ビツ、アリ
シ 而シテ 彼等 ノ 或者ガ 戯レノ 為メニ 水ニ 迄
石ヲ 投ゲシ。

野口繁治訳：一 日 或ル 童子ガ 一ノ 池 ノ 側ニ 傍デ 遊ビ
ツ、アリシ 而シテ 彼等 ノ 或者ガ 慰ニ 向テ 水
ニ 迄 石ヲ 投ゲシ。

- (6-46) After sitting by the fire a short time, he walked up to the wall where the lunch baskets were hanging. Raising himself on his hind feet, he put his paw into the baskets, and helped himself to an apple, and a piece of maple sugar. (過去進行形)

植田栄挿訳：暫時 火煙ニ 依テ 座スヲノ 後チ 彼ハ 喰フベキ
辯當ガ 掛テ アリシ 處ノ 壁ニ 迄 歩ミシ 彼ノ

後 足ニ 於テ 彼自身ニ 起チツ、 彼ハ 辯當ニ 迄
彼ノ 手ヲ 置キ 而シテ 林檎 及ビ 楓砂糖 ノ 一
切ニ 迄 彼自身ヲ 助ケシ。

野口繁治訳：一ノ 暫 時 火ノ 傍ニ 座スルヲノ 後 彼ハ 晝飯
ノ 籠ガ 懸リツ、 アリシ 所ノ 壁ニ マデ 上ニ
逍遙セシ 彼ノ 後 足ニ 於テ 彼自身ヲ 高メル所デ
彼ハ 籠ニ マデ 彼ノ 足ヲ 置キシ 而シテ 一ノ
林檎ト 而シテ 楓裂ノ 砂糖 ノ 一ノ 片ニ マデ
彼自身ニ 供セシ。

- (6-47) By and by he will be singing, “cheer-up! cheer-up! cheer-up!”

(未来進行形)

植田栄挿訳：直ニ 彼ハ 謡ヒツ、 有デ 有ロウ 愉快 愉快 嬉シ
嬉シト。

野口繁治訳：次……第……ニ 彼ハ — — — 歌ヘツ、 アルデ ア
ラウ。

- (6-48) You have been eating our corn. (現在完了進行形)

植田栄挿訳：汝ハ 我々ノ 穀物ヲ 食ツ、 アツ タ。

野口繁治訳：汝ハ 吾々ノ 穀ヲ 食ヒツ、 アリ タ。

- (6-49) Then the old hen, the mother, is very glad; for she has been waiting a long,
long time for her little children, the chicks, to come out of their shells,
and run about with her to pick up little bugs and worms.

(現在完了進行形)

植田栄挿訳：然ル時 母ナル 老牝鶏ガ 甚ダ 喜ンデ アル 何者 彼
女ガ 彼等ノ 殻 ヨリ 来リ 而シテ 小サキ 虫 及ビ
イモ虫ヲ 拾フ 為メ 彼女ト 俱ニ 走り廻ル 可ク 雄
ナル 彼女ノ 小サキ 子供ニ 向テ 長ク 長キ 時 待
ツ、 アツ タ 故ニ。

野口繁治訳：然ルトキニ 老タル 牝鶏ナル 母カ 甚ダ 喜デ アル 如何

トナレバ 彼女ハ 彼等ノ 殻 カラ 来リ 而シテ 小
 サキ 木虱 而シテ 蟲ヲ 上ニ 啄ム 可ク 彼女ト 共ニ
 走り廻ル 子供ナル 彼女ノ 小サキ 雛ニ 向テ 一ノ
 永キ 永キ 時 待チツゝ アリ タ 故ニ。

(6-50) At last, after the hen had been sitting nineteen days, he saw a plump, bright-eyed little chick standing by the side of its patient mother.

(過去完了進行形)

植田栄挿訳：遂ニ 牝鶏ガ 十九日 座リツゝ アツ タリシ 後チ 彼
 ガ 其ノ 耐忍ノ 母 ノ 傍ニ 沿ツテ 立ツ所ノ 眠レ
 タル 光リ眼ノ 小サキ 雄ヲ 見シ。

野口繁治訳：遂ニ 牝鶏ガ 十九 日 坐シツゝ アリ タリシ 後 彼ハ
 其ノ 忍耐ノ 母 ノ 側ニ 傍フヲ 立ツ所ノ 一ノ 肥ヘ
 タル 輝キタル目ノ 小サキ 雛ヲ 見シ。

6.3.4.3.1 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況

続いて、『Swinton's Primer and Second Reader』における英語の進行形「be+Ving」にあたる日本語訳の状況について見ていく。(表 6-5 参照。「×」は、それぞれにあたる項目がないことを意味する。)

表 6-5 Swinton における英語の「be+Ving」の日本語訳の状況

時制表現	訳者	訳	例数
現在進行形	植田栄挿	V+ツゝアル	19
		Vテ+アル	1
		V+シ	1
	野口繁治	V+ツゝアル	21
過去進行形	植田栄挿	V+ツゝアリシ	22
		V未然形+ザリシ	1
		Vテ+アリシ	1
	野口繁治	V+ツゝアリシ/V+ツゝアラザリシ	24
未来進行形	植田栄挿	V+ツゝ有デ有ロウ	1
	野口繁治	V+ツゝアルデアロウ	1
現在完了進行形	植田栄挿	V+ツゝアツタ	2
	野口繁治	V+ツゝアリタ	2
過去完了進行形	植田栄挿	V+ツゝアツタリシ	1
	野口繁治	V+ツゝアリタリシ	1
未来完了進行形	植田栄挿	×	×
	野口繁治	×	×

表 6-5 を見ると、『Swinton's Primer and Second Reader』における「be+Ving」の例文の各時制表現にあたる日本語訳については、以下のようになっている。(以下、分析中では、植田栄挿訳は植田と、野口繁治訳は野口と略する)

- ① 植田では、現在進行形の例文 (計 21) では、「V+ツゝアル」と訳されたのは 19 であり、「V テ+アル」と「V+シ」と訳されたのは 1 ずつである。その一方、野口では、現在進行形の例文 (計 21) に関する日本語訳は、すべて「V+ツゝアル」と訳されている。つまり、『Swinton's Primer and Second Reader』においては、日本語の「V+ツツアル」は、英語の現在進行形の訳としてパターン化されていたといえる。
- ② 植田では、過去進行形の例文 (計 24) では、「V+ツゝアリシ」と訳されたのは 22 であり、「V 未然形+ザリシ」と「V テ+アリシ」と訳されたのは 1 例ずつである。その一方、野口では、過去進行形の例文 (計 24) に関する日本語訳は、すべて「V+ツゝアリシ」と訳された。つまり、『Swinton's Primer and Second Reader』においては、日本語の「V+ツツアリシ」は、英語の過去進行形の訳としてパターン化されていたといえる。
- ③ 未来進行形と過去完了進行形はともに 1 例、現在完了進行形は 2 例現れているが、例文の数が少ないので、それぞれに相当する日本語の訳がパターン化されていたかどうかについてははっきりとはわからない。

6.3.4.3.2 進行形「be+Ving」にあたる日本語訳に関する考察

以上、『Swinton's Primer and Second Reader』における英語の進行形「be+Ving」の日本語訳の状況について考察した。ここで、各時制表現の例文を 3 例ずつ挙げて、『Swinton's Primer and Second Reader』における英語の進行形「be+Ving」の翻訳パターンについて詳しく分析していく。

(6-51) (= (6-41))

There is a cord around its little body, and a man is hording the cord.

(現在進行形)

植田栄挿訳：其處ニ 其ノ 小サキ 子供ノ 廻リニ 一ツノ 紐ガ アル
而シテ 人ガ 紐ヲ 保チツゝ アル。

野口繁治訳：其所ニ 其ノ 小サキ 体ヲ 繞リテ 一ノ 綱ガ アル 而シ
テ 一ノ 人ハ 綱ヲ 保チツゝ アル。

(6-51) の植田と (6-51) の野口では、horde の訳「保ツ」に「ツゝアル」が下接した「保チツゝアル」となっている。

(6-52) (= (6-42))

Do you see the boy who is standing up with his back to the teacher?

(現在進行形)

植田栄挿訳：汝ハ 先生ニ 迄 彼ノ 脊ヲ 以テ 立ツテ アル 所ノ
児童ヲ 見 為スカ。

野口繁治訳：汝ハ 教師ニ 迄 彼ノ 背ヲ 以テ 上ニ 立チツゝ アル
所ノ 童子ヲ 見 為スカ。

(6-52) の植田では、stand の訳「立ツ」に「テアル」が下接した「立ツテアル」となっているが、(6-52) の野口では、stand の訳「立ツ」に「ツゝアル」が下接した「立チツゝアル」となっている。

(6-53) The wild rose blooms upon the spray; In all the sky is not a cloud; And merry birds are singing loud, over the hills and far away.

(現在進行形)

植田栄挿訳：野薔薇ガ 小枝ノ 上ニ 咲キ 都テ 空ニ 於テ 雲ガ
アラ ヌ 而シテ 樂シキ 鳥ガ 小山ヲ 越ヘ 而シテ
遙カ アチラニ 聲高ク 鳴キツゝ アル。

野口繁治訳：野 薔薇カ 枝ノ 上ニ 花咲ク 総テ 蒼空ガ 陰リデ
アラ ヌ 而シテ 樂シキ 鳥カ 聲高ク 唱ヒツゝ アル
ル 小山ヲ コヘテ 而シテ ハルカ アチラニ。

(6-53) の植田では、sing の訳「鳴ク」に「ツゝアル」が下接した「鳴キツゝアル」となっているが、(6-53) の野口では、sing の訳「唱フ」に「ツゝアル」が下接した「唱ヒツゝアル」となっている。

(6-54) (= (6-44))

A real live horse! Yes, that was the best of all, better than father's foot; better

than Ned, who was always going, but never going ahead. (過去進行形)

植田栄挿訳：實ノ 生キタル 馬ヨ 然ル 其ハ 総テノ 中デ 最良デ
アリシ 父ノ 足 ヨリモ 善ク ネット ヨリモ 善ク 其
ハ イツデモ 行キツ、 アリシ 然レドモ 決シテ 前ニ
行カ ス。

野口繁治訳：一ノ 眞ノ 生タル 馬ヨ 然リ ソレハ 凡テニ 付テ 最
モ善キ者デ アリシ 父ノ 足 ヨリモ 尚ホ善ク 一 其人
ハ 常ニ 行キツ、 アリシ 然シ 決シテ 前ニ 進ミツ、
アラザリシ。

(6-54) の植田と (6-54) の野口では、go の訳「行く」に「ツ、アリシ」が下接した「行キツ、アリシ」となっている。

(6-55) (= (6-46))

After sitting by the fire a short time, he walked up to the wall where the lunch baskets were hanging. Raising himself on his hind feet, he put his paw into the baskets, and helped himself to an apple, and a piece of maple sugar. (過去進行形)

植田栄挿訳：暫時 火煙ニ 依テ 座スルノ 後チ 彼ハ 喰フベキ 辯當
ガ 掛テ アリシ 處ノ 壁ニ 迄 歩ミシ 彼ノ 後 足ニ
於テ 彼自身ニ 起チツ、 彼ハ 辯當ニ 迄 彼ノ 手ヲ
置キ 而シテ 林檎 及ビ 楓砂糖 ノ 一切ニ 迄 彼自身
ヲ 助ケシ。

野口繁治訳：一ノ 暫 時 火ノ 傍ニ 座スルノ 後 彼ハ 晝飯ノ
籠ガ 懸リツ、 アリシ 所ノ 壁ニ マデ 上ニ 逍遙セシ
彼ノ 後 足ニ 於テ 彼自身ヲ 高メル所デ 彼ハ 籠ニ
マデ 彼ノ 足ヲ 置キシ 而シテ 一ノ 林檎ト 而シテ
楓裂ノ 砂糖 ノ 一ノ 片ニ マデ 彼自身ニ 供セシ。

(6-55) の植田では、hang の訳「掛ク」に「テアリシ」が下接した「掛テアリシ」になっているが、(6-55) の野口では、hang の訳「懸ル」に「ツ、アリシ」が下接した「懸リツ、アリ

シ」となっている。

- (6-56) Just at this minute, when we were feeling so sad, we heard a scratching at the door. (過去進行形)

植田栄挿訳：我々ガ 左様ニ 悲シク 感ジツ、アリシ 時ノ 此ノ
時ニ 於テ 丁度 我々ガ 雨戸ヲ 掻キ裂クヲ 聴キシ。

野口繁治訳：我々ガ 左様ニ 悲シク 感ジツ、アリシ 時ニ 正シク
此 瞬時ニ 於テ 我々ハ 戸ニ 於テ 一ノ 掻キヲ 聞
キシ。

(6-56) の植田と (6-56) の野口では、feel の訳「感ズ」に「ツ、アリシ」が下接した「感ジツ、アリシ」となっている。

- (6-57) By and by he will be singing, “cheer-up! cheer-up! cheer-up!”

(未来進行形)

植田栄挿訳：直ニ 彼ハ 謡ヒツ、有デ 有ロウ 愉快 愉快 嬉シ
嬉シト。

野口繁治訳：次第ニ 彼ハ — — — 歌ヘツ、アルデ アラウ。

(6-57) の植田では、sing の訳「謡フ」に「ツ、有デ有ロウ」が下接した「謡ヒツ、有デ有ロウ」となっているが、(6-57) の野口では、sing の訳「歌フ」に「ツ、アルデアラウ」となっている。

- (6-58) (= (6-48))

You have been eating our corn. (現在完了進行形)

植田栄挿訳：汝ハ 我々ノ 穀物ヲ 食ツ、アツ タ。

野口繁治訳：汝ハ 吾々ノ 穀ヲ 食ヒツ、アリ タ。

(6-58) の植田では、eat の訳「食フ」に「ツ、アツタ」が下接した「食ツ、アツタ」となっているが、(6-58) の野口では、eat の訳「食フ」に「ツ、アリタ」が下接した「食ヒツ、アリタ」となっている。

(6-59) (= (6-49))

Then the old hen, the mother, is very glad; for she has been waiting a long, long time for her little children, the chicks, to come out of their shells, and run about with her to pick up little bugs and worms. (現在完了進行形)

植田栄挿訳：然ル時 母ナル 老牝鶏ガ 甚ダ 喜ンデ アル 何者 彼女
ガ 彼等ノ 殻 ヨリ 来リ 而シテ 小サキ 虫 及ビ イ
モ虫ヲ 拾フ 為メ 彼女ト 俱ニ 走り廻ル 可ク 雄ナル
彼女ノ 小サキ 子供ニ 向テ 長ク 長キ 時 待ツ、ア
ツ タ 故ニ。

野口繁治訳：然ルトキニ 老タル 牝鶏ナル 母カ 甚ダ 喜デ アル 如
何トナレバ 彼女ハ 彼等ノ 殻 カ……ラ 来リ 而シテ
小サキ 木虱 而シテ 蟲ヲ 上ニ 啄ム 可ク 彼女ト 共
ニ 走り廻ル 子供ナル 彼女ノ 小サキ 雛ニ 向テ
一ノ 永キ 永キ 時 待チツ、アリ タ 故ニ。

(6-59) の植田では、wait の訳「待ツ」に「ツ、アツタ」が下接した「待ツ、アツタ」となっているが、(6-59) の野口では、wait の訳「待ツ」に「ツ、アリタ」が下接した「待チツ、アリタ」となっている。

(6-60) (= (6-50))

At last, after the hen had been sitting nineteen days, he saw a plump, bright-eyed little chick standing by the side of its patient mother.

(過去完了進行形)

植田栄挿訳：遂ニ 牝鶏ガ 十九日 座リツ、アツ タリシ 後チ
彼ガ 其ノ 耐忍ノ 母 ノ 傍ニ 沿ツテ 立ツ所ノ
眠レタル 光リ眼ノ 小サキ 雄ヲ 見シ。

野口繁治訳：遂……ニ 牝鶏ガ 十九 日 坐シツ、アリ タリシ
後 彼ハ 其ノ 忍耐ノ 母 ノ 側ニ 傍フヲ 立ツ所ノ
一ノ 肥ヘタル 輝キタル目ノ 小サキ 雛ヲ 見シ。

(6-60) の植田では、sit の訳「座ル」に「ツゝアツタリシ」が下接した「座リツゝ アツ タリシ」となっているが、(6-60) の野口では、sit の訳「坐ス」に「ツゝアリタリシ」が下接した「坐シツゝアリタリシ」となっている。

以上、『Swinton's Primer and Second Reader』における進行形「be+Ving」の例文と、進行形「be+Ving」に相当する日本語訳を見た。現在進行形と過去進行形の日本語訳から見ると、英語の進行形「be+Ving」はほぼ「V+ツゝ アル／アリシ」と訳されたことがわかる。

6.3.5 調査結果のまとめ

ここまで、三つの明治の英語読本における進行形「be+Ving」の例文とそれぞれの日本語訳についての調査結果を別々に見てきた。ここで、三つの英語読本における「be+Ving」にあたる日本語訳を全体的に見てみる。(表 6-6 参照)

表 6-6 明治の英語読本における「be+Ving」の日本語訳の状況

時制表現	National		Longmans		Swinton	
	訳	例数	訳	例数	訳	例数
現在進行形	V+ツゝアル	20	V+ツゝアル	51	V+ツゝアル	40
			V テ+アル	9	V テ+アル	1
			V+ラルゝ	1		
			V	1	V+シ	1
過去進行形	V+ツゝアリシ	28	V+ツゝアリシ	48	V+ツゝアリシ／アラザリシ	46
					V 未然形+ザリシ	1
			V テ+アリシ	2	V テ+アリシ	1
未来進行形	×	×	×	×	V+ツゝアルデアロウ	1
	×	×	×	×	V+ツゝ有デ有ロウ	1
現在完了進行形	V+ツゝアツタ	4	V+ツゝアツタ	3	V+ツゝアリタ	2
			V+ツゝ有ツタリシ	1		
			V+タリシ	3	V+ツゝアツタ	2
			N+デアツタ	1		
過去完了進行形	V+ツゝ有リタ	1	V+ツゝ有タリシ	2	V+ツゝアリタリシ	1
			V+ツゝアツタ	1		
			V+ツゝタリシ	1		
	V ニアツタリシ	1	V+タリシ	3	V+ツゝアツタリシ	1
			V+ツゝアリシ	1		
未来完了進行形	×	×	×	×	×	×
	×	×	×	×	×	×

表 6-6 は三つの読本の訳本（合計 6 つ）の合計である。三つの読本におけるそれぞれの時制表現の日本語訳の総数と割合については、以下の表 6-7 のようになっている。

表 6-7 三つの英語読本における各時制表現の日本語訳の総数と割合

時制表現	総数	日本語訳	日本語訳の数（各総数における%）
現在進行形	124	V+ツゝアル	111 (90%)
		Vテ+アル	10 (8%)
		V+ラルゝ	1 (1%)
		V+シ	1 (1%)
		V	1 (1%)
過去進行形	126	V+ツゝアリシ	122 (98%)
		V+ザリシ	1 (1%)
		Vテ+アリシ	3 (2%)
未来進行形	2	V+ツゝ有デ有ロウ	1 (50%)
		V+ツゝアルデアロウ	1 (50%)
現在完了進行形	14	V+ツゝアツタ	5 (36%)
		V+ツゝアリタ	3 (21%)
		V+ツゝ有ツタリシ	1 (6%)
		V+タリシ	3 (21%)
		N+デアツタ	1 (6%)
		Vニアツタリシ	1 (6%)
過去完了進行形	12	V+ツゝアツタリシ	1 (8%)
		V+ツゝアリタリシ	3 (25%)
		V+ツゝ有リタ	1 (8%)
		Vニアツタリシ	1 (8%)
		V+ツゝアツタ	1 (8%)
		V+ツゝタリシ	1 (8%)
		V+タリシ	3 (25%)
		V+ツゝアリシ	1 (8%)
未来完了進行形	×	×	×
		×	×

表 6-7 を見ると、以下のようなことがわかる。

- ① 三つの英語読本における「be+Ving」の例文には、「現在進行形」と「過去進行形」の例文がともに多いことがわかる。
- ② 英語の現在進行形の日本語訳については、「V+ツゝアル」というパターンが 90%を占め、他のパターンより圧倒的に多い。つまり、日本語の「V+ツゝアル」は、英語の現在進行形の訳としてパターン化されていたといえる。しかし、「Vテ+アル」という訳形も 8%を占め、無視することができないのではないかと考えられる。つまり、英語の現在進行形にあたる日本語訳は「V+ツツアル」のみならず、「Vテ+アル」という訳も存在していたといえる。
- ③ 英語の過去進行形の日本語訳については、「V+ツゝアリシ」というパターンが 98%を占め、ほぼ間違いなく日本語の「V+ツゝアリシ」は、英語の過去進行形の訳としてパターン化されていたといえる。
- ④ 英語の現在完了進行形と過去完了進行形の例数は少ないため、それぞれに相当する日本語の訳がパターン化されていたかどうかについてははっきりとはわからない。しかしながら、現在完了進行形（計 14）では、「V+ツゝアツタ」と訳されたものが 5 例あり、

他の訳形より多少定着していたといえるのではないかと考えられる。

- ⑤ 英語の現在完了進行形にも英語の過去完了進行形にも「V+タリシ」という日本語訳が存在していた。表 6-7 を見ると、現在完了進行形は 14 例中 3 例で「V+タリシ」と訳され、過去完了進行形は 12 例中 3 例で「V+タリシ」と訳されていた。これらの結果から、当時英語の現在完了進行形と過去完了進行形は同じ日本語訳を使用していたといえる。

6.4 明治の英語読本における進行形「be+Ving」の用法の考察

上述の 6.3 により、明治期における「be+Ving」はほぼ日本語の「V ツツアル」と翻訳されていることが明らかになった。したがって、翻訳表現としての「V ツツアル」の用法を明らかにするため、当時の英語の進行形「be+Ving」の用法を考察する必要があると考える。ここで、まず、英語の歴史の時代区分を簡単に見ておく。

中尾（1989:9）は、英語の歴史の時代について、次のように区分している。

- ① 現代英語期：20 世紀の英語を包含する。
- ② 近代英語期：1900－1500 にわたる英語を包含する。1900－1700 をその後期、1700－1500 を前期とする。
- ③ 中英語期：1500－1100 の間の英語を包含する。1500－1300 をその後期、1300－1100 を前期とする。
- ④ 古英語期：1100－450 の間の英語を包含する。1100－900 をその後期、900－700 を前期、文献を欠くそれ以前を初期と呼ぶ。

上記の英語の歴史の時代区分を見ると、明治期の英語の進行形「be+Ving」の用法を分析するには、近代英語期における進行形の分類に従うのが一番相応しい。そこで、筆者は、明治・大正期を代表する英語学者・教育者である斎藤秀三郎（1898-99）によって著され、中村捷（2015）によって訳された『実用英文典』における「be+Ving」の用法分類と、永尾（2011）によって、明らかにされた近代英語における「be+Ving」の用法分類とを取り上げる。

6.4.1 『実用英文典』における進行形「be+Ving」の説明

『実用英文典』（pp.215-216）では、「be+Ving」に関しては、動詞の時制の項で、次のように述べられている。

行為は習慣的に生じるものと実際に起こっているものに分けられる。

習慣的 (habitual)

現実的 (actual)

I go to school every day.

I am going to school.

I read the Jiji Shimpō.

I am reading a novel.

I write home once a month.

I am writing a letter.

Ito sits by me at school.

Nobody is sitting by me now.

The moon shines at night.

The moon is not shining now, as it is day.

第一の単純な形式[現在、過去、未来時制]を主要時制あるいは不定時制 (Indefinite Tense) とよび、第二の複合形式を進行形 (Progressive Form) とよぶ。

現在進行形 : I am writing at this moment.

過去進行形 : I was writing at that time.

未来進行形 : I shall be writing at that time.

行為は、現時点、過去のある時点、未来のある時点まで継続しているものとして述べられることがある。この行為の継続は、完了進行時制によって表される。そうすると、英語には全部で 12 の時制があることになる。

不定時制 (Indefinite Tense)

進行形 (Progressive Form)

(習慣的または不定の行為)

(実際に進行中の行為)

現在 I write

I am writing (at this moment)

過去 I wrote

I was writing (at that moment)

未来 I shall write

I shall be writing (at that moment)

(完了した行為)

(継続中の行為)

現在完了 I have written (now)

I have been writing (till now)

過去完了 I had written (at that time)

I had been writing (till then)

未来完了 I shall have written (by that time)

I shall have been writing (at that time for such and such a length of time)

以上、『実用英文典』を引用したが、英語の「be+Ving」には、現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形、過去完了進行形、未来完了進行形の六つの時制表現があることがわかる。また、各進行形時制表現についての用法は、『実用英文典』(p.219-238) においては、

次のように述べられている。

現在進行形は通例現時点で進行中の行為を表す。

Mr.A teaches in this school. But he is not teaching now.

[Aさんは本校の先生です。がいま授業中ではありません]

現在進行形は、実際に進行中ではないが、当分継続する行為を表す。ただし、永続的従事ではない。

He studies law. (=He is a law student.) (永続的)

He is reading English with me at present. [目下のところ英文講読をしています] (一時的)

瞬間的行為を表す動詞の進行形時制は、始まりの (incipient) 意味を表す。

The man is dying. (死にかけている)

The flowers are opening. (まさに開きかけている)

go, come, leave, start の進行形は、口語で未来時制の代わりに用いられる。

When are you going home?

Are you coming tomorrow? Yes, I shall be here at noon.

Is your brother coming? Yes, he will be here in a few minutes.

When are you leaving Tokyo? I am starting early tomorrow morning.

進行形をもたない動詞：

進行形は行為の継続を表すので、本来行為の継続、つまり動作・行為を表す動詞は進行形にならない。次のようには決して言わない。

I am knowing him.

He is resembling his father.

I am seeing the picture.

進行形にならない動詞に次のものがある：

- (a) be 動詞
- (b) love, hate, respect, esteem, despise, etc.: これらの動詞は多かれ少なかれ無意識的行為を表し、自由意志によって左右できるものではない。したがって動作・行為的である。
- (c) know, remember, forget, understand, perceive, notice, etc. : (b) と同様の説明が当てはまる。forget には次のような使い方がある。

I am always forgetting your name. [君の名前をいつも忘れてばかりいる]

- (d) have, need, possess, belong, etc. : have は次の意味では進行形をもつ。

They are having their dinner. (=eating) I am having my hair cut. (=getting)

- (e) resemble, differ :

- (f) see (見える) , hear (聞こえる) :

see と look : look は対象に眼を向けることで、意識的行為を表すので進行形になる。see は眼を向けたらそこに物があったということを表し、無意識の知覚を表すので、進行形にならない。

What are you looking at? What do you see?

I looked, but saw nothing.

Look, there! Do you see anything?

hear と listen : listen と hark は意図的行為、hear は非意図的行為を表す。

Hark! Listen! Do you hear a noise?

I listened, but heard no sound or voice.

Are you following? Do you hear?

過去進行形は、通例もう一つ別の過去時制の動詞を伴っていて、過去進行形の示す時は、その過去時制の動詞の示す時を内包する。両方の動詞が進行形のときには、行為が同時進行している。

I was studying when he came. [was studying の示す時の中に came の時が含まれる]

He was studying while the others were playing. [同時進行]

過去進行形は単独で使用されることがある。

- (a) 行為そのものを強調するため :

I was just thinking so, too. (私もいまそうだと思っていました)

I thought so, too. (私もそう思いました)

- (b) 行為の継続を示すため :

{ I read the book yesterday.

{ I was reading all day.

{ I was standing all the time.

比較 : I kept standing all the time.

未来進行形は、ある特定の未来時において実際に進行中の行為を表すのに用いる。

I shall be waiting for you at the station tomorrow morning.

He will be teaching if you go now.

現在完了進行形は現時点までの行為の継続を表す。行為そのものが重要であって行為の結果が重要なのではない。

(a) I have been studying English for five years.

(b) I have studied English for five years.

(a) は行為が現時点まで続いたことを表す (I have been studying and I am studying still)。 (b) では行為が過去のある時点で終わっている。

過去完了進行形は、過去のある時点まで継続していた行為を表す。

I had been waiting about an hour when he came.

It is only two years since I chose my profession. Up to that time I had been studying without any definite object.

My servant knew a little English, for he had been living in an English family before I engaged him.

未来完了進行形はある特定の未来時まで行為が継続していることを表す。

I shall have been studying English five years by April next.

It will have been raining a whole month the day after tomorrow.

以上、『実用英文典』を引用したが、「be+Ving」の各時制表現の用法について、次のように大きくまとめておく。

現在進行形：継続的行為を表す動詞の進行形は、行為の継続を表す一方、瞬間的行為を表す動詞の進行形は、行為の始まりを表す。また、go, come, leave, start の進行形は、口語で未来時制の代わりに用いられる。つまり、それらの動詞の進行形は未来を表すことができる。

過去進行形：過去のある時点での行為の継続を表す。

未来進行形：ある特定の未来時における行為の継続を表す。

現在完了進行形：現時点までの行為の継続を表し、行為そのものを重視する。

過去完了進行形：過去のある時点までの行為の継続を表し、行為そのものを重視する。

未来完了進行形：ある特定の未来時までの行為の継続を表す。

また、「be going to」について、『実用英文典』では、以下のように述べられている。

be going が不定詞をとると、近未来あるいは意図を表す（今～するところだ、～するつもりだ）。

I am going to write.

I was going to write.

You are going to write.

You were going to write.

He is going to write.

He was going to write.

6.4.2 永尾（2011）における進行形「be+Ving」の説明

永尾（2011）（pp.1-10）における近代英語進行形「be+Ving」の説明について、まとめておく。

永尾（2011）は、時代の異なる 3 種の聖書の「ルカ伝」を使って、現在の英語版（WEB）で進行形になっている動詞句が、その 150 年前（1750 年の RDB）、300 年前（1611 年の KJB）に進行形、単純形のいずれの形式であったかという調査を行い、それぞれ進行形時制にあたる用法を考察した。

調査した結果として、1611 年の KJB の進行形時制は、各動詞が表す行為がその時点で継続していることを表す一方、1750 年の RDB の進行形時制は、各動詞が表す行為がその時点で継続していること（継続動詞の進行形時制）を、また、状況が間近に迫っているという近接未来（瞬間動詞の進行形時制）を表すという二つの用法があることが示されている。

また、進行形となる動詞について、状態動詞・継続動詞・瞬間動詞によって分類した。継続動詞と瞬間動詞の分類基準は、動詞句に for ないしは at 句のいずれの時間副詞句を付加可能かによって、for 句の時間副詞句を付加可能であれば、継続動詞である一方、at 句の時間副詞句を付加可能であれば、瞬間動詞である。

6.4.3 本稿における進行形「be+Ving」の用法の分類

本稿は、「be+Ving」の用法を分類するのに、斎藤（1898-99）のものと、永尾（2011）のものを参照しながら、「be+Ving」の用法を、「動作・行為の継続」（継続動詞の進行時制）、「動作・行為の近接未来」（瞬間動詞の進行時制）に分けた。また、継続動詞と瞬間動詞の分類基準は、永尾（2011）のものを使う。永尾（2011）は、「動作動詞のなかで、for 句と共起できるが、at 句とは共起できない動詞は、その行為が一定時間続くことから、継続動詞と認定され、at 句と共起できるが、for 句とは共起できない動詞は、その行為が瞬間的に終わってしまうことから、瞬間動詞と認定される」と述べている。

6.4.4 明治期の英語読本における進行形「be+Ving」の用法についての考察

ここで、分析対象とされるのは、上述の「6.3.4 明治の英語読本における進行形「be+Ving」の例文と翻訳状況の調査」によって収集した進行形「be+Ving」の例文である。

6.4.4.1 『New National 2nd Reader』における進行形の用法

上述の「6.3.4 明治の英語読本における進行形「be+Ving」の例文と翻訳状況の調査」によって、『New National 2nd Reader』における「be+Ving」の例文は全部で 26 例あり、そのうち、現在進行形は 10 例、過去進行形は 14 例で、現在完了進行形と過去完了進行形の例文は 1 例ずつであることが明らかになった。これら例文を分析した結果は、次の表 6-8 の通りである。（ここでは、『New National 2nd Reader』における「be+Ving」の総例文数 26 を 100%とする）

表 6-8 National における進行形の用法と割合

用法	動作・行為の継続	近接未来
例数	19 (73%)	7 (27%)

表 6-8 を見ると、『New National 2nd Reader』における英語進行形「be+Ving」の用法については、「動作・行為の継続」という用法が 73%を占めている一方、「近接未来」という用法が 27%を占めている。

6.4.4.1.1 「動作・行為の継続」についての分析

まず、動作・行為の継続という用法について考察していく。用法を考察するのに、各進行形時制について 3 例ずつ挙げて分析する。しかし、現在完了進行形と過去完了進行形はともに 1 例しかないので、それを挙げる。

(6-61) (= (6-2))

See, John, how fast the moose is running!

(6-61) の「is running」は、「run」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「run」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「is running」は、現在の「動作・

行為の継続」と判断することができる。

(6-62) The hens are picking off the grass, and singing very loudly.

(6-62) の「are picking」は、「pick」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「pick」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「are picking」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

同じように、(6-62) の「are singing」は、「sing」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「sing」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「are singing」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-63) They were still looking for pigs.

(6-63) の「were looking」は、過去のある時点で「look」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「look」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were looking」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-64) Our horses, too, seemed to know why the dogs were barking, and started to run after them as fast as they could go.

(6-64) の「were barking」は、過去のある時点で「bark」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「bark」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were barking」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-65) Two men, who were hunting for the prince, that they might kill him, passed

by the cave in the morning and the prince heard what they said.

(6-65) の「were hunting」は、過去のある時点で「hunt」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「bark」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were hunting」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-66) Has she been eating too much?

(6-66) の「has been eating」は、現時点までで、「eat」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「eat」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「has been eating」は、現時点まででの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-67) The dogs knew very well what we were after, for they had been deer hunting before.

(6-67) の「had been hunting」は、過去のある時点までで、「hunt」という動作が継続していたことを表す。進行形時制からいうと「過去完了進行形」である。また、「hunt」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「had been hunting」は、過去のある時点まででの「動作・行為の継続」と判断することができる。

6.4.4.1.2 「近接未来」についての分析

続いて、近接未来について考察していく。用法を考察するのに、各進行形時制について 3 例ずつ挙げて分析する。

(6-68) Frank, I am going to drive my new pair of horse.

(6-68) の「am going」は、「drive my new pair of horse」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。

また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「am going」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-69) See, Its head is coming out of the shell.

(6-69) の「is coming」は、「come out of the shell」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「come」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「is coming」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-70) The boys are going to play ball, and I told them I would play with them.

(6-70) の「am going」は、「play ball」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「play ball」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-71) One time when Frank was going to school, he found a poor little bird in the grass.

(6-71) の「was going」は、「go to school」ということが、過去のある時点からみて、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was going」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-72) Yes, it saw that you were going to touch it.

(6-72) の「were going」は、「go to touch」ということが、過去のある時点からみて、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、

「were going」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-73)and seemed to know just what was going to be done.

(6-73) の「was going」は、「go to be done」ということが、過去のある時点からみて、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was going」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

6.4.4.2 『Longmans' The Second Reader for Standard II』における進行形の用法

上述の「6.3.4 明治の英語読本における進行形「be+Ving」の例文と翻訳状況の調査」によって、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における「be+Ving」の例文は全部で 64 例あり、そのうち、現在進行形は 31 例、過去進行形は 25 例で、現在完了進行形と過去完了進行形はともに 4 例であることが明らかになった。これら例文を分析した結果は、次の表 6-9 の通りである。(ここでは、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における「be+Ving」の総例文数 64 を 100%とする)

表 6-9 Longmans における進行形の用法と割合

用法	動作・行為の継続	近接未来
例数	54 (84%)	10 (16%)

表 6-9 を見ると、『Longmans' The Second Reader for Standard II』における英語進行形「be +Ving」の用法については、「動作・行為の継続」という用法が 84%を占めている一方、「近接未来」という用法が 10%を占めている。

6.4.4.2.1 「動作・行為の継続」についての分析

まず、動作・行為の継続について考察していく。用法を考察するのに、各進行形時制について 3 例ずつ挙げて分析する。

(6-74) (= (6-17))

They send dogs into the jungle, to find-out where the tiger is hiding.

(6-74) の「is hiding」は、「hide」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「hide」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「is hiding」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-75) (= (6-19)) Hark, how the wind is roaring!

(6-75) の「is roaring」は、「roar」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「roar」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「is roaring」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-76) At night, when the bats are flying about, if you throw a little stone up into the air, one of them will most likely see it and catch it, but, of-course, will soon let it go when it finds it is not good to eat.

(6-76) の「are flying」は、「fly」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「fly」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「are flying」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-77) (= (6-21))

The wolf had killed nearly half the sheep, before the boy could make the men believe, that he was telling the truth this time.

(6-77) の「was telling」は、過去のある時点で「tell」という動作が継続していることを表

す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「tell」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「was telling」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-78) Now, children, when you are tempted to take a birds nest, think of these two dear little workers, who were sobbing, as though their hearts would break.

(6-78) の「were sobbing」は、過去のある時点で「sob」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「sob」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were sobbing」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-79) But a sly old fox was watching her, and he made-up his mind to try to get the piece of cheese.

(6-79) の「was watching」は、過去のある時点で「watch」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「watch」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「was watching」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-80) (= (6-23))

If it had not been for the great noise you have been making, I should not have known you were there.

(6-80) の「have been making」は、現時点までで、「make」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「make」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「have been making」は、現時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-81) (= (6-24))

They have been trying to steal the eggs or young from some birds' nests.

(6-81) の「have been trying」は、現時点までで、「try」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「try」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「have been trying」は、現時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-82) (= (6-25))

I am afraid you do not understand what I have been telling you , for you are a poor little blind boy.

(6-82) の「have been telling」は、現時点までで、「tell」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「tell」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「have been telling」は、現時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-83) (= (6-26))

One day a crow, who had been for some time looking-about for her breakfast, found a nice piece of cheese.

(6-83) の「had been looking」は、過去のある時点までで、「look」という動作が継続していたことを表す。進行形時制からいうと「過去完了進行形」である。また、「look」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「had been looking」は、過去のある時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-84) (= (6-27))

A gnat which had been buzzing about the head of a bull, at-last settled down on one of his horns, begging his pardon for thus troubling him.

(6-84) の「had been buzz」は、過去のある時点までで、「buzz」という動作が継続していたことを表す。進行形時制からいうと「過去完了進行形」である。また、「buzz」は、for 句と

共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「had been buzzing」は、過去のある時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-85) (= (6-28))

A ladder stood against this wall. Her father had been using it to reach the branches of a fruit-tree.

(6-85) の「had been using」は、過去のある時点までで、「use」という動作が継続していたことを表す。進行形時制からいうと「過去完了進行形」である。また、「use」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「had been using」は、過去のある時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

6.4.4.2.2 「近接未来」についての分析

続いて、近接未来について考察していく。用法を考察するのに、現在進行形時制と過去進行形時制について 3 例ずつ挙げて分析する。

(6-86) (= (6-18))

At last the men find it, and just as it is getting ready to spring upon one of them, they fire at it and kill it.

(6-86) の「is getting」は、「spring upon one of them」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「get」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「is getting」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-87) I am going to tell you a true story of a brave little girl.

(6-87) の「am going」は、「tell you a true story of a brave little girl」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。進行形時制からいうと「現在進

行形」である。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「am going」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-88) As-soon-as he sees that the ice is getting very thin, he drives the spear with all his might into the seal, and then tries to pull it out by means of the rope.

(6-88) の「is getting」は、「the ice is very thin」という事象がまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「get」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「is getting」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-89) She was afraid that the fox was going to ask for a piece of the cheese. But the fox was too crafty to try to get it in that manner.

(6-89) の「was going」は、「ask for a piece of the cheese」ということが、過去のある時点からみて、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was going」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-90) One stormy night, not long ago, as little Kate stood looking out of the window, Watching for her father to come-home, she saw that a train was coming along the line.

(6-90) の「was coming」は、「a train comes along the line」という事象が、過去のある時点からみると、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「come」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was coming」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-91) She meant to wait there, till she heard her little brother come near the box,
and then she was going to frighten him by suddenly jumping up.

(6-91) の「was going」は、「frighten him by suddenly jumping up」ということが、過去のある時点からみて、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was going」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

6.4.4.3 『Swinton's Primer and Second Reader』における進行形の用法

上述の「6.3.4 明治の英語読本における進行形「be+Ving」の例文と翻訳状況の調査」によって、『Swinton's Primer and Second Reader』における「be+Ving」の例文は全部で 49 例あり、そのうち、現在進行形は 22 例、過去進行形は 23 例、未来進行形は 1 例、現在完了進行形は 2 例、過去完了進行形は 1 例であることが明らかになった。これら例文を分析した結果は、次の表 6-10 の通りである。(ここでは、『Swinton's Primer and Second Reader』における「be+Ving」の総例文数 49 を 100%とする)

表 6-10 Swinton における進行形の用法と割合

用法	動作・行為の継続	近接未来
例数	39 (80%)	10 (20%)

表 6-10 を見ると、『Swinton's Primer and Second Reader』における英語進行形「be+Ving」の用法については、「動作・行為の継続」という用法が 80%を占めている一方、「近接未来」という用法が 20%を占めている。

6.4.4.3.1 「動作・行為の継続」についての分析

まず、動作・行為の継続について考察していく。用法を考察するのに、各進行形時制について 3 例ずつ挙げて分析する。しかし、現在完了進行形は 2 例、未来進行と過去完了進行形はともに 1 例しかないなので、それを挙げる。

(6-92) (= (6-41))

There is a cord around its little body, and a man is hording the cord.

(6-92) の「is hording」は、「horde」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「horde」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「is hording」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-93) (= (6-42))

Do you see the boy who is standing up with his back to the teacher?

(6-93) の「is standing」は、「stand」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「stand」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「is standing」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-94) All the other children are studying their lessons.

(6-94) の「are studying」は、「study」という動作がもう始まっているが、現時点でまだ終わらずに継続していて、これから、まだ続いていくかもしれないことを表す。進行形時制からいうと「現在進行形」である。また、「study」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「are studying」は、現在の「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-95) (= (6-45))

One day some boys were playing by the side of a pond and some of them
threw stones into the water for fun.

(6-95) の「were playing」は、過去のある時点で「play」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「play」は、for 句と共起できる

が、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were playing」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-96) By and by George came to a little pond where a mother duck and five ducklings were sailing about on the water.

(6-96) の「were sailing」は、過去のある時点で「sail」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「sail」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「were sailing」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-97) I wonder little Nat did not fall; for he was sitting in his high-chair, and he shook out the bar in front of him.

(6-97) の「was sitting」は、過去のある時点で「sit」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「過去進行形」である。また、「sit」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「was sitting」は、過去のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-98) (= (6-47)) By and by he will be singing, “cheer-up! cheer-up! cheer-up!”

(6-98) の「will be singing」は、未来のある時点で、「sing」という動作が継続しているだろうことを表す。進行形時制からいうと「未来進行形」である。また、「sing」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「will be singing」は、未来のある時点で「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-99) (= (6-48)) You have been eating our corn.

(6-99) の「have been eating」は、現時点までで、「eat」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「eat」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「have

been eating」は、現時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

(6-100) (= (6-49))

Then the old hen, the mother, is very glad; for she has been waiting a long, long time for her little children, the chicks, to come out of their shells, and run about with her to pick up little bugs and worms.

(6-100) の「has been waiting」は、現時点までで、「wait」という動作が継続していることを表す。進行形時制からいうと「現在完了進行形」である。また、「wait」は、for 句と共起できるが、at 句とは共起できないものであり、つまり、「継続動詞」といえる。したがって、「has been waiting」は、現時点までの「動作・行為の継続」と判断することができる。

6.4.4.3.2 「近接未来」についての分析

続いて、近接未来について考察していく。用法を考察するのに、現在進行形時制について 3 例を挙げて分析する。過去進行形時制は 1 例のみであり、それを挙げて分析する。

(6-101) Now they are going home, and they hear a strange sound.

(6-101) の「are going」は、「go home」ということがまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「are going」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-102) I am going to buy a goat.

(6-102) の「am going」は、「buy a goat」ということがまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「am going」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-103) Frank caught him in a trap, and I am going to put him in the pretty cage up

stairs.

(6-103) の「am going」は、「put him in the pretty cage up stairs」ということがまだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「go」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「am going」は、現時点からみる「近接未来」と判断することができる。

(6-104) One stormy night not long ago, as little Kate stood looking out of the window, watching for her father to come home, she saw that a train was coming along the track.

(6-104) の「was coming」は、「a train comes alone the track」という事象が、過去のある時点からみると、当時まだ発生していないが、これから起ころうとしていることを表す。また、「come」は、at 句と共起できるが、for 句とは共起できないものであり、つまり、「瞬間動詞」といえる。したがって、「was coming」は、過去ある時点からみる「近接未来」と判断することができる。

6.4.4.4 考察のまとめ

以上、三つの英語読本における進行形「be+Ving」の用法をそれぞれ考察した。三つの英語読本における進行形「be+Ving」の用法にはいずれも「動作・行為の継続」と「近接未来」との二つあり、いずれも「動作・行為の継続」の割合が「近接未来」の割合より圧倒的に高いことがわかる。ここでは、三つの英語読本を合わせて、一緒に見ていく。まず、三つの英語読本における進行形の例文の使用状況を見てみよう。(表 6-11 参照。割合の小数点第二位を四捨五入した。「動作・行為の継続」は「継続」と、「近接未来」は「近接」と略する)

表 6-11 明治期英語読本における「be+Ving」の例文の使用状況

	National	Longmans	Swinton	総数 (% ¹⁶)	用法 (% ¹⁷)
--	----------	----------	---------	-----------------------	-----------------------

¹⁶ ここでは、三つの英語読本における進行形時制の総例数 139 を 100%とする。

¹⁷ ここでは、各進行形時制表現の総例数を 100%とする。

現在進行形	10	31	22	63 (45.3%)	継続 45 (71.4%) 近接 18 (28.6%)
過去進行形	14	25	23	62 (44.6%)	継続 53 (85.5%) 近接 9 (14.5%)
未来進行形	0	0	1	1 (0.1%)	継続 1 (100%) 近接 0 (0%)
現在完了進行形	1	4	2	7 (5.0%)	継続 7 (100%) 近接 0 (0%)
過去完了進行形	1	4	1	6 (4.3%)	継続 6 (100%) 近接 0 (0%)
未来完了進行形	0	0	0	0 (0%)	継続 0 (0%) 近接 0 (0%)

(注: 6.3.2 で述べたように、今回利用した三つの英語読本の総課数は多少異なっているが、全体の総ページ数はそんなに大きな差がない。したがって、各進行形時制表現を総合的に考察するのが適当だと考えられる。)

表 6-11 から見ると、次のようなことがわかる。

- ① 三つの英語読本の進行形時制の例文を合わせると、全部で 139 例ある。そのうち、現在進行形は 63 例、過去進行形は 62 例、未来進行形は 1 例、現在完了進行形は 7 例、過去完了進行形は 6 例である。
- ② 全体的に見ると、現在進行形と過去進行形の例文は、ほかの進行形時制の例数より圧倒的に多い。その上、現在進行形と過去進行形の例数はほぼ同じである。
- ③ 現在進行形においても過去進行形においても、「動作・行為の継続」という用法は「近接未来」という用法より圧倒的に多い。
- ④ 現在完了進行形、過去完了進行形、未来進行形の例数が少ないが、いずれも「動作・行為の継続」の用法である。

続いて、三つの英語読本における「動作・行為の継続」と「近接未来」という二つの用法の割合状況を見ておく。次の表 6-12 の通りである。

表 6-12 進行形の用法の全体状況

用法	動作・行為の継続	近接未来
例数	112 (81%)	27 (19%)

表 6-12 を見ると、近代英語進行形「be+Ving」の用法については、「動作・行為の継続」という用法が 81% を占めている一方、「近接未来」という用法が 19% を占めている。この結果が

ら見ると、近代英語進行形「be+Ving」の用法は主に「動作・行為の継続」であることがうかがえる。

6.5 翻訳語としての「V ツツアル」の用法の考察

先に述べた 6.4 の「明治の英語読本における「be+Ving」の用法の考察」の結果から、明治期における英語の「be+Ving」の用法は、「動作・行為の継続」及び「近接未来」の 2 タイプあることが明らかになった。この結果によって、英語の「be+Ving」に当たる日本語訳も「動作・行為の継続」と「近接未来」という二つの用法があると推測できる。また、6.3 の「明治期の英語読本についての調査」の結果から、英語の「be+Ving」にあたる日本語訳の数が一番多いのは「V ツツ アル／アリシ」であり、二番目は「V テ アル／アリシ」であることがわかる。ここで、「V ツツ アル／アリシ」と「V テ アル／アリシ」の用法を確かめることにする。確認した結果は、次の表 6-13 の通りである。(割合の小数点第二位を四捨五入した。)

表 6-13 「be+Ving」の日本語訳の用法と割合

日本語訳	動作・行為の継続	近接未来
V ツツ アル／アリシ	180 (64.7%)	53 (19.1%)
V テ アル／アリシ	12 (4.3%)	1 (0.4%)

(注：三つの英語読本における「be+Ving」の例文は全部で 139 例であるが、訳本が二つずつあるので、訳本全体の例文数は合計 278 例になっている。したがって、ここでは、訳本全体の総例数 278 を 100%とする)

表 6-13 が示しているように、翻訳語としての「V ツツ アル／アリシ」の用法は「動作・行為の継続」が圧倒的に多いものの、「近接未来」という用法も見られる。また、翻訳語としての「V テ アル／アリシ」の用法はほぼ「動作・行為の継続」であることがわかる。

6.6 英語の進行形「be+Ving」がなぜ「V+ツツアル」と訳されたかについての考察

ここで、まず、英語の進行形「be+Ving」がなぜ「V+ツツアル」と訳されたかについて簡単に考察しておく。

柳父 (1982) では、「アル」について、以下のように述べている。(pp.114-116)

西欧語の連辞の訳語として、今日使われる「である」という言い方をつくったのは、蘭学

者である。『和蘭字彙』（一八五五―五八年）は例文が多く、それになかなか工夫をこらした訳文がついているのだが、たとえばこういう例文がある。Dat zijn eerlijke lieden.（夫レハ正シキ人々デアル）これを英語で言えば、Those are honest people.となる。オランダ文の *zijn* は、英語の *be* に当たる動詞 *zijn* の三人称複数形である。これをまず「アル」と訳したのである。この「アル」はもともと日本語の、今日言う「存在する」の意味の「アリ」である。これは原文では述語動詞で、主語の次の二番目にあるが、日本文では原則として、述語動詞は文末の方にくる。そこで、「デ」を送りがなのように「アル」の上につけて「デアル」とした、と考えられる。

「である」という言い方は、それまでの日本語になかったわけではない。が、あまり使われてはいなかった。「である」がもしふつうよく使われる言い方ならば、「デアル」とは書かなかったであろう。

この辞書では、同じような *zijn* の訳語には、ほかに「ニアル」「デアル」などもあるが、「デアル」はかなり例が多い。そしてこのような表記法はともかくとして、当時の日本文としては、異例に「である」の多い文体であった。この文体が、やがて英語の翻訳に受け継がれ、明治初期の頃、翻訳以外の文章にも使われるようになり、今日に至ったのである。

柳父（1982）により、英語の「*be*」が日本語の「アル」と訳されたことがわかる。また、訳語とした「アル」は元々英語の「*be*」からのものではなく、オランダ語の「*zijn*」からの翻訳であることが明らかになった。英語の「*be*」が日本語の「アル」にあたることから、英語の「*Ving*」は日本語の「V+ツツ」にあたると考えられる。それを確認するために、筆者は以下の二つの大辞典の調査を行った。

『日本文法大辞典』では、古語の「ツツ」の意味については、以下のような記述が見られる。（pp.494-495）

「つつ」は、一つの動作の反復・継続、または二つの動作・作用が同時に行われることを表すのが本義であるが、細分すれば次のようになる。

- ① 同じ動作・行為がくりかえし行われることを示す。反復。
- ② 同じ動作・行為が進行・継続することを示す。反復の一種とみられる。
- ③ 二つの動作・作用が同時に並行して行われることを示す。
- ④ 同じ動作を二人以上の人が同時に行うことを示す。
- ⑤ 和歌などの文末に用いられて、余情・詠嘆を表わす。

- ⑥ 単なる接続を表わす。
- ⑦ 逆接を表わす。

また、『日本国語大辞典 第七巻』では、古語の「ツツ」の意味・用法について、以下のような記述がなされている。(p.729)

- ① 同じ動作の反復や継続を表す。(例は省略する。以下同様)
- ② 二つの動作は並行して行われることを示す。ながら。
- ③ 単純な接続を表す。

上記の二つの大辞典の内容から、「ツツ」という接続動詞は動作・行為などの継続を表現できることがわかる。

上述のように、「アル」と組み合わせると、「ツツアル」という組み合わせは理論的にも意味的にも、英語の「be+Ving」の日本語訳として適していると考えられる。

6.7 英語の進行形「be+Ving」がなぜ「Vテ+アル」と訳されたかについての考察

上記の 6.6 では、英語の進行形「be+Ving」がなぜ「V+ツツアル」と訳されたかについて簡単に考察してきた。続いて、英語の「be+Ving」がなぜ「Vテ+アル」と訳されたかについて簡単に考察しておく。

湯澤(1955:175)では、「テ、アル。テ、ヲル。テ、イル。」について、以下のように述べられている。

- (一) 動作の経續する意を表す。
- (二) 動作が終つて、その後の状態のまゝを保つ意を表す。
- (三) 過去の経験・出来事を云うに用いる。

土井他(1955:123)では、「てある、てゐる、てをる」について、以下のように述べられている。

存在態・継続態に、「知恵の長けた者」「尖った石」(天草本伊曾保)のように、「た」を

使ったが、また、『て』に『ある』『ゐる』『をる』を添えて使うことも室町時代に始まったのである。

松村（1972:167）では、「……てゐる」「……てある」「（連用形）ゐる」について、以下のよう

に述べられている。

動作の継続を表す場合、「……てゐる」「……てある」「（連用形）ゐる」というような言い方がある。

沖森（2010:219）では、「ている」、「てある」について、以下のように述べられている。

過去・完了の助動詞について、過去を表す「た」は、前代に「たり」の連体形「たる」を経て成立していました。そして、状態継続の意をも表すようになりました。一方、存続の用法は「たり」が消滅して、十五世紀になると、「ている」が動作・作用の持続・反復進行、完了の継続の意を担うようになります。そして、「てある」も用いられるようになり、次のように自動詞に付いて継続・反復の意、完了の継続の意を表しました。

（例を省略する）このように、「ている」「てある」が新たにアスペクトを担うようになったことは、近代語へと変容していく一つの象徴的な現象と言えるでしょう。

また、『時代別国語大辞典 室町時代編Ⅰ』の「あり」という項目の四 - ⑤では、「てある」について、以下のように述べられている。（p.252）

用言の連用形が助詞『て』を伴ったものを受けて、動作の完了、またはその結果の状態の継続することを表す。（例を省略する）【参考】助詞「て」を省く言い方もある。

上述の内容から、古語の日本語には、動作や作用などの継続を表す形として、「てゐる」、「てをる」、「てある」、「ている」の四つがあることがわかる。

また、柳父（1982）では、英語の「be+Ving」の日本語訳には必ず「アル」が付いていることが示された。上記で述べたように、古語の日本語には、動作や作用などの継続を表すことができるものとして、「てゐる」、「てをる」、「てある」、「ている」という四つの形がある。この四つの中では、「てある」は「ある」が付いている上に、動作などの継続を表すことができるため、

英語の「be+Ving」の日本語訳に使用されたのではないかと考えられる。

6.8 まとめ

今回の調査と考察により、以下のようなことが明らかになった。

- ① 日本語の「V ツツアル」は、英語の現在進行形の訳としてパターン化されていた。
- ② 日本語の「V ツツアリシ」は、英語の過去進行形の訳としてパターン化されていた。
- ③ 英語の「be+Ving」にあたる日本語訳は「V ツツアル」のみならず、「V テアル」という訳も存在していた。
- ④ 明治期における英語の「be+Ving」にあたる日本語訳の数が一番多いのは「V ツツアル／アリシ」であり、二番目は「V テアル／アリシ」である。
- ⑤ 明治期における英語の「be+Ving」の用法は「動作・行為の継続」と「近接未来」という二つの用法がある。そのうち、「動作・行為の継続」という用法が「近接未来」より圧倒的に多かった。
- ⑥ 翻訳語としての「V ツツアル／アリシ」の用法は「動作・行為の継続」が圧倒的に多いものの、「近接未来」という用法もある。
- ⑦ 翻訳語としての「V テアル／アリシ」の用法はほぼ「動作・行為の継続」である。
- ⑧ 明治期における英語の現在完了進行形と過去完了進行形は同じ日本語訳が使用されていた。
- ⑨ 英語の「be」は常に日本語の「アル」と訳された。また、訳語とした「アル」は元々英語の「be」からのものではなく、オランダ語の「zijn」からの翻訳である。つまり、「V ツツ」と「アル」ともに英語からの翻訳ではない。
- ⑩ 英語の「be+Ving」が「V ツツアル」と訳された理由は、「V ツツ」は「アル」と組み合わせることができ、かつ、ある動作などの継続を表すことができるためであると考えられる。
- ⑪ 英語の「be+Ving」が「V テアル」と訳された理由は、「V テアル」には元々「アル」が付いている上、ある動作などの継続を表現できるためであると考えられる。

第七章 現代語における「V ツツアル」の用法の分析・考察

本章では、現代語の「V ツツアル」の用法を、コーパス調査により、先行研究と一致してい

るかどうかを確認しながら、さらに考察する。また、中国の大学における日本語学習者にアンケート調査を行うことによって、「V ツツアル」について誤用が見られるかどうかについて考察する。

まず、現代語における「V ツツアル」の用法を確認するために、筆者が行った調査について述べる。

7.1 調査 1：現代語における「V ツツアル」の用法についての調査

7.1.1 調査 1 の目的

本調査は、現代語の「V ツツアル」の用法について、先行研究と一致しているかどうかを確認しながら、さらに考察する。

7.1.2 調査 1 の対象と方法

調査 1 では、『日本語書き言葉均衡コーパス』の「雑誌（2001～2005）」を調査対象とする。調査方法としては、「つつある」をキーワードとし、現代語の「V ツツアル」の例文を採集して、現代語の「V ツツアル」の用法を考察した。調査に用いたコーパスのデータバージョンは 2016 年 6 月までのものである。

7.1.3 本稿における「V ツツアル」の用法の分類基準

本稿は、「V ツツアル」の用法を分類するのに、アスペクト的意味による動詞の種類（瞬間動詞、到達点をもつ継続動詞、到達点をもたない継続動詞）と、動作の局面（開始、継続、終了、終了後）とを組み合わせた基準を設けた。これに従い、「V ツツアル」の用法を、「接近」（瞬間動詞ほか・開始前）、「途中」（到達点をもつ継続動詞・継続）、「継続」（到達点をもたない継続動詞・継続）に分けた。（4.2 の再掲）

7.1.4 調査 1 の結果

今回の調査によって、「雑誌（2001～2005）」から、「V ツツアル」の用例は、184 例が検出された。例を挙げる。下線と括弧内の用法は、筆者がつけたものである。

- (7-1) …連続ステップを乗り越えながら 10 秒前半の領域に…やっと絶好調時代を
迎えつつある。…（接近）

- (7-2) …が増えており、「女子は一般職」という商社の仕事に対するイメージが過去のものになりつつあることを印象づけている。…（接近）
- (7-3) …それゆえに未知のトラブルも発生しているのが現状だ。とくに最近は、定番化しつつある4連スロットル流用と20バルブ4A-Gスワップが要注意。カンタンそうに見えて意外…（接近）
- (7-4) …と北代社長は歯がみする。技術力でも国内メーカーと遜色のないレベルにまで成長しつつある中国メーカーと勝負するには、開発スピードを上げて顧客に食い込むしかない。…（途中）
- (7-5) …金製の普及に伴い、携帯電話からPC向けのウェブサイトを普通に利用できる環境が整いつつある。京セラが開発してDDIポケットから発売されたPHS…（途中）
- (7-6) …人たちがもうまれてくる。近年ますます美術や工芸といったジャンル分けが不明瞭になりつつある。また、工芸といっても単独で存在するものでなく、あるいは建築と一体となり、…（継続）
- (7-7) …彼女は、すでにあちこちの雑誌で紹介されて、文学の外側でもその存在が認められつつある。綿矢りさの登場は、ひとつの事件だった。しかし決してこの小説ひとつの「一発屋」で…（継続）
- (7-8) …との中間に広がる「文化の回廊」である。彼の関心がさらに民族学の領域にまで拡大しつつあることがかわる。それはおそらく〈「アフガニスタンをより日本に近づける」という大きな…（継続）

7.1.5 調査1の結果の分析と考察

『日本語書き言葉均衡コーパス』の「雑誌（2001～2005）」に現われた「Vツツアル」の用法は、以下の表7-1のようになった。（ここでは、「雑誌（2001～2005）」における「Vツツアル」の総例数184を100%とする）

表 7-1 現代語における「V ツツアル」の各用法と割合

用法	接近	継続	途中
例数	107 (58%)	74 (40%)	3 (2%)

表 7-1 を見ると、「V ツツアル」については、一番多いのは「接近」であり、全体の 58% を占めている。その一方、二番目は「継続」であり、全体の 40% を占めている。また、雑誌における「V ツツアル」の「途中」という用法はわずか 3 例に過ぎないことが分かる。

7.1.5.1 「接近」の「V ツツアル」についての分析

まず、調査結果最も多かった「接近」の用法の用例から、分析することにする。

(7-9) …意味ではチーム全体の幅は広がったといえるのである。右サイドからボランチに定着しつつあるベッカムの評価はまずまず。ベッカムを右サイドに置いた布陣（閉幕時）ベッカムをボランチ…

(7-10) …近頃は大阪に潜む猿冠者の嫁と子が金銀をばら撒き、浮浪の者を集めて乱を企みつつある。人心をみだし、再びこの天下に阿鼻叫喚の巷をよみがえらせるものは天魔かその眷属と申すべき…

(7-11) …出したとき、それを“物”として扱えるのか？人間のクローンを作ることが可能になりつつある。裾の絞れるドロコード付きカーゴパンツで、ブーツインする人達が多く見られた。…

(7-9) の「定着しつつある」は、ベッカムが右サイドから少しずつボランチに定着する方向へ移っていることを表す。つまり、「定着」という事象はまだ発生していない。「局面」から言うと、「開始前」である。金田一（1955）によると、「瞬間動詞」は、「その動作・作用は瞬間に終わってしまう動作・作用」である。(7-9) の「定着する」は瞬間に終る動作であり、つまり、「瞬間動詞」である。

同じように、(7-10) の「企みつつある」は、大阪に潜む猿冠者の嫁と子が浮浪の者を集めて、だんだん乱を企む方向へ発展していることを表す。つまり、乱はまだ発生していない。局面の「開始前」である。また、「乱を企む」というのは瞬間的な判断と見なすことができるので、こ

の「企む」は「瞬間動詞」である。

そして、(7-11) の「可能になりつつある」は、人間のクローンを作ることが少しずつ可能になる方向へ発展していることを表す。つまり、「可能になる」という事象はまだ発生していない。局面から言うと「開始前」である。また、「可能になる」というのは瞬間的な判断と見なすことができるので、「可能になる」は「瞬間動詞」として扱うことができる。

7.1.5.2 「継続」の「V ツツアル」についての分析

次に「継続」の用法の用例を挙げて、分析することにする。

(7-12) …の若者から、検索できないクレームは多い。テレビ番組においても、視聴者離れは進みつつあると思う。一方向の情報が多く、視聴者ニーズの対応は難しくなっている。…

(7-13) …異業種も含め各社が追随して来たため、競争は厳しくなりつつある。市場拡大と競争激化が進めば、同社の研究成果もより早く表れるだろう。…

(7-14) …このように深海に暮らすいかたとこのすみ袋は、使わないので退化しつつあるそうですよ。…

(7-12) の「進みつつある」は、視聴者離れという事象がもう始まっているが、まだ終わっていないで、「視聴者離れ」という事象がだんだん深刻な方向へ進展していることを表す。局面からいうと「継続」である。金田一 (1955) の「継続動詞」とは、「動作・作用を表わす動詞」で、「ある時間内に続いて行われるような種類のものであるような動詞」である。(7-12) の「進む」という動作は、ある時間内続いて行われるものであり、つまり、「継続動詞」と言える。また、Vendler (1967) は、“time schemata” (時間スキーマ) という観点から “activities” (活動)、“accomplishments” (達成)、“achievements” (到達) と “states” (状態) の 4 つに分類しており、それぞれについて、Vendler (1967) は、以下のように述べている。

For activities: A was running at time t means that time instant t is on a time stretch throughout which A was running.

For accomplishments: A was drawing a circle at t means that t is on the time stretch

in which A drew that circle.

For achievements: A won a race between t_1 and t_2 means that the time instant at which A won that race is between t_1 and t_2

For states: A loved somebody from t_1 and t_2 means that at any instant between t_1 and t_2 A loved that person

This shows that the concept of activities calls for periods of times that are not unique or definite. Accomplishments, on the other hand, imply the notion of unique and definite time periods. In an analogous way, while achievements involve unique and definite time instants, states involve time instants in an indefinite and nonunique sense.

本稿に係る「achievements」（到達）は一つの明確な瞬間が必要となる。しかし、(7-12) の「進みつつある」には、そういう明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続動詞と判断することができる。

同じように、(7-13) の「厳しくなりつつある」は、競争が既に厳しくなって、異業種の各社も追随して来たため、これから、事象は厳しくなる方向へ発展していることを表す。局面から言うと、「継続」である。また、金田一（1955）の定義により、この「厳しくなりつつある」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler（1967）によれば、「厳しくなりつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続と判断することができる。

そして、(7-14) の「退化しつつある」は、「深海に暮らすいかとたこのすみ袋の退化」という事象が既に始まっているが、まだ終わっておらず、「深海に暮らすいかとたこのすみ袋の退化」という事象もう徐々に退化する方向へ向かっていることを表す。局面から言うと、「継続」である。金田一（1955）の定義によれば、この「退化しつつある」も「継続」と判断できる。また、Vendler（1967）により、「退化しつつある」には、明確な瞬間がないので、到達点をもたない継続動詞と判断することができる。

7.1.5.3 「途中」の「V ツツアル」についての分析

最後に「途中」の用法の用例を挙げて、分析する。上記の（16）と（17）を再び取り上げる。

(7-15) (= (7-4))

…と北代社長は歯がみする。技術力でも国内メーカーと遜色のないレベルに

まで成長しつつある中国メーカーと勝負するには、開発スピードを上げて顧客に食い込むしかない。…

(7-16) (= (7-5))

…金制の普及に伴い、携帯電話から PC 向けのウェブサイトが普通に利用できる環境が整いつつある。京セラが開発して DDI ポケットから発売された PHS
…

(7-17) …ではゆっくりゆっくりと、人間らしさを取り戻しつつある。この日は、回復に向かいつつある二人の難民が、スタッフに付き添われ、前橋市内の民家に不要品の回収に出かけると…

(7-15) の「成長しつつある」は、「技術力の成長は既に始まっているが、国内メーカーと遜色のないレベルにまではまだ行っていないので、技術力は国内メーカーと遜色のないレベルに徐々に近づいている」ということを表す。局面から言うと、「継続」である。金田一 (1955) によれば、この「成長しつつある」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler (1967) によれば、「成長しつつある」には、「国内メーカーと遜色のないレベル」という明確な瞬間があるので、到達点をもつ継続動詞と判断することができる。

同じように、(7-16) の「整いつつある」は、「携帯電話から PC 向けのウェブサイトへの環境整備は既に始まっているが、普通に利用できる環境にまでは行っていないので、携帯電話から PC 向けのウェブサイトは普通に利用できる環境に近づいている」ということを表す。局面から言うと、「継続」である。金田一 (1955) によれば、この「整いつつある」を「継続動詞」と判断できる。また、Vendler (1967) によれば、「整いつつある」には、「普通に利用できる」という明確な瞬間があるので、到達点をもつ継続動詞と判断することができる。

そして、(7-17) の「回復に向かいつつある」は、「二人の難民の回復は既に始まっているが、完全に回復していないので、事象が回復という方向へ向かっている」ことを表す。局面から言うと、「継続」である。そして、金田一 (1955) によれば、この「回復に向かいつつある」を「継続動詞」と判断できる。(7-17) には、「向かう」の明確な瞬間が示されていないが、常識で考えると、患者にとっては、回復にはそういう瞬間がある。例えば、医者がしたとき判断とか薬がいらなくなったときなどである。したがって、この「回復に向かいつつある」は、到達点をもつ継続動詞と判断することができる。

7.1.6 調査 1 のまとめ

以上の調査結果をまとめる。

「V ツツアル」の用法には、「接近」、「継続」、「途中」の三つが見られた。第二章の先行研究では、現代語における「V ツツアル」の用法について、鈴木（1972）、高橋（1996）、森山（2005）、副島（2007）、庵他（2011）のものを挙げて見た。今回の調査における「V ツツアル」の用法は先行研究とは一致していることが明らかになった。しかし、筆者は以下のような例文が今回の分類には当てはまらないことに気づいた。

(7-18) …彼女は、すでにあちこちの雑誌で紹介されて、文学の外側でもその存在が認められつつある。綿矢りさの登場は、ひとつの事件だった。しかし決してこの小説ひとつの「一発屋」で…

(7-19) …の中心は止水域で数も減ったことから、竿の調子も、ウキ主体の繊細なタイプが好まれつつある。このたなご竿も、伝統破りの変則サイズながら、引き味がよいと人気。…

(7-20) …とともに新年のあいさつをした。「まだまだ経験不足ですが、日本の心が失われつつある時代、茶道を通じてその心を伝えていくよう努力したい」と。年末…

上記のような「受け身」に関する例文は計 8 例あった。(7-18) の「認める」、(7-19) の「好む」と (7-20) の「失う」は、いずれも瞬間動詞である。しかし、受け身になる、(7-18) の「認められつつある」、(7-19) の「好まれつつある」と (7-20) の「失われつつある」は、いずれもそういった事象がだんだん拡大の方向へ発展していることを表す。つまり、「継続」と言える。これが、「受け身」とどんなつながりがあるかについての考察は、別の機会に譲りたい。

7.2 調査 2：学習者は、「V ツツアル」について、どのような用法を使っているか

7.2.1 調査 2 の目的

調査 1 から、コーパスには、「V ツツアル」に「接近」、「途中」、「継続」の三つの用法が見ら

れた。ここで、中国人日本語学習者に見られる「V ツツアル」の用法がコーパスのものと一致しているかどうかについて調査してみたい。調査 2 では、学習者は、「V ツツアル」について、どのような用法を使っているか、および学習者が「V ツツアル」のどのような用法を典型的な用法としているかを調査する。

7.2.2 調査 2 の対象

中国の大学で日本語を専攻している在学生である。事前に、調査協力者の数を設定せずに、できる限りにデータを集めた。調査時間は 2018 年 5 月である。

7.2.3 調査 2 の方法

本稿では自由産出法を使用する。菅谷（2004）によれば、「自由産出法は、あるカテゴリーに属する例を産出させる方法である。プロトタイプ性は、産出の速さと頻度によって測定される。より先に想起された例、より多くの人々が挙げた例ほどプロトタイプ性が高いということになる」という。そこで、『V+つつある』を使って、自由に 3 つの文を作ってください。そして、それぞれの文の説明を書いてください。なお、文を作るときは辞書や携帯などを使わないで、思いついたままを書いてください。」という内容で、ウィーチャット版アンケートを作り、調査を行った。

7.2.4 調査 2 の結果

今回のアンケート調査のアクセス数は 829 で、回収されたアンケート数は 63 であった。そのうち、N1 取得者である学習者は 25 名、N2 取得者である学習者は 13 名、N3 取得者である学習者は 1 名、N4 取得者である学習者は 2 名、JLPT 未受験その他である学習者は 22 名である。回収された例文（計 189）のうち、有効（作った例文に「V ツツアル」が使われている上に、接続などには問題がない例文を指す）の例文数は 168 例、無効（作った例文に「V ツツアル」が使われていない例文と、作った例文に「V ツツアル」が使われているが、接続などに問題がある例文と、日本語として表現には問題がある例文とを指す）の例文数は 21 例である。

そして、調査協力者によって産出された「V ツツアル」の 168 個の例文の「V ツツアル」の用法を、調査協力者の説明文に基づいて、(A)『渐渐』や『慢慢』や『不断』などによって、ある動作・作用もう始まっているが、変化がまだ続いていくことを説明している」、(B)『逼近』や『即将』や『趋于』などによって、その動詞が表すある状態に達していないが、達しそうであることを説明している」、(C)『正在…中』や『一直在…』などによって、その動詞が

表す作用や変化が継続の途中であることを説明している」、(D)「『変…了』などによって、その動詞が表すある状態に達していることを説明している」に整理して考察した。例を、各用法について1例ずつ挙げる。下線と括弧内の用法は、筆者がつけたものである。

(7-21) 原文：生活の水準が高まり、海外旅行する人が増えつつある。(A)

説明文：随着生活水平的提高，去国外旅行的人渐渐增多。

(7-22) 原文：事件の真相は明らかになりつつある。(B)

説明文：事件的真相趋于明朗。

(7-23) 原文：雨が降りつつある。(C)

説明文：雨一直在下。

(7-24) 原文：この川は汚くなりつつある。(D)

説明文：河变臭了。

表 7-2 は、学習者における「V ツツアル」の各用法とそれぞれの使用割合を示すものである。

(ここでは、調査協力者によって産出した有効例文数 168 を 100%とする)

表 7-2 学習者における「V ツツアル」の各用法とその使用割合

対象	A	B	C	D
学習者	61 (36%)	47 (28%)	58 (35%)	2 (1%)

表 7-3 は、学習者における「V ツツアル」の最初に書かれた用法とその使用割合を示すものである。(ここでは、調査協力者によって産出した最初の例文数 63 を 100%とする)

表 7-3 学習者における「V ツツアル」の最初に想起された用法とその使用割合

対象	A	B	C	D	無効
学習者	22 (35%)	15 (24%)	21 (33%)	0 (0%)	5 (8%)

表 7-2 と表 7-3 を見ると、学習者の「V ツツアル」の例文では、「A」用法と「C」用法とは

ほぼ同じ割合を占めている一方、最初に想起される用法では「A」用法と「C」用法ともほぼ同じ割合を占めている。これは、学習者の「V ツツアル」における典型的用法について、「A」用法と「C」用法ともに可能性があることを示唆している。つまり、学習者では、「V ツツアル」について、「A」、「B」、「C」、「D」の四つの用法があることと、最初に想起される（典型的な）用法は「A」あるいは「C」であることが明らかになった。

7.3 調査 1 と調査 2 の考察

ここまで、調査 1 の例文の用法と調査 2 の例文の用法とは別々に述べた。ここで、学習者に見られる「V ツツアル」の用法が調査 1 のものと一致しているかどうかについて考察するために、まず、調査 2 の学習者の例文も調査 1 と同じ基準で分類する必要がある。分類した結果は以下の表 7-4 のようになった。

表 7-4 学習者における「V ツツアル」の再分類とその割合

用法	継続	途中	接近	途中／接近
例数（割合）	79（47%）	1（1%）	61（36%）	27（16%）

表 7-4 を見ると、学習者には一番多いのは「継続」の用法であり、次が「接近」の用法であることがわかる。また、今回の回収例では、「途中」であるか「接近」であるかをはっきり判断できない例文が多かった。続いて、アスペクト的意味による動詞の種類に基づく分類（7.1.3 の基準）と学習者の説明に基づく分類とにどのような関係があるかを明らかにする必要がある。分析した結果は以下の表 7-5 のようになった。

表 7-5 学習者における例文の 2 つの基準による分類の対比

<div> <div>学習者の説明に基づく分</div> <div>類</div> </div> <div>動詞のアスペクト意味に基づく分類</div>	A	B	C	D
継続	44	1	33	1
途中	0	0	1	0
接近	5	42	14	0
途中／接近	12	4	10	1
結果	0	0	0	0

表 7-5 を見ると、多くの場合、7.1.3 の基準で「継続」となるものは、学習者の説明の「A」に当たり、7.1.3 の基準で「接近」となるものは、学習者の説明の「B」に当たるといえる。

この結果と表 7-2 の結果を見ると、学習者に見られる「V ツツアル」の用法を動詞のアスペクト的意味で分類すると、一番多いのは「A」、つまり「継続」であり、次が「B」、つまり「接近」であることが明らかになった。上述の表 7-1 のコーパスにおける「V ツツアル」の用法では、多いのは「接近」の用法と「継続」の用法である。この割合の結果から見ると、コーパスにおける「V ツツアル」の用法と学習者に見られる「V ツツアル」の用法とは対応しているものが多いことがわかる。また、コーパスにおける「V ツツアル」の三つの用法は学習者にも現れているが、学習者に見られる用法「D」はコーパスには見られなかった。つまり、調査 2 に現れた「V ツツアル」の各用法がすべてコーパスに出ているわけではないことがわかる。これは学習者における「V ツツアル」の誤用である可能性があると考えられる。

さらに、表 7-5 によって、7.1.3 の基準で「継続」あるいは「接近」となるものは、学習者の説明で「C」になっているものも多い。つまり、7.1.3 の基準では「継続」あるいは「接近」となっても、学習者は「途中」のように見ているものがあるということが分かる。ここから、アスペクト的意味による動詞の種類は、「V ツツアル」の用法の分類には完全に適用できないことあるいは学習者における「V ツツアル」の誤用である可能性があることが示唆されている。

7.4 調査 3：日本の日本語教科書についての調査

調査 2 の結果により、日本語学習者に現れた「V ツツアル」の各用法がすべてコーパスに出ているわけではないことがわかる。これは学習者における「V ツツアル」の誤用である可能性があると考えられる。これを確かめるため、筆者は次のような調査を行うことにする。

学習者が「V ツツアル」を学ぶ時に、日本語教科書は欠かせない学びの手段の一つである。

「V ツツアル」の学習・習得にとって、教科書はとても重要なものと思われる。教師の教え方とも関係があるが、ここでは、まず、日本語教科書における「V ツツアル」の用法を調査し、学習者に誤用があるかどうかについて確認する。

7.4.1 調査 3 の目的

調査 3 では、「V ツツアル」が教科書にあるかどうかと、「V ツツアル」はどのようなレベルの教科書に扱われているかとを明らかにする。また、学習者に見られる「V ツツアル」についての用法が教科書のものと一致しているかどうかについて考察するために、日本語教科書における「V ツツアル」についての説明を確認しておく。

7.4.2 調査 3 の対象

筆者は、凡人社（2017）の『日本語教材リスト』を利用して、『できる日本語』、『みんなの日本語』、『学ぼう！にほんご』などのような総合教科書（計 127）を対象に、「V ツツアル」の出現状況を調査した。調査時期は 2018 年 4 月である。ただし、以下のようなものは調査対象外とした。

- ① 書名が日本語で書かれていない教科書
- ② 子供向けである教科書
- ③ 漢字を学ぶための教科書
- ④ 絶版になっている教科書
- ⑤ 練習帳であるもの
- ⑥ 日本で発行されていない教科書
- ⑦ 編者が日本人ではないもの

7.4.3 調査 3 の方法

まず、凡人社の『日本語教材リスト』を利用して、『できる日本語』、『みんなの日本語』、『学ぼう！にほんご』などの総合教科書（計 127）を対象に、文（各教科書の本文に現れるものを指す。以下も同様。）としての「V ツツアル」が各教科書にあるかどうかを調査し、「V ツツアル」を載せる各教科書における「V ツツアル」の初出課を確認し（7.4.4.1）、次に、それらの教科書において「V ツツアル」が文型（各課の学習項目に現れる文型を指す。以下も同様。）として扱われているかと、文型としての「V ツツアル」についての意味・用法の説明はどうなっているかを確認する（7.4.4.2）。最後に、各教科書における「V ツツアル」の例文の用法を分類

し、学習者における「V ツツアル」の用法を対照しながら、誤用があるかどうかについて確かめる (7.4.4.3)。

7.4.4 調査 3 の結果

7.4.4.1 各教科書における「V ツツアル」の初出の状況

表 7-6 は各教科書における「V ツツアル」の初出の状況を示すものである。(教科書の掲載順は『日本語教材リスト』に従う。また、「×」は、その教科書に「V ツツアル」が現れないことを意味する。)

表 7-6 各教科書における「V ツツアル」の初出の状況

番号	教科書	初出課	タイトル	本文	ページ
1	日本語ステップアップ 初級から中級へ	×			
2	会話式日本語文法 入門編	×			
3	会話式日本語文法 初級編	×			
4	会話式日本語文法 中級編	×			
5	会話式日本語文法 上級編	×			
6	会話式日本語文法 応用編	×			
7	会話式日本語文法 日本の習慣	×			
8	会話式日本語文法 日本の文化	×			
9	いろは	×			
10	つなぐにほんご 初級 1	×			
11	にほんご宝船いっしょに作る活動集	×			
12	にほんご宝船教える人のための知恵袋	×			
13	新装版 日本語集中トレーニング	×			
14	できる日本語初級	×			
15	できる日本語初中級	×			
16	できる日本語中級	11	ライフスタイル	増えつつある	144
17	できる日本語初級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM	×			
18	できる日本語初中級教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM	×			
19	たのしい読みもの 55 初級&初中級	×			
20	大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版	×			
21	コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら 中級	×			
22	これで身につく文法力	×			
23	上級へのとびら中級日本語を教える教師の手引き	×			
24	テーマ別 中級までに学ぶ日本語	×			
25	テーマ別 中級から学ぶ日本語	25	のびる	見失われつつある	141
26	テーマ別 上級で学ぶ日本語	10	青春のひとこま	築きつつある	86
27	にほんごこれだけ! 1	×			
28	にほんごこれだけ! 2	×			
29	まるごと日本のことばと文化 入門 A1 りかい	×			
30	まるごと日本のことばと文化 入門 A1 かつどう	×			
31	まるごと日本のことばと文化 初級 1A2 りかい	×			
32	まるごと日本のことばと文化 初級 1A2 かつどう	×			
33	まるごと日本のことばと文化 初級 2A2 りかい	×			
34	まるごと日本のことばと文化 初級 2A2 かつどう	×			
35	まるごと日本のことばと文化 初中級 2A2/B1	×			

36	まるごと日本のことばと文化 中級 1B1	×			
37	まるごと日本のことばと文化 中級 2B1	×			
38	生きた素材で学ぶ新・中級から上級への日本語	10	笑いのちから	現実になりつつある	167
39	初級日本語 げんきⅠ	×			
40	初級日本語 げんきⅡ	×			
41	中級の日本語	×			
42	きょうから話せる！にほんご だいじょうぶ BOOK1	×			
43	きょうから話せる！にほんご だいじょうぶ BOOK2	×			
44	中級から伸ばすビジネスケースで学ぶ日本語	×			
45	ドラえもののどこでも日本語	×			
46	日本語中級 J301 中級前期	×			
47	日本語中級 J501 中級から上級へ	×			
48	いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級1	×			
49	いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級2	×			
50	新日本語の基礎Ⅰ	×			
51	新日本語の基礎Ⅱ	×			
52	新日本語の中級	×			
53	ストーリーと活動で自然に学ぶ日本語 いつかどこで	×			
54	トピックによる日本語総合演習 中級前期	×			
55	トピックによる日本語総合演習 中級後期	×			
56	トピックによる日本語総合演習 上級	×			
57	日本語初級1 大地	×			
58	日本語初級2 大地	×			
59	中級へ行こう 日本語の文型と表現 55	×			
60	中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期	5	わたしの町	見せつつあります	76
61	中級を学ぼう 日本語の文型と表現 82 中級中期	×			
62	新装版 はじめのいっぽ	×			
63	はじめよう日本語初級1	×			
64	はじめよう日本語初級2	×			
65	みんなの日本語初級Ⅰ	×			
66	みんなの日本語初級Ⅱ	×			
67	みんなの日本語中級Ⅰ	×			
68	みんなの日本語中級Ⅱ	×			
69	わかって使える日本語	×			
70	コミュニケーション日本語1	×			
71	コミュニケーション日本語2	×			
72	コミュニケーション日本語3	×			
73	学ぼう！にほんご初級1	×			
74	学ぼう！にほんご初級2	×			
75	学ぼう！にほんご初中級	×			
76	学ぼう！にほんご中級	27	どこかへ行ったきり、帰ってこなくなってしまうした	なりつつあった	60
77	学ぼう！にほんご中上級	9	ボランティア	整備しつつある	93
78	学ぼう！にほんご上級	22	科学技術	実現されつつある	74
79	改訂新版 基礎から学ぶ日本語表現	×			
80	日常生活日本語 初級	×			
81	はじめての日本語	×			
82	初級 ひらけ日本語 上	×			
83	初級 ひらけ日本語 下	×			
84	大学の日本語 初級 ともだち Vol.1	×			
85	大学の日本語 初級 ともだち Vol.2	×			
86	日本をたどりなおす 29の方法	×			
87	日本語再履修	×			
88	進学する人のための日本語初級	×			
89	進学する人のための日本語中級	15	ひな人形	変質しつつある	115
90	新文化初級日本語Ⅰ	×			
91	新文化初級日本語Ⅱ	×			
92	文化初級日本語テキスト改訂版	×			
93	文化中級日本語	×			

94	中国からの帰国者のための生活日本語Ⅰ	×			
95	中国からの帰国者のための生活日本語Ⅱ	×			
96	絵でマスター にほんご基本文型 85	×			
97	絵とタスクで学ぶにほんご	×			
98	初級 語学留学生のための日本語〔Ⅰ〕	×			
99	初級 語学留学生のための日本語〔Ⅱ〕	×			
100	初級日本語 あゆみ vol.1	×			
101	初級日本語 あゆみ vol.2	×			
102	初級日本語 上〔新装改訂版〕	×			
103	初級日本語 下〔新装改訂版〕	×			
104	中級日本語 上〔新装改訂版〕	×			
105	中級日本語 下〔新装改訂版〕	19	人の寿命と病気	実りつつある	88
106	上級日本語	×			
107	総合日本語初級から中級へ	×			
108	総合日本語中級	1	サラリーマンの勉強会	変わりつつある	8
109	大学・大学院総合日本語 桜～さくら～	5	メディア環境の変化	進化しつつある	20
110	自由自在に話せる 独学日本語Ⅰ中国語版	×			
111	自由自在に話せる 独学日本語Ⅱ中国語版	×			
112	自由自在に話せる 独学日本語Ⅲ中国語版	×			
113	「独白文」15 トピック初級から中級へ	×			
114	日本語 5 つのとびら初級編 1 第 3 版	×			
115	日本語 5 つのとびら初級編 2 第 3 版	×			
116	日本語 5 つのとびら中級編	×			
117	日本語 5 つのとびら中上級編	2	世界に広がる一村一品運動	広がりつつある	23
118	日本語コース初級	×			
119	日本語初歩	×			
120	日本語初歩 改訂 文法説明	×			
121	日本語第一歩	×			
122	日本語中級Ⅰ	13	結婚と仕事	変わりつつある	121
123	日本語中級Ⅱ	×			
124	にほんご 90 日 1	×			
125	にほんご 90 日 2	×			
126	にほんご 90 日 3	×			
127	にほんご 90 日教師用 Navi－初級文法ハンドブック	×			

表 7-6 を見ると、入門、初級、初中級の各教科書（計 81）には、「V ツツアル」という文型がなく、中級、中上級、上級の各教科書（計 46）には、「V ツツアル」を載せる教科書が 14 ある。また、この 14 種のうち、シリーズの教科書が 9 あり、そのうち「V ツツアル」の初出課が中級の教科書であるものが 8 あり、中上級の教科書であるものが 1 ある。つまり、「V ツツアル」が教科書にあることが明らかになった。

しかしながら、「V ツツアル」についての文の初出の課は、教科書の前半のものも後半のものもあり、全体的に統一されていない。つまり、文としての「V ツツアル」が日本語教科書にあるが、そのレベルはあまりはっきりしていないことが明らかになった。

7.4.4.2 各教科書における「V ツツアル」の扱い状況

7.4.4.1 では、文としての「V ツツアル」が日本語教科書にあることが分かった。ここでは、文としての「V ツツアル」がある教科書で、「V ツツアル」が文型として扱われているかどうかを明らかにする。文型として扱われている場合は、文型としての「V ツツアル」についての意

味・用法の説明を確認していきたい。表 7-7 は、文としての「V ツツアル」が現れる教科書と、それらにおける「V ツツアル」の意味・用法の説明を示すものである。（「×」は、それぞれにあたる説明がないことを意味する。）

表 7-7 各教科書における「V ツツアル」の扱い状況

番号	教科書	文型	意味	用法	例文	ページ
16	できる日本語 中級	V ツツアル	×	×	①シェアハウスの人気が高まっているのは、人とつながりを持ちたいという人が増えつつあるからだろう。 ②少子高齢化が進み、介護や子育てなどで協力し合う必要性が高まって、多くの地域でコミュニティーの大切さが見直されつつある。	149
25	テーマ別 中級から学ぶ 日本語	V ツツアル	×	×	経済発展にばかり目を向けることによって、価値あるものを見失いつつある	143
26	テーマ別 上級で学ぶ日 本語	×	×	×	×	×
38	生きた素材で 学ぶ新・ 中級から上級 への日本語	×	×	×	×	×
60	中級を学ぼう 日本語の文型 と表現 56 中 級前期	V マスつ つある	だん だん ん ～ て いる	書きことばで使われる。動作や作用がある方向に変化していることを表す	①事故の原因は明らかになりつつある。 ②仕事の価値観が変化しつつある。	78
76	学ぼう！日本 語中級	V (ます) つつある	×	動作がある方向に向かって続いている途中だ	①この町からも、美しい自然が失われつつあります。 ②彼の病気は、徐々に回復しつつある。	63
77	学ぼう！にほ んご中上級	×	×	×	×	×
78	学ぼう！にほ んご上級	×	×	×	×	×
89	進学する人の ための日本語 中級	×	×	×	×	×
105	中級日本語下	V つつあ る	～ て い る と こ ろ で あ る	①物事がある方向に向かって進行中であることをはっきり言う。いたい時に使う。かたい表現 ②「実る」のように、「V ている」では進行中であることが表せない動詞には、「マス形+つつある」が使われる。	①低気圧は東のほうへ動きつつある。 ②この国の人々の食生活は向上しつつある。 ③台風は九州に近づきつつある。 ④学者たちの貴重な研究が実りつつあると言えよう。	98
108	総合日本語中 級 つつ ある	×	When added to the stem form of verbs tsutsu aru indicates a continuing action. It is a written form equivalent to te iru	×	15
109	大学・大学院総 合日本語 桜 ～さくら～	×	×	×	×	×
117	日本語 5 つの とびら中上級 編	動詞 A (ま す形) + つ つある	×	A が進んでいることを表すとき使う。「A ている」と似ているが、「A つつある」は書き言葉のときに使う。短期間の変化、個人的な動作が続いているときは「A ている」を使い、「A つつある」は使わない。	①今、大分県からスタートした「一村一品運動」が世界に広がりつつある。 ②トムさんは日本に来たとき、ひらがなが書けなかった。今、彼の日本語は上達しつつある。 ③日本の経済状態は上向きつつある。	42
122	日本語中級 I	×	×	×	×	×

表 7-7 を見ると、「V ツツアル」を文型として説明している教科書は 7 あり、ほぼ「書きこ
とばで使われる。動作や作用がある方向に変化していることを表す」という意味の説明がある
が、『『ている』と似ている」という簡単な説明のものもある。

7.4.4.3 各教科書における「V ツツアル」の例文の用法

7.4.4.1 の表 7-6 によって、文としての「V ツツアル」を載せている教科書があることが明ら
かになった。ここで、学習者に見られる「V ツツアル」の用法が教科書のものと一致している
かどうかについて考察するために、それら日本語教科書における「V ツツアル」の例文の用法
を分析しておく。

ここでは、「V ツツアル」の用法を分類するのに、7.1.3 の用法に従う。

表 7-8 は、各教科書における「V ツツアル」の例文の用法を示すものである。

表 7-8 各教科書における「V ツツアル」の例文の用法

番号	教科書	課本文	用法
16	できる日本語中級 本冊	11 その理由として、安いのはもちろん、人とつながりを持ちたいという人 が増えつつあることも考えられる。	継続
		弁当男子という言葉聞いたことがあるだろうか。自分で弁当を作り、 職場などに持って行く男性のことで、最近、増えつつあるようだ。	継続
25	テーマ別 中級から 学ぶ日本語	25 金と物だけが大切にされ、本当に価値のあるものが見失われつつある今 の日本が、「日本株式会社」と冗談まじりに呼ばれるのも、このへんに事情 があるようである。	接近
26	テーマ別 上級で 学ぶ日本語	10 ここに来てから、数々の経験をしてきました。でも、今はまだ、地元の人 たちに助けてもらいながら、少しずつ自分の生活を築きつつあるといった ところですが...	継続
38	生きた素材で学ぶ 新・中級から上級へ の日本語	10 ともあれ、高齢化社会が現実になりつつあるこんにち、総じて健康でな ければならない。こんなことは、子供でも分かることであるが、世間に転が っている薬が「笑い」であるとは笑ってしまうが、笑ってはいけないのだ。	接近
60	中級を学ぼう 日 本語の文型と表現 56 中級前期	5 アパートから歩いて公園を一周して帰ってくると 45 分ぐらい。ちょう どいい散歩コースなので、休日の朝、よく行きます。その三井公園も秋の気配 を見せつつあります。	接近
		6 短い期間に売り上げが集中するものは、うなぎのほかに「バレンタイン デーのチョコレート」「クリスマスのケーキ」などがあるが、最近定着し つつあるのが、「節分の太巻きずし」だ。	接近
76	学ぼう！にほんご 中級	27 朝から晩まで練習して、ようやく上手に乗れるようになりつつあったあ る日、馬から落ちて足のももを骨折してしまいました。	接近
77	学ぼう！にほんご 中上級	9 企業も、社員がボランティア活動に参加しやすいような職場環境を整備 しつつあるのだ。	接近
		14 しかもこの格差は、目に見える物質的な格差のみならず、子供の教育問 題のような表面には現れにくい部分にまで広がっているという。	接近
78	学ぼう！にほんご 上級	22 実際に科学技術の発展はめざましく、宇宙旅行や難病の治療など、少し 前までは夢のようなことだと思われていたことが次々と実現されつつあ る。	接近
89	進学する人のため の日本語中級	15 現代では毎年、その年のファッションや社会の風潮を取り入れた変わり びなが売り出されているのですが、これは人形に対する親の願いが希薄化 し、変質しつつあることと関わりのある現象だとは言えないでしょうか。	接近
		21 ところが現在、その貴重なオゾン層が、化学物質フロンによって破壊さ れつつある。	接近
		国連の調査によると、現在までに地球の陸地面積の三五パーセントが、 既に砂漠になっているか、砂漠化しつつあると言う。	接近
		22 仕事前の朝は忙しいし、昼は仕事の中休みにすぎないということになる と、ゆっくり食事をとり、一日のうちでごちそうを食べるときは晩食であ るということに、世界が変わりつつある。	継続
		23 このように、好むと好まざるとにかかわらず、すぐれて戦後的現象であ った運命共同体としての企業、平等主義的色彩の濃い企業文化は過去のも のとなりつつある。	接近
		24 つまり商品経済が封建的農業国家日本にも浸透してきたとき、経済的主 導権は次第に武士から大商人・豪農などの手に移っていったのである。一	接近

			九世紀半ばには武士階級の窮乏化は極限に達しつつあった。	
105	中級日本語下	19	近年、がんに関する研究は急速な進歩を遂げた。がんの原因を統計で探 ってきた学者たちの貴重な研究が実りつつあると言えよう。	接近
108	総合日本語中級	1	一日じゅう会社で仕事、昼食も同僚といっしょ、退社後も同僚と飲み、休 日には取引先の関係者とゴルフという、いわば会社がすべての日本のサラ リーマンがいま少しずつ変わりつつあるようである。	継続
109	大学・大学院総合日 本語 桜～さくら ～	5	これは、杖を使っていると、次第に杖の先の感覚を感じられるようにな っていくという「暗黒知」のレベルまで端末が進化しつつあるということ である。	途中
			また、こうしたうごきにともなつて、コンピューターをはじめとするメ ディアに対するわれわれの考え方、ひいては心理構造とでもよぶべきもの が変化しつつある。	継続
		11	本来、研究発表の〈場〉であるべきはずの学会が形骸化し、定例会的な 性格になりつつあるという批判もある。	接近
117	日本語5つのとびら 中上級編	2	このように、今「一村一品運動」は、貧しい地方や地域の経済自立を促す ものとして注目され、アジア各地に広がりつつある。	継続
		3	このように恵まれえた外的要因から、外国人観光客が増加しつつある九 州では、環境整備を積極的に進めている。	継続
			今、九州は新たな交流都市として、大きく変化しつつある。今後、アジア の玄関口としてますます発展していくだろう。	継続
		8	このような活動の結果、一部の地域では児童労働が減少しつつある。し かしその解決には長い時間が必要であると考えられる。	継続
122	日本語中級 I	13	定年まで勤める女性の数がしたいに増えてきているなど、日本における 女性の労働状況も、大きな流れとしては変わりつつあると言える。	継続

表 7-8 に示したように、これらの教科書には、「V ツツアル」の例文が 27 あり、そのうち、「接近」の用法が 15、「途中」の用法が 1、「継続」の用法が 11 あることが明らかになった。それぞれの用法の数と割合は、以下の表 7-9 の通りである。（ここでは、教科書における「V ツツアル」の総例文数 27 を 100%とする）

表 7-9 教科書における「V ツツアル」の各用法の数と割合

用法	接近	途中	継続
例数（割合）	15（56%）	1（4%）	11（41%）

表 7-9 を見ると、教科書に一番多いのは「接近」の用法であり、次が「継続」の用法であることがわかる。

上述の 7.1 では、コーパスにおける「V ツツアル」の用法を調査したが、それと教科書における「V ツツアル」の用法とは一致している。つまり、コーパスにおいても教科書においても、「V ツツアル」の用法には「接近」、「継続」、「途中」の三つがあり、用法の割合の順番も同じである。しかし、7.2 の学習者には、コーパスにも教科書にもない (D) 『変…了』などによって、その動詞が表すある状態に達していることを説明している」の用法が見られる。これは、学習者における「V ツツアル」についての誤用と言えるのではないかと思われる。

7.5 学習者における「V ツツアル」の誤用に関する考察

上述の調査 1、調査 2、調査 3 の結果によって、学習者における「V ツツアル」には誤用が

あることがわかった。ここで、学習者における「V ツツアル」の誤用を起こす理由について、簡単に考察しておく。

第三章では、国語辞典における「V ツツアル」に関する記述について述べたが、辞書における「V ツツアル」の意味は、ほぼ「動作、作用が進行継続を表すまたは動作・作用の結果が存続している」となっている。辞書における「V ツツアル」の意味用法の説明は、「V テイル」の「進行」に近い。

また、7.3 の調査結果によると、教科書における「V ツツアル」についての説明は、ほぼ「書きことばで使われる。動作や作用がある方向に変化していることを表す」であるが、『『ている』と似ている』という簡単な説明のものもある。

「V ツツアル」は書き言葉であるが、書き言葉を学ぶ時には、辞書や教科書は欠かせない学びの手段であり、その説明が曖昧だと、学習者が理解しにくく、誤用を起こしやすくなると考えられる。「V ツツアル」については、辞書にも教科書にも「V テイル」の「結果の存続」に近い説明があり、これが学習者における「V ツツアル」の誤用を起こした原因ではないかと考えられる。

7.6 まとめ

本章では、現代語における「V ツツアル」の用法に「接近」、「継続」、「途中」の三つがあることを考察した。また、学習者には「V ツツアル」の用法について、誤用が見られた。その原因は、「V ツツアル」については、辞書にも教科書にも「V テイル」の「進行」に近い説明があるからだと考える。

第八章 結論と今後の課題

8.1 調査結果・分析・考察のまとめ

これまで、コーパスや文学全集などによって古代から現代までの例文を収集し、「V ツツアル」の用法を分析・考察した。その結果を時代別にまとめる。

古代

奈良時代の古典文学における「V ツツアル」は、すべて「動作・状態の継続」という用法である。平安時代の古典文学における「V ツツアル」は、「動作・状態の継続」という用法が主であるが、「結果の存続」、「動作・状態の繰り返し」、「動作開始の示唆」というような用法も見られた。

中世及び近世の古典文学においては、「V ツツアル」の用例が見られなかった。この時代には「V ツツアル」は使用されていなかったのではないかと考えられる。

近代

近代の雑誌においては、「V ツツアル」は、「継続」の用法が主であるが、「接近」、「繰り返しの継続」、「結果の状態」というような用法も見られた。

現代

現代の雑誌においては、「V ツツアル」は、「接近」の用法が主であるが、「継続」、「途中」というような用法も見られた。

8.2 「V ツツアル」に関する結論

第四章の調査結果から、「V ツツアル」は中世から近世にかけては使用されず、近代に入り、再び用いられるようになったことがわかった。また、近代の「V ツツアル」には新しく「接近」の用法も産まれた。

第五章の調査から、「V ツツアル」は、明治初期に、まず、英語の「be+Ving」の翻訳表現として使用され、その後に一般の日本語表現として使われるようになったことが明らかになった。「V ツツアル」はオランダ語の日本語訳としては使われていないようである。また、松浪他(1983)によって編著された『英語学事典』(p.506)には、英語の進行形について、「他の言語に類のない、英語独得のこの文法形式は、本来、動態動詞を用いて、‘be+~ing’の形で動作の継続を意味する機能を持つものであった」と書かれている。ここからも、近代語の「V ツツ

アル」は英語の進行形に相当する日本語訳であることがわかる。

第六章では、明治期の英語読本における進行形「be+Ving」と日本語訳「V ツツアル」との関係に関する調査を行った。その結果、「V ツツアル」は英語の進行形「be+Ving」の訳としてパターン化されていたことがわかった。また、英語の読本における「be+Ving」の用法から、翻訳表現としての「V ツツアル」の用法を考察した。その結果、翻訳表現としての「V ツツアル」には古代語の「V ツツアリ」にはない「接近」という用法が現れていることがわかった。新しい用法の「接近」が現れたのは、英語の進行形である「be+Ving」の用法からの影響ではないかと考えられる。つまり、現代語における「V ツツアル」の用法は、古代語の「V ツツアリ」ではなく、近代語の「V ツツアル」の用法を受け継いでいるものではないかと考えられる。

そのほか、先行研究においては、英語の進行形にあたる日本語訳としては、ほぼ「V ツツアル」のみが取り上げられているが、筆者の調査によって、「V テアル」という形も存在していたことがわかった。また、英語の「be+Ving」が「V ツツアル」と訳されたのは、「V ツツ」と「アル」を組み合わせることで、動作の継続などを表すことができるためであると考えられる。さらに、「V ツツアル」は「V ツツ」と「アル」を組み合わせで作出したものであるが、「アル」はオランダ語の翻訳から受け継いでいるものであり、「V ツツ」は英語の翻訳であると思われる。

8.3 今後の課題

本稿では、コーパスや文学全集などから抽出した「V ツツアル」の例文を分析し、その用法を考察した。その結果、従来の先行研究で述べられていることを検証できただけでなく、新たな発見もできたと思う。ただ、近代における「V ツツアル」の用法には「継続」が「接近」より圧倒的に多かったのに対して、現代における「V ツツアル」の用法には「接近」が「継続」より圧倒的に多くなっていることについて、その原因及びこの変化はいつか起こったかについては、本稿では探ることができなかった。今後の課題として検討していきたい。

参考引用文献

- 庵功雄他（2011）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 池田哲郎（1968）「教育二 英語教科書」『日本の英学一〇〇年 明治編』研究社出版
- 井島正博（2005）「中古語存続助動詞の機能」『国語と国文学』第 82 巻第 11 号
- 伊藤裕道（2003）「英文法教育の歴史と大学における英文法教育の今日的課題」『語学研究 102』
pp.93-135 拓殖大学言語文化研究所
- 井田好治（1968）「語学一 英文法—紹介と研究」『日本の英学一〇〇年 明治編』研究社出版
- 王冲（2006）「副詞『きっと』の習得に関する研究—中国人日本語学習者における典型的用法から考える—」『日本語教育論集』22 国立国語研究所
- 沖森卓也（2010）『はじめて読む日本語の歴史』ベレ出版
- 沖森卓也（2013）『日本語史概説』朝倉書店
- 柏野健次（1999）『テンスとアスペクトの語法』開拓社
- 金田一春彦（1955）「日本語動詞のテンスとアスペクト」
『名古屋大学文学部研究論集』X（文学 4）
（金田一春彦（1976）『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房に所収）
- 小篠敏明他（2004）『英語教科書の歴史的研究』辞游社
- 斎藤秀三郎訳（1885）『英語学新式直譯』十字屋錠太郎
- 佐古敏子（2014）「幕末から明治初期の英文法書にみる概念、文法用語の変遷 Passive Voice に
纏わる変遷について」言語文化共同研究プロジェクト pp.57-70
- 佐古敏子（2017）「定訳となった斎藤英文法における品詞用語とその周辺について：Article に
かかわる概念、訳語の変遷を視座に」言語文化共同研究プロジェクト
pp.17-29
- 佐藤武義ほか（2014）『日本語大事典 上』朝倉書店
- 佐藤良雄（1968）「語学三 英文典と国文典」『日本の英学一〇〇年 明治編』研究社出版
- 菅谷奈津恵（2004）「プロトタイプ理論と第二言語としての日本語習得」『第二言語としての日
本語の習得研究』7 凡人社
- 杉本つとむ（1993）『英文鑑—資料と研究—』ひつじ書房
- 杉山忠一（1998）『英文法詳解』学習研究社
- 鈴木重幸（1972）『日本語文法・形態論』むぎ書房
- 大学南校助教訳（1870）『格賢勃斯譯英文典直訳』大学南校

高橋純（1996）「『～つつある』について」日本語教育学会編『日本語教育』89号 pp.100-110

竹内史郎（2011）「（講演記録）ツツアルの歴史的展開—文体差に着目して—」『成城国文学』

27 成城国文学会

竹之内静雄（1969）『硯友社文学集』明治文学全集 22 筑摩書房

竹之内静雄（1969）『明治家庭小説集』明治文学全集 93 筑摩書房

土井忠生他（1985）『時代別国語大辞典 室町時代編』三省堂

中尾俊夫（1989）『英語の歴史』講談社

中村捷訳（2015）『実用英文典』開拓者

中原道喜（1999）『新訂増補 マスター英文法』聖文社

永尾智（2011）「近代英語進行形の文法化」『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告』第

16号 香川大学

永島貞次郎（1870）『ピネヲ氏原板英文典直訳』尚古堂

日本史教育研究会（2017）『日本の歴史—歴史の流れをつかむ』新泉社

日本大辞典刊行会（1975）『日本国語大辞典（縮刷版）』小学館

松浪有ほか（1983）『英語学事典』大修館

松村明（1971）『日本文法大辞典』明治書院

森岡健二（1991）『近代語の成立 文体編』明治書院

森岡健二（1999）『欧文訓読の研究—欧文脈の形成—』明治書院

森田良行・松木正恵（1989）『日本語表現文型—用例中心・複合辞の意味・用法—』アルク

森山卓郎（2005）「ツツアル・テクル・テイク—直前，変化の進展など」日本教育学会（編）

『新版 日本語教育辞典』大修館書店

副島健作（2007）『日本語のアスペクト体系の研究』ひつじ書房

凡人社（2017）『日本語教材リスト No.46』凡人社

八木下孝雄（2018）『近代日本語の形成と欧文直訳的表現』勉誠出版

柳父章（1982）『翻訳語成立事情』岩波書店

湯澤幸吉郎（1955）『室町時代言語の研究』風間書房

Kaplan, J.P. 1989. English Grammar. Englewood Cliffs: Prentice-Hall

WILLIAM SWINTON (1878) 『New Language Lessons: An Elementary Grammar and
Composition』 New York : Harper & Brothers

Zeno Vendler (1967) 『LINGUISTICS IN PHILOSOPHY』 Cornell University Press

辞書・辞典類

- 宇野哲人（1996）『新修広辞典和英併用第5版』集英社
- 旺文社（1965）『標準国語辞典』旺文社
- 大槻文彦（1982）『新編大言海』富山房
- 講談社辞典局（1992）『現代実用辞典第二版』講談社
- 北原保雄（2010）『明鏡国語辞典 第二版』大修館書房
- 金田一京助・佐伯梅友ほか（2011）『新選国語辞典 第九版』小学館
- 金田一京助ほか（2014）『三省堂国語辞典第七版』三省堂
- 金田一春彦（1988）『学研国語大辞典 第二版（机上版）』学習研究社
- 金田一春彦ほか（1995）『日本語大辞典 第二版』講談社
- 金田一春彦（2002）『学研現代新国語辞典改訂第三版（デスク版）』学習研究社
- 金田一春彦・金田一秀穂（2017）『学研現代新国語辞典改訂第六版』学研プラス
- 三省堂編修所（1970）『新国語中辞典』三省堂
- 三省堂編修所（1999）『新辞林』三省堂
- 下中邦彦（1974）『大辞典』平凡社
- 小学館国語辞典編集部（2002）『日本国語大辞典』小学館
- 小学館辞典編集部（2016）『現代国語例解辞典第五版』小学館
- 小学館『大辞泉』編集部（1998）『大辞泉』小学館
- 尚学図書（1988）『国語大辞典』小学館
- 新村出（2018）『広辞苑 第七版』岩波書店
- 西尾実・岩淵悦太郎ほか（2011）『岩波国語辞典第7版 新版』岩波書店
- 日本国語大辞典第二版編集委員会（2000）『日本国語大辞典 第二版』小学館
- 松井栄一（2004）『日本語新辞典』小学館
- 松村明（1971）『日本文法大辞典』明治書院
- 松村明（2006）『大辞林』三省堂
- 森岡健二・徳川宗賢ほか（2013）『集英社国語辞典第3版第二刷』集英社
- 森田良行（1989）『基礎日本語辞典』角川書店
- 山口明徳・和田利政ほか（2013）『旺文社国語辞典第十一版』旺文社
- 山下杉郎・村上公雄ほか（1994）『精選国語辞典』明治書院
- 山田忠雄・酒井憲二ほか（2012）『新明解国語辞典 第七版』三省堂
- 山田俊雄・築島裕ほか（1995）『新潮国語辞典 一現代語・古語一 第二版』新潮社

林史典・林義雄ほか（2016）『研現代標準国語辞典 改訂第3版』学研プラス

関連アクセス

『ピネヲ氏原板英文典』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko08/bunko08_c0707/bunko08_c0707_0002/bunko08_c0707_0002.pdf

『格賢勃斯譯英文典直訳』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko08/bunko08_c0706/bunko08_c0706_0002/bunko08_c0706_0002.pdf

『通俗英文典』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko08/bunko08_c0709/bunko08_c0709_0003/bunko08_c0709_0003.pdf

『英和対訳袖珍辞書』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko08/bunko08_c0594/bunko08_c0594.pdf

『英吉利文典 字類』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/bunko08/bunko08_c0598/bunko08_c0598.pdf

『英吉利文典』

http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/ho06/ho06_01832/

『日本語歴史コーパス』

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/chj/search>

『新編日本古典文学全集』

<http://japanknowledge.com/lib/search/koten/>

『聞蔵Ⅱ ビジュアル』

<http://database.asahi.com/library2/main/top.php>

『ヨミダス歴史館』

<https://database.yomiuri.co.jp/rekishikan/>

『New National 2nd Reader』

森修一訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/870896>

小野田金弥訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/870897>

『Longmans' The Second Reader for Standard II』

伊藤良蔵訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/870907>

若林謙吉訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/871109>

『Swinton's Primer and Second Reader』

野口繁治訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/870861>

植田栄挿訳：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/870860>

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/search_form

謝辞

本論文は、私の拓殖大学大学院言語教育研究科博士後期課程在学中の研究成果をまとめたものです。本研究を進めるにあたり、指導教授である阿久津先生をはじめ、同研究科の先生方に、これまでのご指導やご支援に対し、心から深い感謝の意を表したいと思います。

特に、阿久津先生から、日本語文法における通時的な研究について多くのことを学ばせていただきました。私は、古い時代の日本語文法について基礎的な知識もない状態でしたが、阿久津先生から「日本語文法の歴史的研究」の面白さ、奥深さ、そして難しさを学ばせていただき、何もかもが新鮮に感じられました。また、本論文作成中、いつも適切な助言を賜り、厳しく温かいご指導と激励をいただきました。ここで、改めて阿久津先生に心から深い感謝の意を表します。

本研究においては、たくさんの日本語学習者がアンケート調査に協力してくれました。それぞれお忙しいところに、時間をかけて取り組んでくださったことに改めてお礼を言いたいです。また、研究以外にも、同研究科の多くの方々に支えられたからこそ、こうして論文を完成できたと思っており、ありがたい気持ちでいっぱいです。最後に、いつも温かく見守ってくれる家族に、感謝しきれない気持ちを、この場を借りて伝えたいと思います。

参考資料

1. 近代における「V ツツアル」の例文

『国民之友』の例文

番号	例文	成立年	巻名等	用法
1	に下部の有様は何時の間にやら間接なる又隠＝なる變遷を成したり # 彼等が他人に向ひて随分六々敷注文を申掛けつゝ ある 間に自己の持場に向ひては遂に新奇なる且つ込入りたる役目は遠慮	1888	主治者たること難し被治者たる亦易からず	継続
2	合軀は忽然として溶解し、更に他種の新現象を生ずるに至る可し、 # 而して之を生ずるに至るは決して遠きに非ず、 # 看よ今既に生じつゝ ある ことを、 # 鐵道は無言なる一の革命家なり、 # 無慈悲なる一の戦勝者なり、	1888	鐵道より生ずる財産の變動	接近
3	即ち概して一億三千餘萬圓なりとす、 # 而して斯の一億三千餘萬圓の流通貨幣に對し、今ま既に拂込みつゝ あり、 # 又た將來拂込まざるを得ざる者併せて一億二千萬圓、否な寧ろ是れ	1888	驚慌の來るは幽靈の來るが如し	接近
4	論しながらも那の邊の嚴命とあれば妻は寒に叫び兒は飢に泣きつゝ ある 中よりも寄附金を出さざるを得ず # 故に名は寄附金なれども其實は一種の重税なり、	1888	地方の寄附金	接近
5	果シテ此言ヲシテ謬リナカラシメン乎 # 今日ノ變態ト雖ドモ亦斯ノ三時期ノ中ニ往來シツゝ アルモノナラン」 # 長夏無事、偶々思フ所アリ # 泰西文學ノ書ヲ繙キテ意ニ適スル者ヲ抄譯シ將ニ以テ同好ニ示サン	1888	文海漫渉（一）	くりかえし
6	如きは自から此事に當りたる一人なれば、定めて今猶ほ記憶しつゝ ある ならん） # 而して遂に浦上の人民三千七百餘人を各藩に配附し、脅迫的の説諭	1888	基督教公許の建白	接近
7	前に出でゝ朋友相對するが如く好笑しき事を饒舌り焉饒舌られつゝ ある 形様に想起し…… # 是れ實に最も吾人が意外とする理由なり、	1888	意外なる故に面白し	くりかえし
8	野蠻時代の教育を受けたる余が、同志社開化時代の教育を受けつゝ ある 諸君に對して、演説するの困難亦た少しく察す可きのみ、 # 故に若し諸君にして余が名論卓説を聴かんとするが如きことあらば	1888	同志社學生に告ぐ	継続
9	ば、實際の問題に近くに從ひ、政界の水流は愈々其流勢を加へつゝ ある に相違なきを見るなり、 # 而して今や殆んど其急流中の最急流を經過しつゝあるを見る、	1888	現今政治上の位置	継続
10	、政界の水流は愈々其流勢を加へつゝあるに相違なきを見るなり、 # 而して今や殆んど其急流中の最急流を經過しつゝ ある を見る、 # 明年より明後年に掛けて我邦政治上の位置は、實に平和的革命の期	1888	現今政治上の位置	接近
11	をして大過なからしめば、明治政府は二十年來恒に變化し來りつゝ ある を知るべし、 # 均しく是れ明治政府なれども、二十年前の政府と、今日の政府とは	1888	憲法發布前後に於ける明治政府	継続

『太陽』の例文

番号	例文	発行日	文の種類	作品名	用法
1	予輩は其後此運動につきて委細を知ること能はずと雖も、思ふにこれまた机の上に置れつつある者ならんか、敢て此語學の専門家の示教を俟つ	1895 年 07 号	[文学]	「欧州諸国に於ける綴字改良論」	結果
2	而して其人工的仕組は、數十字の綴り方に影響を及しつゝあるなり。既に英國に活版事業の入り來りし頃より、	1895 年 07 号	[文学]	「欧州諸国に於ける綴字改良論」	継続
3	馬車の日本橋を過ぎたるにも心つかず、ひたすら荒唐なる妄想に耽りつつある間に、いつしか馬車は今川橋にて停りぬ。	1901 年 12 号	[小説雑組]	「妄想」	継続
4	中世思想の復興も一つの大勢力として、彼等の道德や信仰の生活は百花爛漫の盛觀を呈しつゝある。この難問を十分きり抜け得なかつたフランスは、	1909 年 01 号	[論説]	「社会の変遷と信仰問題」	継続
5	一方には無政府主義などの極端と一方には盲信の極端とに走つて、その中間に立つべき救済の勢力の微弱な事を示しつゝある。然しそのフランスでも、	1909 年 01 号	[論説]	「社会の変遷と信仰問題」	継続
6	ドウして走るのである乎といふに、空を切つて飛びつつある間には、空氣を押しつゝ、	1909 年 02 号	[学芸]	「普通講話 燕カヘシ」	継続

7	「科學はこの様にして少しも止む事なしに、無限の自然界に向つて探求のほこを進めつつある。その探求がどの位高く又廣く進んで、	1909 年 04 号	〔論說〕	「実利と空想」	継 続
8	それを天文に應用して航海を助ける仕事にも現はれ、物理の應用にも大切な事になりつつある。」	1909 年 04 号	〔論說〕	「実利と空想」	接 近
9	今日世界人類の運用を支配してをる現實の大勢力である。工業も航海も海軍も皆この恩恵でその大きな仕事をなしつつある。而してこの蒸氣機關は、	1909 年 04 号	〔論說〕	「実利と空想」	継 続
10	アニリン色素の實用は實利として實に貴ぶべきものである。が此と同時にその色を眺めて吾々はこの遠方の花見といふ大空想を事實にしつつある。今日は又ガスや電氣の應用が盛んで、	1909 年 04 号	〔論說〕	「実利と空想」	接 近
11	その外天耳通の空想は電話になり、ラセラスの空想は空中船になりつつある。此から以後如何なる空想が如何なる實利を生み出すか、	1909 年 04 号	〔論說〕	「実利と空想」	結 果
12	呑氣なる二日會員は岡崎、長谷場の勢力に依りて自己の周圍に包圍攻撃の伏兵を潜ましめつつある危険なる状態を解せず、恰も天下は我物なりと云はぬ許りの顔つきして新しき議會に入り來れり。	1909 年 05 号	〔人物月 旦〕	「衆議院の中心的 人物」	継 続
13	幸にして我國民の思想は近年に至りて漸く博大の趣を加へ、事の外國との交渉に關するものあれば直ちに國威國辱を云々して慷慨する所の彼の狹隘なる愛國者の數を減じつつあるは非常なる進歩といはざるべからず。特に最近に至りて公にせられたる遠人優遇の聖詔は彼の義勇奉公を主眼とする所の教育勅語と相關聯して我日本の國粹を維持し、	1909 年 06 号	〔論說〕	「アメリカと日本」	継 続
14	算當に據れば、ソンの衝突が起りつつあるソノ現場に達しようとするには、光の速さを以て走つた所が	1909 年 06 号	〔学芸〕	「普通講話 宇宙 開闢論」	継 続
15	即ち創造といふ考と進化といふ觀念とを圓滿に調和するためには、時々刻々に世界に行はれつつある進化や競争を、一々神の能力の發表と見るか、	1909 年 08 号	〔学芸〕	「進化論とキリス ト教」	継 続
16	この信仰は即ち宗教の與へる處で、今日の科學はその進歩と共に宗教の基礎を築きつつある。若し科學と宗教とが永遠に反對するものならば、	1909 年 08 号	〔学芸〕	「進化論とキリス ト教」	継 続
17	有利の大事業亦兩國事業家の手を籍りて、續々進行しつつあるに非ずや、而して地方公共團體が外資を利用するに至りし金額も約六千三百萬圓なりと云ふに非ずや、	1909 年 12	〔論說〕	「財界の病的現象」	継 続
18	數多の勢力と、莫大なる資本とが提供されつつある。爾かも一方に於て繫留氣球は既に完全なる發達を遂げ、	1909 年 13 号	〔学芸〕	「最近歐洲に於け る飛行器界」	継 続
19	我以外の國に於ては、斯の如き巨大なる事實が生ぜんとしつつある。予は我國民が、	1909 年 14 号	〔論說〕	「南国見聞の一斑」	接 近
20	他の新教諸派に對しても、彼等がこの信仰に復りこの意識で結合せん事を計りつつある。メソヂストは元來イギリス教會の中で規則勵行を主義として起つたものであるが、	1909 年 16 号	〔論說〕	「信仰復興の一現 象」	接 近
21	實際支那の内情を言へば自力では本部十八省すら保全すること能はず、列國均勢の結果辛うじて其の位置を保ちつつあるのである。故に日本として確定的に斷言し得る所は日支親善の關係さへ成り立てば支那本部だけは必ず日支兩國の協同責任を以て保全し得ると云ふに止まるのである。	1917 年 01 号	〔**〕	「挙国一致の外政 策」	継 続
22	日本の産物の購買力を養ひ及び日本の勢力の土臺をも作らなければならぬ。之が爲めには現在此方面に活動しつつある諸銀行會社等の資力を豊富にし、又夫の臺灣銀行が最近に案出したる信託預金にて資金を集めて、	1917 年 01 号	〔**〕	「正貨と我が財政 經濟」	継 続
23	又伯林大學に於ても大規模に於て化學教室新設の計畫あり、此く漸次改良増設を計りつつあるを以て、追て大學の工業化學科にも改善の影響を及すことゝ信ず、	1917 年 01 号	〔**〕	「独逸の工業化学 教育」	接 近
24	多少國民の意氣を銷沈せしめたとも見るべき形跡が見えぬでもなかつた、例は最近募集されつつある第六回軍事公債の如き、大に悲觀的の報さへ傳はつて居る位で、	1917 年 01 号	〔**〕	「羅馬の敗退と戰 局の前途を論じて 講和提議に及ぶ」	継 続
25	それが結局何う云ふ事に落付くかと云ふことは、各國とも大に心配し且つ警戒しつつあるところである。◎此の戰爭が勃發して以來、	1917 年 01 号	〔**〕	「事業界一夕話」	継 続
26	個人としても國民としても大正四年代と違つて、日本人の心に何がしかの反省と何がしかの改革的志向とが萌しつつあることを私は想像します。選舉有權者の大部分は三年前に異らない素朴な状態にあるとしても、	1917 年 02 号	〔婦人界 評論〕	「心頭雜草」	接 近
27	新聞記事が度々大袈裟に書けば、天下の若い婦人が皆墮落しつつあるやうに眩惑的な感じをも起させるものです。何ぞ知らん、	1917 年 02 号	〔婦人界 評論〕	「心頭雜草」	継 続
28	何ぞ知らん、貞操觀念の稀薄な婦人は却て非常に減じつつあるのです。固より多數の婦人の中ですから不貞な婦人はいろいろの事情に由て斷えず發生して居るでせうが其れは理知的に自敬することを知らなかつた以前の婦人に比べたら數に於て非常に減じつつあるのです。	1917 年 02 号	〔婦人界 評論〕	「心頭雜草」	継 続

29	貞操觀念の稀薄な婦人は却て非常に減じつつあるのです。固より多數の婦人の中ですから不貞な婦人はいろいろの事情に由て断えず發生して居るでせうが其れは理知的に自欺することを知らなかつた以前の婦人に比べたら數に於て非常に減じつつあるのです。それで内田先生の謂ゆる交換的提議をするやうな婦人が先生の危惧を惹く程あらうとも想はれません。	1917 年 02 号	[婦人界 評論]	「心頭雜草」	継 続
30	自國が交戦國の一となれば最早世界の大戦を仲裁すると云ふことは出来ない。又現在に交戦國の間に立つて常に得つつある重要な地位をも失ふ事になる。故に曾てルシタニヤ號及びサセツクス號事件の際に宣言したる言葉に對して止むを得ず獨逸と國交を断絶したが	1917 年 03 号	[**]	「獨逸の潜航艇戰 宣言と米國」	結 果
31	本大臣は前内閣の施政に就き其の是なるは之を踏襲し其の非なるは之を變改す、況んや現内閣は如今専ら力を内外庶政の匡正に致しつつあるをや。若夫れ前内閣の黨與たりし政黨にして果して赤誠以て國家を憂ふるに於ては假すに時日を以てし、	1917 年 03 号	[**]	「第三十八議會解 散顛末」	継 続
32	當今の時勢は進歩的教育を要求しつゝあるに岡田文相は保守的教育の外實行し得る手腕がない。當今の社會は實際的教育を要求しつつあるに岡田文相は形式的教育の外施設し得る能力がない。當今の世界は急進的教育を要求し各國共に全國民に男女の別なく、	1917 年 04 号	[**]	「總選挙の意義 附 議會再解散説 の可否」	継 続
33	三十年來殆ど一貫して優越する事實を明確に語るもので、之に對する大隈侯等の不斷の失敗不遇は畢竟自然界に於ける優勝劣敗の理法を偶々我政治界に實演しつつあるに過ぎない。實に此状態は卅年來連續して今日に及び、	1917 年 04 号	[**]	「山縣天下」	継 続
34	猥に兵備の充實に反對し敵國をして之に乗ぜしめ自國をして不測の災害を蒙むるに至らしめたればなり。此に由て之を觀れば淺薄にして定見なき平和主義者は一方平和を欲し他方にては却て戰爭を誘發しつつあるものと謂ふも敢て不可なきを見るなり。以上の如く論じ來らば眞の平和は遂に之を期待し得べからざるか、	1917 年 04 号	[**]	「平和と世界の統一 (強國論)」	継 続
35	戰爭に因る國民上下の苦痛は獨り交戦國のみに止まらず、歐洲の中立諸國もまた非常なる難境に呻吟しつつあるのである。例へば瑞西の如き。	1917 年 06 号	[**]	「大に連合國を援助 せよ」	継 続
36	今日でこそ佛教各派の寺院は殆ど社會的に無用の長物視されてゐるが、徳川時代に於ては現時の町村役場に於て執りつつある事務の大部分を寺院に於て管掌した、即ち戸籍上の事も教育上の事も、	1917 年 06 号	[**]	「本願寺論(中篇)」	継 続
37	唯その實行の方法を講ずる上に於て尚ほ非常に手緩いと云ふ外はないのは實に残念のことである。此の方法を徹底せしむるに付き敵國ながら目下世界を驚歎せしめつつある獨逸の經驗は大いに參考に資するに足るものがあると思ふ。七、獨逸の職業補習教育が義務的となりし所以と彼我の差異	1917 年 10 号	[**]	「強國と成る可き 根本大策(工業教育 の振興)」	継 続
38	今日の如く英米の輸出禁止に逢ふに到れば忽ち非常なる苦痛を感じる次第であるから、現今盛に勃興しつつある、數多の製鋼所は其の原料の供給について大に研究する必要があると信ずる。	1917 年 12 号	[**]	「鉄」	継 続
39	他の一半は、府縣の市部會及市部參事會に於て議決及處理するの奇觀を呈しつつあるなり。抑も市部經濟の府縣費と言ひ、	1917 年 13 号	[**]	「東京市の高級市 制」	継 続
40	第一、列國に於て開戦後民主政治が異常の勢力を發揮しつつあるのである。先づ露國ロマノフ朝の滅亡及び露國の專制政治が戰爭勃發の日まで金城鐵壁の如く露國の内外に認められて居つたに拘らず、	1917 年 14 号	[**]	「歐洲戦亂と民主 政治の新傾向(第二)」	継 続
41	滿鐵が蒙古人に對する社會事業として、特殊の効果を奏しつつあるのは、去年以來、	1925 年 01 号	[**]	「夢の蒙古王國」	継 続
42	この社會には、他の階級他の職業者も共に生活しつつあることを思ひ、自己の利益と他人の利益との間に協調を圖つて、	1925 年 03 号	[**]	「普選実施の國民 思想に及ぼす影響」	継 続
43	投下爆彈の研究に熱中してゐること、補助艦の擴張に莫大な費用を投じつつあること、といった様に、	1925 年 04 号	[**]	「日米海軍勢力の 比較」	継 続
44	科學者たちは一步一步と、一米突以下の短波長電波の征服を完成しつつある。フランスからの報告によると、	1925 年 04 号	[世界の ラヂオ]	「〈世界のラヂオ〉」	接 近
45	それでは小作組合は、どんなことに發達しつつあるかといへば、殆んど全國にわたつて居るが、	1925 年 04 号	[**]	「小作爭議の地理 的分布と最近の傾向」	継 続
46	記憶等にも著しい變調を來さない時でも、徳性は既に麻痺しつつあるのである。かくして漸次判斷力が鈍り、	1925 年 07 号	[**]	「禁酒運動の科學 的基礎—特に工業 能率増進に就て—」	接 近
47	時期に適した近來の名著である。國家的重大問題に面接しつつある日本國民は、是非ともこの著を一讀し、	1925 年 09 号	[**]	「〈新刊紹介〉」	継 続
48	雪達磨の如く年々なし崩しを試み、昨今にては漸くこの事業が理想に近づきつつある事を世人から認めらるゝやうになつた。私は未だこの困難に打克ち盡した譯ではないから大困難に打克つた感想を陳べる事は出来ないが、	1925 年 10 号		「困難に打克つた 經驗、失敗から得た 教訓」	継 続

49	區劃整理さへ容易に付けられず公園の増設擴大など思ひも寄らぬ迄に俗論黨が跋扈して、理想的大東京の建設が妨げられつつあるとは云へ、いつかは立派な大東京の理想が實現せられる暁もあらう。	1925 年 10 号	〔*〕	「我が方丈記―荒み行く東京―」	継 続
50	怠慢であつた彼女の運命に、其儘服従して一生を送る事に苦痛を感じつつある。 彼女等は、	1925 年 11 号	〔*〕	「近代家庭の悲劇と貞操問題に直面して」	継 続
51	それは兎も角としてシベリヤ歸りのさうした婦人が關西の一部の情痴の世界を化膿させたのに引き換へ、關東のそれは震災に影響された女性に依つて完全に化膿されつつあるのは興味ある對照でなくてはならない。 彼女達が社會に直接貢獻する所は殆んどないが、	1925 年 11 号	〔*〕	「最近の小説に現れた女性―芸術化されたモダン・ガールの考察―」	継 続
52	そして明日の新建設を幾分でも容易ならしめるに間接な、無意識な寄與をなしつつある事を思へば、必ずしも無意味な存在とは言へない。	1925 年 11 号	〔*〕	「最近の小説に現れた女性―芸術化されたモダン・ガールの考察―」	継 続
53	或は一民族を基調とした運動が、大に勃興しつつあるといふことが認められるのである。而もこの國家的精神の勃興は、	1925 年 11 号	〔*〕	「日露国交と普選実施」	継 続
54	議會は既に國民の信任を得て居ない。少くとも議會の信用は地に墮ちつつある。今日、	1925 年 11 号	〔*〕	「日露国交と普選実施」	継 続
55	自國の需要に應じた剩餘を、どん／＼外國に輸出しつつある。大戰の大打撃を受けた英國にしる、	1925 年 11 号	〔*〕	「ホテル経営上から見た世相」	継 続
56	人力車の時代から、自動車の時代に入りつつあるといふことが氣づかれる。外國人が、	1925 年 11 号	〔*〕	「ホテル経営上から見た世相」	継 続
57	無産政黨組織準備委員會は組織せられた。而してその運動は今や漸く具體化せんとしつつある。同じ國民として忠良の臣民たる大衆無産階級が、	1925 年 12 号	〔*〕	「無産政黨組織準備委員會の主要団体及中心人物―委員會組織の過程及将来―」	接 近
58	新に明治文學史上の古典として後代に傳へる用意を盡し、『改定註釋 櫻痴全集』全七巻の發刊を企畫しつつあることは前號にも紹介しておいた。◆その第一巻『美學及美術史』すでに發賣の運びとなつた	1925 年 12 号	〔*〕	「全集・叢書・新刊書の紹介」	継 続
59	労働組合なるものが或る一定の目的を以て存在し、或る一定の機能を以て活動しつつあるのを法律がこれを確認し、これを保障してやるといふことである。	1925 年 13 号	〔*〕	「労働組合立法に対する我國の労働者 資本家及び政治家の心理」	継 続
60	例へばベルギーの如き小國に在ても労働に關する理解が總ての階級に普及して居る。其結果重きを労働に置き産業も亦完全なる發達を爲しつつある。之と反對の状態を呈して居るのが我が日本である。	1925 年 13 号	〔*〕	「日本の労働問題」	継 続
61	之と反對の状態を呈して居るのが我が日本である。 先づ第一は我國に於て政治上如何に労働問題が取扱はれつつあるかを考ふるに、封建の餘弊猶未だ去らずして	1925 年 13 号	〔*〕	「日本の労働問題」	接 近
62	と云ふが如く動もすれば遊惰座食者が尊敬せられ、所謂己の力を以て働いて一身を支へ妻子を養ひつつある労働者を卑下する弊風が今尚依然として存在して居るにあらずや、中央地方を問はず施政の目標が多數國民の利益よりは寧ろ少數者の便益を圖るに傾けるは事實の證明する所である	1925 年 13 号	〔*〕	「日本の労働問題」	継 続
63	封建の餘弊たる座食者高等遊民の跋扈跳梁を根絶するは刻下の最大急務なりと信ずる。 他の先進國と雖も近時社會就中労働問題に悩まされつつあるは事實なり。然れども彼等多くは政治的經濟的に十分の發達を遂げ確乎たる基礎の上に立ち、	1925 年 13 号	〔*〕	「日本の労働問題」	継 続
64	就中、社會主義の學理的研究に於て著名なる獨國に於ける變化は實に驚くべきほど穩健なる方向に進みつつある。而して歐米各國何れも皆破壊的狂暴なる主義學說に向て警戒を怠らざるの現状であつて、	1925 年 13 号	〔*〕	「日本の労働問題」	継 続
65	世は滔々たに合し、朝に離れるといふ輕薄な情態と化しつつある今日、濱尾子の如きは、	1925 年 13 号	〔*〕	「浜尾子を追懷す」	継 続
66	限りある土地であるから今に言はないとも限らぬ。 人口問題に行きつもらんとしてつつあるのは世界各國到る處に、これを觀ることが出来る。	1925 年 14 号	〔*〕	「最近の南米事情と日本移民」	接 近
67	世界の視聽の中にあつて各國が競つて殖民を急いでゐる。新しいチャンスを求めつつある。私は、	1925 年 14 号	〔*〕	「最近の南米事情と日本移民」	継 続
68	私の關係してゐる海外興業會社も益々事業を擴張し、同胞のために出來得るだけの便宜を計りつつある。	1925 年 14 号	〔*〕	「最近の南米事情と日本移民」	継 続
69	一日とてその舊態を維持せず、日増しにその方向を大工場の方に集中しつつあるが、農民美術	1925 年	〔*〕	「農民美術の意義	継

	のやうな地方農村に散在する小單位の手工業は、	14 号		と発達とその産業的価値」	続
70	米國內の諸大學は各自獨得の組織を有し、各々特殊の色彩を發揮しつつあるのである、唯此の兄弟會の組織によりて諸大學の間に一種の趣味ある聯絡が行はれて居るのである、	1925 年 14 号	[**]	「ステファニック 將軍を懷ふ」	継 続
71	特に教育上の施設に就きてさういふ感が深刻であるのである、何んとなく輕節のはひらない味噌汁を思ひ出させるやうな缺陷がどこかにあるやうに平素から意識しつつあるものから、此の稿の目的とは縁遠き事柄なれど一言附記したのである。	1925 年 14 号	[**]	「ステファニック 將軍を懷ふ」	継 続
72	講演の骨子であつたのである、吾人に拭ふべからざる沈鬱を與へ吾人に朝夕不愉快の念を起させつつある昨年の米國移民法、さういふ具體的のことは勿論神ならぬ身の知る由もなかつたのであるが、	1925 年 14 号	[**]	「ステファニック 將軍を懷ふ」	継 続

『女学雑誌』の例文

番号	例文	巻名等	底本	用法
1	何如なる所ろにも不足なり # 諸君、# 請ふ此の不足を充たせ。# 此の不足は諸君を需要しつつある也。# 凡そ、# 利己の人ほど卑しきはなし。# 生命を得んとして之を失なひ	卒業は始業なり	女 学 雑 誌 <1894-27>	接近
2	◎余が信ずる所によれば、# 印度は日に益々基督を受容しつつある也。# 然れども之が如何ほど基督教宣教師の厲精によるやは斷言する能は	モズームダルの論文	女 学 雑 誌 <1894-27>	継続
3	人士及び印度國諸般の改革事業を先導せる人々を指して謂はんに、# 彼等は愈よ基督の精神を呼吸しつつあるを見る也。# 彼等は、# 耶蘇の人物を尊敬し彼を愛し其靈性上彼を受け入れんとしつつある	モズームダルの論文	女 学 雑 誌 <1894-27>	継続
4	彼等は、# 耶蘇の人物を尊敬し彼を愛し其靈性上彼を受け入れんとしつつある也、# 然れども彼等は通俗に所云る基督神學なる者に對しては全く厭棄の	モズームダルの論文	女 学 雑 誌 <1894-27>	接近
5	減せめんには更に百尺竿頭一步を進め近來稍々死法空文に傾きつつある彼の學齡兒童就學督責規則を活施厲行して以て其弊を矯なは冀くは	學校、教育	女 学 雑 誌 <1894-27>	継続
6	衰潰せられたる、# 女子教育の大勢は、# しづかに其首を擧げて、# 進み來らんとしつつあるに非ずや。# 其眞相は發揮の時を待ちつつあるなり。# 然りと雖も、	女子教育家に告ぐ、	女 学 雑 誌 <1894-28>	接近
7	進み來らんとしつつあるに非ずや。# 其眞相は發揮の時を待ちつつあるなり。# 然りと雖も、# 此時に於て、# 女子教育に任ずるもの、# もし大に廟算計策して、	女子教育家に告ぐ、	女 学 雑 誌 <1894-28>	継続
8	あるにあらず僅に米菓子の卸賣を以て業とし常に不如意を感じつつあるも之れを兩親に示さず常に其意に逆ふことなく能く家事に勉勵せり	美談	女 学 雑 誌 <1894-28>	継続
9	諸君も亦た同類の地位に立ちて、# 彼と均しき優柔の軟策を執りつつあることなき乎と。# 謂ふ先づ足下直接の現境より比較し來れ。# 世上何んぞ「情實」を以て辨とするものゝ多きや。	三國連想録	女 学 雑 誌 <1894-29>	接近
10	他の容色金力に打ち勝ち之によりて良妻賢母たることを畫きつつあるならん而して此の準備と希望とは少なくとも今日に於ては水泡畫餅に	地方に於ける有教育 女子の情態	女 学 雑 誌 <1894-29>	接近
11	將來事をなさんとする有爲の青年を泥中に引込み今日事をなしつつある有用の人々の心氣を蕩かし凡ての不義、# 不經濟、# 不道德、# 不名譽の原因を作り且つ之れが媒助となりて殆ど人として人にあら	片々	女 学 雑 誌 <1894-29>	接近
12	且つ之れが媒助となりて殆ど人として人にあらざる舉動をなしつつあるものを救ひ正業に就かしめんと計畫あり已に委員を設けて一方に	片々	女 学 雑 誌 <1894-29>	接近
13	國義團を組織し一朝事ある時は毎つて軍に従ふの用意を爲しつつある中には熊本女學校生徒の一群もありと云ふ # ◦憎むべし支那人の風儀	片々	女 学 雑 誌 <1894-29>	接近
14	ナマケンとて歸るにあらず、# 休まんとて歸るにあらず、# 實に勉強せんとして歸りつつあることを確認せられよ。# 故郷に諸君を迎ふる人の心はいかに。# 先づ、# 御兩親は、	暑休帰郷の女生	女 学 雑 誌 <1894-30>	接近
15	女子の教育行われず # など論ずれども、# 女子の教育は、# つねに行われつつあるもの也。# いづれの父母か、# 其ムスメを教ゆることをせざるものあらん。	暑休帰郷の女生	女 学 雑 誌 <1894-30>	継続
16	よつて今日の普通教育的の女子教育法を主張し、# コノ教育法にかえしめんとするに當り、# 古風の教育を爲しつつある父兄をして發明せしむるは、# 現在かゝる教育法をうけたる諸君が實際の結果いかむと云ふ一事に	暑休帰郷の女生	女 学 雑 誌 <1894-30>	継続
17	諸君は、# 其結果を示し、# 其標本を示さんとして、# 今ま歸りつつある也。# 諸君は、# 新らしき女子教育法を主張せんとて歸りつつあることを記憶せよ。	暑 休 帰 郷 の 女 生	女 学 雑 誌 <1894-30>	接近
18	今ま歸りつつある也。# 諸君は、# 新らしき女子教育法を主張せんとて歸りつつあることを記憶せよ。# 然るに女生の國に歸るやなか / \ 横着にして、# 此度びは、	暑休帰郷の女生	女 学 雑 誌 <1894-30>	接近

19	先づ小事なりと氣の着いたる後なり。 # 小事に氣をつけるは、 # 大事に手を着けつゝ ある 上の事なり。 # 然るに、 # 小事にすら、 # 氣がつかず、 # 又、 # 小事にすら負けて實行しがたきものが、	暑休帰郷の女生	女 学 雜 誌 <1894・30>	接近
20	畜は年一年に其屠殺数を減ずるも然も尚ほ年々其現在数を減じつゝ ある にあらずや # 牛肉の需用を奨励せんこと到底今日に望むべからず # 然らば彼の馬畜は如何是れ亦實に先天的の食用獸にあらず且つ其繁	味噌汁は農家の牛乳なり 帰郷女生に一問題を贈る	女 学 雜 誌 <1894・32>	継続
21	魚介の需用を増加すること如何是れ亦容易に望み得ることにあらず # 特に今日蛋白質供給に最も不足を感じつゝ ある 處のものは海洋に遠く運搬交通に不便なる山村の住民にして此等假	味噌汁は農家の牛乳なり 帰郷女生に一問題を贈る	女 学 雜 誌 <1894・32>	継続
22	加之更に眼を他方に轉ずる時は又大に憂ふべきものあるを見る # 則ち我等蛋白質需用者は實に年々五十万人宛を増加しつゝ ある にあらずや # 而して之が天然供給を考ふるに山野の禽獸は年一年に減少し河川湖	味噌汁は農家の牛乳なり 帰郷女生に一問題を贈る	女 学 雜 誌 <1894・32>	継続
23	と又長大強壯長命なるとは一に姉妹諸君の柔かき温手に荷はれつゝ ある ものゝ如し # 若し今後益々矮小虚弱短命に陥ることもあらば其責や諸君の上に落	味噌汁は農家の牛乳なり 帰郷女生に一問題を贈る	女 学 雜 誌 <1894・32>	接近
24	尋常中學校長其他重立ちたる諸氏の贊襄を得て日に隆運に向ひつゝ ある 由なるが今其教授の方法の一般を聞くに從來の女子教育法とは大に	學校、教育	女 学 雜 誌 <1894・32>	継続
25	知ること能はずと雖ども慥かに其眞心なるものを會得し得るなり、 # 余等其途に進みつゝ ある なり然れども前途計るべからざるもの有るなり、 # 余等は徒らに空想に走る可らず、	畫道の眞心	女 学 雜 誌 <1894・33>	接近
26	余は愛に眞心と名づけたり、 # されど名は何れにてもあれ、 # 余は唯余が畫を作りつゝ ある とき又天地間の萬象（人物花卉動物其他一切を指す）に對する時余	畫道の眞心	女 学 雜 誌 <1894・33>	継続
27	惡さも惡しと瞥一瞥しつゝふと反省すれば、 # こは抑も、 # 此の惡徒宛然自己が平常を活演しつゝ ある に異ならず。 # 俄然本心覺醒して、 # 良能一時に驚ろき、 # 直ちに決して何事も棄て置き、	美なる實行の活例	女 学 雜 誌 <1894・33>	継続
28	も注意と稱する状態は精神の發達上に於て最も必要なる事情なり。 # 吾人は絶えず外界より無數の刺激を受けつゝ ある ものにして、其刺激の中左程明かならぬ識的現象となりて忽ち減す	嬰兒の精神及び其發達（其六）	女 学 雜 誌 <1894・34>	継続
29	事々物々明かに美はしく、 # 而して其色の何ともいひぬ色々を帯べるを見つゝ ある に、 # あれを見よ、 # 彼方に懸けたる虹の橋、 # 七種の光彩夢の如く幻の如く、	畫の趣味（一） 無光（作）	女 学 雜 誌 <1894・35>	継続
30	目前の要緊に妙中するか。 # 又、 # 其消費する所ろの金錢は、 # 何如ほどに高價なる結果を買ひつゝ ある か、 # と。 # たとひ、 # 外國宣教師の行爲にして、 # 遺漏欠典ありしとするも	外國宣教師論 巖本善治（作）	女 学 雜 誌 <1894・37>	接近
31	一、遣ひかけの水は沈澱物を浮遊せしめ居りて清き處なき故 # 一、遣ひかけの水は動きつゝ ある 故多くの外氣に觸れ靜置せる水よりも早く温化する故 # 一、遣ひかけの水は動きつゝある故冷温混じて冷き部分なき故	家政試問	女 学 雜 誌 <1894・37>	継続
32	動きつゝある故多くの外氣に觸れ靜置せる水よりも早く温化する故 # 一、遣ひかけの水は動きつゝ ある 故冷温混じて冷き部分なき故 # 一、遣ひかけの水は量少くして温化易き故	家政試問	女 学 雜 誌 <1894・37>	継続
33	極めて肝要なりとす。 # 今の女子教育者中、 # 此の抱負を以て日本の女學を研究しつゝ ある もの多きや如何に。	日本女學の研究	女 学 雜 誌 <1894・38>	継続
34	厭ふ處に無之依て寸時たりとも護國の爲め負傷疾病に苦められつゝ ある 軍人諸氏に看護に従事致度表情難止より茲に重ねて御賢察を煩はし	朝鮮より來書	女 学 雜 誌 <1894・38>	継続
35	免されん爲めには吾生命を捨つるも可なり唯御心のまゝに爲し賜へ # と而して出來得るだけは此折りの幾分を實行しつゝ	高橋傳五郎絶筆	女 学 雜 誌 <1894・38>	継続
36	彼女は此學校にて得たる處を世に與ふるの責任を有するに非ずや。 # 夫が彼女を愛する如く、 # 世も彼女を愛せんとして、 # 待ち望みつゝ ある なり。 # 彼女は一方には夫を捧ぐる愛をもて、 # 一方には世に捧げ、	樂しき眞の家庭（下）	女 学 雜 誌 <1894・39>	継続
37	心にて爾來は日々福岡病院に通ひ看護術及び繻帶法等を研究しつゝ ある も看護婦として渡韓の事は容易にこれを許さざるより茲に婦人協同	表誠、美談	女 学 雜 誌 <1894・39>	継続
38	支那四百餘州と相ひ戦かふのみにあらず。 # 眞とに全世界と面對して堂々の義戦を爲しつゝ ある 也。 # 此を以て、 # 國民の勃發、 # 一和、 # 亦た此回の如きは鮮なし。	眼前の美談	女 学 雜 誌 <1894・40>	継続
39	不平を漏すの順序これ也。 # 現に外國宣教師と事を共にし其助力を受けつつ ある ものは、 # 須からく先づ其の共同の事業に於て熟苦すべし。 # 未だ初めより公けに他に向つて不平を放つ可らざる也。	外國宣教師論（再）	女 学 雜 誌 <1894・41>	接近
40	清人 五百十三名 韓人 十四名 # 内我野戰病院にて現に治療を施しつゝ ある もの清人百二十名韓人二名とす # （「日本」新聞）	片々	女 学 雜 誌 <1894・41>	継続
41	如に多く教育學上講究の便利を與ふるかを推知することを得べし。 # 孤女學院は、 # 即は	孤女學院の女學	女 学 雜 誌	継続

	ち間斷なく之が爲めに苦辛しつゝある也。# 但だ、# 大須賀君の謙遜にして深奥なるや、# 未だ至らずとして俄かに其の教育意見を發表せらるゝことなし。		<1894・42>	
42	兵士が當に爲すべき事を爲せる也。# 國家と兵士とが、# 其の當に爲す可きの事を成しつゝあるが如く、# 四民万衆は、# 當に各自の職分に於て其の爲すべき事業に盡精すべし。	大日本起てり	女学雑誌 <1894・43>	接近
43	育、慈善事業等の矯風の事業に於て、彼等果して何事をか爲しつゝある乎、# 一種獨斷的の人生觀、世界觀を爲して、之れが修養として哲學を學	朝鮮宗教の将来	女学雑誌 <1894・43>	継続
44	慰藉と傳道とは眞とにクリスチアンの最とも任ずべき所也# と。# 即はち、# 無名子は、# 大ひに此事に盡力せられつゝある也。# 更に勤む四方の諸君子、# 皆な常に此如く實行に勵まるべし。# ◎大坂の照暗女學校は西京に移りて新たに校舎を建設せし後ち、	片々	女学雑誌 <1894・43>	継続
45	かの大人が馬となり犬となるの當時は、# 眞とに満腔を悉くして犬馬の勞を爲しつゝあるに非ずや。	父が子の爲に犬馬となる時	女学雑誌 <1894・44>	継続
46	一言するに、# 其の『教政』に於て、# 將に一大風雲を捲き來さんとしつゝあることを默認すること也。# 言ふ迄もなく、# 京に田舎あり、# 戰國に天下太平あり。	教界大勢論	女学雑誌 <1894・44>	接近
47	現在の教勢を無事有望なりとし、# 切りに御恵みに感謝して、# 天國の到來を夢みつゝある樂天家も多くあるもの也。# 數に於てせば、# 此種の人固より多數ならん。	教界大勢論	女学雑誌 <1894・44>	継続
48	超然、# 説教、# 諸集會の外に逍遙遊して、# 獨り孤忠の誠意に慰さめつゝあるの人士か。# もしくは、# 碌々平凡、# たゞ習慣によつて習慣の如くなる人士かの二種に限らるべし。	教界大勢論	女学雑誌 <1894・44>	継続
49	余は最も日本画を好むものゝ一人なり、# 余は人の前に日本画の美を誇りつゝあるものなり、# 今日画家が有する手練は頗る注意すべきものあるを認め居る者なり	博物館を觀るの記 (二)ノ上	女学雑誌 <1894・44>	継続
50	余は彼等は彼等として益其技量を顯はさんことを切に希望しつゝあるなり。# 余は此點に於ては、# 實に以て世界に誇らんとするものなり(彼等と共に)。	博物館を觀るの記 (二)ノ上	女学雑誌 <1894・44>	継続
51	余は諸氏の画才を心より讃賞するものなり。# 諸氏が今舊來の暗處を去りて光明の國に向ひつゝあることは、# 諸氏の画之を證明しつゝあり。# 後進者は諸氏の画を見て戒め且つ覺る所のもの多きなるべし。	博物館を觀るの記 (二)ノ下	女学雑誌 <1894・45>	継続
52	自己が美質を測知する批評眼すらあることなく、# 只だ循々として學びつゝある無名氏には、# 既に先生の躰を具ふるもの多くあり。# 彼の代議士と、	無名氏を景慕す	女学雑誌 <1895・1>	継続
53	叩きて靜に入れば傍に置くゝ小さき臺に向つて病床日誌を記しつゝある看護婦諸姉はやさしき咲をたゝへて迎へられぬ、# かく迎へられつ送られつて行きし内或一室にて一看護婦の電氣治	日本の黄鶯嬢	女学雑誌 <1895・2>	継続
54	彼等が鼓動脈々として響くるとき、# 彼等は皆な異様の感慨を動かしつゝある也。# 暫らくして、# 館に釘うつ音も聞ゆる也。# 明日は、# 歌うたひつつ穴を掘る人もあるべし。	死者枕頭の歎	女学雑誌 <1895・2>	継続
55	にして小樽港の如きは元より日の出の勢ひにて年々隆盛を極めつゝある事なれば一般に斯る窮民なからん事は勿論なりしと雖も又た多數の	片々	女学雑誌 <1895・2>	継続
56	餘徳芳黨尚ほ力あり、現に、所々依然として報徳講積善事業の實地に行はれつつ	博愛社の事業	女学雑誌 <1895・3>	継続
57	此より傳わり、悲惨、此より傳わり、戰況、吉事、訃音、祝賀、皆此より傳わりつゝある也。小雀來り、其が上に息こふ。悠々吟歌して、足下に轟りける千變萬態を知ることなし。	山路の電信線	女学雑誌 <1895・3>	継続
58	供は何の用をも爲すまじ。左れど大人豪傑は皆な一度び子供たりきと。子供は、あらゆる美質を存して、將に之を開かんとしつゝあるもの也。未だ開かざる苔の價值、花に劣らざることを知らば、何んぞ、	子供のはなし	女学雑誌 <1895・3>	接近
59	に優りて強きは邪心の勢力にて其國民の道德性弛緩の途に進みつゝあるの國は實に禍たるなり一人の不道德家は一國の強敵にてたとひ其人如何に愛國を大呼する	日本の姉妹に訴ふ(其一)國民の獨立は清潔の徳にあり	女学雑誌 <1895・3>	継続
60	る制度を廢止せられむ爲に務むる事第二既に熱心に着手せられつゝある如く外國妓館に日本婦人を賣渡す事を停むる事(妹等は新聞紙上に	日本の姉妹に訴ふ(其二)悲むべき通信	女学雑誌 <1895・3>	継続
61	を停むる事(妹等は新聞紙上に既に此の點に於て着手せられつゝある事を拜讀し欣喜に堪へず候)第三女子をして彼等に命ずべき權利な	日本の姉妹に訴ふ(其二)悲むべき通信	女学雑誌 <1895・3>	継続
62	餘名の孤兒を教養するかの一事に憂慮して止む時なかるべき筈也。余が信ずる所によれば、岡山孤兒院が現に爲しつゝある諸部の實業は、二百六十餘名の孤兒を教養するに足るべき利益を供出するに足らざ	岡山孤兒院を讀む	女学雑誌 <1895・4>	継続
63	然れども、此の無厭慮の批評を蒙りつゝ、恬として傳道しつゝある外國人、及び、之を送來せし外國の有志者が精神は感服すべきものある也。	海外傳道論	女学雑誌 <1895・4>	継続

64	身動きもせず見てあれば、吾友なる吾影子も亦た、まんどりともせず眺めつつある也。次第に意氣の感通することを覚え、次第に彼我のけぢめを忘れ、	月下櫻樹のかげ	女学雑誌 <1895-4>	継続
65	之を快復せんとするの輿論は今や亦た片田舎まで行はれんとしつゝある也。◎女教師の服装 女學生の服装を質素にすべきことを内訓せらるること、	片々	女学雑誌 <1895-4>	接近
66	もし此等の異例なしとせば、即ち傳道界にも亦た尋常因果の法則の行われつつあることを覺知すべき也。もし夫れ佛教の寺院に於けるが如く、住僧の徳を慕ふて來集するにあらず、	傳道界の風雲、及び個人の勢力	女学雑誌 <1895-5>	継続
67	餘念なく打ながめ、心に郷里の樂しみを念慕しつゝ、うつとりとして、行き通ひつゝある新兵の状態を見れば、涙あるものは、ひそかに袖を絞らざることなし。	軍人慰藉會	女学雑誌 <1895-5>	継続
68	吾が國家の現役に従事して、同胞四千万に代り常備の勞苦に耐へつつある吾等が兄弟を慰藉することを得べく、更に大觀し來れば、兵士の純潔を維持し、	軍人慰藉會	女学雑誌 <1895-5>	継続
69	此の大觀に熟したる偉人の識見は、もと此識見を企念し、鍛練しつゝあるものゝ外は、悟入直覺することなし。左れば、大局の偉觀を聞くときは、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
70	彼等は、其の大いに學びつゝあることを知らず。彼等は、其の大いに説教しつゝあることを識らず。彼等は、其の大いに慰さめつゝあることを覺らず。彼等が爲めに、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
71	彼等は、其の大いに説教しつゝあることを識らず。彼等は、其の大いに慰さめつゝあることを覺らず。彼等が爲めに、憂ふるものあり、喜こぶものあり、夜も寝ねざるほどに思ふものありといへども、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
72	彼等は、更めて、天地を樂しとも言はず、されど、其樂しみつゝあることは明白なり。誰か、彼等を害することを得ん。誰か、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
73	如此く神經質に、世は彌よ多忙となりて、而して、日本人民は、果して、成育しつゝある乎、壽命は長引きつゝある乎。心にかゝるは、此の事也。慕はしき哉、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
74	世は彌よ多忙となりて、而して、日本人民は、果して、成育しつゝある乎、壽命は長引きつゝある乎。心にかゝるは、此の事也。慕はしき哉、無意識の人。希はくは、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
75	世は彌よ多忙となりて、而して、日本人民は、果して、成育しつゝある乎、壽命は長引きつゝある乎。心にかゝるは、此の事也。慕はしき哉、無意識の人。希はくは、	無意識論	女学雑誌 <1895-6>	継続
76	國家が其の實力を用ひて教育を施すこと、是也と。國家教育もし然りとせば、現に行はれつゝある國家教育は、帝國大學、高等學校、高等中學校の類、凡そ稱して官立學校と爲すものゝ場に於て	國家教育の名に惑ふ	女学雑誌 <1895-6>	継続
77	高等中學校の類、凡そ稱して官立學校と爲すものゝ場に於て今日施行せられつゝある所の教育即は是れ也歟。然らば、關わる所尤とも廣く、施く所尤とも急なるべき普通小學教育に於ける國家が教育なるも	國家教育の名に惑ふ	女学雑誌 <1895-6>	継続
78	ともしがたく唯社會の良心の鈍れたるを遺憾に思ひ居るのみに候。弟は現今多數の人に日々面を合す職を爲しつゝあるに時々彼の歌妓などの來る時何時も弟が心を苦め申候 自から好で其境に入りし者すら猶其家庭と境遇との罪少からず	美觀、廢娼論	女学雑誌 <1895-6>	継続
79	司令部又は倉庫の前に出張して、人夫を世話する官吏の指揮を爲しつゝあるなり。甚だしきは一日彼れを訪ひし時、彼れ筆を造らしむるに、竹管なくして、	朝鮮の官妓	女学雑誌 <1895-6>	継続
80	事業として「日本宗教社」の事業に熱贊の意を表し、社員中の多數は、之に助力しつゝある也。「日本宗教」は告白すらく、乞ふ一年の壽命によりて些さか其天職を果さん	『日本宗教』を歓迎す	女学雑誌 <1895-7>	継続
81	今は則ち其舊宗教を守り新宗教を迎えて、正に混和折衷の靈用を施こしつゝあるの時と。宜なり、其外狀の沈定して、内容の鬱勃たることや。	『日本宗教』を歓迎す	女学雑誌 <1895-7>	継続
82	高等小學第三年の頃にある愛嬢の爲に、前途、何如なる教育を施こして、立身出世せしめんかと、思慮しつゝある親御に告ぐ。其の心に畫き玉ふ出世の世なるものは、凡そ八九年後の世にはあらずや。	女子教育十年後の化粧	女学雑誌 <1895-7>	継続
83	八九年の后ち、始めて世に出で、始めて人の妻となるものの爲に考へつつあることにて、更に此の妻が人の子の母となる頃ほひの事迄で應ばかりとせば、	女子教育十年後の化粧	女学雑誌 <1895-7>	継続
84	に接し、到る所、女學の結べる果は何如なるものぞと掛念しつゝある人の中へ歸りゆく女學生は、謹んで戒心しよく／＼注意せねばなり	家に帰る女學生	女学雑誌 <1895-7>	継続
85	この大會は教育論壇の潮流の一方は、甚だ速に女子教育獎勵の針路に進みつゝあることを示したる程にて、其演壇の歡迎したる女子教育論は、近來稀れに氣焰を吐きたり。	近時の女子教育論	女学雑誌 <1895-7>	継続
86	多くの婦人達もありけるが、其婦人中にて、かく毎日會議の傍聴をなしつゝあるのみにては、なほ物足らはぬ心地せらるゝに、いま各國より婦人信徒の出京せるを幸に、	片々	女学雑誌 <1895-7>	くりかえし
87	但だ之が望に應じて其教育を施すべき適合の場所なきによつて、彼等の多分は則ち皆な朦々然として躊躇しつゝあるに非ずや。且夫れ、單に教育の場所なきのみは、尚ほ忍ぶべし、	女生の高等修學及び洋行	女学雑誌 <1895-8>	継続
88	其當世の彌よ當世に恨まるゝことを思はざ、論者當に疑問すべし、人世は抑そも日々退	慨聲の調鑑みざる可	女学雑誌	継続

	歩しつつある乎、道義性情は代々に衰へつゝある乎と。若し日々に退歩し、代々に衰へつゝありとせば、	らず	<1895-9>	
89	論者常に疑問すべし、人世は抑そも日々に退歩しつつある乎、道義性情は代々に衰へつゝある乎と。若し日々に退歩し、代々に衰へつゝありとせば、世界の運行は暗黒に向つて進むもの也。	慨聲の調鑑みざる可らず	女学雑誌 <1895-9>	継続
90	之と拮抗闘争して敢て劣らざらんことを期し、同時に奮勉努力して必らずや進向しつつある他の光明の一方面存す。以て能く權衡を維持し、惡者の増殖を遮防することを得るもの也。	慨聲の調鑑みざる可らず	女学雑誌 <1895-9>	継続
91	常に能く之と拮抗するの善者あることを考ふるときは、善者そのものゝ勢力と品格とに於ては、古來著るしき進歩を爲しつつあることを覺知すべし。勇者は、敗軍の中にも尚ほ顯現すべし、況んや對等の戦ひに於てをや。	慨聲の調鑑みざる可らず	女学雑誌 <1895-9>	継続
92	假りに善者全く惡者を壓滅し了することを得ずとするも、尚ほ以て善者の威力の日々に代々に進歩しつつあることを樂しむべき也。此に於てか、慨聲の代々絶えずして、	慨聲の調鑑みざる可らず	女学雑誌 <1895-9>	継続
93	者の増殖ありて而も之を防遏すべき善者の實行なきことを知りて、以て世道人情の眞に退ぞきつつあることを覺る。斯の如くんば、慷慨あるの世は、慷慨なきの世に劣るを知るべし。	慨聲の調鑑みざる可らず	女学雑誌 <1895-9>	継続
94	父母の其惡性の子女を感化院に附託し得るの實力なく、其子女は家を離れ人に棄てられ、現に社會に毒害を流しつつある者の如きに至ては、其數莫大のものたるべく、さも上流の社會に於ても、	惡年少と家庭	女学雑誌 <1895-9>	継続
95	誰か感奮せざる。之と同時に、氏に内助して其後ろに一大勢援を寄せつゝある佳人あるを知らば、感奮更めて切ならざるを得んや。古より大事を創むるもの皆斯の如し。	片々	女学雑誌 <1895-9>	継続
96	今一度人間世界に歸り來つて舊友と相見ることが欲せざるや。嗚呼子よ、子が歩みつゝある「死」とは夫れ詩人の歌ふ眠の如きものか、眠ならば樂しき眠にてもあれかし。	亡友反古帖	女学雑誌 <1895-10>	継続
97	レツシングを始めスタイン、グナイスト等崇拜せられたりき、否な是等は今尚ほ流行しつつあるなり。即ち政治家も文學者も教育家も多くは、語學と共に思想を變じ制度を化しつつ來れり	現社會の宗教的傾向	女学雑誌 <1895-10>	継続
98	何れも小狹の特性を以て互に新奇を弄ふの種多き社會なりしなり。然り而して社會の宗教的傾向は、如何に現はれつつある乎、現今の思想界を觀測するものは之を識るに難からず、僅かに之を略述すれば、	現社會の宗教的傾向	女学雑誌 <1895-10>	接近
99	中の小女の靈と結合せずんば止まざる如くに活動するを自覺しぬ、嗚呼余は果して罪を犯しつつあるか、我は墮落の人となりしか、思を沈めて自ら省みるに我心は一點の汚情あるなく又一毫の私慾あ	愛笛を惜むの詞	女学雑誌 <1895-10>	継続
100	莫遮、余が彼女に對するの思ひは益純潔に益強大に成長しつつあるなり、嗚呼此の一片の思ひ、如何にして意中の人に通ぜん、落花情あるも流水果して心ありや否や、	愛笛を惜むの詞	女学雑誌 <1895-10>	継続
101	の舊派なるものは正にこの平民政教の宣傳に重きを存するもの也然れども宗教界に腐敗の氣あるが如く正に舊派俳諧に腐敗を生じつつある也之を改善するは今日の急務ならずや今や「風雅」なる俳諧勢力は漸やく衰滅に歸さんとす	俳諧又閑記（下）	女学雑誌 <1895-11>	接近
102	之を外國宣教師が義捐金送達の心掛の宜しからぬことを慨論しつつある社會に就て問わん。其の社會に於て、其社會が憫れなりと觀する劣等者の爲めに抑も幾何の義捐を爲しつつ	外國人が傳道義捐の心懸	女学雑誌 <1895-11>	継続
103	又た人と事をともにするにも至るもの也。今の教界獨立論は、此運行の初歩を爲しつつあるものなれば、其の太はだ我儘なることは言ふ迄もなけれど、到底は眞の覺悟にも達すべしと信じ、	今の教界獨立論	女学雑誌 <1895-11>	継続
104	弱き人は常に心がく可し彼の歌をうたひ互に唱和しつる労働者は知らず呼吸を調へつつあるなり其効果次に斯く呼吸を調ふる結果は如何と攻究するに血液の循環をよくし	心身健全の一助	女学雑誌 <1895-11>	継続
105	日毎の事につけ、如何に彼が天真を傷ひ、彼が心を汚しつつあるやらむ。思へば我教へむとする稚子は、却て我を教ゆべきものなりけり。	花園隨筆（其一）	女学雑誌 <1895-11>	継続
106	而も偶たま渠が船を推すの態を見れば、舳張り足踏んで渠は大ひに歩を進めつつあるが如く感ずべけれど、船の進行するに拘はらず、渠が身舳の位地と、	先輩の時世後れ	女学雑誌 <1895-11>	継続
107	新文學字の作物稀には口演せられたるもあらむ、才子が時のすさみの都々々端唄は往々譌はれつつあるならむ、多少の學才ある書生が斯道に入りぬる話も聞けり、洋人某がこの連に入りて其日本装の珍らしさと口調のをかしさとに	演藝論	女学雑誌 <1895-12>	継続
108	となれども彼寄席といへる小世界當時の有様が如何に賤しむべく、猥りがはしき笑語を弄して、聽客の感を惹きつつあるかは實に意料の外にあるを嘆ぜずむばあらず、これ一世の風教が混亂、	演藝論	女学雑誌 <1895-12>	継続
109	都下多數の庶民が唯一の娛樂場として無量の感化を享受せられつつある公開の俱樂部に於て、擅に聽客の好意を得むが爲めに、猥りがはしき語を弄しつつあるに拘らず、	演藝論	女学雑誌 <1895-12>	継続
110	樂場として無量の感化を享受せられつつある公開の俱樂部に於て、擅に聽客の好意を得む	演藝論	女学雑誌	継続

	が爲めに、猥りがはしき語を弄しつゝあるに拘らず、視然知らざるものゝ如きは果して何の心ぞや、要するに舊組織を改善せんとすれば新趣味を注入して以て渾然融和		<1895-12>	
111	眼光の達すべき最上の頂点には野中至氏と其夫人とが、寒風砒よりも痛き間だに於て、科學の爲めに其身を献けつゝある也。傳聞する所によれば、至氏この頃ろ病篤しと。其人の苦しきは更にも言はず、	片々	女学雑誌 <1895-12>	継続

2. 明治の英語読本における「V ツツアル」の例文資料及び例文の用法

正則ニューナショナル第二リード独案内

1. Frank, I am going to drive my new pair of horse.

森：一ヨ 私ハ 馬 ノ 私ノ 新シキ 対ヲ 牽ク 可ク 往キツゝ アル

小野田：(男兒ノ名) ヨ 私ハ 馬 ノ 私ノ 新シキ 一對ヲ 追ヒ遣ル 可ク 行キツゝ アル

2. I'm always making honey.

森：私ハ 蜂蜜ヲ 常ニ 作りツゝ アル

小野田：私ハ 常ニ 蜜ヲ 作りツゝ アル

3. I'm always eating honey

森：私ハ 蜂蜜ヲ 常ニ 食ヒツゝ アル

小野田：私ハ 常ニ 蜂蜜ヲ 喰ヒツゝ アル

4. One time when Frank was going to school, he found a poor little bird in the grass.

森：或ル 時 フランクガ 學校ニ 迄 往キツゝ アリシ 時ニ 彼レガ 可憫ナル 小サキ 鳥ヲ 草ノ 中ニ 見出セシ

小野田：或ル 時 (男兒ノ名) ガ 學校ニ マデ 行キツゝ アリシ トキ 彼ガ 草ノ 内ニ 憫レナル 小サキ 鳥ヲ 見出セシ

5. What are you going to do now?

森：汝ハ 今 何ヲ 為ス 可ク 往キツゝ アルカ

小野田：何ヲ 汝ガ 今 ナス 可ク 行キツゝ アルカ

6. They were still looking for pigs.

森：彼等ガ 尚ホ 豚等ノ 為スニ 眺メツゝ アリシ

小野田：彼等ガ 尚ホ 豕ニ 向ツテ 見ツゝ アリシ

7. See, John, how fast the moose is running!

森：見ヨ ジョンヨ 如何ニ 速力ニ 鹿ガ 走リツゝ アルヨ

小野田：見ヨ (男子ノ名) ヨ 如何ニ 速力ニ 鹿ガ 走リツゝ アルヨ

8. See, Its head is coming out of the shell.

森：見ヨ 其レノ 頭ガ 殻 カラ 出デツゝ アル

小野田：見ヨ 其レノ 頭ガ 貝 カラ 出デ来リツゝ アル

9. Yes, it saw that you were going to touch it

森：然リ 其レハ 汝ガ 其レニ 觸レル 可ク 往キツゝ アリシ 事ヲ 見シ

小野田：然リ 然リ 其レハ 汝ガ 其レニ 觸ル 可ク 行キツゝ アリシ コトヲ 見シ

10. While Frank and Ned were looking on, one of the sheep got away, and ran out of the brook.

森：フランク トウシテ ネットダガ 傍觀シツゝ アリシ 間ニ 羊 ノ 一ツガ 逃ガレシ ソウシテ 小川 ノ 外ニ 走リシ

小野田：(男子ノ名) 及ヒ (男子ノ名) ガ 視ツゝ アリシ 間ニ 羊 ノ 一ガ 逃ゲン 而シテ 小河 ノ 外ニ 走リシ

11. One day Bunny was running in the grass and heard a dog bark.

森：或ル 日 バンニーガ 草ノ 中ヲ 走リツゝ アリシ ソウシテ 吠ヘル 犬 聞キシ

小野田：一 日 (栗鼠ノ名) ガ 草ノ 内ニ 走リツゝ アリシ 而シテ 吠ヘル 犬ヲ 聞キシ

12. Has she been eating too much?

森：彼女ガ 餘リ ヨリ多ク 食ヒツゝ 有ツ タカ

小野田：彼女ハ 余リ 多ク 食ヒツゝ アツ タカ

13. The boys are going to play ball, and I told them I would play with them.

森：小童ガ 玉ヲ 遊ブ ベク 行キツゝ アル 而シテ 私ガ 彼等ト 共ニ 遊ブデ アロウヲ 私ハ 彼等ニ 咄セシ

小野田：男兒ガ 球ヲ 遊ブ 可ク 行キツゝ アル 而シテ 私ハ 彼等ニ 話セシ 私ガ 彼等ト 共ニ 遊ブデ アロウト

14. The dogs knew very well what we were after, for they had been deer hunting before.

森：犬ガ 物夫レハ 我々ハ 後ニ アリシ 可ク 甚ダ 能ク 知リシ 如何ナレバ 彼等ガ 以前 鹿 カリシツゝ 有リ タ 故ニ

小野田：犬ガ 我等ガ 後ニ アリシ コトヲ 甚ダ 好クトコロノ 知リシ 彼等ガ 前ニ 鹿狩リニ アツ タリシ 故ニ

15. Our horses, too, seemed to know why the dogs were barking, and started to run after them as fast as they could go.

森：我々ノ 馬ガ 亦 何故ニ 犬ガ 吠ヘツ、 アリシ カヲ 知ル ベク 見ヘシ 而シテ 彼等ガ 行キ 能フ 丈ケ 其レ丈ケ 後ニ 走ル ベク 出立セシ

小野田：我等ノ 馬モ 亦 ナゼ 犬ガ 吠ヘツ、 アリシカヲ 知ル 可ク 見ヘシ 而シテ 彼等ガ 行キ 能ヒシ ダケ 其レダケ 速カニ 彼等ノ 後 走ル 可ク 出發セシ

16. We tried to hold them back, because we were afraid that some of us would get hurt while they were running under the trees.

森：我々ガ 後ニ 彼等ヲ 保ツ ベク 試ミシ 如何トナレバ 我々ガ 我々 ノ 或ル者ガ 若シモ 彼等ガ 木ノ 下ニ 走リツ、 アリシ 時ニ 害ヲ 得ルデ アロウ ㊦ヲ 恐レテ アリシ 故ニ

小野田：我等ハ 彼等ヲ 止メ 可ク 試ミシ 我等ガ 恐レテ アリシ 故ニ 彼等ガ 木ノ 下ヲ 走リツ、 アリシ 間ニ 我等 ノ 或ル者ガ 害ヲ 得ルデ アロウ コトヲ

17. At first, they did not seem to know how to cross the river, and so began to chatter, and talk with one another, as if they were asking what should be done.

森：最初ニ 於テ 彼等ガ 如何ニ 川ヲ 横切ル ベク カヲ 知ル ベク 見ヘ ナサ ザリシ 而シテ 左様ニ 彼等ガ 恰カモ 物ソレヲ ナサ ルハデ アロウ 處ノモノヲ 問ヒツ、 アリシ カノ 如ク 互々 ト シャベリ

小野田：最初ニ 彼等ハ 如何ニ 河ヲ 横ギル 可キカヲ 知ル 可ク 見ヘ ナサ ザリシ 而シテ 其レ故ニ 互ト 轉リ 而シテ 話ス 可ク 始メシ 而シテ 話ス ベク 始メシ 彼等ハ 何ニガ ナサ ルハデ アロウカヲ 問ヒツ、 アリシ カ 如ク

18. While he was doing this the rest kept up their chatter, and seemed to know just what was going to be done.

森：彼レガ 此レヲ 為シツ、 アリシ 間 残りノモノガ 彼等ノ シャベリ 續ケシ 而シテ 物其レヲ ナサ ルベク 進ミツ、 アリシ 處ノモノヲ 丁度 知ル ベク 見ヘシ

小野田：彼レガ 此レヲ ナシツ、 アリシ 間 残りノモノガ 彼等ノ 轉ヲ 續キシ 而シテ 丁度 何ガ ナサル 可ク 行キツ、 アリシカヲ 知ル 可ク 見ヘシ

19. The hens are picking off the grass, and singing very loudly.

森：牝鶏ガ 草ヲ アチラニ 拾ヒツ、 而テ 甚ダ 聲高ク 歌ヒツ、 アル

小野田：牝鶏ハ 草ヲ 摘ミ去リツ、 而シテ 甚ダ 聲高ク 歌ヒツ、 アル

20. Mamma was putting Milly and May to bed, the night before Christmas, and she told them this story

森：一ノ 前ノ 夜 母ガ ート 而シテ 一ヲ 床 迄デ 置キツ、 有リシ 而シテ 彼女ガ 此ノ 話シヲ 彼等ニ 話セシ

小野田：母ガ 耶蘇祭日ノ 前 夜 寢所ニ マデ (女子ノ名) 及ビ (女子ノ名) ヲ 置キツ、 アリシ 而シテ 彼女ガ 此ノ 話シヲ 彼等ニ 話セシ

21. Worms were eating all the leaves.

森：虫ガ 総テノ 木ノ葉ヲ 食ヒツ、 有リシ

小野田：虫ガ 都テノ 葉ヲ 食ヒツ、 アリシ

22. They were trying to find something to eat and they looked hungry and cold.

森：彼等ガ 食フ 可ク 或モノヲ 見出ス 可ク 試ミツ、 有リシ 而シテ 彼等ガ 餓ヘテ 而シテ 凍ヘテ 見ヘシ

小野田：彼等ハ 食フ 可ク 或ル物ヲ 見出ス 可ク 試ミツ、 アリシ 而シテ 彼等ガ 餓ヘテ 而シテ 寒ク 見ヘシ

23. Two men, who were hunting for the prince, that they might kill him, passed by the cave in the morning and the prince heard what they said

森：二ツノ 人ガ 其人ハ 彼等ガ 彼レヲ 殺シ 得ル 為メ 國王ニ 向テ 狩リツ、 有リシ 所ノ 二ツノ 人ガ 朝ニ 於テ 洞ニ 依テ 過ギシ 而シテ 國王ガ 者其レハ 彼等ガ 言ヒシ 所ノ者ヲ 聞キシ

小野田：彼等ハ 彼ヲ 殺ロシ 能ヒシ ㊦ノ為メニ 太子ニ 向ツテ 追ツ、 アリシ トコロノ 二 人ガ 朝ニ 於テ 洞ノ 傍ヲ 過ギシ 而シテ 太子ハ 彼等ガ 言ヒシ 所ノモノヲ 聞キシ

24. For Santa Claus wouldn't be looking For anything half so small.

森：如何トナレバ サンタ クローズガ 左様ニ 小サキ 或ル物ノ 向テ 眺メツ、 アラ スデアロー 故ニ

小野田：(僧ノ名) ガ 或ル 物ノ 半ニ 向ツテ 左様ニ 少サク 視ツ、 アラ スデアロー 故ニ

正則ロングマンズニューリーダー 第二独案内

1. They send dogs into the jungle, to find-out where the tiger is hiding.

伊藤：彼等ガ 虎ガ 隠レツ、アル 處ヲ 見出ス ベク 藪ニ マデ 犬ヲ 送ル

若林：彼等ハ 何處ニ 虎ガ 隠レテ アル ヲ 見出ス ベク 藪ニ マデ 犬ヲ 送ル

2. Sometimes a monkey will show by his cries the spot where the tiger is lying.

- 伊藤：時トシテハ 猿猴ガ 彼ノ 叫ニ 因テ 虎ガ 伏シツゝアル 處ノ 場所ヲ 示スデ アロフ
 若林：或時ハ 猿ガ 虎ガ 横ツテアル 所ノ 點ニ 彼レノ 叫ブヲニ ヨリテ 顚ハスデ アロー
3. At last the men find it, and just as it is getting ready to spring upon one of them, they fire at it and kill it.
 伊藤：遂ニ 人ガ 夫ヲ 見出ス 而シテ 丁度 夫ガ 彼等 ノ 一ニ 於テ 跳カハル ベク 豫備ヲ 得ツゝアル 間ニ 彼等ガ 其ニ 於テ 放發ス 而シテ 夫ヲ 殺ス
 若林：終ニ 人ガ 其レヲ 見出ス 而シテ 丁度 其レガ 彼等 ノ 一ツヲ 飛ビ 超エル ベク 用意シテ アル 時ニ 彼等ガ 其レニ 於テ 火ヲ付ケ 而シテ 其レヲ 殺ス
4. Once when Sarah was trying to hide, so that her baby brother could not find her, she got into a large box and pulled down the heavy lid.
 伊藤：一度 サラーガ 彼女ノ 子供ノ 兄弟ガ 彼女ヲ 見出シ 能ハ サリシ 何ホド 左様ニ 隠レル 可ク 試ツゝアリシ 時ニ 彼女ハ 大ナル 箱ニ 迄 得シ 而シテ 重キ 蓋ヲ 引き 下セシ
 若林：一度 サラーガ 彼女ノ 小弟ガ 彼女ヲ 見出シ 能ハ ス 事ホド 左様ニ 隠レル ベク 試ツゝアリシ 時ニ 彼女ハ 大ナル 箱ニ マデ 得シ 而シテ 重キ 蓋ヲ シメシ
5. She meant to wait there, till she heard her little brother come near the box, and then she was going to frighten him by suddenly jumping up.
 伊藤：彼女ハ 彼女ガ 彼女ノ 少サキ 兄弟ヲ 箱ノ 近クニ 来ルヲ 聞キシ マデ 其所ニ 待ツ 可ク 企テシ 而シテ 然ル時ニ 彼女ハ 不意ニ 跳ビ 上ルヲ依テ 彼レヲ 驚カス 可ク 行きツゝアリシ
 若林：彼女ハ 彼女ガ 彼女ノ 少キ 兄弟ガ 箱ニ 近ク 来ルヲ 聞ク マデ 其處ニ 待ツ ベク 意味セシ 而シテ 然ル時ニ 彼女ハ 不意ニ 飛上ルコトニ ヨリテ 彼ヲ 驚カス ベク ナシツゝアリシ
6. She heard him say, 'Why here is my little girl waiting to kiss her papa!'
 伊藤：彼女ガ 何故ニ 此所ニ 私ノ 少サキ 娘 彼女ノ 父ヲ スウ ベク 待ツゝアルカト 云ウ 彼レヲ 聞キシ
 若林：彼女ハ 彼レノ 言フヲ 聞シ 何故ニ 此處ニ 私の 小キ 女ノ子ガ 彼女ノ 父ニ ロ吻ス ベク 待ツゝアルヨ
7. A man was one day driving a cart along the street. The horse was drawing a heavy load, and did not turn as the man wanted.
 伊藤：男ハ 一 日 市街ヲ 沿テ 輪車ヲ 駆リツゝアリシ 馬ハ 重キ 載荷ヲ 引キツゝアリシ 而シテ 人ガ 要セシ トキ 轉リ ナサ ザリシ
 若林：人ガ 一 日 街ニ 沿フテ 荷車ヲ 追ヒヤリツゝアリシ 馬ガ 重キ 荷ヲ 曳キツゝアリシ 而シテ 人ガ 要スル 如ク 轉ジ ナサ ザリシ
8. A gnat which had been buzzing about the head of a bull, at-last settled down on one of his horns, begging his pardon for thus troubling him.
 伊藤：牡牛 ノ 頭ヲ 周リデ ブツブツ云ヒツゝ有 タリシ 所ノ 蚊ハ 終ニ ス様ニ 彼レヲ 煩ヲハスヲニ 向ツテ 彼レノ 乞ヒツゝ 彼レノ 角 ノ 一ニ 於テ 下ニ 止リシ
 若林：牡牛 ノ 頭ニ 就テ 噪ギ タリシ 所ノ 蚊ガ 終ニ 彼ノ 角 ノ 一ツニ 於テ 坐リシ 彼様ニ 彼ヲ 苦シメルヲニ 向ツテ 彼ノ 許シヲ 乞ヒシ
9. If it had not been for the great noise you have been making, I should not have known you were there.
 伊藤：若シモ 夫ハ 汝ガ ナシツゝ有 タリシ 大ナル 聲音ニ 向ツテ アラ ナン タリシ ナラバ 私ハ 其處ニ 汝ガ アリシヲ 知ラ ナン ダデ アロフ
 若林：若シモ 其ガ 汝ガ ナシ タリシ 大ナル 音ニ 向ツテ 持サリシ ナラバ 私ハ 汝ガ 其處ニ アルヲ 知ラ ナンダデ アロー
10. I am afraid that you are thinking more about your own dinner than mine.
 伊藤：私ハ 汝ガ 私ノ ヨリハ 汝 自身ノ 食事ニ 就テ 尚多ク 考ガエツゝアル ヲヲ 恐レテ アル
 若林：私ハ 汝ガ 私 ヨリハ 汝 自身ノ 食事ニ 就テ ヨリ多ク 考ヘツゝアル コトヲ 恐レテ アル
11. The wolf had killed nearly half the sheep, before the boy could make the men believe, that he was telling the truth this time.
 伊藤：狼ハ 男子ガ 人々ヲ シテ 彼ガ 此ノ 時 信實ヲ 告ツゝアリシ ヲヲ 信用 セシメ 能ヒシ 前ニ 殆 殺シ タリシ
 若林：狼ガ 殆ド 羊ノ 半分ヲ 殺シ タ 小供ガ 彼ハ 此 時 眞實ヲ 話シツゝアリシ コトヲ 人ガ 信用シ ナシ 能フ 前ニ
12. Hark how the rain is pouring. Over the roof, in the pitch-black night, And the wind in the woods a-roaring!
 伊藤：聴ヨ 如何ニ 雨ガ 烏黒ノ 夜ニ 於テ 屋根ノ 上ニ 灌ギツゝ 而シテ 森ニ 於テノ 風力 叫ビツゝアル
 若林：如何ニ 雨ガ 流レツゝアルカヲ 聴ケ 灌育ノ如キ黒キ 夜ニ 於テ 屋根ヲ 越テ 而シテ 風ガ 木ニ 於テ 轉ル
13. Hark, how the wind is roaring!
 伊藤：聴ヨ 如何ニ 風ガ 叫ビツゝアル カヲ
 若林：如何ニ 風ガ 轉ツテ アルヲ 聴ケ

14. Father's house is a better place When the stormy rain is pouring.

伊藤：父ノ 家ハ アレノ 雨ガ 灌ギツ、アル 時ニ 尚善キ 傷所デ アル

若林：父ノ 家ガ ヨリヨキ 處デ アル アラシノ 雨ガ 流レテ アル 時ニ

15. They have been trying to steal the eggs or young from some birds' nests.

伊藤：彼等ハ 或ル 鳥ノ 巢 カラ 卵 或ハ 若者ヲ 盗ム ベク 試シツ、アツ タ

若林：彼等ハ アル 鳥ノ 巢 カラ 玉子 或ハ 若キ者ヲ 盗ム ベク 試ミ タリシ

16. Once, when a monkey was being-fed, one of the others in the same cage bit him.

伊藤：一回ド 猴ガ 養ナハレツ、アリシ 時ニ 同ジ 鳥籠ノ 内ノ 他者 ノ 一ツガ 彼レヲ 咬シ

若林：一度 猿ガ 同シ 籠ニ 於テ 他 ノ 一ツガ 養ハレテ アリシ 時ニ 彼ヲ 噛ム

17. When he had found out which one it was, he went to the other side of the cage, took-up a cane which was lying there, then held the naughty monkey by the tail, and gave him a good whipping!

伊藤：彼レガ 何レノ 者ガ 夫レデ アリシカヲ 見出シ タ 時ニ 彼レハ 鳥籠 ノ 他ノ 傍ニ マデ 行シ 其 所ニ 横リツ、アリシ 所ノ 杖ヲ 取上シ 然ル時ニ 尾ニ 因ッテ 悪キ 猴ヲ 保チシ 而シテ 大ナル 鞭打ヲ 彼レニ 與ヘシ

若林：彼ハ 何レノ 一ツガ 其レガ アリシ 見出シ タ 時ニ 彼ハ 籠 ノ 他ノ 邊ニ マデ 行ク 其處ニ 横リテ アリシ 所ノ 杖ヲ 取り上ゲ 然ル時ニ 尾ニ ヨリデ 悪キ 猿ヲ 保ツ 而シテ 善キ 鞭打ヲ 彼ニ 與フ

18. At night, when the bats are flying about, if you throw a little stone up into the air, one of them will most likely see it and catch it, but, of-course, will soon let it go when it finds it is not good to eat.

伊藤：夜ニ 於テ 蝙蝠ガ 飛廻リツ、アル 時ニ 若モ 汝ガ 空 マデ 少サキ 石ヲ 擲ゲ 上ル ナラバ 彼等 ノ 一ハ 最多ク 多分 ソレヲ 見ルデ アロウ 而シテ ソレヲ 捕エル 然レハ 勿論 速ニ 夫レヲ シテ 夫レハ 夫レガ 食フ ベク 善ク アラ メヲ 見出ス 時ニ 行カ シメルデ アロウ

若林：夜ニ 於テ 蝙蝠ガ 飛廻リツ、アル 時ニ 若モ 汝ガ 空ニ マデ 上ニ 小キ 石ヲ 投ル ナラバ 彼等 ノ 一ツガ 恐クバ 其レヲ 見 而シテ 其レヲ 捕ヘルデ アロー 然シナガラ 勿論 其レガ 其ハ 食フ ベク 善ク アル ヌヲ 見出セシ 時ニ 其ヲ シテ 速ニ 行カ シメルデ アロー

19. 'Yes, I can hear it mew, because it wants to get away. Perhaps it is hungry, and is asking for something to eat. Now I am stroking its back, and it purrs, because it is pleased.

伊藤：然リ 私ガ ゴロゴロ鳴ク 夫ヲ 聞キ 能フ 如何トナレバ 夫ハ アチラニ 得ル ベク 要スル 故ニ。恐ラクハ 夫ガ 饑エデ アル 而シテ 食フ ベク 或物ニ 向ツテ 求メツ、アル。今 私ガ 夫ノ 背ヲ 輕打ツ、アル 而シテ 夫ガ ゴロゴロ鳴ク 如何トナレバ 夫ガ 喜バサレデ アル 故ニ

若林：然リ 私ハ 其レガ 鳴クラ 聞 能フ 如何トナレバ 其レガ アチラニ 得ル ベク 要スル 故ニ 多分 其レガ 饑ヘテ アル 而シテ 食フ ベク アルモノニ 向ツテ 問ヒツ、アル 今 私ハ 其ノ 背ヲ 撫デツ、アル 而シテ 其レガ 鳴ク 如何トナレバ 其レハ 喜ンデ アル 故ニ

20. I am afraid you do not understand what I have been telling you , for you are a poor little blind boy.

伊藤：私ガ 汝ガ 私ガ 汝ニ ツゲツ、アツタ 所ノ物ヲ 理解シ ナサ ヌヲ 恐レデ アル 如何トナレバ 汝ハ 憫レナル 小サキ メクラノ 子供デ アル

若林：私ハ 何ヲ 私ガ 汝ニ 語リ タリシ カヲ 汝ガ 理解シ ナサ ヌヲ 恐レテ アル 如何トナレバ 汝ハ 哀レナル 小サキ 盲ノ 小供デ アル

21. It cannot see what it is doing, but it needs not to use its eye, for it can make a web as well in the dark as in, the light.

伊藤：夫ガ 何ヲ 夫ガ ナシツ、アル カヲ 見 能ハメ 然レハ 夫ガ 夫ノ 眼ヲ 用エル ベク 要セ ヌ 如何トナレバ 夫ガ 光ニ 於テノ 如ク 夫ダケ ヨク 暗黒ニ 於テ 巣ヲ 為シ 能フ 故ニ

若林：其レハ 何ヲ 其レガ ナシツ、アル カヲ 見 能ハヌ 燃ナガラ 其ハ其ノ 目ヲ 用ル ベク 要セ ヌ 如何トナレバ 其ハ 明リニ 於テノ 如ク 暗サニ 於テ 左様ニ ヨク 網ヲ ナシ 能フ 故ニ

22. The sun was shining brightly, and the pretty birds were singing their best.

伊藤：太陽ガ 明カニ 輝キツ、アリシ 而シテ 美シキ 鳥ガ 彼等ノ 最モヨキモノヲ 歌ヒツ、アリシ

若林：太陽ガ 明ニ 輝キツ、アリシ 而シテ 美シキ 馬ガ 彼等ノ ヨリヨクラ 歌ヒツ、アリシ

23. A ladder stood against this wall. Her father had been using it to reach the branches of a fruit-tree.

伊藤：梯子ガ 此ノ 壁ニ 對シテ 立チシ。彼女ノ 父ガ 菓ノ樹 ノ 枝ニ 達スル 可ク 夫ヲ 用ヒツ、アツタ

若林：梯子ガ 此 壁ニ 反シテ 立チシ 彼女ノ 父ガ 菓木 ノ 枝ニ 達ス ベク 其レヲ 用ヒ タリシ

25. You may know that the wind is flowing with great fury. The waves tell you that, for the sea is smooth when little wind is blowing.

伊藤：汝ハ 風ガ 大イナル 怒リヲ モッテ 吹キツ、アル コトヲ シリ アトウ。波ガ コトヲ 汝ニ 告ル 如何トナレバ 海ガ モシモ 少シノ 風ガ フキツ、アル 時ニ 平滑ニ アル 故ニ

若林：汝ハ 風ガ 猛烈ヲ イテ 吹キツ、アル コトヲ 知り 得ル 涙ガ 海ガ 小シク 風ガ 吹キツ、アル 時ニ 向ツテ 平ニ アル コトヲ 汝ニ 話ス

26. The wild night wind is blowing cold, Tis dreary crossing o'er the wold.

伊藤：暴キ 夜ノ 風ハ 寒冷ニ 吹ツ、アル 夫レハ 荒野ヲ 越テ 横切所デ 物寂シク アル
若林：アラキ 夜 風ガ 冷ク 吹キツ、アル 其ガ 森ヲ 越ヘテ 横ハリツ、 凄シク アル

27. He's coming o'er the wold apace, He's stronger than the storm; He does not feel the cold not he, His heart it is too warm!

伊藤：彼レハ 急歩ニテ 荒野ヲ 越テ 来リツ、アル 彼レハ アレ ヨリハ 尚強ク アル 彼レハ 寒冷ヲ 感シ
ナサヌ 彼レハ 然ヌ 彼レノ 心 夫レハ アマリ 温カニ アルヨ

若林：彼ハ 急ニ 森ヲ 越ヘテ 来リツ、アル 彼レハ アラシ ヨリハ 尚強ク アル 彼ハ 寒ク 感ジ ナサ
ヌ 彼ハ アラヌカ 彼ノ 心ハ 其レハ アマリ 温ク アルヨ

28. I know he's coming by the sign That baby's almost wild

伊藤：私ハ 知ル 彼レハ 孩子ガ 殆ンド 荒ク アル 其ノ 符ニ 因テ 来リツ、アル

若林：私ハ 記號ニ ヨリテ 彼ハ 来リツ、アル 知ル 其ノ 子供ガ 殆 アラク アル

29. One day a crow, who had been for some time looking-about for her breakfast, found a nice piece of cheese.

伊藤：或 日 彼女ノ 朝餐ニ 向テ 或ル 時ニ 向テ 見廻シツ、アツ タリシ 所ノ 鴉ハ 乾酪 ノ 良キ 片
レヲ 見出セシ

若林：一 日 彼女ノ 朝飯ニ 向ツテ アル 時ノ 間 ナガメツ、アリシ 所ノ 鴉ガ 乾酪 ノ 善キ 片ヲ 見出
セシ

30. But a sly old fox was watching her, and he made-up his mind to try to get the piece of cheese.

伊藤：然レハ 狡猾ナル 老タル 狐ハ 彼女ヲ ナガメツ、アリシ 而シテ 彼レハ 乾酪 ノ 片レヲ 得ル ベ
ク 試ム ベク 彼レノ 心ヲ 定メシ

若林：然シナガラ 狡猾ナル 老タル 狐ガ 彼女ヲ 見守リツ、アリシ 而シテ 彼ハ 乾酪 ノ 片ヲ 得ル ベク
試ル ベク 心ヲ 着ケシ

31. She was afraid that the fox was going to ask for a piece of the cheese. But the fox was too crafty to try to get it in that manner.

伊藤：彼女ハ 狐ガ 乾酪 ノ 片ニ 向ツテ 願フ ベク 行ツ、アリシ 其ヲ 恐レテ アリシ。然レハ 狐ハ 其
ノ 方法ニ 於テ 夫レヲ 得ル ベク 試ム ベク 余リ 狡猾ニ アリシ

若林：彼女ハ 乾酪 ノ 片ニ 向ツテ 願フ ベク 狐ガ 行キツ、アリシ コトヲ 恐レテ アリシ 然シナガラ
狐ガ 其ノ 仕方ニ 於テ 其レヲ 得ル ベク 試ル ベク アマリ 狡猾デ アリシ

32. The crow was now thinking so much of herself that, while listening to what the fox said, she quite forgot the piece of cheese she held in her bill.

伊藤：鴉ハ 今ハ 其ノ 様ニ 彼女自身 就テ 多ク 考エツ、アリシ 狐ガ 云ヒシ 所ノ物ニ マデ
耳ヲ 傾ケル 間ニ 彼女ハ 全く 彼女ガ 彼女ノ 嘴ニ 於テ 保チシ 乾酪 ノ 片レヲ 忘レシ

若林：鳥ガ 今 彼女自身ニ 就テ 左様ニ 多ク 考ヘツ、アリシ 其レガ 何ヲ 狐ガ 言フ カヲ 聞ク
間ニ 彼女ハ 彼女ガ 彼女ノ 嘴ニ 於テ 保ツ 乾酪 ノ 片ヲ 十分 忘レシ

33. 'Why, you see,' said the cat, I was springing at a mouse, and knocked-down a large dish, with something in it, and not knowing what it was, I smelt it.

伊藤：サテ、汝ガ 見ルト 猫ガ 云ヒシ 私ガ 鼠ニ 於テ 跳ビカカリツツ アリシ 而シテ 夫ヲ 以テ 大ナル
皿ヲ 敲倒セシ 而シテ 何ニデ 夫ガ アリシヲ 知ラ ス所デ 私ガ 夫ヲ 嗅シ

若林：如何ニ 汝ガ 見ル 猫ガ 言ヒシ 私ハ 鼠ニ 於テ 飛ビツ、アリシ 而シテ 其レニ 於テ アルモノヲ
大ナル 皿ヲ 打ち落セシ 而シテ 何デ 其レガ アリシ カヲ 知ラ ザリシ 私ハ 其ヲ 嗅ギシ

34. I am going to tell you a true story of a brave little girl.

伊藤：私ガ 勇敢ナル 小サキ 娘 ノ 誠ノ 話ヲ 汝ニ 告ル 可ク 行キツ、アル

若林：私ハ 勇悍ナル 小キ 女の子 ノ 眞實ノ 話ヲ 汝ニ 語ル ベク 行キツ、アル

35. Not far from this bridge lived the little girl I am going to tell you about. Her name was Kate.

伊藤：此ノ 橋 カラ 遙デ ナク 私ガ 付テ 汝ニ 告ル ベク 行キツ、アル 小サキ 娘ガ 住シ。彼女ノ 名
ガ ケートデ アリシ

若林：此 橋 カラ 遠ク ナク 小キ 女の子ガ 住ミシ 私ガ ツイテ 汝ニ 語ル ベク 進ミツ、アル 彼女ノ
名ガ ケートデ アリシ

36. One stormy night, not long ago, as little Kate stood looking out of the window, watching for her father to come-home, she saw that a train was coming along the line.

伊藤：長キ 以前デ ナク 或ル 嵐ノ 夜 小サキ ケートガ 踊ル ベク 彼女ノ 父ニ 向テ 番シツ、 窓 カラ
外ヲ 眺メツ、 立チシ 時ニ 彼女ガ 汽車ガ 線ニ 沿テ 来リツ、アリシ 其ヲ ミシ

若林：一ノ 嵐ノ 夜 長キ 以前デ アラヌ 小キ ケートカ 彼女ノ 父ガ 家ニ 来ル ベク 向ツテ 見守リツ、
窓 ノ 外ヲ ナガメツ、 立チシ トキニ 彼女ハ 列車ガ 線ニ 沿フテ 来リツ、アリシ コトヲ 見シ

37. While the little girl was looking, and just as the train had got to the brook near by, all at-once the engine light seemed to fall and go-out.

伊藤：小サキ 娘ガ 眺メツ、 アリシ 間ニ 而シテ 丁度 汽車ガ 傍ニ 近キ 小川ニ マデ 得 タ 時ニ 凡テ
直ニ 機関車ノ 光ガ 落ル 而シテ 消火ス 可ク ミエシ

若林：小キ 女の子ガ ナガメツ、 アリシ 間ニ 而シテ 丁度 列車ガ 殆ド 小川ニ 達シ タ トキニ 一度ニ

機械ノ 光ガ 落ル ベク 見ヘシ 而シテ 消ヘシ

38. Or perhaps it had eaten so many green leaves that it was very tired, and was looking for a nice quiet place in which it could go to sleep.

伊藤：否ザレバ 恐クバ 夫ガ 夫ガ 甚ク 疲テ アリシ 〆ホド 左様ニ 多クノ 緑リノ 葉ヲ 食フ タリシ
而シテ 夫ニ 於テ 夫ガ 限ニ マデ 行キ 能ヒシ ドコロノ ヨキ 静ナル 場所ニ 向ツテ ナガツ、
アリシ

若林：ヲー 多分 其レガ 其レハ 甚 疲レテ アリシ コトホド 左様ニ 多クノ 青キ 葉ヲ 食フ タ 而シ
テ 其レニ 於テ 眠ル ベク 其レガ 行キ 能フ 美シキ 静ナル 場所ニ 向ツテ ナガメツ、 アリシ

39. When the seals are not hungry, they like to rest on the top of the ice, and then they may easily be caught, it they are lying at a distance from the sea, for they cannot move when out of the water much better than a fish could.

伊藤：海豹ガ 饑テ アラ ス 時ニ 彼等ガ 氷 ノ 頂上ニ 於テ 休ム 可ク 好ム 而シテ 然ル時ニ 彼等ガ
彼等ガ 海 カラ 隔リニ 於テ 横臥ツ、 アル トモ 容易ニ 捕ヘ ラレ 得ル 如何トナレバ 彼等ガ
水 ノ 外ニアル 時ニ 魚ガ 能ヒシ ヨリハ 多ク ヨリ多ク 動キ 能ハヌ 故ニ

若林：海豹ガ 饑テ アラ ザリシ 時ニ 彼等ガ 氷 ノ 頂ノ 上ニ 休ム ベク 好ム 而シテ 然ルトキニ 彼等
ハ 易ク 捕ヘ ラレ 得ル 若シモ 彼等ハ 海 カラ 距離ニ 於テ 横ツテ アル ナラバ 彼等ハ 水
ノ 外ニアル 時ニ 魚ガ 能フ ヨリハ 多ク ヨリ善ク 動キ 能ハメ 故ニ

40. When the seals are lying on the ice, men try to catch them by dressing themselves so as to look like seals, and then crawling along the ice just as they do.

伊藤：海豹ガ 氷ニ 於テ 横臥リツ、 アル 時ニ 人ガ 海豹ノ 如ク 見エル 可ク 如ク 左様 彼等自身ヲ 飾
リ 而シテ 然ル時ニ 丁度 彼等ガ ナス 如ク 氷ヲ 沿テ ハフ〆ニ 因テ 彼等ヲ 捕ル 可ク 試ル

若林：海豹ガ 氷ニ 於テ 横リテ アル 時ニ 人ガ 海豹ノ 如ク 見エル ベク 如ク 左様ニ 彼等自身ヲ 飾ル
コトニ ヨリテ 彼等ヲ 捕ル ベク 試ル 而シテ 然ルトキニ 丁度 彼等ガ ナス 如ク 氷ニ 沿フテ
跋フ

41. A man finds out where a seals is trying to make a breathing-hole in the ice.

伊藤：人ガ 海豹ガ 氷ニ 於テ 呼吸スル所ノ穴ヲ ナス 可ク 試ミツ、 アル トコロヲ 見 出ス

若林：人ガ 何處ニ 海豹ガ 氷ニ 於テ 呼吸ノ 穴ヲ 造ル ベク 試ミツ、 アルヲ 見出ス

42. As-soon-as he sees that the ice is getting very thin, he drives the spear with all his might into the seal, and then tries to pull it out by means of the rope.

伊藤：彼ガ 氷ガ 甚ク 薄ク 得ツ、 アル 〆ヲ 見ルヤ 否ヤ 彼ガ 海豹ニ マデ 凡テ 彼ノ カヲ 以テ 鎗
ヲ 推ス 而シテ 然ルトキニ 縄 ノ 手術ニ 因テ 夫ヲ 引キ 上ル 可ク 試ル

若林：彼ハ 氷ガ 甚ダ 薄ク 得ラ ル、 コトヲ 見ルヤ 否ヤ 彼ハ 海豹ニ マデ 総テ 彼ノ カヲ 以テ モ
リヲ ウツ 而シテ 然ルトキニ 縄 ノ 意味ニ ヨリテ 其レヲ 止ル ベク 試ル

43. Now this hay had been placed there by a farmer for his two horses, which were hard at work in the fields, while the lazy dog was sleeping.

伊藤：今 此ノ 枯草ガ 野ニ 於テ 働ニ 於テ 固ク アリシ トコロノ 此ノ ニノ 馬ニ 向ツテ 農夫ニ 因ッ
テ ソコニ 置カレテ アツ タ 其間ニ 怠惰ナル 犬ガ 眠ツ、 アリシ

若林：今 此 枯草ハ 懶惰ナル 犬ガ 眠リツ、 アリシ 間ニ 彼ノ ニツノ 馬 野ニ 於テ 堅ク 働ニ 於テ
アリシ 所ノ ニ 向ツテ 農夫ニ ヨリテ 其處ニ 置レ タリシ

44. A great-many little fish were once swimming races in the sea.

伊藤：澤山ノ 小サキ 魚ガ 一度 海ニ ライテ カ々合ニ 泳ツ、 アリシ

若林：多クノ 小キ 魚ガ 一度 海ニ 於テ 略ニ 泳ギツ、 アリシ

45. At-last it came to a file, which had been left lying on the ground.

伊藤：ツイニ ソレガ 地ノ 上ニ 横タワリツ、 残シ タリシ トコロノ 鱧ニ 迄 来リシ

若林：終ニ 於テ 其レガ 地ニ 於テ 横ハリツ、 残サレ タリシ 所ノ 鱧ニ マデ 来リシ

46. Bobby was sitting on the rug in front of the fire, playing with Dot, his dog.

伊藤：ボツピーハ 彼ノ 犬ノ ドット ト 遊ブトコロデ 火ノ ノ 前面ニ 於テ 粗毛氈ニ 於テ 座シツ、 アリ
シ

若林：ボツピーガ 彼レノ 犬ナル ドットト 共ニ 遊ビツ、 火 ノ 前面ニ 於テ 粗毛氈ノ 上ニ 坐リツ、 ア
リシ

47. 'Aunt, I am not teasing him,' said Bobby, turning round and looking up into Aunt Peggy's face with a look of wonder. I'm playing with him.

伊藤：叔母ヨ 私ハ 彼ヲ 困セツ、 アラ スト 私ハ カレ ト 遊ツ、 アルト 驚 ノ 容貌ヲ モッテ アント
ベッキーノ 顔ニ マデ 廻ハリテ 向キツ、 而シテ 見メ 上ゲツ、 ボビーガ 云ヒシ

若林：伯母ヨ 私ハ 彼ヲ 窘メテ アラ ス ボツピーガ 言ヒシ フリ轉リツ、 而シテ 驚キタル 見ヘヲ 以テ
伯母 ペツジス 顔ニ マデ ナガメツ、 私ハ 彼ト 共ニ 遊ビツ、 アル

48. 'By-and-by said Bobby. 'I can't always be running to wait on a dog.'

伊藤：直チニト ボビーガ 云ヒシ 私ハ 常ニ 犬ニ 於テ 待ツ ベク 走リツ、 アリ 能ハヌ

若林：程ナク ボツピーガ 言ヒシ 私ハ 常ニ 犬ニ 於テ 従フ ベク 走り 能ハヌ

49. 'What a noise you are making! What are you doing now?' said Aunt Peggy.

伊藤：何ンナ 聲ヲ 汝ハ ナシツ、アルヨ 何ニヲ 汝ハ 今 ナシツ、アルカト アント ペッギーガ 云シ
若林：如何ナル 音ヲ 汝ハ ナシツ、アルヨ 何ヲ 今 汝ハ ナシツ、アルカ 伯母ノ ペツジーガ 言ヒシ

50. 'I'm making a little wagon, and Tom and I are going to fill it with big stones and make Dot draw it up from the brook. Won't that be fun?'

伊藤：私ハ 小サキ 車ヲ 造ツ、アル 而シテ トムト 而シテ 私ハ 大ナル 石ヲ 以テ ソレヲ 充ス 而シテ
ドットヲ シテ 小河 カラ ソレヲ 引 上ゲ シメル 可ク 行キツ、アル 其レハ 面シロク アラ ヌデ
アローカ

若林：私ハ 小キ 荷車ヲ ナシツ、アル 而シテ トムト 而シテ 私ガ 大ナル 石ヲ 以テ 其レヲ 満ス ベク
行キツ、アル 而シテ 小川 カラ ドットガ 其ヲ 曳キ 上ゲ シム 其レハ 可笑シク アラ ヌカ

51. There be sat watching the fire, while Aunt Peggy went-on with her reading. Soon, it seemed to Bobby that she left the chair in which she was sitting, and a strange little old woman, with a shining wand, set in her place.

伊藤：其所ニ 彼ハ アント ペッギーガ 彼女ノ ?書ヲ モツテ 續キシ アイダニ 火ヲ 番シツ、 座リシ 彼女
ガ 彼女ガ 座ツ、アリシ ソレニ 於テ 椅子ヲ 去リシ 而シテ 奇怪ナル 小サキ 老タル 女ガ 輝ク
所ノ 小枝ヲ 以テ 彼女ノ 場所ニ ライデ 坐リシ 事ノ 其レガ 速ニ ボッピーニ 迄 見エシ

若林：其處ニ 彼ハ 伯母ノ ペツジーガ 彼女ノ 讀書ヲ 以テ 行キシ 間ニ 火ヲ 見守リツ、 坐リシ 速ニ 其
レガ 彼女ハ 其レニ 於テ 彼女ガ 坐リツ、アリシ 残サレタル 椅子 而シテ 異ナル 小キ 老タル 女
の人カ 輝キタル 杖ヲ 以 彼女ノ 場處ニ 於テ 坐リシ コトガ ボツピーニ マデ 見ヘシ

52. But all-at-once the fairy with her wand was-gone, and Bobby was sitting in his father's arm-chair, wide awake, and Dot was pulling at his arm as-if to ask for something.

伊藤：乍併 俄ニ 彼女ノ 杖ヲ 以テ 巫女ガ 去リシ 而シテ ボッピーガ 廣ク 覺テ 彼ノ 父ノ 脇掛椅子ニ
於テ 坐リツ、アリシ 而シテ ドットハ 或ル物ニ 向ツテ 請 ベク カノ 如ク 彼ノ ウデニ 於テ
引キツ、アリシ

若林：然シナガラ 一度ニ 鬼女ガ 彼女ノ 竿ヲ 以テ 行テ アリシ 而シテ ボツピーハ 彼ノ 父ノ 脇掛椅子ニ
於テ 坐リツ、アリシ 廣ク 目覺メシ 而? ドットガ アルモノニ 向ツテ 問 ベク カノ 如ク 彼ノ
腕ニ 於テ 引キツ、アリシ

53. 'I'm sure no one would ever take you for anything else as long as you make such a noise as that,' said Aunt Peggy 'You must have been dreaming.'

伊藤：私ハ 誰レモガ 嘗テ 汝ハ アントペッギーガ 云ヒシ ソレノ 如ク 箇條ナル 音ヲ ナス ダケ ソレ丈ケ
長ク 其他ノ 或ル物ニ 向テ 汝ヲ 取ラ ヌデ アロウハ タシカデ アル 汝ガ 夢見ツ、アツ タ ネ
ハナラヌト

若林：私ハ 誰レモガ 其ノ 如ク 彼様ナル 音ヲ 汝ノ ナス 如ク 左様ニ 長ク 其他 アルモノニ 向ツテ 嘗
テ 汝ヲ 取ラ ヌデ アラウコトガ 慥ニ アル 伯母ノ ペツジーガ 汝ハ 夢デ アツタネバ ナラス

54. But then, for the baby's Christmas. It never will do at-all; For Santa-Claus wouldn't be looking. For anything half so small.

伊藤：乍併 然ルトキニ 小兒ノ 耶蘇誕生日ニ 向テ ソレガ 決シテ 全ク ナサ ヌデ アロー 如何トレバ サン
タークロスガ 左様ニ 小サキ 半分ノ アルモノニ 向テ 眺メツ、アラ ヌデアロウ 故ニ

若林：然シナガラ 然ル時ニ 子供ノ クリスマスニ 向ツテ 其レガ 總ニ 於テ ナサ レヌデ アロー サンタ
クラスガ 見ツ、アラ ヌデ アローコトニ 向ツテ アルモノニ 半分 左様ニ 小ク 向ツテ

55. I was only playing with Carlo, and he pulled me down, right into the mud; and then put his nasty dirty paws on my clean apron; (会話)

伊藤：私ハ 只 カーロト 共ニ 遊ビツ、アリシ 而シテ 彼ハ 泥ニ 迄 正シク 私ヲ 下ニ 引シ 而シテ 然
ルトキニ 清潔ナル 前掛ノ 上ニ 彼ノ 汚穢ノ 汚レタル 足ヲ 置キシ

若林：私ハ カーロー ト タバ 遊ビツ、アリシ 而シテ 彼ハ 正シク 泥ニ マデ 私ヲ 引倒セシ

スイントン氏第貳リード独案内

1. By and by he will be singing, "cheer-up! cheer-up! cheer-up!"

植田：直ニ 彼ハ 謡ヒツ、有デ 有ロウ 愉快 愉快 嬉シ 嬉シト

野口：次……第……ニ 彼ハ — — — 歌ヘツ、アルデ アラウ

2. Now they are going home, and they hear a strange sound

植田：今マ 彼等ハ 家ニ 行キツ、アル 而シテ 彼等ハ 奇怪ナル 音ヲ 聞キシ

野口：今 彼等ハ 家ニ 行キツ、アル 而シテ 彼等ハ 一ノ 奇異ナル 響キヲ 聞ク

3. There is a cord around its little body, and a man is hording the cord.

植田：其處ニ 其ノ 小サキ 子供ノ 廻リニ 一ツノ 紐ガ アル 而シテ 人ガ 紐ヲ 保チツ、アル

野口：其所ニ 其ノ 小サキ 体ヲ 繞リテ 一ノ 綱ガ アル 而シテ 一ノ 人ハ 綱ヲ 保チツ、アル

4. The man is playing an organ. He makes the handle of the organ go round and round, and all the time the monkey is dancing and taking off his cap.

植田：人ガ 風琴ヲ 慰ミツ、アル 彼ハ 風琴 ノ 取柄ヲ シテ 廻リ廻ハシテ 行カ シム 而シテ 都テノ時

- 猿ガ 躍リツ、 及ビ 彼ノ 帽ヲ 取り離シツ、 アル
- 野口：人ハ 一ノ 風琴ヲ 動かシツ、 アル 彼ハ 風琴 ノ 把手ヲ 巡リ……巡リ 行カ シム 而シテ 凡テ 時
猿ハ 彼ノ 帽ヲ 取り離シツ、 アル 跳リツ、
5. I am going to buy a goat.
植田：私ハ 山羊ヲ 買フ 可ク 行キツ、 アル。
野口：私ハ 一ノ 山羊ヲ 買フ 可ク 行キツ、 アル。
6. A real live horse! Yes, that was the best of all, better than father's foot; better than Ned, who was always going, but never going ahead.
植田：實ノ 生キタル 馬ヨ 然ル 其ハ 総テノ 中デ 最良デ アリシ 父ノ 足 ヨリモ 善ク ネット ヨリモ
善ク 其ハ イツデモ 行キツ、 アリシ 然レドモ 決シテ 前ニ 行カ ス
野口：一ノ 眞ノ 生タル 馬ヨ 然リ ソレハ 凡テニ 付テ 最モ善キ者デ アリシ 父ノ 足 ヨリモ 尚ホ善ク
一 其人ハ 常ニ 行キツ、 アリシ 然シ 決シテ 前ニ 進ミツ、 アラザリシ
7. One day some boys were playing by the side of a pond and some of them threw stones into the water for fun.
植田：或日 或ル 子供ガ 池 ノ 許ニ 依テ 遊ビツ、 アリシ 而シテ 彼等 ノ 或者ガ 戯レノ 為メニ 水ニ
迄 石ヲ 投ゲシ
野口：一 日 或ル 童子ガ 一ノ 池 ノ 側ニ 傍デ 遊ビツ、 アリシ 而シテ 彼等 ノ 或者ガ 慰ニ 向テ
水ニ 迄 石ヲ 投ゲシ
8. We are only playing
植田：我々ハ 只ダ 遊ビツ、 アル
野口：吾々ハ 唯ニ 遊ビツ、 アル
9. But dear me! I'm forgetting little Ida.
植田：然レドモ 嗚呼 私ヨ 私ハ 小サキ アイデヤヲ 忘レツ、 アル
野口：然シ乍ラ ナ……ン……ト 私ハ 小サキ 一ヲ 忘レツ、 アル
10. At last, one day, primrose was looking up at the tree.
植田：遂ニ 或日 プリムローズガ 樹ヲ 眺メツ、 アリシ
野口：遂……ニ 一 日 一ハ 樹ニ 於テ 上ニ ナガメツ、 アリシ
11. These's nothing like water, Fresh water, I'm thinking.
植田：其處ニ 清水ナル 水ノ 如キ 何者モ アラスト 私ハ 考ヘツ、 アル
野口：其所ニ 水 炭水ノ 如キ 何者 アラズト 私ハ 考ヘツ、 アル
12. Now and then it will stand close by its mother's head, and pick very sweetly at its mother's face, as if it were kissing her.
植田：折々 其ガ 其ノ 母ノ 頭ニ 添ツテ 立ち 而シテ 其ガ 彼女ヲ 接吻シツ、 アリシ カノ 如ク 其ノ
母ノ 面ヲ 甚ダ 愛シク 突クデ アロウ
野口：折………々 其ガ 其ノ 母ノ 頭ニ 沿テ 密ニ 立デ アラウ 而シテ 其ガ 彼女ヲ 接吻シツ、 アリシ
カノ 如ク 甚ダ 愛ラシク 其ノ 母ノ 顔ニ 於テ 啄ク
13. Then the old hen, the mother, is very glad; for she has been waiting a long, long time for her little children, the chicks, to come out of their shells, and run about with her to pick up little bugs and worms.
植田：然ル時 母ナル 老牝鶏ガ 甚ダ 喜ンデ アル 何者 彼女ガ 彼等ノ 殻 ヨリ 来リ 而シテ 小サキ 虫
及ビ イモ虫ヲ 拾フ 為メ 彼女ト 俱ニ 走り廻ル 可ク 雄ナル 彼女ノ 小サキ 子供ニ 向テ 長ク
長キ 時 待ツ、 アツ タ 故ニ
野口：然ルトキニ 老タル 牝鶏ナル 母カ 甚ダ 喜デ アル 如何トナレバ 彼女ハ 彼等ノ 殻 カ……ラ 来リ
而シテ 小サキ 木虱 而シテ 蟲ヲ 上ニ 啄ム 可ク 彼女ト 共ニ 走り……廻ル 子供ナル 彼女ノ 小
サキ 雛ニ 向テ 一ノ 永キ 永キ 時 待チツ、 アリ タ 故ニ
14. By and by George came to a little pond where a mother duck and five ducklings were sailing about on the water.
植田：直チニ ジョージガ 母ノ 鶯 及ビ 五ツノ 子鶯ガ 水ノ 上ニ 走り廻リツ、 アリシ 處ノ 小サナル 池
ニ 迄 来リシ
野口：次……第……ニ 一ハ 一ノ 母 鶯 而シテ 美シキ 鶯子ガ 水ニ 於テ 泳ギ……廻リツ、 アリシ 所ノ
一ノ 小サキ 池ニ 迄 来リシ
15. The little dog was taking a walk too.
植田：小サキ 犬ガ 又タ 徜徉ヲ 取リツ、 アリシ
野口：小サキ 犬ハ 又 一ノ 逍遙ヲ 取リツ、 アリシ
16. You have been eating our corn.
植田：汝ハ 我々ノ 穀物ヲ 食ツ、 アツ タ
野口：汝ハ 吾々ノ 穀ヲ 食ヒツ、 アリ タ
17. I was waiting till I could count ten.
植田：私ハ 私ガ 十ヲ 算ヘ 能フ 迄 待チツ、 アリシ
野口：私ガ 十ヲ 算ヘ 能ヒシ 迄 私ハ 待チツ、 アリシ
18. One day dear Tabby was missing.

植田：或日 良キ タツビーガ 見失ヒツ、 アリシ

野口：一 日 深愛ノ 一ハ 失セツ、 アリシ

19. “Another cat!” we all cried out. Was dear old puss never coming back?

植田：我々ハ 都テ 叫ビ出セシ 他ノ猫ヨト 良キ 老タル 猫ハ 決シテ 歸リ来ラ ザリ シカト

野口：我々ハ 凡テ 叫ビ 出セシ 他ノ 猫ヨ 深愛ナル 老タル 猫ハ 決シテ 返リ 来リツ、 アラ ザリシカ

20. Just at this minute, when we were feeling so sad, we heard a scratching at the door.

植田：我々ガ 左様ニ 悲シク 感ジツ、 アリシ 時ノ 此ノ 時ニ 於テ 丁度 我々ガ 雨戸ヲ 搔キ裂クヲ 聴キシ

野口：我々ガ 左様ニ 悲シク 感ジツ、 アリシ 時ニ 正シク 此 瞬時ニ 於テ 我々ハ 戸ニ 於テ 一ノ 搔キヲ 聞キシ

21. I wonder little Nat did not fall; for he was sitting in his high-chair, and he shook out the bar in front of him.

植田：私ハ 小サキ ネットガ 落ち 為サズリシヲ 驚キシ 如何 彼ハ 彼ノ 高椅子ニ 於テ 座シツ、 アリシ 而シテ 彼ガ 彼 ノ 前面ニ 於テ 横木ヲ 押出セシ 故ニ

野口：私ハ 小サキ 一ガ 死シ ナサ ザリシヲ 驚ク 如何トナレバ 彼ハ 彼ノ 高椅子ニ 於 坐シツ、 アリシ 而シテ 彼ハ 彼 ノ 前面ニ 於テ 横木ヲ 外ニ 振リシ 故ニ

22. Do you see the boy who is standing up with his back to the teacher? He is reciting his lesson.

植田：汝ハ 先生ニ 迄 彼ノ 脊ヲ 以テ 立ツテ アル 所ノ 兒童ヲ 見 為スカ 彼ハ 彼ノ 科書ヲ 暗誦シツ、 アル

野口：汝ハ 教師ニ 迄 彼ノ 背ヲ 以テ 上ニ 立チツ、 アル 所ノ 童子ヲ 見 為スカ 彼ハ 彼ノ 學課ヲ 誦シツ、 アル

23. He is learning to count, and to add and subtract.

植田：彼ハ 算ヘル 可ク 及ビ 加ヘ 及ビ 減ズル 可ク 學ビツ、 アル

野口：彼ハ 數フル 可ク 而シテ 加ヘ 而シテ 減ズル 可ク 學ビツ、 アル

24. All the other children are studying their lessons.

植田：都テ 他ノ 子供ハ 彼等ノ 科書ヲ 勉強シツ、 アル

野口：凡テ 他ノ 小兒ハ 彼等ノ 學課ヲ 學ビツ、 アル

25. Frank caught him in a trap, and I am going to put him in the pretty cage up stairs.

植田：フランクガ 罠ニ 於テ 彼ヲ 捕ヘシ 而シテ 私ハ 綺麗ナル 籠ノ 中ニ 彼ヲ 置ク 可ク 梯ヲ 登リテ 行キツ、 アル

野口：一ガ 一ノ 係蹄ニ 於テ 彼ヲ 捕ヘシ 而シテ 私ハ 梯子ノ 上ノ 美シキ 鳥籠ニ 於テ 彼ヲ 置ク 可ク 行キツ、 アル

26. But he was still beating his little breast against the bars of his prison.

植田：然レドモ 彼ハ 尚ホ 彼ノ 獄舎 ノ 横木ニ 向テ 彼ノ 小サキ 胸ヲ 打ちツ、 アリシ

野口：然シ乍ラ 彼ハ 尚ホ 彼ノ 牢 ノ 横木ニ 逆デ 彼ノ 小サキ 胸ヲ 打ちツ、 アリシ

27. She was holding up the apron with one hand while she wiped the sunshine from the window with the other. Then holding the apron tightly not to lose the sunshine, she run to grandpa, who was sitting in his easy-chair.

植田：彼女ハ 一ツノ 手ヲ 以テ 前掛ヲ 上ニ 保チツ、 アリシ 彼女ハ 他者 以テ 窓 ヨリ 日光ヲ 拭ヒ落セシ 然ル後チ 日光ヲ 失ハ ス可ク 密ニ 前掛ヲ 保チツ、 彼女ハ 彼ノ 自由椅子ニ 於テ 座シツ、 アリシ 所ノ 祖父ニ 迄 走リシ

野口：彼女ハ 一ノ 手ヲ 以テ 前垂ヲ 上ニ 保チツ、 アリシ 然ル時ニ 彼女ハ 他ノ者ヲ 以テ 窓 カラ 日光ヲ 拭キ取りシ 然ルトキニ 日光ヲ 失ナハ ス 可ク 緊ク 前垂ヲ 保ツ所デ 彼女ハ 彼ノ 安樂椅子ニ 於テ 坐シツ、 アリシ 所ノ 祖父ニ マデ 走リシ

28. Then she rubbed his cheeks with her soft hands, and said, “I’m rubbing some sunshine in your face, grandpa, because you look so sad”

植田：然ル後ヲ 彼ハ 彼女ノ 柔カキ 手ヲ 以テ 彼ノ 頬ヲ 摩リシ 而シテ 云ヒシ 私ハ 汝ノ 面ニ 於テ 或ル 日 磨リシ 祖父ヨ 何者 汝ハ 左様ニ 悲シク 見エル 故ニ

野口：然ルトキニ 彼女ハ 彼女ノ 柔カナル 手ヲ 以テ 彼ノ 頬ヲ 拭ヒシ 而シテ 言ヒシ 私ハ 汝ノ 顔ニ 於テ 或ル 日光ヲ 塗りツ、 アル 祖父ヨ 何故ニ 汝ハ 左様ニ 悲シク 見ルヨト

29. At last, after the hen had been sitting nineteen days, he saw a plump, bright-eyed little chick standing by the side of its patient mother.

植田：遂ニ 牝鶏ガ 十九日 座リツ、 アツ タリシ 後チ 彼ガ 其ノ 耐忍ノ 母 ノ 傍ニ 沿ツテ 立ツ所ノ 眠レタル 光リ眼ノ 小サキ 雄ヲ 見シ

野口：遂……ニ 牝鶏ガ 十九 日 坐シツ、 アリ タリシ 後 彼ハ 其ノ 忍耐ノ 母 ノ 側ニ 傍フヲ 立ツ所ノ 一ノ 肥ヘタル 輝キタル目ノ 小サキ 雛ヲ 見シ

30. It seemed as if something were pushing it up from below but it was the light and the heat in the air above that were drawing it up.

植田：其ハ 恰モ 或者ガ 下 ヨリ 上ニ 其ヲ 衝キツ、 アリシ 如ク 見ヘシ 然レドモ 上ニ 其ヲ 引キツ、 アリシ 所ノ 其ハ 上ノ 空氣ニ 於テ 光リ 及ビ 熱デ アリシ

野口：其ガ 或物ガ 下 カラ 上ニ 其ヲ 推シツ、 アリシ カノ 如ク 見ヘシ 然シ乍ラ 其ハ 上ニ 其ヲ 引キツ、 アリシ 所ノ 上ノ 空氣ノ 中ノ 光ト 而シテ 熱デ アリシ

31. Inside of these flowers the young fruit was beginning to grow; and when the flowers dropped off, lo, there where the flower had been the fruit was hanging.

植田：是等ノ 花 ノ 内部ニ 若キ 果物ガ 成長スル 可ク 始メツ、 アリシ 而シテ 花ガ 莖離レシ 時 見ヨ 其處ニ 花ガ アツ タ 處ニ 果物ガ 掛リツ、 アリシ

野口：花 ノ 内側ニ 若キ 果實ガ 生長スル 可ク 始メツ、 アリシ 而シテ 花ガ 落ち ハナレシ 時ニ 見ヨ 花ガ アリ タリシ 何處デモ 其所ニ 果實ガ 懸リツ、 アリシ

32. But one day I left her in the fields where I was playing.

植田：然レドモ 或日 私ハ 私ガ 遊ツ、 アリシ 處ノ 野ニ 於テ 彼女ヲ 殘セシ

野口：然シ乍ラ 一 日 私ハ 私ガ 遊ビツ、 アリシ 所ノ 野ニ 於テ 彼女ヲ 遣セシ

33. The wild rose blooms upon the spray; In all the sky is not a cloud; And merry birds are singing loud, over the hills and far away.

植田：野薔薇ガ 小枝ノ 上ニ 咲キ 都テ 空ニ 於テ 雲ガ アラ ス 而シテ 樂シキ 鳥ガ 小山ヲ 越ヘ 而シテ 遙カ アチラニ 聲高ク 鳴キツ、 アル

野口：野 薔薇カ 枝ノ 上ニ 花咲ク 総テ 蒼空ガ 陰リデ アラ ス 而シテ 樂シキ 鳥カ 聲高ク 唱ヒツ、 アル 小山ヲ コヘテ 而シテ ハルカ アチラニ

34. So I'm going to bark as much as I please.

植田：左様ニ 私ハ 私ガ 好ム 如ク ソレダケ 多ク 吠ル 可ク 行キツ、 アル

野口：左様ニシテ 私ガ 好ム 丈ケ 多ク 左様ニ 吠エル 可ク 行キツ、 アル

35. After sitting by the fire a short time, he walked up to the wall where the lunch baskets were hanging. Raising himself on his hind feet, he put his paw into the baskets, and helped himself to an apple, and a piece of maple sugar.

植田：暫時 火煙ニ 依テ 座スノ 後チ 彼ハ 喰フベキ 辯當ガ 掛テ アリシ 處ノ 壁ニ 迄 歩ミシ 彼ノ 後 足ニ 於テ 彼自身ニ 起チツ、 彼ハ 辯當ニ 迄 彼ノ 手ヲ 置キ 而シテ 林檎 及ビ 楓砂糖 ノ 一切ニ 迄 彼自身ヲ 助ケシ

野口：一ノ 暫 時 火ノ 傍ニ 座スルノ 後 彼ハ 晝飯ノ 籠ガ 懸リツ、 アリシ 所ノ 壁ニ マデ 上ニ 逍遙セシ 彼ノ 後 足ニ 於テ 彼自身ヲ 高メル所デ 彼ハ 籠ニ マデ 彼ノ 足ヲ 置キシ 而シテ 一ノ 林檎ト 而シテ 楓裂ノ 砂糖 ノ 一ノ 片ニ マデ 彼自身ニ 供セシ

36. While Mr. Bear was having this good time, the boy who had jumped out of the window run through the street shouting, "A bear in the school! A bear in the school!"

植田：ミスター熊ガ 此ノ 善キ 時ヲ 持ツ、 アリシ 間ニ 窓 ヨリ 飛出シ タ 所ノ 兒童ハ 叫ビツ、 街道ヲ 走り廻リシ 學校ニ 於テノ 熊 學校ニ 於テノ 熊ト

野口：一 一 此ノ 好キ 時ヲ 持チツ、 アリシ 間ニ 窓 カ……ラ 飛ビ タリシ 所ノ 童子ハ 學校ニ 於テ 一ノ 熊 學校ニ 於テ 一ノ 熊ト 叫ビツ、 街道ヲ 通シテ 走りシ

37. At last, as George was playing in the garden, he came to a young cherry tree that his father had planted.

植田：遂ニ ジョージガ 園ニ 於テ 遊ビツ、 アリシ 時 彼ハ 彼ノ 父ガ 植付 タ 所ノ 若キ 櫻樹ニ 迄 来リシ

野口：遂……ニ 一ハ 花園ニ 於テ 遊ビツ、 アリシ 時ニ 彼ハ 彼ノ 父ガ 植附ケ タリシ 所ノ 一ノ 若キ 櫻……樹……ニ マデ 来リシ

38. But George was so pleased with his hatchet, that he did not think what he was doing.

植田：然レドモ ジョージハ 彼ハ 何ヲ 為シツ、 アリシ カヲ 彼ハ 考ヘ 為サバリシ 程 左様ニ 彼ノ 斧ヲ 以テ 樂ンデ アリシ

野口：然シ乍ラ 彼ガ ナシツ、 アリシ 所ノ者ヲ 彼ハ 考ヘ ナサ ザリシ コト程 左様ニ 一ハ 彼ノ 手斧ヲ 以テ 悦ンデ アリシ

39. What is the blacksmith making? He is making nails and horse shoes.

植田：鍛冶師ハ 何ヲ 作リツ、 アルカ 彼ハ 釘 及ビ 馬 蹄ヲ 作リツ、 アル

野口：鍛冶師ハ 何ヲ 為シツ、 アルカ 彼ハ 釘ト 而シテ 馬ノ靴ヲ 作リツ、 アル

40. Silver is bright and shining, and is also made into money.

植田：銀ハ 光リ 及ビ 輝キツ、 アル 而シテ 又タ 貨幣ニ 迄 作ラ ルハ

野口：銀ハ 光リ 而シテ 輝キツ、 アル 而シテ 又 貨幣ニ マデ 作ラレテ ア
ル

41. I am going to tell you a true story of a brave little girl.

植田：私ハ 勇氣ナル 小サキ 兒童 ノ 眞ノ 話ヲ 汝ニ 話 可ク 行キツ、 ア
ル

野口：私ハ 一ノ 大膽ナル 小サキ 娘 ノ 一ノ 誠ノ 話ヲ 汝ニ 話ス 可ク 行キツ、 アル

42. Not far from this bridge lives the little girl I am going to tell you about.

植田：此ノ 橋 ヨリ 遙カ ナラズ 私ガ 將ニ 汝ニ 話ス 可ク 行キツ、 アル 小女ガ 住ム

野口：此ノ 橋 カラ 遙カ ナラズニ 私ガ 就テ 汝ニ 話ス 可ク 行キツ、 アル 小サキ 娘ガ 生活スル

43. One stormy night not long ago, as little Kate stood looking out of the window, watching for her father to come home, she saw that a train was coming along the track.

植田：近頃ノ 或ル 荒レタル 夜ニ 小サキ ケートガ 家ニ 来ル 可キ 彼女ノ 父ニ 付テ 氣付ツ、 窓 ヨリ 眺メツ、 立チシ 時 彼女ハ 列車ガ ?軌ヲ 沿ツテ 来リツ、 アリシ ㌒ヲ 見シ

野口：長キ 以前デハ ナキ 一ノ 暴レタル 夜 小サキ 一ガ 家ニ 来ル 可キ 彼女ノ 父ニ 向テ 待チツ、 窓 ノ 外ヲ ナガメツ、 立チシ 時ニ 彼女ハ 一ノ 列車ガ ?ニ 傍デ 来リツ、 アリシ ㌒ヲ 見シ

44. While the little girl was looking, and just as the train had got to the brook nearby, all at once the engine light seemed to fall and go out.

植田：小女ガ 眺メツ、 アリシ 間 及ビ 丁度 列車ガ 沿ツテ 近ク 小川ニ 迄 行ヒ タ 時 都テ 一?ニ 器械ノ 光リガ 落ち 而シテ 消エル 可ク 見ヘシ

野口：小ナル 娘ガ ナガメツ、 アリシ 間ニ 而シテ 丁度 列車ガ 傍ニ 近キ 小川ニ マデ 達シ タリシ 時ニ 凡テ 一…時…ニ 機関ノ 光ガ 落ち 且ツ 消…エ…ル 可ク 見ヘシ

番号	例文	用法
	正則ロングマンズニューリーダー 第二読案内 の例文	
1	They send dogs into the jungle, to find out where the tiger <u>is hiding</u> .	動作・行為の継続
2	Sometimes a monkey will show by his cries the spot where the tiger <u>is lying</u> .	動作・行為の継続
3	At last the men find it, and just as it <u>is getting</u> ready to spring upon one of them, they fire at it and kill it.	近接未来
4	Once when Sarah <u>was trying</u> to hide, so that her baby brother could not find her, she got into a large box and pulled down the heavy lid.	動作・行為の継続
5	She meant to wait there, till she heard her little brother come near the box, and then she <u>was going</u> to frighten him by suddenly jumping up.	近接未来
6	She heard him say, 'Why here <u>is</u> my little girl! <u>waiting</u> to kiss her papa!'	動作・行為の継続
7	A man <u>was</u> one day <u>driving</u> a cart along the street. The horse <u>was drawing</u> a heavy load, and did not turn as the man wanted.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
8	A gnat which <u>had been buzzing</u> about the head of a bull, at last settled down on one of his horns, begging his pardon for thus troubling him.	動作・行為の継続
9	If it had not been for the great noise you <u>have been making</u> , I should not have known you were there.	動作・行為の継続
10	I am afraid that you <u>are thinking</u> more about your own dinner than mine.	動作・行為の継続
11	The wolf had killed nearly half the sheep, before the boy could make the men believe, that he <u>was telling</u> the truth this time.	動作・行為の継続
12	Hark how the rain <u>is pouring</u> . Over the roof, in the pitch-black night, And the wind in the woods a roaring!	動作・行為の継続
13	Hark, how the wind <u>is roaring</u> !	動作・行為の継続
14	Father's house is a better place When the stormy rain <u>is pouring</u> .	動作・行為の継続
15	Now, children, when you are tempted to take a birds nest, think of these two dear little workers, who <u>were sobbing</u> , as though their hearts would break.	動作・行為の継続
16	An English settler, in the backwoods of America <u>was</u> one evening <u>standing</u> at his door, when an Indian, faint and tired, came and asked him for some food.	動作・行為の継続
17	They <u>have been trying</u> to steal the eggs or young from some birds' nests.	動作・行為の継続
18	Once, when a monkey <u>was being fed</u> , one of the others in the same cage bit him.	動作・行為の継続
19	When he had found out which one it was, he went to the other side of the cage, took up a cane which <u>was lying</u> there, then held the naughty monkey by the tail, and gave him a good whipping!	動作・行為の継続
20	when the bats <u>are flying</u> about, if you throw a little stone up into the air, one of them will most likely see it and catch it, but, of course, will soon let it go when it finds it is not good to eat.	動作・行為の継続
21	'Yes, I can hear it mew, because it wants to get away. Perhaps it is hungry, and <u>is asking</u> for something to eat. Now I <u>am stroking</u> its back, and it purrs, because it is pleased.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
22	I am afraid you do not understand what I <u>have been telling</u> you, for you are a poor little blind boy.	動作・行為の継続
23	It cannot see what it <u>is doing</u> , but it needs not to use its eye, for it can make a web as well in the dark as in, the light.	動作・行為の継続
24	The sun <u>was shining</u> brightly, and the pretty birds <u>were singing</u> their best.	動作・行為の継続 動作・行為の継続

25	A ladder stood against this wall. Her father <u>had been using</u> it to reach the branches of a fruit-tree.	動作・行為の継続
26	You may know that the wind <u>is flowing</u> with great fury. The waves tell you that, for the sea is smooth when little wind <u>is blowing</u> .	動作・行為の継続 動作・行為の継続
27	The wild night wind <u>is blowing</u> cold, 'Tis dreary crossing o'er the wold	動作・行為の継続
28	He's <u>coming</u> o'er the wold apace, He's stronger than the storm: He does not feel the cold not he, His heart it is too warm!	近接未来
29	I know he's <u>coming</u> by the sign That baby's almost wild	近接未来
30	One day a crow, who had been for some time looking about for her breakfast, found a nice piece of cheese.	動作・行為の継続
31	But a sly old fox <u>was watching</u> her, and he made up his mind to try to get the piece of cheese.	動作・行為の継続
32	She was afraid that the fox <u>was going</u> to ask for a piece of the cheese. But the fox was too crafty to try to get it in that manner.	近接未来
33	The crow <u>was</u> now <u>thinking</u> so much of herself that, while listening to what the fox said, she quite forgot the piece of cheese she held in her bill.	動作・行為の継続
34	'Why, you see,' said the cat, I <u>was springing</u> at a mouse, and knocked down a large dish, with something in it, and not knowing what it was, I smelt it.	動作・行為の継続
35	I <u>am going</u> to tell you a true story of a brave little girl.	近接未来
36	Not far from this bridge lived the little girl I <u>am going to</u> tell you about. Her name was Kate.	近接未来
37	One stormy night, not long ago, as little Kate stood looking out of the window, watching for her father to come home, she saw that a train <u>was coming</u> along the line.	近接未来
38	While the little girl <u>was looking</u> , and just as the train had got to the brook nearby, all at once the engine light seemed to fall and go out.	動作・行為の継続
39	Or perhaps it had eaten so many green leaves that it was very tired, and <u>was looking</u> for a nice quiet place in which it could go to sleep.	動作・行為の継続
40	When the seals are not hungry, they like to rest on the top of the ice, and then they may easily be caught, it they <u>are lying</u> at a distance from the sea, for they cannot move when out of the water much better than a fish could.	動作・行為の継続
41	When the seals <u>are lying</u> on the ice, men try to catch them by dressing themselves so as to look like seals, and then crawling along the ice just as they do.	動作・行為の継続
42	A man finds out where a seals <u>is trying</u> to make a breathing-hole in the ice.	動作・行為の継続
43	As soon as he sees that the ice <u>is getting</u> very thin, he drives the spear with all his might into the seal, and then tries to pull it out by means of the rope.	近接未来
44	Now this hay had been placed there by a farmer for his two horses, which were hard at work in the fields, while the lazy dog <u>was sleeping</u> .	動作・行為の継続
45	A great many little fish <u>were</u> once <u>swimming</u> races in the sea.	動作・行為の継続
46	At last it came to a file, which <u>had been</u> left <u>lying</u> on the ground.	動作・行為の継続
47	Bobby <u>was sitting</u> on the rug in front of the fire, <u>playing</u> with Dot, his dog.	動作・行為の継続
48	'Aunt, I <u>am not teasing</u> him,' said Bobby, turning round and looking up into Aunt Peggy's face with a look of wonder. I'm <u>playing</u> with him.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
49	'By-and-by said Bobby. 'I can't always <u>be running</u> to wait on a dog.'	動作・行為の継続
50	'What a noise you <u>are making</u> ! What <u>are you doing now</u> ?' said Aunt Peggy.	動作・行為の継続 動作・行為の継続

51	'I'm <u>making</u> a little wagon, and Tom and I <u>are going</u> to fill it with big stones and make Dot draw it up from the brook. Won't that be fun?'	動作・行為の継続 近接未来
52	There be sat watching the fire, while Aunt Peggy went on with her reading. Soon, it seemed to Bobby that she left the chair in which she <u>was sitting</u> , and a strange little old woman, with a shining wand, set in her place.	動作・行為の継続
53	But all-at-once the fairy with her wand was gone, and Bobby <u>was sitting</u> in his father's arm-chair, wide awake, and Dot <u>was pulling</u> at his arm as if to ask for something.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
54	'I'm sure no one would ever take you for anything else as long as you make such a noise as that,' said Aunt Peggy 'You must <u>have been dreaming</u> .'	動作・行為の継続
55	But then, for the baby's Christmas. It never will do at all! For Santa-Claus wouldn't <u>be looking</u> . For anything half so small.	動作・行為の継続
56	I <u>was</u> only <u>playing</u> with Carlo, and he pulled me down, right into the mud: and then put his nasty dirty paws on my clean apron:	動作・行為の継続
	正則ニュートンショナル第二リード独案内の例文	
57	Frank, I <u>am going</u> to drive my new pair of horse.	近接未来
58	I'm always <u>making</u> honey.	動作・行為の継続
59	I'm always <u>eating</u> honey	動作・行為の継続
60	One time when Frank <u>was going</u> to school, he found a poor little bird in the grass.	近接未来
61	What <u>are</u> you <u>going</u> to do now?	近接未来
62	They <u>were</u> still <u>looking</u> for pigs.	動作・行為の継続
63	See, John, how fast the moose <u>is running</u> !	動作・行為の継続
64	See, its head <u>is coming</u> out of the shell.	近接未来
65	Yes, it saw that you <u>were going</u> to touch it	近接未来
66	While Frank and Ned <u>were looking</u> on, one of the sheep got away, and ran out of the brook.	動作・行為の継続
67	One day Bunny <u>was running</u> in the grass and heard a dog bark.	動作・行為の継続
68	<u>Has</u> she <u>been eating</u> too much?	動作・行為の継続
69	The boys <u>are going</u> to play ball, and I told them I would play with them.	近接未来
70	The dogs knew very well what we were after, for they <u>had been</u> deer <u>hunting</u> before.	動作・行為の継続
71	Our horses, too, seemed to know why the dogs <u>were barking</u> , and started to run after them as fast as they could go.	動作・行為の継続
72	We tried to hold them back, because we were afraid that some of us would get hurt while they <u>were running</u> under the trees.	動作・行為の継続
73	At first, they did not seem to know how to cross the river, and so began to chatter, and talk with one another, as if they <u>were asking</u> what should be done.	動作・行為の継続
74	While he <u>was doing</u> this the rest kept up their chatter, and seemed to know just what <u>was going</u> to be done.	動作・行為の継続 近接未来
75	The hens <u>are picking</u> off the grass, and <u>singing</u> very loudly.	動作・行為の継続 動作・行為の継続

76	Mamma <u>was putting</u> Milly and May to bed, the night before Christmas, and she told them this story	動作・行為の継続
77	Worms <u>were eating</u> all the leaves.	動作・行為の継続
78	They <u>were trying to</u> find something to eat and they looked hungry and cold.	動作・行為の継続
79	Two men, who <u>were hunting</u> for the prince, that they might kill him, passed by the cave in the morning and the prince heard what they said.	動作・行為の継続
80	For Santa Claus wouldn't <u>be looking</u> For anything half so small.	動作・行為の継続
	スイントン氏第貳リードル獨案内の例文	
81	By and by he <u>will be singing</u> . "cheer-up! cheer-up! cheer-up!"	動作・行為の継続
82	Now they <u>are going</u> home, and they hear a strange sound	近接未来
83	There is a cord around its little body, and a man <u>is hording</u> the cord.	動作・行為の継続
84	The man <u>is playing</u> an organ. He makes the handle of the organ go round and round, and all the time the monkey <u>is dancing</u> and <u>taking</u> off his cap.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
85	I <u>am going</u> to buy a goat.	近接未来
86	A real live horse! Yes, that was the best of all, better than father's foot: better than Ned, who <u>was always going</u> , but never going ahead.	近接未来
87	One day some boys <u>were playing</u> by the side of a pond and some of them threw stones into the water for fun.	動作・行為の継続
88	We <u>are only playing</u> .	動作・行為の継続
89	But dear me! I'm <u>forgetting</u> little Ida.	近接未来
90	At last, one day, primrose <u>was looking</u> up at the tree.	動作・行為の継続
91	These's nothing like water, Fresh water, I'm <u>thinking</u> .	動作・行為の継続
92	Now and then it will stand close by its mother's head, and pick very sweetly at its mother's face, as if it <u>were kissing</u> her.	動作・行為の継続
93	old hen, the mother, is very glad: for she <u>has been waiting</u> a long, long time for her little children, the chicks, to come out of their shells, and run about with her to pick up little bugs and worms.	動作・行為の継続
94	By and by George came to a little pond where a mother duck and five ducklings <u>were sailing</u> about on the water.	動作・行為の継続
95	The little dog <u>was taking</u> a walk too.	動作・行為の継続
96	You <u>have been eating</u> our corn.	動作・行為の継続
97	I <u>was waiting</u> till I could count ten.	動作・行為の継続
98	One day dear Tabby <u>was missing</u> .	動作・行為の継続
99	Another cat!" we all cried out. <u>Was</u> dear old puss never <u>coming</u> back?	近接未来
100	Just at this minute, when we <u>were feeling</u> so sad, we heard a scraching at the door.	動作・行為の継続
101	I wonder little Nat did not fall: for he <u>was sitting</u> in his high-chair, and he shook out the bar in front of him.	動作・行為の継続
102	Do you see the boy who <u>is standing</u> up with his back to the teacher? He <u>is reciting</u> his lesson.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
103	He <u>is learning</u> to count, and to add and subtract.	動作・行為の継続

104	All the other children <u>are studying</u> their lessons.	動作・行為の継続
105	Frank caught him in a trap, and I <u>am going</u> to put him in the pretty cage up stairs.	近接未来
106	But he <u>was</u> still <u>beating</u> his little breast against the bars of his prison.	動作・行為の継続
107	She <u>was holding</u> up the apron with one hand while she wiped the sunshine from the window with the other. Then holding the apron tightly not to lose the sunshine, she run to grandpa, who was sitting in his easy-chair.	動作・行為の継続
108	Then she rubbed his cheeks with her soft hands, and said, "I'm <u>rubbing</u> some sunshine in your face, grandpa, because you look so sad"	動作・行為の継続
109	At last, after the hen <u>had been sitting</u> nineteen days, he saw a plump, bright-eyed little chick standing by the side of its patient mother.	動作・行為の継続
110	It seemed as if something <u>were pushing</u> it up from below but it was the light and the heat in the air above that were drawing it up.	動作・行為の継続
111	Inside of these flowers the young fruit <u>was beginning</u> to grow; and when the flowers dropped off, lo, there where the flower had been the fruit <u>was hanging</u> .	動作・行為の継続 動作・項の継続
112	But one day I left her in the fields where I <u>was playing</u> .	動作・行為の継続
113	The wild rose blooms upon the spray; In all the sky is not a cloud: And merry birds <u>are singing</u> loud, over the hills and far away.	動作・行為の継続
114	So I'm <u>going</u> to bark as much as I please.	近接未来
115	After sitting by the fire a short time, he walked up to the wall where the lunch baskets <u>were hanging</u> . Raising himself on his hind feet, he put his paw into the baskets, and helped himself to an apple, and a piece of maple sugar.	動作・行為の継続
116	While Mr. Bear <u>was having</u> this good time, the boy who had jumped out of the window run through the street shouting, "A bear in the school! A bear in the school!"	動作・行為の継続
117	At last, as George <u>was playing</u> in the garden, he came to a young cherry tree that his father had planted.	動作・行為の継続
118	But George was so pleased with his hatchet, that he did not think what he <u>was doing</u> .	動作・行為の継続
119	What <u>is</u> the blacksmith <u>making</u> ? He <u>is making</u> nails and horse shoes.	動作・行為の継続 動作・行為の継続
120	Silver <u>is</u> bright and <u>shining</u> , and is also made into money.	動作・行為の継続
121	I <u>am going</u> to tell you a true story of a brave little girl.	近接未来
122	Not far from this bridge lives the little girl I <u>am going</u> to tell you about.	近接未来
123	One stormy night not long ago, as little Kate stood looking out of the window, watching for her father to come home, she saw that a train <u>was coming</u> along the track.	近接未来
124	While the little girl <u>was looking</u> , and just as the train had got to the brook nearby, all at once the engine light seemed to fall and go out.	動作・行為の継続

3. 現代における「V ツツアル」の例文資料

雑誌（2001-2005）の例文資料

番号	例文	メディア／ジャンル	巻号	用法
1	<p> ぞれがオリジナルのカスタムを施して着用するのが今年の傾向と言える。もはや定番化しつつあるこちらは、来年も上位ランクインが予想される。西浦泰央（19） 学生キャップ：中古（ </p>	雑誌/総合/ 家庭/生活	2004年2月号（第19巻第2号、通巻207号）	接近

2	おしゃれ」という概念があらゆる対象（食べ物、生き方、恋愛など）に当てはめられ つつある ことを不快に感じていたのだが、このたび、その「おしゃれ」が結局は所有不動産の時価	雑誌/工業/ 電気機／電 子	2002年2月1日号（通巻304号）	継続
3	働かれ、初の技能賞を受賞した。平成十一年夏に魁皇につぶされた“黄金の左”も復活し つつある	雑誌/総合/ スポーツ	2001年2月号（第47巻第2号、通巻522号）	接近
4	水産省や経済産業省、（独）日本貿易振興機構（JETRO）による支援体制も整えられ つつある 。本稿では、輸出促進に関する事業の概要を紹介するとともに、実際の輸出に当たって	雑誌/産業/ 農林水産	2004年4月号（第59巻4号、通巻918号）	継続
5	げたい...スタッフのそんな思いから始まった試みも、昨年から徐々にではあるが実を結び つつある 。この催しの出身者が、声優（ぶろだくしょんバオバブ所属・黒河奈美さん）やアニメー	雑誌/総合/ 児童	2003年1月号（第23巻第1号、通巻第264号）	接近
6	感を保ってきた。その優位が崩れ つつある いま—巨人は徐々に、「清原のチーム」になり つつある 。清原—松井戦争は最終章を迎えようとしている。▲めったにない二人のツーショット	雑誌/総合/ 一般	2002年5月11日・18日合併号（第44巻第21号、No.2181）	継続
7	た日は、彼女が病院に出勤する前に一緒に食事をするというのが、ここ最近の習慣になり つつある 。食事後は彼が車で病院まで送る。「ナースが酒臭くちゃまずいもんね。それに篠治君	雑誌/総合/ 一般	2005年2月24日号（第50巻第8号、通巻2486号）	接近
8	イングポジション機構に代表されるユーザーフレンドリーな側面とともに、市場に浸透し つつある 。入念な造りを可能にしたのは、各部のユニット化で部品点数を大幅に削減できたから	雑誌/工業/ 機械	2003年4月号（Vol.304、第26巻第4号）	継続
9	ト・カービングスキーを使うことによって、彼らのショートターン・テクニックが変化し つつある ことは確かな事実と言えるだろう。ここでは栗野利信をディレクターに迎え、今、大きく	雑誌/総合/ スポーツ	2002年2月号（通巻433号）	継続
10	対談親は子どもに何をしてやればいいですかすったもんだで娘の思春期の葛藤も乗り越え つつある 育児の大ベテラン、伊藤比呂美さんと、1歳になったばかりの男の子を抱えて、ただい	雑誌/総合/ 家庭／生活	2001年10月号（第21巻第5号、通巻194号）	接近
11	。彼はもとより反米の急先鋒でならず者扱いだったが、いまシニア派全体に支持が広がり つつある 。サドル師のインティファーマ（蜂起）の呼びかけには、シスター師の暗黙の支持がある	雑誌/総合/ 一般	2004年6月号（第23巻第6号、通巻266号）	継続
12	員の退職後まで会社まかせにすべきではない」（カゴメ人事グループ）という時代になり つつある のは事実だろうが、それらの企業の社員は、公的年金のカットとダブルパンチを受けるこ	雑誌/総合/ 一般	2003年5月2日号（第35巻第19号、通巻第1698号）	接近
13	野レベルに移行し、消費欲望もインターネットや携帯電話によりメディアごとに仕切られ つつある 。商品のサイズごとの品揃え、品質や売場の雰囲気さえ加味し つつ 価格破壊を行うユニ	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2001年1月23日号（第79巻第3号、通巻3488号）	接近
14	り輸入ものが多く、国内栽培のものが求められてきており、九州を中心に栽培が増えてき つつある 。また、これらの果実の色は赤だけではなく、黄、オレンジ、茶、黒、紫、白と様々なも	雑誌/産業/ 農林水産	2004年11月号（第59巻11号、通巻925号）	継続
15	になじむ柔らかな風合いは、くず繭を抱いた織りによる。希少価値が高く、値段も高騰し つつある 。下・店主・田崎一枝さんと、跡継ぎの陽二さん。陽二さんは目下、古布商の修業中。左	雑誌/総合/ 一般	2003年9月号（第46巻第9号、通巻第547号）	継続
16	コースティックでフォーキーなサウンドを展開。本来エモが持っていた流れからは逸脱し つつある ように聴こえるかもしれないが、これは脱エモやセルアウトではなく彼らなりの深化と進	雑誌/総合/ 家庭／生活	2002年7月号（第17巻第7号、通巻182号）	接近
17	うことはあまり現実的ではない。そういう意味ではある程度の本人確認ということもでき つつある と思う。ただし、代表性に関しては、かなり難しい問題だ。正直言っ、担保すること	雑誌/総合/ 総記／マス コミ	2005年4月号（通巻第179号）	接近
18	られた。薔薇に刺さり...なのである。しかし、バイクが総じて乗りやすい方向へと進み つつある 現在、749は高性能でありながら乗りこなす楽しさが造り込まれた稀少な1台。繊細で	雑誌/工業/ 機械	2003年4月号（Vol.304、第26巻第4号）	継続
19	。可愛らしいヒヨコが親鳥の後をひよひよと歩いている姿が見えてくる。尻すぼみになり つつある 家系図には同感する所が多くある。現代の若者はあえて結婚をしない。また結婚したとし	雑誌/教育・ 学芸/文学／ 芸術	平成14年6月号（第49巻第7号、通巻640号）	接近
20	障害があるとは思われないけれど、ちょっと気になる行動をする子ども。急激に増え つつある 、そういった子どもの発達上の課題を考え、子どもへの対応のし方、親へのアドバイスな	雑誌/総合/ 家庭／生活	2001年4月号（第21巻第2号、通巻191号）	継続

21	の本当の精神と愛国主義に目覚めつつある。ファルージャは、米国占領政策の墓場となり つつある 。彼はこう語ると、「彼らがイラクを離れたようなのもういいだろう」と、副官を呼	雑誌/総合/ 一般	2004年6月号(第23巻第6号、通巻266号)	接近
22	ない)、三番手がイラン(現実に核開発計画を進めており、経済力・軍事力ともに増大し つつある 国家)、四番手がイラク(軍事力は縮小しつつある国家で、おそらく核開発計画はまった	雑誌/総合/ 一般	2003年8月号(通巻99号)	継続
23	銀行の投信窓販は、着実に実績を上げており、証券界にとっては、その存在が脅威になり つつある 。	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2001年8月21日号(第49巻第18号、通巻1243号)	接近
24	半年ごとにGPUが発表される。だがその進化は3Dゲームを快適に行うために特化され つつある 。パソコンでゲームをしないユーザーは何に注目して選択すべきだろうか。ビデオチップ	雑誌/工業/ 電気機/電 子	2004年2月15日号(通巻353号)	接近
25	が確認されている)。あれから6年、世界情勢も変化し、このP90の評価もまた変わり つつある 。そこでFNリポート第3弾としてP90、5.7ピストルの最新バージョンを紹介しよ	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2003年4月号(第16巻第4号、通巻178号)	継続
26	しゃれ。近頃レニー・ゼルウィガーに「ロマンチック・コメディの女王」の座を奪われ つつある メグ・ライアン、最後の踏ん張り(?)。広告会社に勤めるキャリアウーマンの役。いか	雑誌/総合/ 一般	2002年4月10日号(No.586、第26巻第7号)	接近
27	果がないのです。このように深海に暮らすいかとこのすみ袋は、使われないので退化し つつある そうですよ。取材・文/本吉恭子取材協力/国立科学博物館動物研究部・窪寺恒己さん炭	雑誌/総合/ 一般	2005年8月2日号(第21巻第15号)	継続
28	ば、腹膜透析の持つメリットが引き出せるのではないかと思います、現実のものになり つつある ので、将来は明るいのではないかなと思っています。窪田 私たちは腹膜透析の患者さん	雑誌/厚生・ 医療/医学	2003年7月号(第32巻第7号、通巻第380号)	接近
29	ある。彼女は、すでにあちこちの雑誌で紹介されて、文学の外側でもその存在が認められ つつある 。綿矢りさの登場は、ひとつの事件だった。しかし決してこの小説ひとつの「一発屋」で	雑誌/教育・ 学芸/文学/ 芸術	平成14年1月号(第56巻第1号)	接近
30	で、中国国内の公私のコレクションの約二万点を取める『中国古代書画図目』が出版され つつある 。あとからつくられただけに、判型も大きく、写真自体にキャプションがついています。	雑誌/総合/ 総記/マス コミ	2001年12月号(第24巻第11号、通巻211号)	接近
31	クス証券は、「(これまでコツコツ貯蓄してきた)日本人の預貯金文化が若年層で薄れ つつある 」と見る。オンライン証券が増えブロードバンドが普及し、パソコンや携帯電話から簡単	雑誌/総合/ 一般	2004年1月19日号(第17巻第3号、通巻845号)	継続
32	な支配という、より広範な主張へ。時代の最も重要な問題—大量破壊兵器によって高まり つつある 危険—は、徐々に対テロ戦争の付録としてのみ込まれていった。このプロセスが終わった	雑誌/総合/ 一般	2003年8月号(通巻99号)	継続
33	てとは違った顔を見せ始めているのがこのところの銀座なのだ。今、まさに生まれ変わり つつある 元氣な街を闊歩したい。《見る》リニューアルした松屋 本来は「買う」なのだろうが、	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2001年4月24日号(第79巻第18号、通巻3503号)	継続
34	かDセグメントは先頃マイナーチェンジを敢行したCクラスを中心に、その地位を脅かし つつある A4、永遠のライバル3シリーズ、さらには北欧のニューフェイスS40、イタリアの雄	雑誌/工業/ 機械	2004年11月号(第28巻第11号、通巻332号)	接近
35	る人たちも生まれてくる。近年ますます美術や工芸といったジャンル分けが不明瞭になり つつある 。また、工芸といっても単独で存在するものでなく、あるいは建築と一体となり、ある	雑誌/教育・ 学芸/学習/ 語学	2003年(第73巻第2号)	継続
36	り、日本人サッカー選手は世界のどこに出してもそれほど恥ずかしくないレベルには達し つつある 。3月に訪れたアルゼンチンでは、ボカ・ジュニアーズの練習で最も多くゴールをあげて	雑誌/総合/ 一般	2002年5月3-10日合併号(第107巻第20号、通巻4499号)	接近
37	見ていると、彼こそが日本のフォト・ジャーナリズムの方向性を大きく変えてきた(変え つつある)一人であることがよくわかる。戦前、戦中には軍部のプロパガンダ写真のために動員	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2005年1月号(第90巻第1号、通巻938号)	接近
38	うか。そのトレンドは、いまやさまざまなアイテムに飛び火して、ひとつのブームになり つつある ようだ。たとえば、昨年はベンツのCLKとアルマーニが組んだり、ライカのM型にエル	雑誌/総合/ 一般	2004年10月号(第2巻第10号、通巻第12号)	接近
39	ウがある」(友沢氏)ののだが、異業種も含め各社が迫随して来たため、競争は厳しくなり つつある 。市場拡大と競争激化が進めば、同社の研究成果もより早く表れるだろう。自動車メー	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2002年9月10日号(第37巻第17号、通巻734号)	接近

40	同僚議員から強くたしなめられたとされるなど二人の間の亀裂は深刻な事態へと発展し つつある 。記事を書いたのは同紙ではなく、大手通信社の記者といわれているが、ともかく、こ	雑誌/総合/ 一般	2001年10月18日号(第46巻 第39号、通巻2321号)	継続
41	への憧れどころが、句に吐露されるようになったということは、節子の病が快方に向かい つつある 兆でしょう。この二つの句は、一見目立たなくて、見過ごしがちではありますが、長	雑誌/教育・ 学芸/文学/ 芸術	2004年5月号(第10巻第5 号、通巻108号)	継続
42	本は今「カーブもストレートもキレがよくなってきた」と実感している。努力は実を結び つつある 。佐久本の武器は投球だけではない。打率は実に4割8分6厘。が、「バッティングは	雑誌/総合/ スポーツ	平成15年2+3月号(第27巻 第2号、通巻269号)	接近
43	一ベリーの産地が生まれようとしている。栽培上の技術もかなり進んで適産地も形成され つつある 。しかし、暖地ブルーベリーの産地には、ラビットアイをメインとした産地がほとんど	雑誌/産業/ 農林水産	2001年3月号(第56巻3号、 通巻881号)	継続
44	ース。存在感は急速に高まってきている。実際、ヨーロッパ市場では力強く息を吹き返し つつある し、活気にあふれたモーターショーのブースを見ても、ランチアの元気ぶりがはっきりと	雑誌/工業/ 機械	2004年3月10日号(第27巻 第5号、通巻第549号)	接近
45	こともあり、デフレ懸念が薄らぎ つつある 。地価も上昇に転じるのではという期待が生じ つつある 。しかし、今後も下落が続くというのが実態だ。つい半年前には「デフレ」の文字が世	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2003年11月29日号(第91巻 46号、通巻4009号)	接近
46	なる貧富の差というより、非常な競争社会であることですね。今、日本なんかはそうなり つつある 。非常な競争社会においては、負けた人たちがメンタルにつらい状況になってテロに走る	雑誌/総合/ 総記/マス コミ	2002年2月号(第52巻2号、 通巻609号)	接近
47	透析95%の一囚になっているという。しかしその一方で、最近では腹膜透析が見直され つつある 。腎臓はさまざまなホルモンを分泌しており、人工透析で賄える機能は約7割に過ぎない	雑誌/総合/ 一般	2005年7月号(第39巻第7 号)	接近
48	！ 沖縄「パワー」コスメ某朝ドラの影響で、ゴーヤー(苦瓜)が「国民的野菜」になり つつある 。今度は沖縄の天然素材を使ったコスメが登場。肌の老化防止に効果アリと実力にも注目	雑誌/総合/ 家庭/生活	2004年3月1日号(No.542、 第25巻第4号)	接近
49	」と北代社長は歯がみする。技術力でも国内メーカーと遜色のないレベルにまで成長し つつある 中国メーカーと勝負するには、開発スピードを上げて顧客に食い込むしかない。高付加価値	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2002年1月12日号(第90巻2 号、通巻3916号)	途中
50	る。「第二の人生で妥協したくない」。今、広島タイ交流協会での活動に、夢を見いだし つつある	雑誌/総合/ 一般	2001年12月1日増刊号(第14 巻第52号、通巻730号)	接近
51	らくして「おいしいか」と父親はゆで上げた旧ドイツ租界製の小さなソーセージを頬ばり つつある 重夫に念を押すように訊ねた。「おいしい」と重夫も念を押すように答えたが、おいしい	雑誌/教育・ 学芸/文学/ 芸術	2004年7月号(第26巻第7 号)	継続
52	う人たちにとってはすごく良かったんじゃないのかなあって。ただ、時代がS&Wに戻り つつある 今だからさ、いいのかな?と。入： ああ、ニューナンプは消え つつある ... (笑)。とこ	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2003年4月号(第16巻第4 号、通巻178号)	接近
53	ら導入した品種の中から選択した。特性については、最も優れた品種として国内に定着し つつある ティフブルーと対比させた内容となっている。(2)国内に導入されているサウザンハイ	雑誌/産業/ 農林水産	2001年3月号(第56巻3号、 通巻881号)	接近
54	せるとの成績も示されており、ラロキシフェンは乳癌の治療薬としての有用性も支持され つつある 。また、ラロキシフェンは脂質代謝を改善し、LDLコレステロール値および総コレス	雑誌/厚生・ 医療/医学	2004年5月号(第33巻第5 号、通巻第390号)	継続
55	過ぎ去り、もはや金貨でもないはず。実は、この構想は単なるパフォーマンスの域を超え つつある 。ディナール構想の推進者の狙いは、国際経済の秩序、ルールにイスラム的な価値観を	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2003年1月28日号(第81巻 第5号、通巻3600号)	接近
56	だ。オープンしてまだ半年足らず。徐々に、タイピングスポットとしての魅力が知られ つつある 勝浦。が、まだまだ開拓の余地を残している未知なる海ともいえる。勝浦の一番の特徴	雑誌/総合/ スポーツ	2002年3月号(No.319、第28 巻第5号、通巻344号)	継続
57	たメニューのひとつ。都内でも、カレー専門店だけでなく、カフェ、バーなどでも定着し つつある 。この店でも、今年の春から石焼きカレーがメニューに登場。具材とライス、カレーを混	雑誌/総合/ 一般	2005年7月6日号(No.1469、 第36巻第26号)	接近
58	ば今度は割安感が出る外需株が買われ、日経平均も大きく上がる—という好循環が生まれ つつある 。4月～5月にかけて3月決算の数字が出てきますが、増収増益の企業が明確になると、	雑誌/総合/ 一般	2004年3月20日号(第46巻 第11号、No.2271)	接近

59	チュワートにより開発された業績評価指標であり、米国企業を中心に世界各地へと浸透し つつある 。EVAには、以下の2つの特徴がある。1 資本コストの概念を指標のなかに取り込ん	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2002 年 SPR. (49 巻 4 号)	継続
60	リワインの成熟待望の赤に出会った ビノ・ノワールの世界に、新しいページが誕生し つつある 、と感じた。チリ産のウンドラガー・ビノ・ノワールを飲んでみての感想である。	雑誌/総合/ 一般	2001 年 6 月 23 日号 (第 43 巻 第 23 号、No.2136)	接近
61	人の心を和ませる。戦国の世がようよう終らんとしておる今、人には心のゆとりが生まれ つつある 。それが傾きというものと、わしのような者にもわかっておる」 意外な言葉を口に	雑誌/教育・ 学芸/文学／ 芸術	2004 年 12 月号 (第 58 巻第 12 号、通巻 727 号)	接近
62	終える可能性があった病人たちが、ここではゆっくりゆっくりと、人間らしさを取り戻し つつある 。この日は、回復に向かいつつある二人の難民が、スタッフに付き添われ、前橋市内の	雑誌/総合/ 家庭／生活	2003 年 4 月 1 日発行 (第 3 号、 通巻 334 号)	継続
63	全ボディやABSだけでなく、カメラとモニターが、クルマをさらに安全な乗り物に変え つつある 。ほかにもできるこんなこと！ 縦列駐車だけでなく、機会が多い並列駐車のカイドもし	雑誌/工業/ 機械	2001 年 8 月 20 日号 (第 38 巻 第 18 号、No.862)	継続
64	場の中心は止水域で数も減ったことから、竿の調子も、ウキ主体の繊細なタイプが好まれ つつある 。このたなご竿も、伝統破りの変則サイズながら、引き味がよいと人気。全長 1 3 5 c m	雑誌/総合/ スポーツ	2005 年 7 月号 (第 25 巻 7 号、 通巻第 289 号)	継続
65	のだ。「本来、配当目的の長期保有市場を育成するはずが、売買差益狙いの市場にゆがみ つつある 」と大手REIT首脳は嘆く。生後一年八ヵ月、時価総額は米国の二・九% (約五五〇〇	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2003 年 5 月 24 日号 (第 91 巻 20 号、通巻 3983 号)	接近
66	を超えて、リユース・マインドを持った人たちのこうしたネットワークがデザインを変え つつある のです。リユースしたものの「ステンレス板」錆びにくく、分別も容易なステンレスはリサ	雑誌/総合/ 一般	2002 年 7 月 31 日号 (No.1325、第 33 巻第 29 号)	継続
67	農民の風景ではありません。それではこの句は成り立たない。すでに近代的自我に目覚め つつある のに、貧しさゆえの非人間的な重労働に打ちひしがれている、そんな庶民たちの歌です。	雑誌/教育・ 学芸/文学／ 芸術	2005 年 8 月号 (第 72 巻第 9 号)	接近
68	そして「消極的改憲論」と「積極的改憲論」である。 総じて、護憲論の勢いは衰え つつある 。護憲論は、第二次世界大戦の惨禍への深い反省と反戦感情を基盤に、憲法九条の精神が	雑誌/総合/ 一般	平成 16 年 5 月号 (第 36 巻第 5 号)	継続
69	就農者が増えている。町では、彼らと地元農家が相互に助け合う、新たな「結」が築かれ つつある 。	雑誌/産業/ 農林水産	2002 年 8 月号 (第 56 巻第 8 号)	接近
70	ているが、エリート層は日本離れが進んで、ますます日本が「一番近くて遠い国」になり つつある のだ。台湾の場合は、本省人と外省人（大陸出身者）で全く事情が異なる。本省人は日	雑誌/総合/ 一般	2001 年 3 月 28 日号 (第 13 巻 第 5 号、通巻 268 号)	継続
71	ゃとし、パソコンで遊ぶ。塾に通うより、パソコン画面で学習することが「普通」になり つつある 。進歩の少ない学校教育では、子供だけでなく、親も祖父母も満足しない時代となるだ	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2004 年 3 月 9 日号 (第 39 巻第 5 号、通巻 770 号)	接近
72	ましたね 桜田は、今や東京の若者にとって“吉本的な会話”は、生活の中に定着され つつある と見ている。東京人の大阪人化が進んでいる...！？ 「関西弁の普及だけでなく、“吉本	雑誌/総合/ 一般	2003 年 6 月 18 日号 (No.516、 第 23 巻第 11 号)	接近
73	ぐブローの連続ステップを乗り越えながら 1 0 秒前半の領域に...やっど絶好調時代を迎え つつある ?? photo●MOMO OFFICEエンジンさえ壊れなければ、ボン付けタービン	雑誌/工業/ 機械	2001 年 11 月号 (第 22 巻第 11 号、通巻 281 号)	接近
74	清代写真・川村典幸連載再開にあたって 初心者の段階を終えて次の段階に足を踏み入れ つつある 方々の稽古は、「彼我の立場と関係」を基本におき、その戦いの変化を仮想し、勝つため	雑誌/総合/ スポーツ	2005 年 6 月号 (第 30 巻第 6 号、通巻 352 号)	接近
75	、前家元とともに新年のあいさつをした。「まだまだ経験不足ですが、日本の心が失われ つつある 時代、茶道を通じてその心を伝えていくよう努力したい」と。 年末の継承宣誓後の最初	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2003 年 2 月 4 日号 (第 81 巻第 6 号、通巻 3601 号)	継続
76	。それに加えて、審判団の質の向上。これは切実だと思う。確かに「組織」は大きくなり つつある 。その分、基盤となる...たとえば、審判団の見直しといった問題はすぐに着手すべきだと	雑誌/総合/ 一般	2002 年 1 月 19 日号 (第 44 巻 第 3 号、No.2165)	継続
77	衰えてきているだけではない、明らかな変化が自分の体の中で起こっていることを自覚し つつある 。いろいろ原因を考えて、ある日はたと気が付いた。こりゃ、更年期障害ってヤツじゃ	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済／経営	2005 年 6 月 21 日号 (第 40 巻 第 12 号、通巻 801 号)	継続

78	れるようになった。日本の安全保障に関する三つのキーワードのうち、二つまでが 変容し つつある 時、三つ目の憲法をめぐる見直しの動きが加速するのは、ある意味 で必然である。しかも	雑誌/総合/ 一般	平成 16 年 5 月号（第 36 巻第 5 号）	継続
79	十分確保されている」という言い方を好んで使い、競争抑制、大手優遇の方向に舵 を切り つつある 。携帯電話やモバイルデータ通信業界でも、大手による支配がますます 進みそうである。	雑誌/工業/ 電気機／電 子	2002 年 2 月号（通巻第 85 号）	接近
80	への報復であると再三強調している。しかし現地では、イスラム対米国の構図が 進行し つつある 。いつこのパキスタンという“火薬庫”に火がつくのか。その時は 刻一刻と迫っている	雑誌/総合/ 一般	2001 年 10 月 26 日号（第 33 巻 第 44 号、通巻第 1618 号）	継続
81	いている。この問題は、現行のホスト・システムの老朽化に起因するものと認識が 広がり つつある が、今後の処方箋を検討するうえで、まずは、その「老朽化」の意 味を的確に理解してお	雑誌/政治・ 経済・商業/ 金融／財政	2004 年 1 月号（通巻 226 号）	継続
82	屋の鉄骨を望むこともできた。 東西六百メートル、南北三百メートルの敷地に建 設され つつある 青海ポセイドンシティは、工事再開の目途が立たないまま、仮囲い の向こうで雑然とした	雑誌/総合/ 一般	2003 年 8 月 7 日号（第 45 巻第 31 号、通巻 2239 号）	接近
83	喜が 2 本とも K 点超えをそろえ 3 位。その後も安定したジャンプを見せ、自信を取り 戻し つつある 。また、第 3 戦では久々にチームで表彰台に上がり、五輪に向け確 かな手ごたえを感じて	雑誌/総合/ 娯楽／芸能	2002 年 1 月 23 日号（第 16 巻 第 2 号、通巻 361 号）	接近
84	育てるブルーベリー解説 國武久登〔宮崎大学農学部助教授〕今、全国的に人気が 高まり つつある ブルーベリー。「暖地でもっとおいしいブルーベリーを育てた い!」というご要望におこ	雑誌/総合/ レジャー／ 趣味	2005 年 10 月号（通巻 391 号）	継続
85	ゴンは、ミニバンがファミリーカーとなつたいま、さらに特別なポジションへとシ フトし つつある 。とくにデザイン重視のワゴンは、スペシャルティカーに近い存在 だといえる。 最近で	雑誌/工業/ 機械	2003 年 5 月 26 日号（第 26 巻 第 10 号、通巻第 530 号）	接近
86	（林業者）が各地に見られるようになった。ここでは、ユニークな取り組みで成果 をあげ つつある 二つの事例を報告したい。 一つは、私企業である三重県海山町の 速水林業による環境管	雑誌/総合/ 一般	平成 14 年 8 月号（通巻 296 号）	接近
87	コストは抑えられる。 変わったところでは、最近ソーラーパネルを使ったものが 増え つつある 。予備電池を用意しなくてもいいので、とってもエコでランニング コストは安い。見逃し	雑誌/工業/ 機械	2005 年 10 月号（第 14 巻第 10 号、通巻 155 号）	継続
88	化、ジャンクフードの隆盛、飽食...、食文化の多様化で日本が誇る伝統的“食”が崩 壊し つつある 今。小倉智昭&柴田理恵を番組 MC に迎え、日本の食卓や家族愛を見 つめ直す。毎回ゲス	雑誌/総合/ 娯楽／芸能	2004 年 5 月号（第 3 巻第 5 号、 通巻第 19 号）	接近
89	ップスター」などのファイル交換ツールを利用して感染するウィルスで、最近話題 になり つつある 。交換ツールはインターネット経由でファイルのやり取りができる ため、国内だけでも 1	雑誌/工業/ 電気機／電 子	2002 年 12 月号（通巻 12 号）	継続
90	小夜子にとって、韓国人の亜美（ユンソナ）と出会ったことは、人生の大きな転機 となり つつある 。亜美と一緒に「アンニョン」という店を始め、自分で T シャツの デザインをしったりして	雑誌/総合/ 娯楽／芸能	2001 年 8 月 1 日号（第 15 巻第 16 号、通巻 349 号）	接近
91	級、B 級込みの出荷要望が多い。また、一部いばなし、四葉系キュウリへの関心も 高まり つつある 。関西レタスの生産と市場流通東果大阪（株）亀井明彦（1）産地 構成 大阪中央 3 市場	雑誌/産業/ 農林水産	2004 年 3 月号（第 59 巻 3 号、 通巻 917 号）	接近
92	ればいい。でもトーナメントのような負ければ終わりという試合の勝ち方も、徐々 に学び つつある ようだ。後半 1 点返されて苦しんだが、こういった苦しみを経験と して次に生かすことで	雑誌/総合/ スポーツ	2003 年 11 月 11 日号（第 24 巻 第 44 号、通算 703 号）	継続
93	れまで、松井は成績面で清原を圧倒してチーム内の存在感を保ってきた。その優位 が崩れ つつある いま―巨人は徐々に、「清原のチーム」になりつつある。 清原― 松井戦争は最終章を迎	雑誌/総合/ 一般	2002 年 5 月 11 日・18 日合併号 （第 44 巻第 21 号、No.2181）	継続
94	けを経ないままに、日本の政財界と中国共産党の、一体と対立を含めた共犯関係が 成立し つつある 。実際、日本にしろ中国にしろ、生活や経済の多様化は年々進んで いるにも関わらず、多	雑誌/総合/ 一般	2005 年 8 月 17 日号（No.566、 第 25 巻第 15 号）	接近
95	ダン型が歓迎される傾向にある。日本とアメリカはもちろん、欧州でもポピュラー になり つつある ミニバン&モノスペースカーなどは、東南アジア地域ではまだまだ 見かけることが少ない	雑誌/工業/ 機械	2003 年 2 月 10 日号（第 26 巻 第 3 号、通巻第 523 号）	接近
96	の充電に適した充電器も各社から発売されており、取り扱いに関するノウハウも確 立され つつある 。充電式のバッテリーにはデルタ（以下・Δ）ピークという特性が あるが、これは、充	雑誌/総合/ レジャー／ 趣味	2002 年 10 月号（第 25 巻第 10 号、通巻 312 号）	接近

97	ボン、保険証、銀行の通帳を入れる定番BAG。同タイプの形と大きさで同じく定番し つつある のはレスポです。ショッピングが第1目的の日にはシャペリエのデカBAGをスタンバイ	雑誌/総合/ 一般	2001年12月号(第27巻第12号)	接近
98	ンツの裾を入れて合わせるテク。一昨年頃からちらほら増え始め、今や定番のテクとなり つつある 。裾の絞れるドローコード付きカーゴパンツで、ブーツインする人達が多く見られた。鎌	雑誌/総合/ 家庭/生活	2004年2月号(第19巻第2号、通巻207号)	接近
99	タイに続いて、いよいよ北京と上海へ。4,000年の歴史の中、今、最も急速に変化し つつある ふたつの街で、コンラン卿はどんなモダン・チャイナにめぐり合うのでしょうか? p h o t	雑誌/総合/ 家庭/生活	2003年3月号(vol.36、第4巻第3号)	継続
100	げる根性のある人はそれも最短距離になるってわけ。でも「終身雇用」自体が死語になり つつある し、会社のほうも厚生年金の半分を負担するのがかなりキツくなってる現状。国の年金シ	雑誌/総合/ 娯楽/芸能	2001年12月10日号 (No.623、第26巻第22号)	接近
101	うした経緯はあるものの、一方で農産物だけを見ると、直近の3年間では輸出額は増加し つつある 。こうした動きの背景には、為替変動の影響(平成12年107・77ドル/円、平成	雑誌/産業/ 農林水産	2004年4月号(第59巻4号、通巻918号)	継続
102	生線が廃止になってから18年も経つのかぁ。釧美線どころか、相生線の存在すら風化し つつある のかな?佐藤:沿線には駅跡や橋台といったもののしか痕跡はないですね。旧北見相生駅に	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2003年10月号(No.234、第32巻10号、通巻253号)	継続
103	イストなどと同等の勢いで伸びてきています。これは以前よりもさらに大きな流れを作り つつある 傾向ですね。それからサイコビリーやロカビリー、スーサイドなどを中心とした'80s	雑誌/総合/ 家庭/生活	2002年7月号(第17巻第7号、通巻182号)	接近
104	が出回る現在、注目度の高い資格です113ヨーロッパ諸国の...は、ユーロに統一され つつある 114 いよいよ風雲...を告げる展開に「答えがわかったら」解答欄をすべてうめられた	雑誌/総合/ 一般	2005年6月号(No.285、第25巻第6号)	接近
105	増強を図ったのと同じく、現代のスーパースポーツも軽量化から質感向上へと軸足を移し つつある ようだ。YAMAHA YZF-R6非の打ちどころがないライディングポジションは	雑誌/工業/ 機械	2003年4月号(Vol.304、第26巻第4号)	継続
106	な事実と言えるだろう。ここでは栗野利信をディレクターに迎え、今、大きく様変わりし つつある ショートターンにアプローチするための技術ポイントを明らかにしていく。(編集部)	雑誌/総合/ スポーツ	2002年2月号(通巻433号)	接近
107	コンサートも今年で15回目。戦後半世紀以上が過ぎ、原爆や戦争についての関心が薄れ つつある 中、さだは今回も多彩なゲストを招いて、平和の祈りを込めたメッセージを伝える。●深	雑誌/総合/ 娯楽/芸能	2001年8月11日号(第15巻第17号、通巻350号)	継続
108	先頭に立っているんだ。イラク人は一年かけてイスラムの本当の精神と愛国主義に目覚め つつある 。ファルージャは、米国占領政策の墓場となり つつある 」彼はこう語ると、「彼らがイ	雑誌/総合/ 一般	2004年6月号(第23巻第6号、通巻266号)	接近
109	運動(エアロビクス)を勧められることが多かった。でも最近、ちょっと事情が変わり つつある 。ダイエット目的でジムに入っても、きつと筋トレ中心のプログラムを組んでくれるはず	雑誌/総合/ 一般	2003年5月28日号(No.396、第18巻第9号)	継続
110	こうした海外の潮流の影響を受けてか、日本における医療メーカーの広告も変わり つつある 。前述した最近の医療用医薬品に関連する疾病啓発広告に代表されるように、疾病の基本	雑誌/政治・ 経済・商業/ 商業/消費者	2001年4月号(通巻493号)	継続
111	独自製を考慮したデザインや乗り味をクルマに与えていこうという意図が各社とも高まり つつある 。読者の曖昧模糊のイライラ解消しますこのページでは読者の皆さんがふだん「オッカシ	雑誌/工業/ 機械	2004年10月号(第12巻第10号)	継続
112	けすけ”に語り、それが視聴者の耳にダイレクトに届く。隣近所とのつきあいが失われ つつある 昨今、これらの番組は、井戸端会議の代用として存在しているのだろう。いわば、上沼	雑誌/総合/ 一般	2003年2月1日号(第45巻第5号、No.2216)	継続
113	ーヴィン・ゲイです。HIP HOPではアングラものとメジャーものの境目がなくなり つつある ようです。意外にも純粋なラップものよりはラウド系やアングラものの方が売れ行きもい	雑誌/総合/ 家庭/生活	2002年7月号(第17巻第7号、通巻182号)	接近
114	インターネットのインフラが整備され、地方からでも同料金でつながる環境が整備され つつある が、あまりアクティブには活用されていない状況だ。東北でもより北のほうとか、島根、	雑誌/総合/ 総記/マスコミ	2005年4月号(通巻第179号)	接近

115	ユージョンMRIは、虚血性心疾患の診断と治療方針の決定に極めて有用な診断法になり つつある 。冠動脈血流予備能の低下をとらえ、有意冠動脈狭窄（＞50～70％）の診断を行うた	雑誌/厚生・医療/医学	2003年12月号（第32巻第12号、通巻第385号）	接近
116	リロイとラグナロクの新たな転機が訪れるー！ 九巻以降、急加速でストーリーが展開し つつある 『ラグナロク』。そこで、今回の特集では、秋に刊行が予定されている長編第十一巻の内	雑誌/教育・学芸/文学／芸術	2002年8月号（第10巻第4号）	継続
117	家 クライン孝子 「21世紀幕開けと同時に、どうやら世界は“第二の冷戦”に突入し つつある 。とりわけ米国にブッシュ政権が成立するや、その兆候が顕著になってきた」とはここド	雑誌/総合/一般	2001年4月25日号（第13巻第7号、通巻270号）	接近
118	つての日本企業が持っていた社員やその家族の顔を見た経営というよき伝統が忘れ去られ つつある 観がありました。しかし、それでは社員のモチベーションは下がるばかり。企業もトップ	雑誌/総合/一般	2004年8月13日号（第36巻第35号、通巻第1767号）	接近
119	ており、経済力・軍事力ともに増大し つつある 国家）、四番手がイラク（軍事力は縮小し つつある 国家で、おそらく核開発計画はまったくなく、目下、国際的な制裁と、不確定の期間続く	雑誌/総合/一般	2003年8月号（通巻99号）	継続
120	も軒並み経営難に陥る時代になったからだ。つまり、「寄らば大樹の陰」の時代は終わり つつある 。これからは、自分で考え、自分で決定する力を持つことが、より大事なことになってい	雑誌/政治・経済・商業/経済／経営	2001年4月5日号（第39巻第7号）	接近
121	P以来の2台同時入賞となるBARホンダここ2戦の低迷を乗り越え、徐々に速さが戻り つつある	雑誌/工業/機械	2004年8月5日号（第41巻第30号、通巻977号）	接近
122	の意味ではチーム全体の幅は広がったと言えるのである。右サイドからバラランチに定着し つつある ベッカムの評価はますます。ベッカムを右サイドに置いた布陣（開幕時）ベッカムをボラ	雑誌/総合/スポーツ	2003年12月号（第11巻第12号、通巻125号）	接近
123	め、その結果が彼のヘディングを磨いたのでは、と私は見ている。二人の中田が生まれ つつある 。これまでの「超攻撃型」中田英寿に加えて、「かぎをかける」というイタリア語で、	雑誌/総合/一般	2002年5月3-10日合併号（第107巻第20号、通巻4499号）	接近
124	観るスポーツ」から、選手とファンが一緒に時間と空間を「楽しむスポーツ」へと変わり つつある 。メジャーリーグとの差が縮まっているのは、選手個人の技術レベルだけではない。ブ	雑誌/総合/娯楽／芸能	2005年4月8日号 関東版（第44巻第17号、通巻2258号）	接近
125	は無くてもいいはず）金子容疑者がWinn yを開発した動機は、ネット社会が到来し つつある 中で、旧態依然なビジネスモデルに安住するソフト流通業者を快く思っていなかったから	雑誌/総合/一般	2004年5月29日号（第46巻第21号、No.2280）	接近
126	9割は中国産になっている。思っている以上に均一化が進んでいるんですね。消えていき つつある 郷土料理や地元産の質のよい食品を守る、これがみつっ目です。ースローフード運動は	雑誌/教育・学芸/教育	2002年6月号（第55巻第4号）	接近
127	面でモロいところがあるんです」と情けないことを言っていた浅井が、ここに来て変わり つつある 。「昨年12月にミラとやった時から、もの凄く勝ちたい、と思うようになった。会長	雑誌/総合/スポーツ	2001年7月号（第20巻第7号、通巻231号）	継続
128	とつ...。白布できりりと坊主頭を巻き締め、足に長靴をうがって一心不乱、作務に没頭し つつある 姿は、彼らの内心はどうあれ打ち見たところ、なかなか清々しく、凛々しくもあった。	雑誌/教育・学芸/文学／芸術	平成16年2月号（第59巻第2号、通巻862号）	継続
129	に、最近のスキー板は短くなってきているので、取り付け位置のズレの影響は大きくなり つつある ようです。回転力を得るには、逆ひねりが効果的！ 話がそれました。リカバります。	雑誌/総合/スポーツ	2003年4月号（通巻447号）	継続
130	導入よりおよそ50年を経ようとしているが、今や小規模ながら一定の産地の形成が進み つつある 。国内を北部地域（寒冷地）と南部地域（暖地）の二つに区分して、寒冷地はハイブッ	雑誌/産業/農林水産	2001年3月号（第56巻3号、通巻881号）	継続
131	DVD＋R／RWという規格の違いだろう。再生互換性に関しては大きな問題はなくなり つつある が、記録するときにはそれぞれの規格に対応したドライブが必要になる。規格の対立と	雑誌/工業/電気機／電子	2004年3月1日号（通巻354号）	接近
132	して土地の価格下落はまだまだ続く株価の上昇が続いたこともあり、デフレ懸念が薄らぎ つつある 。地価も上昇に転じるのではという期待が生じ つつある 。しかし、今後も下落が続くとい	雑誌/政治・経済・商業/経済／経営	2003年11月29日号（第91巻46号、通巻4009号）	継続
133	世界一のクラブの一員としてプレーするぐらいのレベルには、何人かの日本人選手は達し つつある 。だが、私はそこで日本の野球選手のことを考えてしまう。 いまいましい巨人の選手た	雑誌/総合/一般	2002年5月3-10日合併号（第107巻第20号、通巻4499号）	接近

134	本との中間に広がる「文化の回廊」である。彼の関心がさらに民族学の領域にまで拡大し つつある ことがわかる。それはおそらく「アフガニスタンをより日本に近づける」という大きなブ	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2005年1月号（第90巻第1号、通巻938号）	継続
135	点。折しも日本では今国会での外為法改正が見込まれ、対北経済制裁発動の準備が整い つつある 。金政権存続の可能性を初めて数値化した試みをノーランド氏に解説してもらう。（取材	雑誌/総合/ 一般	2004年2月25日号（第16巻第3号、通巻337号）	接近
136	付加価値の低い商品分野だけという、これまで日本企業がこだわってきた前提さえも崩れ つつある 。松下電子部品開発速度を重視しR&Dまで中国へ「顧客との距離を縮めないと、競争	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2002年1月12日号（第90巻2号、通巻3916号）	接近
137	い。彼の“忘れた”は、当然それを見越しての発言です」国民の政治への関心が高まり つつある 今、もし機密費の問題がうやむやになったら、熱い国会論戦も茶番に思えてしまう。建設	雑誌/総合/ 一般	2001年5月30日号（第50巻第20号、通巻2743号）	継続
138	議が、いや肝心の作家、作品にかかわる関心自体が、置き去りにされ、ほとんど空無化し つつある のではないか。「世界文学」は、今や行方不明、いや更に率直に言わせてもらなら、	雑誌/教育・ 学芸/文学/ 芸術	平成16年5月号（第58巻第5号）	接近
139	うことなのだ。アメリカ国内にある〈もう一つの国〉に住んでいる彼らは、戦争が迫り つつある 〈世界〉と対峙する前に、まず自分たちを抑圧し続ける〈アメリカ〉との決着をつけなく	雑誌/総合/ 一般	2003年2月号（通巻93号）	接近
140	優れた品種が試作され、選択淘汰された5～10品種ほどが経済品種として実用栽培され つつある 。ラビットアイは、今では約30品種（表1）ほどの品種が国内に導入され、生産者の	雑誌/産業/ 農林水産	2001年3月号（第56巻3号、通巻881号）	継続
141	ムもある。コンピューターを一つ一つ識別するためのIPアドレスを増やす対策も進み つつある 。現在主流のIPv4は、2の32乗、つまり43億個弱のアドレスを割り当てられるが	雑誌/工業/ 電気機/電 子	2004年8月号（第9巻第8号、通巻112号）	継続
142	血圧計などの需要も伸びている。さらに、環境保護意識が中国の消費者の間に目覚め つつある のにあわせ、交通機関の排気ガスによる大気汚染を軽減するため、電動スクーターや電動	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2003年1月28日号（第81巻第5号、通巻3600号）	接近
143	は海外の試合に移り、“日本オープンはどうしても勝ちたい大会”という意味合いは薄れ つつある 。それが試合の緊張度を薄めさせ、視聴率や来場者数低下につながっているというのだ。	雑誌/総合/ スポーツ	2002年11月12日号（第32巻第43号、通巻1252号）	継続
144	7土9/9金『女王の教室』毎土 後9:00～9:54日テレ系9/3ま とまり つつある 6年3組だったが、真矢（天海祐希）は三者面談を実施。彼女は、生徒たちが親に隠して	雑誌/総合/ 娯楽/芸能	2005年9月7日号（第19巻第18号、通巻452号）	接近
145	ク？いいえ、職人技が光った印刷術。デジタル化の現代に、ひっそりとその姿を消し つつある 活版印刷。原稿に従って1文字ずつ鉛でできた活字を拾い、並べる。職人が使い込んだ道	雑誌/総合/ 一般	2004年9月15日号（No.802、第17巻35号）	継続
146	移転する現象は、だれも止められない。私自身は、じつは空洞化以上に怖い問題が迫り つつある と思う。労働者の質の問題だ。日本人と中国人を比べると、仕事へのひたむきさに雲泥の	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2002年1月12日号（第90巻2号、通巻3916号）	接近
147	二つ、心当たりがあってもおかしくない。そんな、今やデファクトスタンダードになり つつある “性愛分離”SEXの全体像は、しかしながら、大々的に調査されたことはなかった。そ	雑誌/総合/ 一般	2001年11月28日号（第50巻第45号、通巻2768号）	接近
148	ころが、近頃は大阪に潜む猿冠者の嫁と子が金銀をばら撒き、浮浪の者を集めて乱を企み つつある 。人心をみだし、再びこの天下に阿鼻叫喚の巷を甦らせるものは天魔かその眷属と申すべ	雑誌/教育・ 学芸/文学/ 芸術	2004年12月号（第58巻第12号、通巻727号）	接近
149	がS&Wに戻り つつある 今だからさ、いいのかな？と。入：ああ、ニューナンブは消え つつある ...（笑）。ところで、おおもとはCMCのチーフじゃないですか。CMCのチーフ、いい	雑誌/総合/ レジャー/ 趣味	2003年4月号（第16巻第4号、通巻178号）	接近
150	テトチップスやカップラーメンなど牛加工品にまで、安全性への疑惑から、消費が低迷し つつある 。今回の対応策の混乱の要因は、主に畜産物の生産の主務官庁である農林水産省と、保	雑誌/産業/ 農林水産	2001年12月号（第56巻12号、通巻890号）	継続
151	は大統領の発言から判断するかぎり、同盟国のアメリカよりも敵性国家の北朝鮮に同調し つつある ようなのである。実際に盧大統領は、北朝鮮がアメリカの脅威を受けるから核兵器を保	雑誌/総合/ 一般	平成17年6月号（通巻330号）	接近
152	が魅力的に映るのは当然である。じつは、一部REITの収益環境はすでに厳しくなり つつある 。実際、六銘柄中で時価総額が最大である日本ビルファンドの今年六月期予想は、オフイ	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2003年5月24日号（第91巻20号、通巻3983号）	継続

153	ンションで、小さな有限会社を経営していた。 最近は真紀子氏との関係も修復に向かい つつある ともいわれるが、その長男夫妻に待望の赤ちゃんが誕生するというのである。雄一郎氏の	雑誌/総合/ 一般	2002年6月21日号(第34巻 第24号、通巻第1651号)	接近
154	デザインを大切に続けてきたカルティエ。レディスウォッチが小さくドレッシィになり つつある 今、ソニアさんは洗練された「タンク アロンジェ」に惹かれるという。 「なんとともほ	雑誌/総合/ 家庭/生活	2005年11月号(No.101、第9 巻第11号)	継続
155	タイカメラだが、秋冬の新作モデルは「いかに美しく撮れるか」という画質競争に移行し つつある 。最大の注目機能は「オートフォーカス」。被写体に焦点を合わせた撮影が可能になり、	雑誌/総合/ 家庭/生活	2004年1号(第5巻9号)	継続
156	ために日夜、せっせと働いているのである。 団塊世代以上は徐々に表舞台から姿を消し つつある ものの、まだ団塊世代の精神は社会に根強く生き残っているのが現状だ。 大手電機メー	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2002年10月1日号(第80巻 第41号、通巻3581号)	継続
157	米国は国連の人権委員会の選挙で落選するなど、言ってみれば世界の鼻つまみ者になり つつある 。そんな中で、日本は米国追従ではなく、独自の外交で世界と手を結んで行くべきだと思	雑誌/総合/ 一般	2001年7月22日号(第80巻 第37号、通巻4455号)	接近
158	なり、今や複数の台数を持ち歩く人もある。 I T化による人々の生活も、同様に変化し つつある 。中でも、幼少期から「ファミコン」で遊んだ若者世代の生活感覚は、すべてにおいて驚	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2004年3月9日号(第39巻第 5号、通巻770号)	継続
159	こではゆっくりゆっくりと、人間らしさを取り戻しつつある。 この日は、回復に向かい つつある 二人の難民が、スタッフに付き添われ、前橋市内の民家に不要品の回収に出かけると聞い	雑誌/総合/ 家庭/生活	2003年4月1日発行(第3号、 通巻334号)	途中
160	特定小電力無線を使ったものが多かったが、最近はIEEE802.11bが主流になり つつある 。こうした無線LANプリントサーバとしてはメルコの「LPV-WL11」やコマツ(雑誌/工業/ 電気機/電 子	2001年9月号(第6巻第9号、 通巻65号)	接近
161	クスは、血行促進を助けるので、心臓への負担を減らすことにも役立つ。筋力が弱くなり つつある 年配の人にもお勧め。心臓疾患がある人は、主治医に相談してから試そう。 足の循環機	雑誌/総合/ スポーツ	2005年7月19日号(第35巻 第27号、通巻1385号)	接近
162	(約五五〇億円)とよちよち歩きのREIT市場の先行きに、早くも警戒の声が上がり つつある 。本誌・清水理裕ビル事業の足元は「2003年問題」で揺らいでいるが4 公的資金投	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2003年5月24日号(第91巻 20号、通巻3983号)	接近
163	デリのほかにシェフが愛用し続けている輸入食材もラインアップ。総菜の中で定番となり つつある のは、人参のラペ、タラモサラダ、フレンチレンズ豆と白いんげん豆のサラダなど。タル	雑誌/総合/ 家庭/生活	2002年3月号(No.57、第6巻 第3号)	接近
164	の交流がより密になった。現在も、「コラボレーション・ミーティング」として、定着し つつある 。これが発展し、A社と当社の役員クラスのミーティングが実現し、さらに二〇〇五年	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2005年4月2日号(第93巻14 号、通巻4075号)	接近
165	安全保障に強い脅威を感じるアメリカは、既存の同盟よりも柔軟な「有志連合」を重視し つつある 。また、イラク問題をめぐって、国連の権威は傷つき、その機能不全が改めて盛んに語ら	雑誌/総合/ 一般	平成16年5月号(第36巻第5 号)	継続
166	鮮で、それゆえに未知のトラブルも発生しているのが現状だ。 とくに最近では、定番化し つつある 4連スロットル流用と20バルブ4A-Gスワップが要注意。カンタンそうに見えて意外	雑誌/工業/ 機械	2002年5月号(第23巻第5 号、通巻287号)	接近
167	スパニッシュ系アメリカ人や黒人社会に多い。 「だが日本の殺人、強盗もそれに似てき つつある 」とツトム・大島が指摘する。「日本の若者の犯罪は、貧しいアメリカ人の犯罪と比較	雑誌/総合/ 一般	2001年5月号(第20巻第5 号、通巻229号)	接近
168	の若者から、検索できないクレームは多い。 テレビ番組においても、視聴者離れは進み つつある と思う。一方向の情報が多く、視聴者ニーズの対応は難しくなっている。テレビを囲み、	雑誌/政治・ 経済・商業/ 経済/経営	2004年3月9日号(第39巻第 5号、通巻770号)	接近
169	力と呼んでいうことを聞かない小泉総理を支持せず、別の候補を担ぐ方向で話がまとまり つつある 。そうなれば小泉総理の再選は不可能。そこで、小泉総理としては、経済の3月危機が訪	雑誌/総合/ 一般	2003年2月28日号(第35巻 第8号、通巻第1687号)	接近
170	U-19日本代表へ!】鹿島戦の初先発で連敗脱出に貢献し、一躍DFラインの要となり つつある 永田が、U-20アジア選手権に臨むU-19日本代表に選出された。「大変誇りに思う	雑誌/総合/ スポーツ	2002年10月29日号(第23巻 第48号、通算650号)	接近
171	出したとき、それを“物”として扱えるのか? 人間のクローンを作ることが可能になり つつある 現代にあっては、いやでもそういうことを考えざるをえないだろう。もちろん、『アイ	雑誌/総合/ 一般	2005年7月28日号(第34巻 第29号、通巻1111号)	接近

172	いる。こうした新しいADSL技術は、ADSL2/ADSL+という名称で標準化され つつある 。斎藤 啓一業者間の競争がADSLを進化させる 1999年に試験サービスとして開	雑誌/工業/電気機/電子	2003年2月号(通巻第97号)	接近
173	芽)。ここ最近、高級スーパーでなくても身近に手に入れることができ、おなじみになり つつある 新食材。しいたけやじゃがいも、レタスなど、こなれた素材と同じように、さっそくフル	雑誌/総合/一般	2002年9月25日号 (No.1332、第33巻第36号)	接近
174	金制の普及に伴い、携帯電話からPC向けのウェブサイトが普通に利用できる環境が整い つつある 。京セラが開発してDDIポケットから発売されたPHS「AH-K3001V」は、	雑誌/工業/電気機/電子	2005年2月号(通巻第121号)	途中
175	年以上を経て、有事法制の成立に見られるように、前者についてはコンセンサスを形成し つつある が、テロ特措法やイラク復興支援特措法に対する世論の一部や野党の反発に見られるよう	雑誌/総合/一般	平成16年5月号(第36巻第5号)	継続
176	ド入力モバイルデータ通信端末小型アルファベットキーボードが標準的な入力方法になり つつある 。左はハンドスプリング社が2002年春発売予定の「トレオ」。右はドイツや英国の大	雑誌/工業/電気機/電子	2002年2月号(通巻第85号)	接近
177	両知事を誕生させた。痛みを伴っても改革しようと、全国的にシフトチェンジが行われ つつある のではないかと。小泉首相はこうした流れを政治家として本能的に察知している。実際、小	雑誌/総合/一般	2001年6月1日号(第106巻第24号、通巻4442号)	継続
178	が増えており、「女子は一般職」という商社の仕事に対するイメージが過去のものになり つつある ことを印象づけている。●海外のインフラ整備に貢献したい(私立・文・女)●セミナー	雑誌/政治・経済・商業/経済/経営	2004年2月28日号(第92巻9号、通巻4021号)	接近
179	ば!」と、こだわりの食材を選んで自分でつくる、そんなおうちごはんスタイルも広がり つつある けれど...。何かと忙しいし、毎日つくるわけにいかないし...。そんなワガママな願いを	雑誌/総合/一般	2003年5月号(第12巻第6号)	継続
180	を作ってくれるので、スーパーなどに買い物に出たりもします」PTSDから立ち直り つつある のかと思ったが、「女優業は?」と尋ねた瞬間、母親は言葉を詰まらせた。「仕事のほ	雑誌/総合/一般	平成14年9月19日号(第40巻第34号、通巻1886号)	接近
181	は、失うものが大きすぎるとも思うのである。もはや上からの友好、などが無意味化し つつある 時代に、外交は民間交流をいかに円滑にさせるかに力を入れるべきなのに、実際は逆に進	雑誌/総合/一般	2005年8月17日号(No.566、第25巻第15号)	接近
182	でにアメリカではプリントされた複雑な図柄をボディに貼ることが最新のスタイルになり つつある らしい。流行先取り野郎はチェックしておいたほうがいいかもね。「こんなこと言うと	雑誌/工業/機械	2003年11月号(第5巻11号、通巻54号)	接近
183	ったり、住宅のリフォームの際に認証材でウッドデッキを作ったりといった導入例が増え つつある 。速水氏によると、欧米では認証材を使った木材製品を積極的に扱うバイヤーズ・グル	雑誌/総合/一般	平成14年8月号(通巻296号)	継続
184	イチローは国民全体の期待を一身に集めているようだ。アメリカに進出して成功を収め つつある のは、イチローだけではない。大リーグでは野茂英雄(レッドソックス)、佐々木主浩(雑誌/総合/一般	2001年8月18日・25日合併号 (第43巻第32号、No.2145)	接近

4. アンケート調査における「V ツツアル」の例文資料及び例文の用法

アンケート調査用紙

アンケート調査のお願い

私は東京の拓殖大学大学院 言語教育研究科 言語教育学専攻 博士後期課程3年の徐恵君と申します。私の専門は日本語文法です。現在、日本語の文型「～つつある」をテーマとして博士論文を執筆中です。

このたび、中国の大学で日本語を学習している方々に対して、日本語の文型「～つつある」の理解状況についてのアンケート調査を行いたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

なお、アンケート調査で得られた内容に関して、研究目的以外で使用するは一切ございませんので、あらかじめご了承ください。

それでは、以下の1から4まで設問にご回答ください。

1. 差し支えなければ、確認用のメールアドレスをご記入ください。後日、調査結果等を送付させていただきます。
2. あなたの所属大学をご記入ください。
3. 日本語能力試験(JLPT)の取得状況について、当該選択肢を選んでください。

①N1 ②N2 ③N3 ④N4 ⑤未受験その他

4. 「V+つつある」を使って、自由に文を作ってください（3つ）。そして、それぞれの文を中国語に翻訳してください。なお、文を作るときは辞書や携帯などを使わないで、思いついたままを書いてください。

①日本語文：

中国語訳：

②日本語文：

中国語訳：

③日本語文：

中国語訳：

以上、ご協力ありがとうございました。

アンケート調査の例文資料

番号	①日本語文	①の文の中国語翻訳	②日本語文	②の文の中国語翻訳	③日本語文	③の文の中国語翻訳
1	時代とともに、町の様子も変わりつつある。	随着时代发展, 城市的样子也在不断变化之中。	社会問題は増えつつある。	社会问题在不断增加。	母の体調はよくつつある。	妈妈的身体逐渐好转。
2	中国は発展しつつある。	中国在发展。	時代は変化しつつある。	时代在变化。	事態は良い方向に変わりつつある。	情况向着好的方向变化。
3	台風が近づきつつある。	台风正在步步逼近。	その時代は静かに終わつつある。	这个时代正在悄悄结束。	激しい雨が近づきつつある。	暴雨正在步步逼近。
4	彼女の体はよくなりつつある。	她的身体在逐渐恢复	環境問題は改善されつつある。	环境问题在不断改善	中国の伝統文化が消えつつある。	中国的传统文化正在逐渐消失
5	日本語を勉強するが多くなつつある	学习日语的人越来越多。	卒業の実習が近づきつつある。	毕业实习越来越近了。	彼は自信になりつつある。	她越来越自信了。
6	授業はまだつづいています	上课还在继续	赤ちゃんが泣きつづいています	婴儿还是一直在哭	会議のつづきについて、結果を決まりました	随着会议的进行, 结果决定了
7	自動車が走りつつある。	汽车正在行驶。	敵が近づきつつある。	敌人正在靠近。	彼の体の調子が悪化しつつある。	他的身体状况不断恶化中。
8	治療を経て体が回復しつつある。	经过治疗身体正在恢复。	勉強した知識を増えつつある。	学习后知识在不断增加。	経済は回復しつつある。	经济正在恢复。
9	雨が降りつつある。	雨一直在下。	子供が成長しつつある。	孩子一直在成长。	製品の品質は改善しつつある。	产品的品质一直在改善。
10	町の様子が日々変わりつつある。	城市每天都在发生变化。	生活の水準が高まり、海外旅行する人が増えつつある。	随着生活水平的提高, 去国外旅行的人渐渐增多。	日本語を少しづつ話せるようになりつつある。	渐渐的说会日语了。
11	中国の経済は発展しつつある。	中国的经济正在不断发展。	私たちは一日中メールを交わしつつある。	我们一整天都在用电子邮件聊天。	問題が生じつつある。	问题正在滋生。
12	環境問題が深刻になりつつある。	环境问题日渐严重	中国の経済は急速に発展しつつある。	中国经济正在高速发展	空の色が暗くなりつつある。	天色正在慢慢变暗
13	彼女は日本の生活に慣れつつある。	她正在渐渐习惯日本的生活。	風邪が治りつつある。	感冒正在慢慢治愈。	実家から出て、一人暮らしをしてから、彼は物心につきつつある。	从家里搬出来自己一个人生活之后, 他慢慢变成成熟了。
14	彼は今自分が死につつあることを意識していた。	他意识到自己正在走向死亡。	中国の経済は発展しつつある。	中国经济在不断发展。	大気汚染に関して、徐々に改善されつつあると言えよう。	可以说, 大气污染问题正在一点点被改善。
15	彼は今自分が死につつあることを意識していた	他意识到自己快死了	この会社は現在成長しつつある	这个公司现在正在发展过程中	その時代は静かに終わりつつあった	这个时代正在悄悄地结束

16	時代は変化しつつある	时代在变化	彼に対する感情は変わりつつある	对他的感情在发生变化	彼の語学力は上達しつつある	他的语言能力正在不断变好
17	社会の発展につれ、人々の環境保護意識が強まりつつある	随着社会的发展, 人们的环保意识不断增强。	薬を飲まないで、あの人の病気が悪化しつつある。	那个人因为不吃药, 病情不断恶化。	近年来、学校の図書館が広がりつつある。	近年来, 学校图书馆不断扩建。
18	列車は加速しつつあります。	列车正在加速。	科学の進歩につれ、中国のネット経済は発展しつつあります。	伴随着科技的进步, 中国的网络经济正在向前发展。	彼たちは最近日本語を勉強しつつある。	他们最近在学习日语。
19	父親になった彼はたばこのやめることに努力しつつある。	他当爸爸了, 正在努力戒烟。	地球温暖化の問題は日々に深刻になりつつある。	地球变暖问题日益严重。	事件の再発防止のために、政府は関連法律の改善を推進しつつある。	为了防止事件再次发生, 政府正致力于改善相关法律。
20	中国の経済は発展しつつある。	中国的经济正在发展。	時代の発展とともに、村の伝統が消えつつある。	随着时代的发展, 农村的传统正在消失。	世界で英語を勉強する人が年々多くなりつつある。	世界上学习英语的人逐年增多。
21	中国語は高齢化しつつある。	中国老龄化现象日趋严重。	この会社は現在成長しつつある。	这家公司现在正在发展过程中。	この周辺は今地下鉄の建設工事を行っている。	这一带正在开设地铁建设工程。
22	お腹が空きつつある	肚子渐渐饿了	子供が成長しつつある	孩子不断成长	成績が上がりつつある	成绩逐渐提高
23	教育は人に重視されつつある。	教育正在被人们所重视。	人々は必ず教育に受けられつつある。	现在每一个人都必须接受教育。	教育は現代人にとって重要に変わってきている。	教育对于现代人来说, 正在变得越来越重要。
24	世界が変わるつつある。	世界在变化。	各国の協力を強化しつつ、グローバル化も進んでいる。	随着各国合作的加强, 全球化进程也在推进。	世界における科学技術が進んでいる。	世界的科技在进步。
25	勉強しているので、進歩しつつある。	因为一直在学习, 在不断地进步。	年をとると、成長しつつある。	随着年龄增长逐渐成熟。	キャンパスの時代が終わりつつある。	学生时代在逐渐结束。
26	新しい政策のおかげで、彼の国の経済は発展しつつある。	得益于新的政策, 那个国家的经济正在稳步发展中。	現代医療技術は進歩しつつある。	现代医疗技术正在逐渐进步。	戦後、あの国経済は回復しつつある。	战后, 那个国家的经济正在逐渐恢复。
27	中国の人口が増えつつある、環境は悪くなります。	随着中国的人口增长, 环境变得更加糟糕。	日本語の勉強を勧めつつある、日本語がもっと上手になります。	随着深入学习日语, 对日语也更进一步的掌握。	時代が変わつつある	时代不断在变化
28	地球は温暖化しつつある。	地球温暖化現象正在日趋严重。	彼はいま自分が死について意識していた。	他意识到自己正在走向死亡。	その時代は静かに終わりつつあった。	这个时代正在悄悄地结束。
29	豪雨の前線が近づきつつある。	暴雨前线正在逐渐逼近	教科書だけ勉強すれば良い時代が終わりつつある	只要学习课本就可以的时代正在结束	私は体調が良くなりつつある	我的身体情况正在好转
30	ある時代が終わりつつある	一個時代正在結束	始まりつつある	正在开始	進みつつある台風	正在逼近的台风
31	上海の人口が増えつつある。	上海人口在增加。	川の水が増えつつある。	河水在涨。	人口がへりつつある。	人口在减少。
32	若者の人数は減少しつつある	年轻人的人数在减少	科学技術は発展しつつある	科学技术正在发展	地球は温暖化しつつある	地球温室效应化
33	台風が近づきつつある	台风即将到来	決戦の日近づきつつある	决战的日子即将到来	工事が無事に終わりつつある	工程即将平安完工
34	この感情は静かに終わりつつある。	这段感情正在悄悄结束。	あの人は晩ご飯を食べつつある。	那个人正在吃晚饭。	日本語を勉強する人が年々多くなりつつある。	学习日语的人逐年增多。
35	地球は温暖化しつつある。	地球温暖化现在正在日趋严重。	手術以来、彼の体は順調に回復しつつある。	手术以后, 他的身体正在逐渐恢复。	若い人が都会へ出ていくため、五百年の伝統のある祭りの火がいまや消えつつある。	由于年轻人都去大都市了, 这延续了五百年的传统节日的火焰即将熄灭了。
36	2人っ子を出産する夫婦が増えつつある。	越来越多的夫妻生二孩。	会社の業績が高まりつつある。	公司的业绩持续上升。	時代とともに人の考えが変わりつつある。	时代不同, 人类的思想也不断变化。

37	野生の象の数が減りつつある。	野生大象的数量正在減少。	予備用のタイヤがずっと外においてあるので、劣化しつつある。	备用轮胎一直放着外面，在逐渐变坏。	5月に入ってから、花粉症も治りつつあっている。	进入五月之后花粉症也开始逐渐变好。
38	先生が話しつつある。	老师正在讲话	彼女が成長しつつある。	她正在成长。	あの事件は調査しつつある。	那个案件正在调查中。
39	現代人の生活スピードは速くなりつつある。	现代人的生活节奏正逐渐加快。	我が会社における商品の売り上げは高くなりつつある。	我公司的商品销售额节节攀升。	中国における人々のライフスタイルは変わりつつある。	在中国，人们的生活方式正悄然发生变化。
40	中国の経済は発展しつつある。	中国经济正在发展	成績が進歩しつつある	成绩不断进步	伝統文化が減びつつある。	传统文化即将消亡
41	事件の真相は明らかになりつつある。	事件真相趋于明朗。	手術以来、体は順調に回復しつつある。	手术后身体逐渐恢复。	地球は温暖化しつつある。	地球持续变暖。
42	経済は発展しつつある。	经济不断发展。	町の様子は変わりつつある。	街道的样子正在一点一点发生变化。	人は成長しつつある。	人在不断成长。
43	現在、私達は成長しつつある。	我们现在正在成长。	私は今自分が日本語によくできつつあることを意識しています。	我意识到自己的日语越来越好。	私たちの時間が静かに終わりつつある。	我们的时间正在悄悄流逝。
44	新しい日本の文化が現在作られつつあるし、これからも作られていくだろう。	新的日本文化正在不断形成，今后也将不断地发展下去吧。	この国はこの一年ほどの間に政治的に安定した。経済も次第に安定しつつある。	这个国家在这一年多内政治已经安定了下来，经济方面也在逐步稳定中。	現在の環境問題は深刻化しつつある。	现在的环境问题日渐严重。
45	風が近づきつつある	风正在接近	彼は近づきつつある	他正在接近	太陽が落とすつつある	太阳正在落下
46	円高が急激に進みつつある中、輸出額が下落すると、専門家は予想している。	在日元不断迅猛升值的情况下，专家预测出口额将会减少。	一年前、VRはまだ幻想だとみなされていたが、現在それはすでに普及しつつあり、だんだん身近なものになってきた。	一年前，人们还觉得VR只是一种幻想，而现在VR已经在普及了，它正在来到我们身边。	民族主義者の彼でも、この映画を見て衝撃を受け、その考え方も今変化しつつある。	他虽然是个民族主义者，但他看了这部电影后依然受到了震撼，他的想法也正在发生着变化。
47	現在、中国の環境が改善されつつある。	当前，中国的环境逐渐得到改善。	この新しい会社が成長しつつある。	这个新公司正慢慢成长	僕らは自分が老けつつあることを意識しがたい。	我们不容易认识到自己正渐渐衰老。
48	日本語を勉強しつつある。	我一直在学习日语。	台風が近づきつつある	台风正在逼近	対外開放の政策が進展しつつある	对外开放政策持续推进
49	環境問題への関心が高まり、車ではなく電車の利用する人が増えつつある。	人们对环境问题的关心日益高涨，越来越多的人放弃开车，而选择坐电车上班。	時代とともに、町の様子も変わりつつある。	随着时代，城镇的样子也在持续变化。	事態は改善されつつある。	情况在不断地改善当中
50	台風が近づきつつある。	台风在靠近	その時代は静かに終わりにつつある	这个时代正在悄悄消失	子供が夕食をたべりつつある	孩子正在吃饭
51	私は中国人です。	我是中国人。	私は日本語科の三年生です。	我是日语专业大三学生。	人生はマラソンだ。	人生是一场马拉松。
52	人口がふへるつつある	人口一味的增长	台風が近づきつつある	台风正在步步逼近	その時代は静かに終わりつつある	这个时代正在悄悄结束
53	私は日本語試験を準備しつつある。	我正在准备日语考试。	機械は運行しつつある。	机器正在运行。	台風が近づきつつある。	台风正在步步逼近。
54	近年、現地の経済が発展しつつあるんだ。	近年，当地的经济持续不断地发展。	あの時代、そのような活動が進みつつあった。	那个年代，这样的活动不断地进行。	軍隊が国内に入りつつある。	军队持续地进入国内。
55	変わりつつある物価	物価変動	改革が迫りつつある	改革迫切	AI化しつつある	不断智能化
56	経済の発展につれて、国民の生活も改善されつつある。	随着经济的发展，国民的生活正在逐步改善。	政府は景気が緩やかに回復しつつあると発表した。	政府宣布经济形势正在平缓复苏。	携帯電話を購入する人が増えつつある。	买手机的人渐渐多了起来。

番号	例文	用法
1	雨が降りつつある	接近
2	子供が成長しつつある。	継続
3	私たちは一日中メールを交わしつつある。	接近
4	中国の経済は急速に発展しつつある。	継続
5	彼たちは最近日本語を勉強しつつある。	継続
6	世界が変わるつつある。	×
7	世界における科学技術が進んでいるつつある。	×
8	新しい政策のおかげで、彼の国の経済は発展しつつある。	継続
9	科学技術は発展しつつある	継続
10	先生が話しつつある。	接近
11	彼女が成長しつつある。	継続
12	あの事件は調査しつつある。	途中／接近
13	中国の経済は発展しつつある。	継続
14	日本語を勉強しつつある。	継続
15	父親になった彼はたばこのやめることに努力しつつある。	継続
16	事件の再発防止のために、政府は関連法律の改善を推進しつつある	継続
17	中国の経済は発展しつつある。	継続
18	この会社は現在成長しつつある。	継続
19	この周辺は今地下鉄の建設工事を行いつつある。	接近
20	日本語の勉強を勧めつつある、日本語がもっと上手になります。	接近
21	中国は発展しつつある。	継続
22	時代は変化しつつある。	継続
23	子供が夕食をたべつつある	×
24	赤ちゃんが泣きつつあります	接近
25	自動車が走りつつある。	接近
26	この会社は現在成長しつつある	継続
27	時代は変化しつつある	継続
28	彼に対する感情は変わりつつある	継続
29	あの人は晩ご飯を食べつつある	途中／接近
30	現在、私達は成長しつつある	継続
31	私は日本語試験を準備しつつある	接近
32	機械は運行しつつある	接近
33	新天空は発展しつつある	継続
34	彼は音を発しつつあります。	接近
35	製品の品質は改善しつつある	途中／接近
36	科学の進歩につれ、中国のネット経済は発展しつつあります。	継続
37	私は体調が良くなりつつある	途中／接近
38	上海の人口が増えつつある	継続
39	川の水が増えつつある。	継続
40	人口がへりつつある。	継続
41	若者の人数は減少しつつある	継続
42	野生の象の数が減りつつある。	継続
43	町の様子が日々に変わりつつある	継続
44	生活の水準が高まり、海外旅行する人が増えつつある	継続
45	日本語を少しづつ話せるようになりつつある。	途中
46	中国の経済は発展しつつある。	継続
47	空の色が暗くなりつつある。	接近

48	薬を飲まないで、あの人の病気が悪化しつつある。	継続
49	近年来、学校の図書館が広がりつつある。	継続
50	現代医療技術は進歩しつつある。	継続
51	戦後、あの国経済は回復しつつある。	途中／接近
52	一年前、VRはまだ幻想だとみなされていたが、現在それはすでに普及しつつあり、だんだん身近なものになってきた。	途中／接近
53	民族主義者の彼でも、この映画を見て衝撃を受け、その考え方も今変化しつつある。	継続
54	教育は人に重視されつつある。	接近
55	太陽が落とすつつある	×
56	治療を経て体が回復しつつある	途中／接近
57	経済は回復しつつある。	途中／接近
58	最近 日本の人口が減りつつある	継続
59	環境はよくなりつつある。	途中／接近
60	あの二人は仲が悪化しつつある	途中／接近
61	列車は加速しつつあります。	接近
62	時代の発展とともに、村の伝統が消えつつある。	接近
63	社会の発展につれ、人々の環境保護意識が強まりつつある	継続
64	環境問題が深刻になりつつある。	接近
65	新しい日本の文化が現在作られつつあるし、これからも作られていくだろう。	継続
66	対外開放の政策が進展しつつある	継続
67	あの時代、そのような活動が進みつつあった。	継続
68	2人の子を出産する夫婦が増えつつある	継続
69	会社の業績が高まりつつある	継続
70	時代とともに人の考えが変わりつつある	継続
71	予備用のタイヤがずっと外においてあるので、劣化しつつある。	継続
72	我が会社における商品の売り上げは高くなりつつある。	継続
73	現代人の生活スピードは速くなりつつある。	継続
74	中国における人々のライフスタイルは変わりつつある。	継続
75	成績が進歩しつつある	継続
76	手術以来、体は順調に回復しつつある。	途中／接近
77	地球は温暖化しつつある。	継続
78	現在の環境問題は深刻化しつつある。	継続
79	円高が急激に進みつつある中、輸出額が下落すると、専門家は予想している。	継続
80	現在、中国の環境が改善されつつある。	途中／接近
81	この新しい会社が成長しつつある。	継続
82	僕は自分が老けつつあることを意識しがたい。	途中／接近
83	環境問題への関心が高まり、車ではなく電車の利用する人が増えつつある。	継続
84	時代とともに、町の様子も変わりつつある。	継続
85	事態は改善されつつある。	途中／接近
86	近年、現地の経済が発展しつつあるんだ。	継続
87	軍隊が国内に入りつつある。	接近
88	変わりつつある物価	継続
89	AI化しつつある	継続
90	時代とともに、町の様子も変わりつつある。	継続
91	社会問題は増えつつある。	継続
92	母の体調はよつつある。	×
93	彼女は日本の生活に慣れつつある。	途中／接近
94	実家から出て、一人暮らしをしてから、彼は物心につきつつある。	×
95	地球温暖化の問題は日々深刻になりつつある。	継続

96	世界で英語を勉強する人が年々多くなりつつある	継続
97	中国は高齢化しつつある。	継続
98	お腹が空きつつある	接近
99	子供が成長しつつある	継続
100	成績が上がりつつある	継続
101	教育は現代人にとって重要に変わりつつある。	継続
103	中国の人口が増えつつある、環境は悪くなります。	継続
104	時代が変わつつある	継続
105	地球は温暖化しつつある。	継続
106	手術以来、彼の体は順調に回復しつつある。	途中／接近
107	経済は発展しつつある。	継続
108	町の様子は変わりつつある。	継続
109	人は成長しつつある。	継続
110	事態は良い方向に変わりつつある	接近
111	中国の経済は発展しつつある。	継続
112	大気汚染に関して、徐々に改善されつつあると言えよう。	途中／接近
113	彼女の体はよくなりつつある。	途中／接近
114	環境問題は改善されつつある。	途中／接近
115	日本語を勉強するが多くなつつある	×
116	彼は自信になりつつある。	×
117	彼の体の調子が悪化しつつある。	継続
118	勉強した知識を増えつつある	継続
119	彼の語学力は上達しつつある	継続
120	勉強しているので、進歩しつつある。	継続
121	年をとると、成長しつつある。	継続
122	地球は温暖化しつつある。	継続
123	日本語を勉強する人が年々多くなりつつある。	継続
124	私は今自分が日本語によくできつつあることを意識しています。	×
125	人口ガふへるつつある	×
126	経済の発展につれて、国民の生活も改善されつつある。	途中／接近
127	政府は景気が緩やかに回復しつつあると発表した	途中／接近
128	携帯電話を購入する人が増えつつある。	継続
129	気温が熱くなりつつあります。	接近
130	この国はこの一年ほどの間に政治的に安定した。経済も次第に安定しつつある。	途中／接近
131	彼の調子は悪くなりつつあります	途中／接近
132	いい体のために、私は元気になりつつあります	途中／接近
133	京都は歴史の古い町として、有名になりつつあります	途中／接近
134	生活がよくなりつつある。	接近
135	天気は熱くなりつつある。	接近
136	牛 B 炒飯は人気になりつつある	×
137	天気は暑くなりつつある	接近
138	天気が寒くなりつつある	接近
139	彼の身が悪くなりつつあっている。	接近
140	天気は晴れになりつつある。	接近
141	体が壊せつつあります。	×
142	問題が生じつつある。	接近
143	豪雨の前線が近づきつつある。	接近
144	教科書だけ勉強すれば良い時代が終わりつつある	接近

145	ある時代が終わりつつある	接近
146	始まりつつある。	接近
147	進みつつある台風。	継続
148	5月に入ってから、花粉症も治りつつあっている。	×
149	伝統文化が減りつつある。	接近
150	事件の真相は明らかになりつつある。	接近
151	台風が近づきつつある	接近
152	改革が迫りつつある	接近
153	台風が近づきつつある。	接近
154	その時代は静かに終わりつつある。	接近
155	激しい雨が近づきつつある。	接近
156	風邪が治りつつある。	接近
157	台風が近づきつつある	接近
158	決戦の日は近づきつつある	途中／接近
159	工事が無事に終わりつつある	接近
160	若い人が都会へ出ていくため、五百年の伝統のある祭りの火がいまや消えつつある。	接近
161	風が近づきつつある	接近
162	彼は近づきつつある	接近
163	彼は今自分が死につつあることを意識していた。	接近
164	台風が近づきつつある。	接近
165	その時代は静かに終わりつつある	接近
166	中国の伝統文化が消えつつある。	接近
167	卒業の実習が近づきつつある。	接近
168	敵が近づきつつある。	接近
169	彼は今自分が死につつあることを意識していた	接近
170	その時代は静かに終わりつつあった	接近
171	キャンパスの時代が終わりつつある。	接近
172	彼はいま自分が死につつあることを意識していた。	接近
173	その時代は静かに終わりつつあった。	接近
174	この感情は静かに終わりつつある。	接近
175	私たちの時間が静かに終わりつつある。	接近
176	台風が近づきつつある	接近
177	その時代は静かに終わりつつある	接近
178	台風が近づきつつある。	接近
179	台風が近づきつつある。	接近
180	その時代は静かに終わりつつあった。	接近
181	この川は汚くなりつつある	途中／接近
182	地球は温暖化しつつある	継続
183	私はお金を持てつつある。	×